ココマ

取付説明書　－ 本体総合編 －

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
　表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜本製品の施工について＞

●本製品は、認定研修を終了したエクシオール指定特約店様の施工を前提にしています。

＜電気配線工事について＞

⚠警告

●接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行なってください。
●本製品には専用のトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。AC100Vと直接接続しないでください。
●トランス電源ユニットの設置方法および取扱い方法は、別途トランス電源ユニット取扱説明書（UZ051）を参照してください。
●家屋から通電金具までの配線は、別の100Vおよび200Vの配線と平行に配線しないでください。
●平行に配線する場合は、500mm以上離してください。また、埋込配線の部分は、100Vまたは200V電源とは別配管にしてください。

＜施工の前に＞

⚠注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
●本製品は躯体取付け専用のため、躯体から独立して設置しないでください。

＜施工の前に＞

⚠ 注 意

●母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
●屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
●スプレー式シリコン系潤滑剤およびアルコール系シーリング材は、現場で手配してください。
●寒冷地では凍結破損を防ぐため、竪樋に排水路ヒーター等を取付けてください。
●必要に応じて、「呼びφ40排水パイプ」、「コンクリートブロック（腰壁タイプの場合）」、「柱固定用カイモノ」は現場で手配してください。
●照明を取付ける場合は、必要に応じて、「防水コンセント」、「連結コネクタ」、「PF管」を現場で手配してください。
●入隅の場合は、「φ4.5×65丸木ネジ」を現場で手配してください。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●ボルト, ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト, ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
●施工終了後は、パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

＜基礎工事についてのご注意＞

⚠ 注 意

●基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
●養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

＜電源ケーブル（12V）工事について＞

⚠ 注 意

●PF管は現場で別途手配してください。

＜本製品の施工について＞ ※施工時には下記の事項を厳守してください。

1-1 柱、垂木掛けの取付け

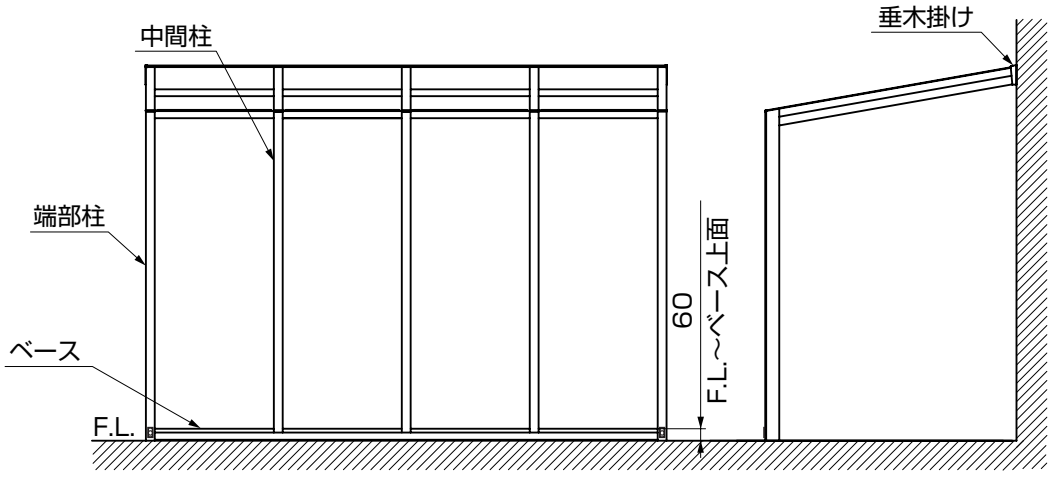


図1-1

ポイント

●「1基本寸法と各部名称　1.基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置出しを行ってください。

1-2 ベースの取付け

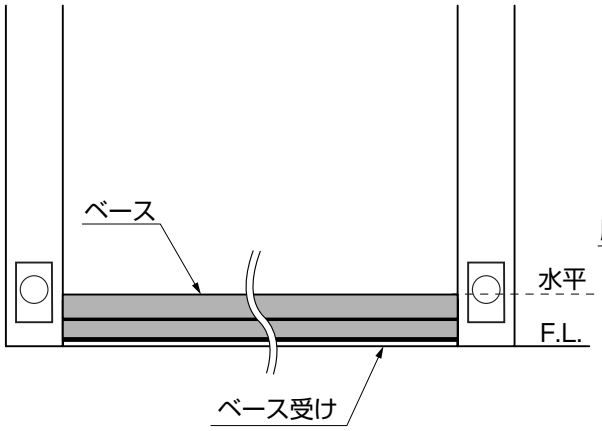


図1-2　基本仕様の場合

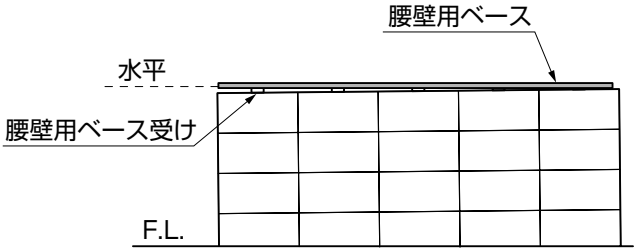


図1-3　腰壁仕様の場合

ポイント

●ベースは水平になるように取付けてください。
●腰壁仕様の場合は、F.L.仕上げ面からの腰壁ベースの高さを変更すると、垂木掛け等の部品全ての取付け寸法を修正する必要があります。

<つづき>

1-3　シーリング処理

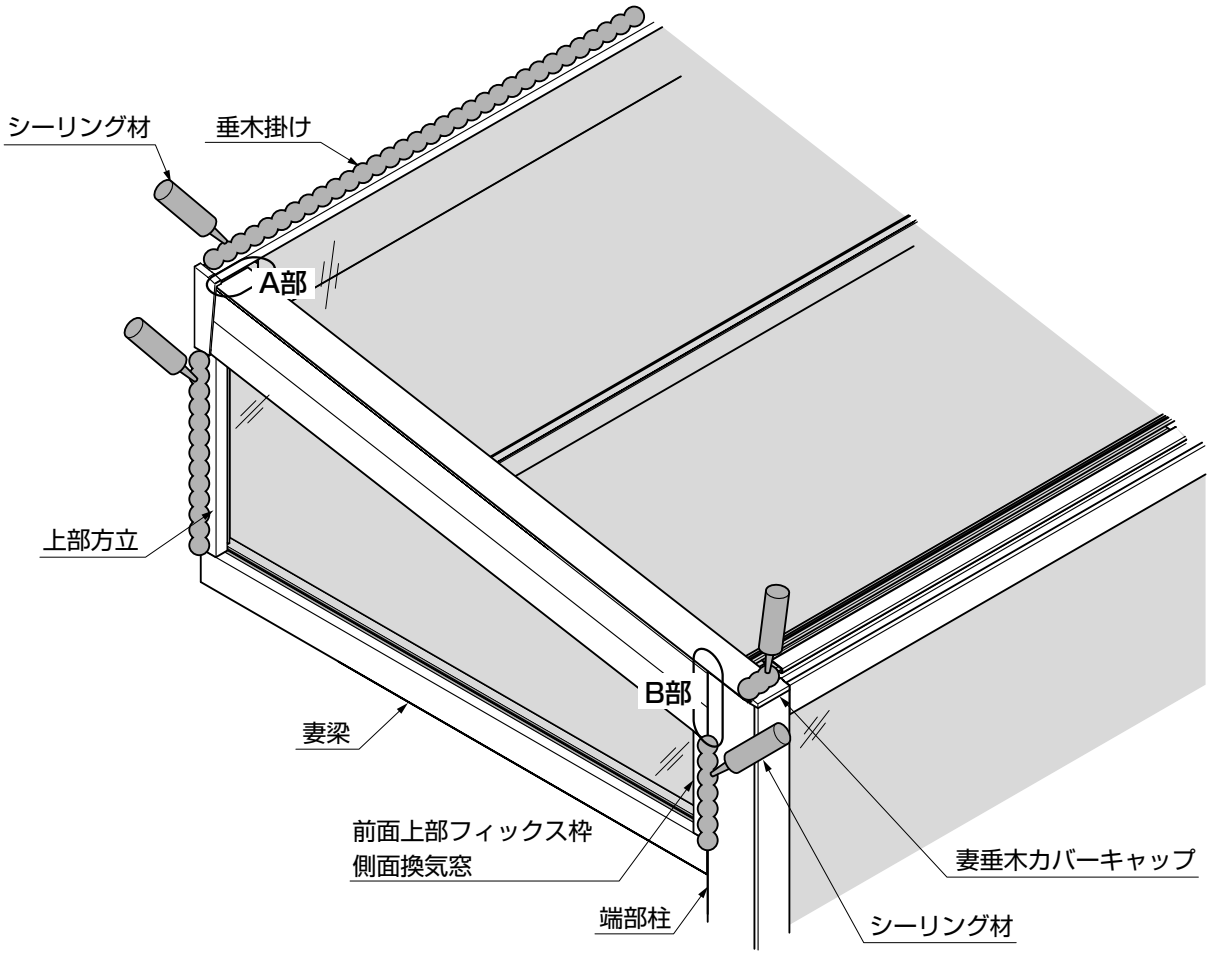


図1-4　シーリング箇所

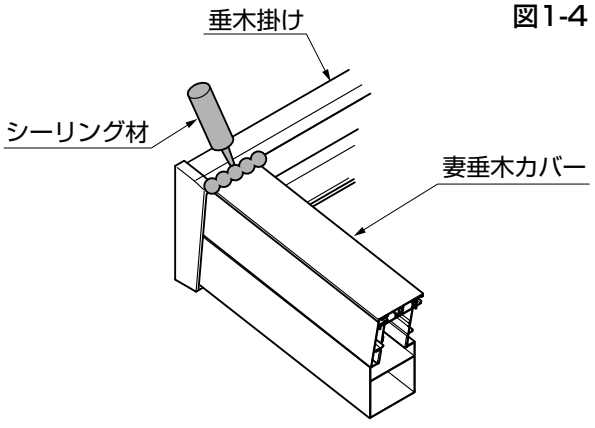


図1-5　A部　詳細図

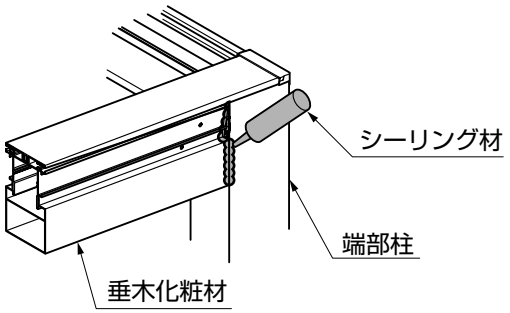


図1-6　B部　詳細図

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
●指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1-4　垂木カバーの取付け

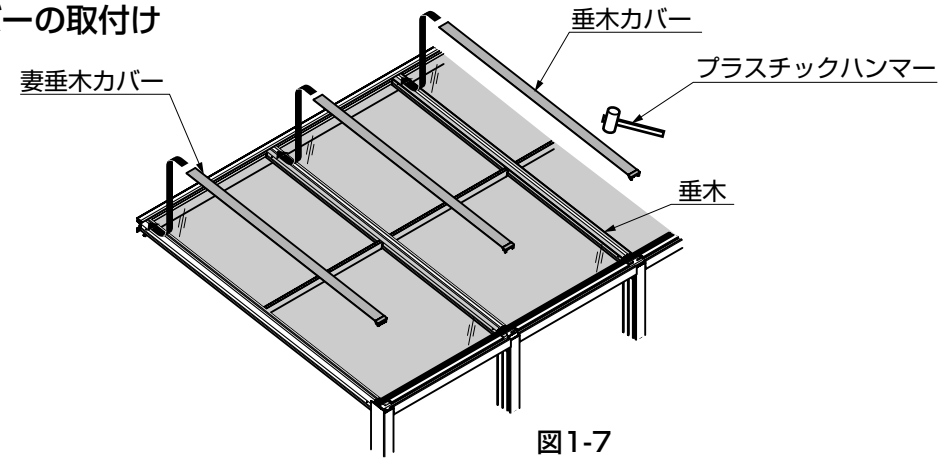


図1-7

ポイント

●垂木カバー、妻垂木カバーは部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。

1-5　テラス用上枠、パネル上枠の取付け

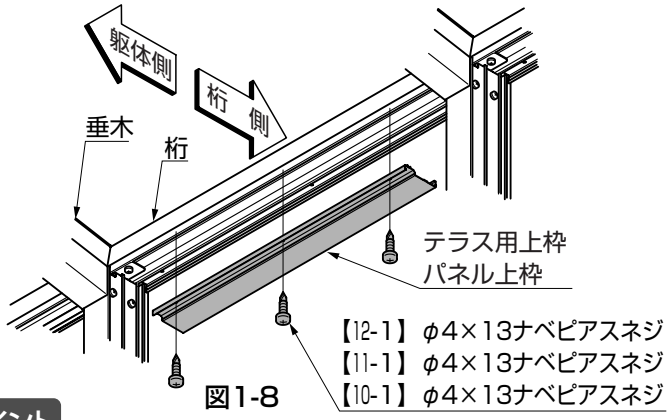


図1-8

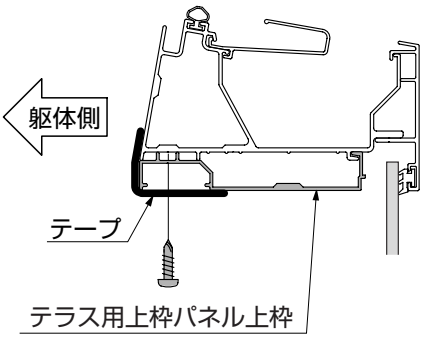


図1-9

ポイント

●テラス用上枠またはパネル上枠を取付ける際は、テープ等で仮止めして取付けてください。(図1-9参照)

1-6　ガラスパネルの取扱い

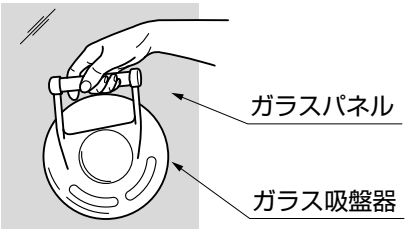


図1-10

ポイント

●強化ガラス、現場入れガラスを取付けるときには、市販のガラス吸盤器を使用してください。また、ポリカーボネートの前面フィックスパネル、前面フィックス上段パネルについても養生シートは、はがさずにガラス吸盤器を使用すると取付けが容易になります。
●強化ガラス、現場入れガラス取付けの際にガラスの端部とアルミ形材がこすれたり、引っ掛けたりしないように、養生テープでアルミ形材を保護してください。
●ガラスとアルミが直接触れないように、本説明書の指示の通り、同梱のセッティングブロック、セッティングシートは、必ず使用してください。
●強化ガラス、現場入れガラス等、大判のガラス取付け作業の際は、二人作業を推奨します。
●強化ガラス、現場入れガラス等は、入れ込み箇所のすぐそばで作業の直前に開梱してください。
●ガラスの角をぶつけると、割れ等の破損のおそれがありますので特に注意してください。

<つづき>

1-7 後付けビートの取付け

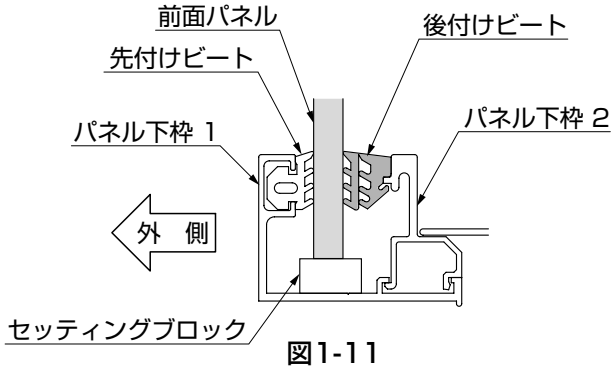


図1-11

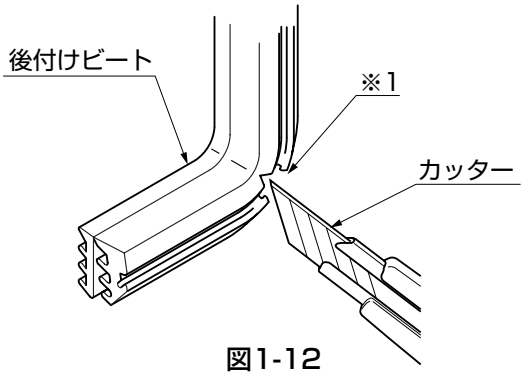


図1-12

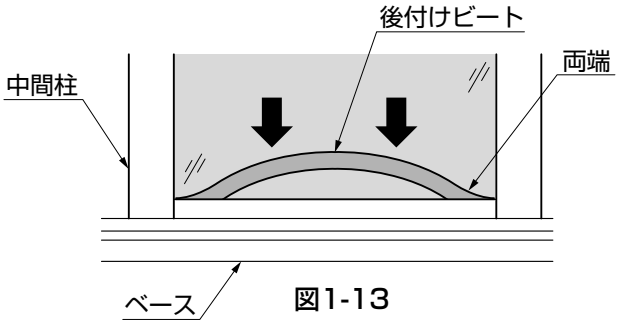


図1-13

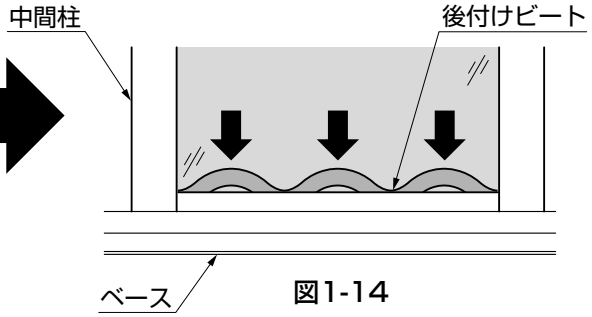


図1-14

ポイント

●後付けビートには取付ける向きがあります。(図1-11参照)
●後付けビートを折曲げる箇所 (※1) にカッター等で切欠きを入れてください。(図1-12参照)
●後付けビートを取付ける際は、図1-13のように取付ける面の中心部分をたるませた状態で、両端部分および中間の1～2箇所を先に押込み、図1-14のようにたるみ部分の中心から広げるように押込んでいきます。

1-8 パネル下枠 2、ベース化粧材 内の取付け

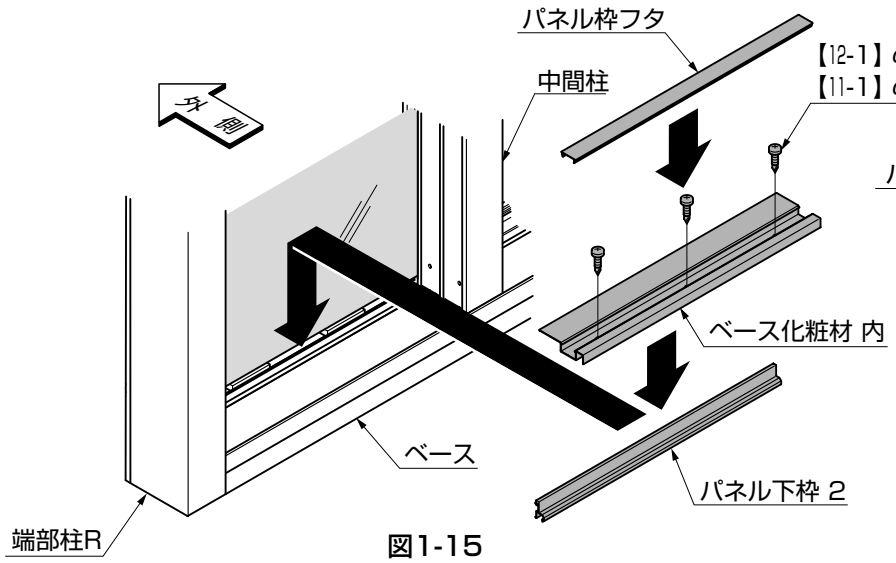


図1-15

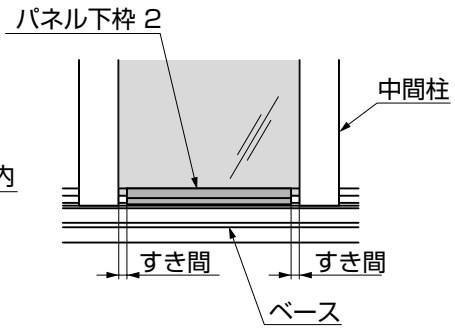


図1-16

ポイント

●パネル下枠 2の長さは柱間の長さより数mm短くなっていますので、左右のすき間が均等になるように取付けてください。すき間がないと柱フタが取付けできなくなります。(図1-16参照)

1-9　腰壁笠木の取付け

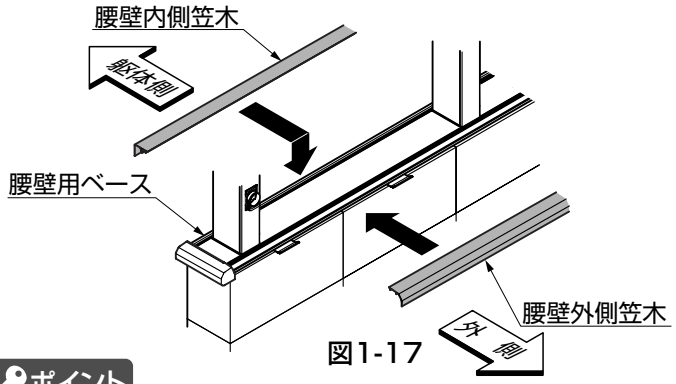


図1-17

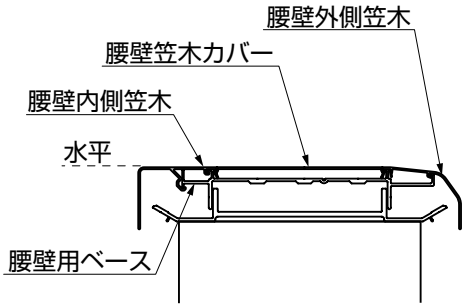


図1-18

ポイント

●腰壁内側笠木を水平になるように、腰壁用ベースにはめ込んでください。
●腰壁戸当り枠スペーサーを使用する場合は、腰壁内側笠木は切断が必要です。

1-10　折戸パネルの吊込み

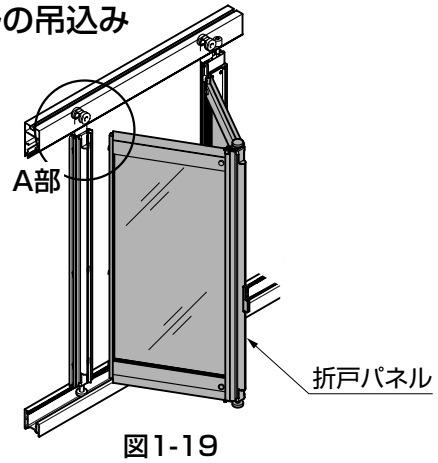


図1-19

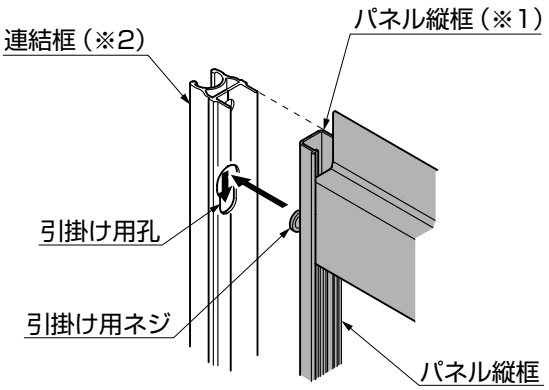


図1-20　A部詳細

注意

●折戸パネルの吊込み時は、パネル縦框上端（※1）と連結框上端（※2）を揃えてから、折戸パネルを引掛け孔に挿入し下へスライドしてください。この時、パネルの3ヶ所の引掛け用ネジの頭が引掛け孔に完全に引掛かっていることを確認してください。引掛かりが不完全な場合、折戸パネルが脱落したり、破損し事故につながることがあります。

1-11　パネルストッパーの取付け

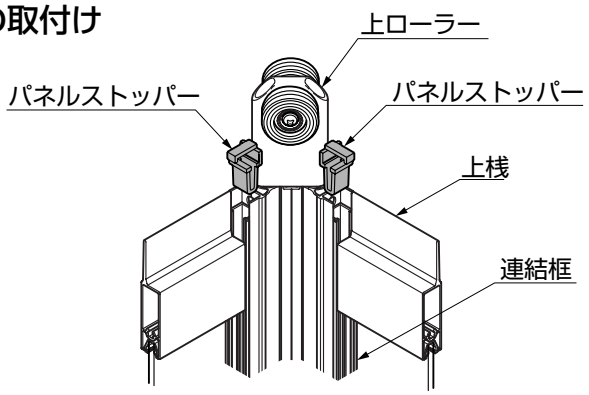


図1-21

注意

●すべての折戸パネルの吊込み完了後、連結框上部にパネルストッパーを取付けてください。取付けないと、開閉時や強風時に折戸パネルが脱落するおそれがあります。

<つづき>

1-12 戸当りストッパーの取付け

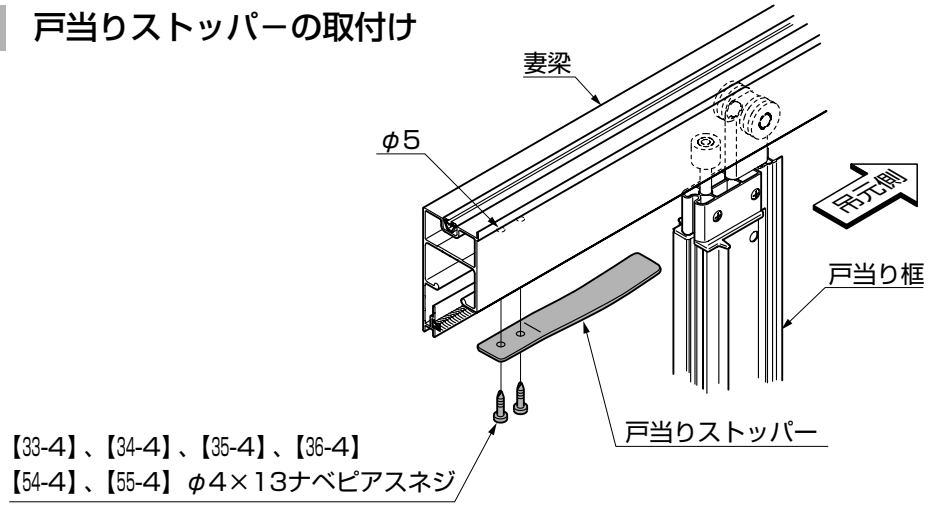


図1-22

ポイント

●すべての折戸パネル吊込み後、戸当りストッパーを必ず所定の位置に取付けてください。所定の位置に取付けないと、折戸パネルを閉めるときに戸袋から折戸パネルがスムーズに出なくなり、破損の原因になります。

1-13 潤滑剤の塗布

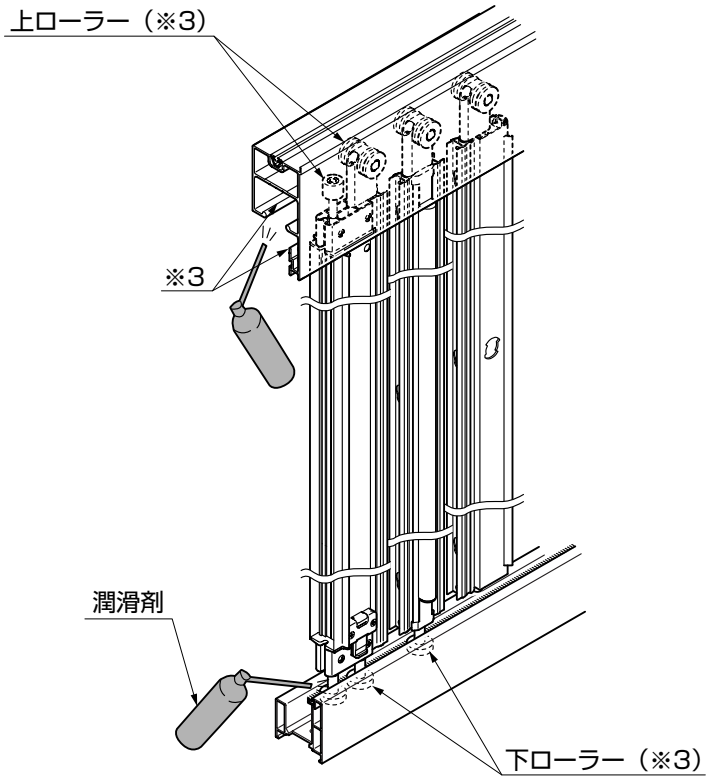


図1-23

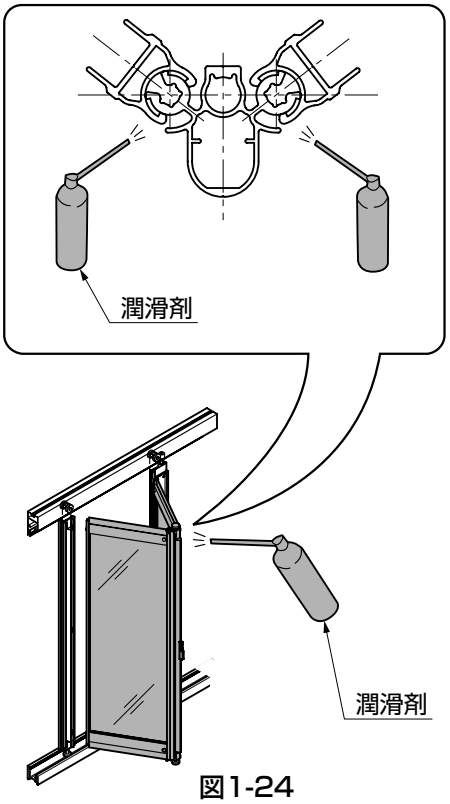


図1-24

ポイント

●施工完了後、上下レール内と上下ローラー等（※3）やパネル連結部に、市販のスプレー式シリコン系潤滑剤を吹き付け、パネルがスムーズに開閉できることを確認してください。
●出幅4尺の場合、連結框は使用しません。

1-14　ロールスクリーン本体の取付け　オプション

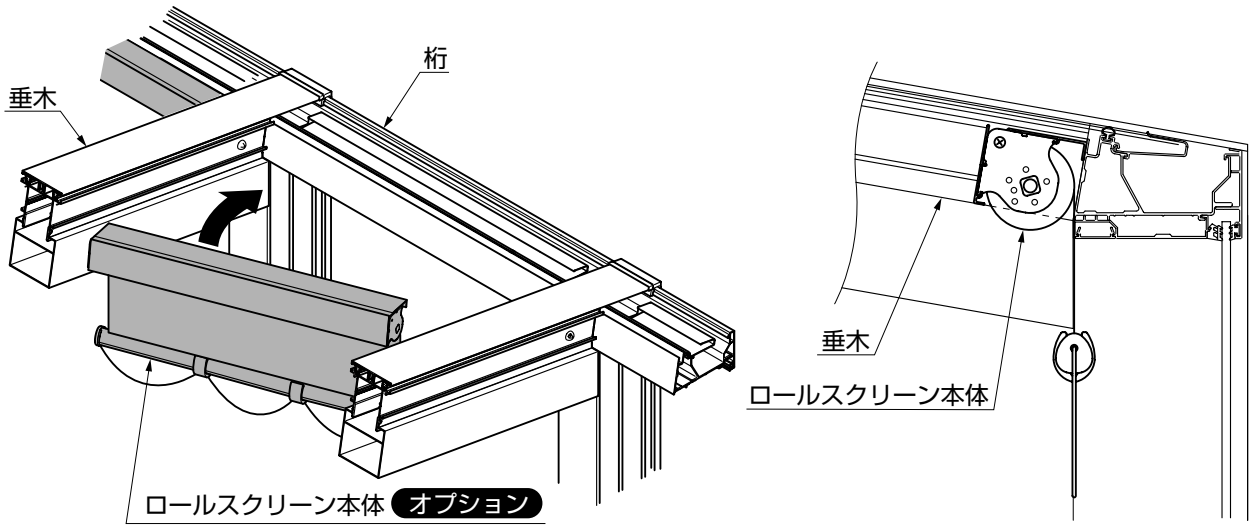


図1-25

ポイント

●ロールスクリーン本体の取付けは本体の施工と同時に行う作業です。「3 本体の施工　16. ロールスクリーン本体の取付け　オプション 」を参照して行ってください。

1-15　内部日除けの取付け　オプション

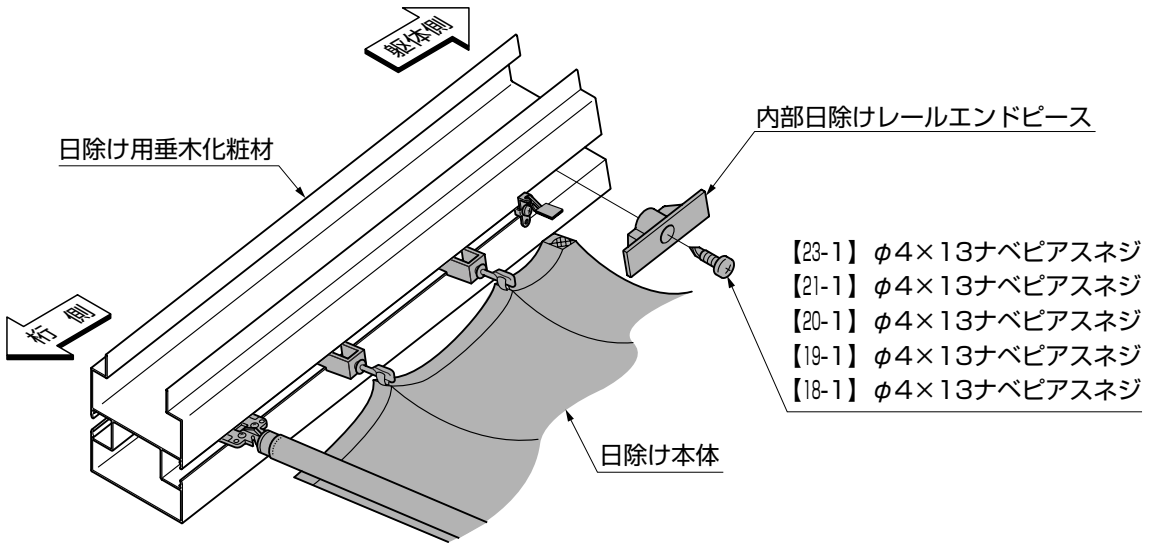


図1-26

ポイント

●内部日除けの取付けは本体の施工と同時に行う作業です。「3　本体の施工　17. 垂木フタの取付け、18. 内部日除けの取付け　オプション 」を参照して行ってください。

<つづき>

1-16 LEDユニットの取付け オプション

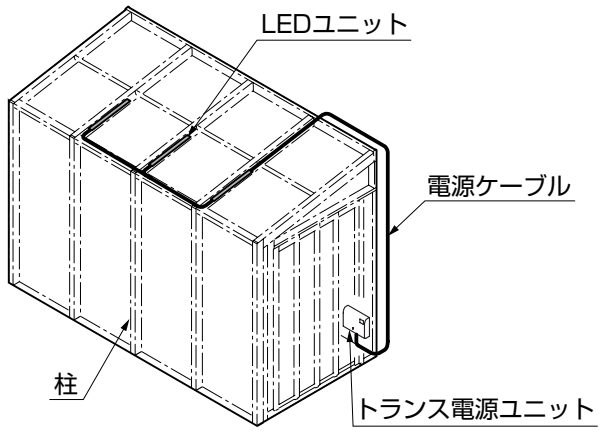


図1-27

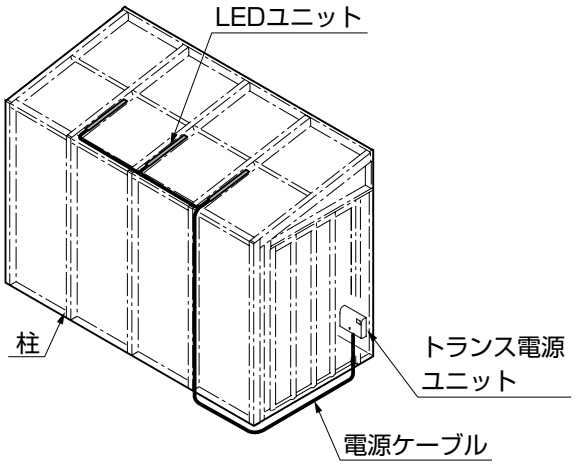


図1-28

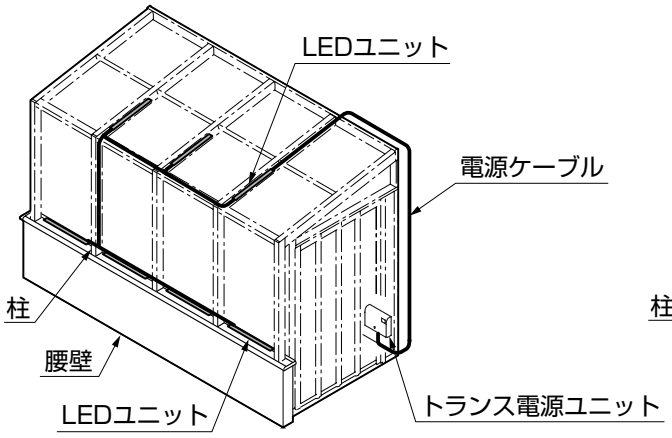


図1-29

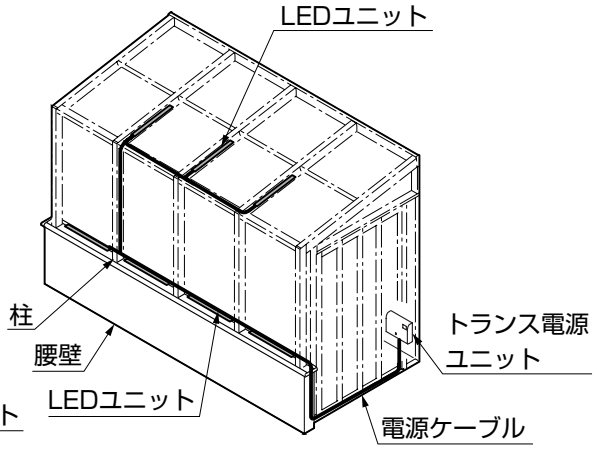


図1-30

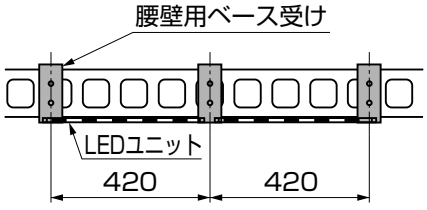


図1-31　LED標準プラン

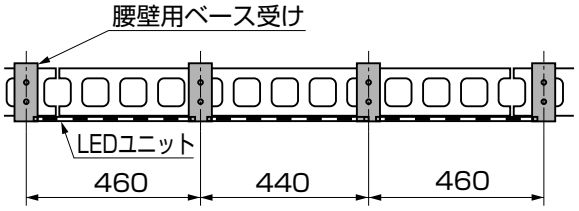


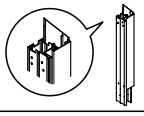
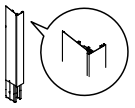
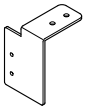
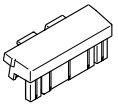
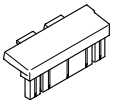
図1-32　LED連続プラン

ポイント

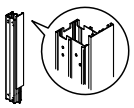
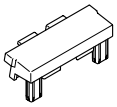
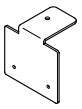
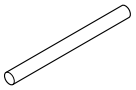
- ●LEDユニットの配線は、躯体側から上部へ周す場合の図1-27、図1-29と柱側、腰壁側から下部へ周す場合の図1-28、図1-30の方法があります。
- ●腰壁笠木内にLEDユニットを取付ける場合の腰壁用ベース受けの取付けピッチは図1-31、図1-32にしたがってください。
- ●ワイヤレスガーデンスピーカーを取付ける場合、その電源ケーブルの配線は、LED照明用電源ケーブルの配線図1-27、図1-29を参考に、同様に行なってください。ただし、電源は家庭用100V電源を使用してください。

■梱包明細表

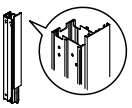
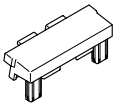
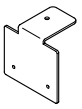
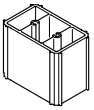
【1】端部柱セット

名　　称	略　図	員　数
端部柱 R		1
端部柱 L		1
端部柱-桁組付金具 R		1
端部柱-桁組付金具 L		1
端部柱キャップ R		1
端部柱キャップ L		1
【1-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		8

【2】中間柱セット__オープンテラス用

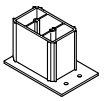
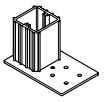
名　　称	略　図	員　数
テラス用中間柱		1
中間柱キャップ		1
中間柱-桁組付金具 R		1
中間柱-桁組付金具 L		1
アンカー棒		1
【2-1】φ4×12 トラスタッピンネジ3種　D=8		6

【3】中間柱セット

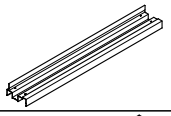
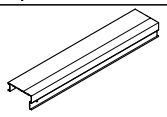
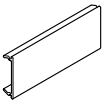
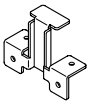
名　　称	略　図	員　数	
		1本入	3本入
中間柱		1	3
中間柱キャップ		1	3
中間柱-桁組付金具 R		1	3
中間柱-桁組付金具 L		1	3
中間柱スリーブ		1	3
【3-1】φ4×75 ナベタッピンネジ1種　D=7		2	6
【3-2】φ4×12 トラスタッピンネジ3種　D=8		6	18
【3-3】φ4×13 ナベピアスネジ　D=8.2		4	12

■梱包明細表（つづき）

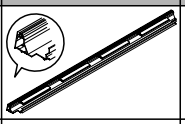
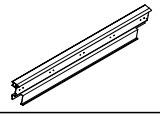
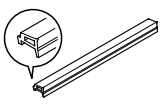
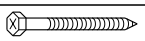
【4】柱固定ベースセット

名　　称	略　図	員　数	
		端部	中間
中間柱固定ベース		ー	1
端部柱固定ベース		1	ー
【4-1】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		2	4
【4-2】φ4×30ナベタッピンネジ1種　D=7		6	6
【4-3】S6フィッシャープラグ		6	6

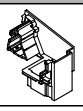
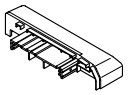
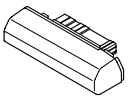
【5】ベース材セット

名　　称	略　図	員　数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
ベース受け		1	1	1	1	1
ベース		1	1	1	1	1
パネル枠フタ		2	2	2	2	2
端部柱-ベース受け取付金具		2	2	2	2	2
【5-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		8	8	8	8	8
【5-2】φ4×30ナベタッピンネジ1種　D=7		6	7	8	9	10
【5-3】S6フィッシャープラグ		6	7	8	9	10
【5-4】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		6	15	24	28	32

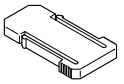
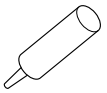
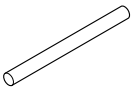
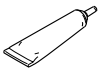
【6】桁・垂木掛けセット

名　　称	略　図	員　数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け		1	1	1	1	1
垂木掛け後付けビート		2	3	4	5	6
【6-1】φ6×70六角コーチスクリュー		6	8	10	12	14
【6-2】M6用平座金		6	8	10	12	14
【6-3】φ4×10トラスタッピンネジ3種　D=8		2	2	2	2	2

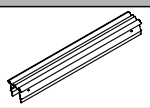
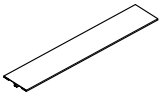
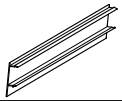
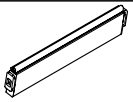
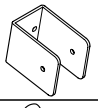
【7】部品箱セット

名　　称	略　図	員　数	
		基本	腰壁
桁キャップ R		1	1
桁キャップ L		1	1
垂木掛けキャップ R		1	1
垂木掛けキャップ L		1	1
連棟用垂木掛け部品		2	2
腰壁笠木端部キャップ R		—	1
腰壁笠木端部キャップ L		—	1
雨樋受けエッジカバー		2	2
雨樋受け部品B		2	2

【7】部品箱セット（つづき）

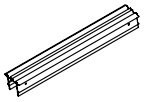
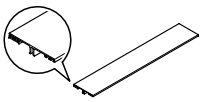
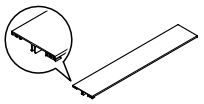
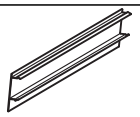
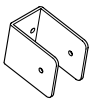
名　　称	略　図	員　数	
		基本	腰壁
雨樋受け部品C		2	2
ブチルコーキング		1	1
アンカー棒		2	—
接着剤		—	1
92° エルボ		—	2
でんでん		—	2
【7-1】φ4.1×32丸木ネジ		—	3
【7-2】S6フィッシャープラグ		—	3
【7-3】φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		—	4
取付説明書 ー本体総合編ー <E219>	—	1	1
取扱説明書<UE061>	—	1	1
施工マニュアル<S076>	—	1	1

【8】垂木セット

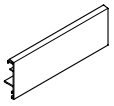
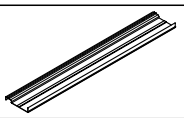
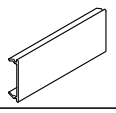
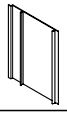
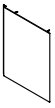
名　　称	略　図	員　数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	3	3	3
垂木フタ		4	4	6	12	12	18
中骨		1	1	2	3	3	6
垂木組付金具		2	2	2	6	6	6
【8-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		8	8	8	24	24	24
【8-2】φ4×12トラスタッピンネジ2種（PW+ゴムパッキン）		8	11	14	24	33	42

■梱包明細表（つづき）

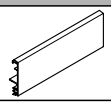
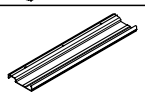
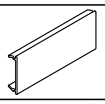
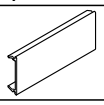
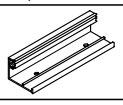
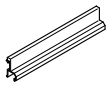
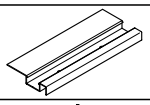
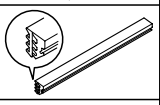
【9】妻垂木セット

名　　称	略　　図	員　　数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木		2	2	2
妻垂木カバー R		1	1	1
妻垂木カバー L		1	1	1
垂木フタ		4	4	6
中骨		1	1	2
垂木組付金具		4	4	4
雪下ろし指示シール		1	1	1
【9-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		16	16	16
【9-2】φ4×12トラスタッピンネジ2種（PW+ゴムパッキン）		15	22	28

【10】前面テラス用枠セット

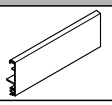
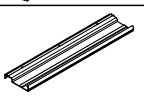
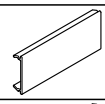
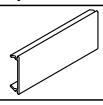
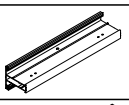
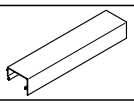
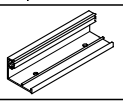
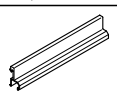
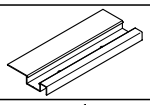
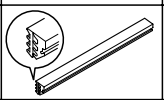
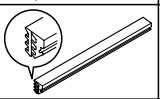
名　　称	略　　図	員　数
テラス用桁カバー枠		1
テラス用上枠		1
パネル枠フタ		1
テラス用柱フタ R		1
テラス用柱フタ L		1
【10-1】φ4×13ナベピアスネジ　D=8		8

【11】前面フィックスパネル枠セット

名　　称	略　図	員　数
桁カバー枠		1
パネル上枠		1
パネル枠フタ ※1		1
パネル枠フタ ※2		1
パネル下枠 1		1
パネル下枠 2		1
ベース化粧材 内		1
柱フタ		2
後付けビート材		1
セッティングブロック 下面用		2
セッティングブロック 側面用		2
端部柱セッティングシート		3
【11-1】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		13

※1　シャイングレー
※2　ラッピング色

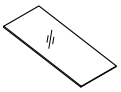
【12】前面フィックスパネル枠セット＿中桟付

名　　称	略　図	員　数
桁カバー枠		1
パネル上枠		1
パネル枠フタ ※1		1
パネル枠フタ ※2		1
中桟		1
中桟カバー		2
パネル下枠 1		1
パネル下枠 2		1
ベース化粧材 内		1
中桟取付用柱フタ R		1
中桟取付用柱フタ L		1
中桟組付金具		2
後付けビート材		1
後付けビート材 下段用		1
セッティングブロック 下面用		4
セッティングブロック 側面用		4
端部柱セッティングシート		4
【12-1】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		13
【12-2】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		8

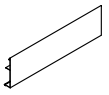
※1　シャイングレー
※2　ラッピング色

■梱包明細表（つづき）

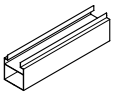
【13】屋根材セット

名　　称	略　　図	員　数	
		2枚入	3枚入
屋根材		2	3

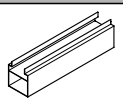
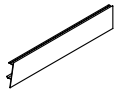
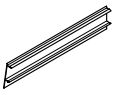
【14】垂木掛けカバーセット

名　　称	略　　図	員　数	
		2本入	3本入
垂木掛けカバー		2	3

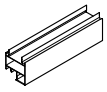
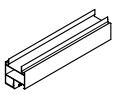
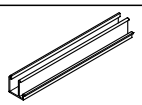
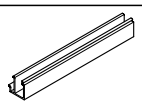
【15】垂木化粧材セット

名　　称	略　　図	員　数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木化粧材		1	1	1	3	3	3
【15-1】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		7	9	11	21	27	33

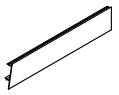
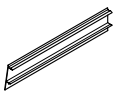
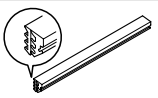
【16】妻垂木化粧材セット

名　　称	略　　図	員　数		
		4尺	6尺	8尺
垂木化粧材		2	2	2
妻垂木フタ R		1	1	1
妻垂木フタ L		1	1	1
【16-1】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		7	9	11

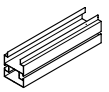
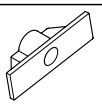
【17】妻垂木化粧材セット__ガーデンルーム用

名　　称	略　　図	員　数		
		4尺	6尺	8尺
垂木化粧材 R_ガーデンルーム用		1	1	1
垂木化粧材 L_ガーデンルーム用		1	1	1
妻垂木押え縁 R		1	1	1
妻垂木押え縁 L		1	1	1

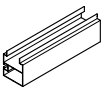
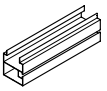
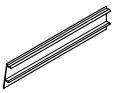
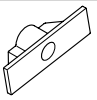
【17】妻垂木化粧材セット__ガーデンルーム用（つづき）

名　　称	略　　図	員　数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木フタ R		1	1	1
妻垂木フタ L		1	1	1
後付けビート材		2	2	2
【17-1】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		14	18	22

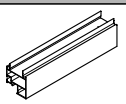
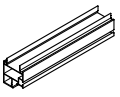
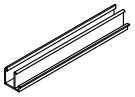
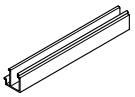
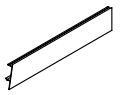
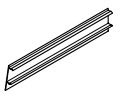
【18】日除け用垂木化粧材セット

名称	略図	員数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
日除け用付垂木化粧材		1	1	1	3	3	3
内部日除けレールエンドピース		2	2	2	6	6	6
【18-1】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		9	11	13	27	33	39

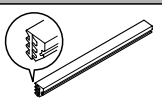
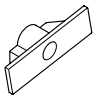
【19】日除け用妻垂木化粧材セット

名称	略図	員数		
		4尺	6尺	8尺
日除け用妻垂木化粧材 R		1	1	1
日除け用妻垂木化粧材 L		1	1	1
妻垂木フタ R		1	1	1
妻垂木フタ L		1	1	1
内部日除けレールエンドピース		2	2	2
【19-1】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		9	11	13

【20】日除け用妻垂木化粧材セット__ガーデンルーム用

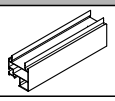
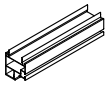
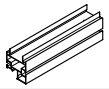
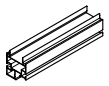
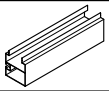
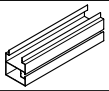
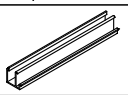
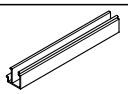
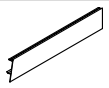
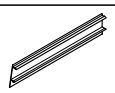
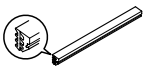
名称	略図	員数		
		4尺	6尺	8尺
日除け用垂木化粧材 R_ ガーデンルーム用		1	1	1
日除け用垂木化粧材 L_ ガーデンルーム用		1	1	1
妻垂木押え縁 R		1	1	1
妻垂木押え縁 L		1	1	1
妻垂木フタ R		1	1	1
妻垂木フタ L		1	1	1

【20】日除け用妻垂木化粧材セット__ガーデンルーム用（つづき）

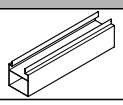
名称	略図	員数		
		4尺	6尺	8尺
後付けビート材		2	2	2
内部日除けレールエンドピース		2	2	2
【20-1】φ4×13ナベ ピアスネジ　D=8.2		16	20	24

■梱包明細表（つづき）

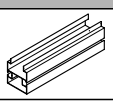
【21】日除け用 右（左）入妻垂木化粧材セット

名　　称	略　　図	員　数					
		右入			左入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
日除け用妻垂木化粧材 R__ガーデンルーム用		1	1	1	−	−	−
日除け用妻垂木化粧材 L__ガーデンルーム用		−	−	−	1	1	1
日除け用仕切部垂木化粧材 R		−	−	−	1	1	1
日除け用仕切部垂木化粧材 L		1	1	1	−	−	−
日除け用妻垂木化粧材 R		−	−	−	1	1	1
日除け用妻垂木化粧材 L		1	1	1	−	−	−
妻垂木押え縁 R		1	1	1	1	1	1
妻垂木押え縁 L		1	1	1	1	1	1
妻垂木フタ R		1	1	1	1	1	1
妻垂木フタ L		1	1	1	1	1	1
内部日除けレールエンドピース		4	4	4	4	4	4
後付けビート材		2	2	2	2	2	2
【21-1】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		25	31	37	25	32	37

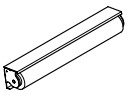
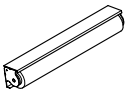
【22】垂木化粧材セット__照明付

名　　称	略　　図	員　数		
		4尺	6尺	8尺
垂木化粧材_照明付		1	1	1
渡り配線ケーブル		1	1	1
【22-1】φ4×13ナベ ピアスネジ　D=8.2		7	9	11

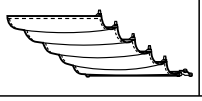
【23】日除け用垂木化粧材セット__照明付

名　　称	略　　図	員　数		
		4尺	6尺	8尺
日除け用垂木化粧材_照明付		1	1	1
内部日除けレールエンドピース		2	2	2
渡り配線ケーブル		1	1	1
【23-1】φ4×13ナベ ピアスネジ　D=8.2		9	11	13

【24】ロールスクリーンセット　オプション

名　称	略　図	員　数	
		基本用	腰壁用
ロールスクリーン本体		1	ー
ロールスクリーン本体 腰壁用		ー	1
ウェイトバー引掛け用ヒモ 交換用		1	1
ロープ引掛けフック		2	2
ロープ引掛けフック用プレート		2	2
【24-1】φ4×35トラスタッピンネジ1種		2	2

【25】内部日除けセット　オプション

名　称	略　図	員　数		
		4尺	6尺	8尺
ランナー		8	10	12
日除けレールストッパー タッチプレート付		2	2	2
内部日除け本体		1	1	1

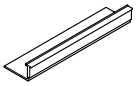
【26】日除け開閉棒　オプション

名　称	略　図	員　数
日除け開閉棒		1

【27】日除け開閉棒　オプション

名　称	略　図	員　数
日除け開閉棒_L		1

【28】妻垂木化粧材溝カバーセット

名　称	略　図	員　数
妻垂木化粧材溝カバー		1
【28-1】φ4×13 ナベピアスネジ　D=8.2		4

【29】前面フィックスパネルセット

名　称	略　図	員　数
前面フィックスパネル		1

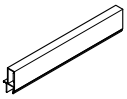
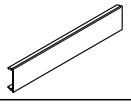
【30】前面フィックス下段パネルセット

名　称	略　図	員　数
前面フィックス下段パネル		1

【31】前面フィックス上段パネルセット

名　称	略　図	員　数
前面フィックス上段パネル		1

【32】前面上げ下げ窓セット　オプション

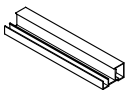
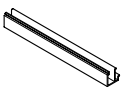
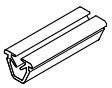
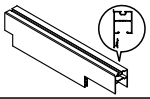
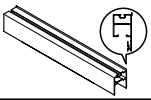
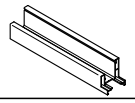
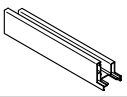
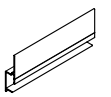
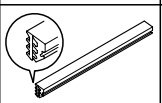
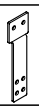
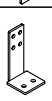
名　称	略　図	員　数
上げ下げ窓		1
網戸		1
受け枠 上下		2
受け枠 左右		2
上下枠フタ		2

【32】前面上げ下げ窓セット（つづき）　オプション

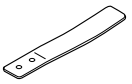
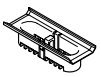
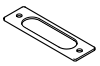
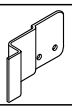
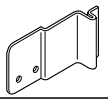
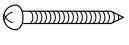
名　称	略　図	員　数
【32-1】φ4×10 ナベピアスネジ		7
【32-2】φ4×25 サラピアスネジ		9

■梱包明細表（つづき）

【33】妻梁レールセット外収納用

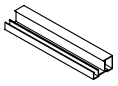
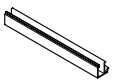
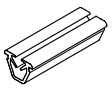
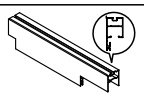
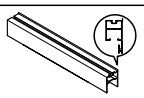
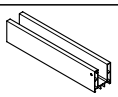
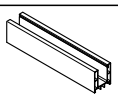
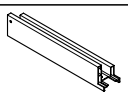
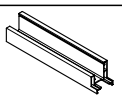
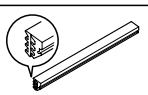
名称	略図	員数 右外収納 4尺	6尺	8尺	左外収納 4尺	6尺	8尺
上部方立		1	1	1	1	1	1
上部方立押え縁		1	1	1	1	1	1
前面上部フィックス枠 R		1	1	1	—	—	—
前面上部フィックス枠 L		—	—	—	1	1	1
前面上部フィックス枠押え縁 R		1	1	1	—	—	—
前面上部フィックス枠押え縁 L		—	—	—	1	1	1
フィックス枠 上下		2	2	2	2	2	2
フィックス枠 上下押え縁		2	2	2	2	2	2
グレチャン		1	1	1	1	1	1
妻梁 右外・左内		1	1	1	—	—	—
妻梁 左外・右内		—	—	—	1	1	1
外収納下レール R		1	1	1	—	—	—
外収納下レール L		—	—	—	1	1	1
上桟カバー		2	4	4	2	4	4
後付けビート材		1	1	1	1	1	1
垂木掛け・上部方立取付金具		1	1	1	1	1	1
妻梁取付金具		2	2	2	2	2	2

【33】妻梁レールセット外収納用（つづき）

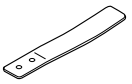
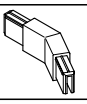
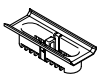
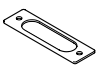
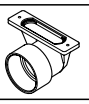
名称	略図	員数 右外収納 4尺	6尺	8尺	左外収納 4尺	6尺	8尺
下レール取付金具		2	2	2	2	2	2
フィックス上枠取付金具		2	2	2	2	2	2
戸当りストッパー		1	1	1	1	1	1
レール溝ゴミ受け		1	1	1	1	1	1
アタッチメント用パッキン		1	1	1	1	1	1
水抜きアタッチメント		1	1	1	1	1	1
連結框カバーA		1	2	2	1	2	2
連結框カバーB		1	2	2	1	2	2
ロック框カバーA		1	2	2	1	2	2
ロック框カバーB		1	2	2	1	2	2
ストッパーガイドプレート		1	1	1	1	1	1
ストッパーガイドパイプ		1	1	1	1	1	1
【33-1】φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		12	12	12	12	12	12
【33-2】φ4.5×63 丸木ネジ		6	6	6	6	6	6
【33-3】φ4×16ナベ ピアスネジ D=8.2		4	4	4	4	4	4
【33-4】φ4×13ナベ ピアスネジ D=8.2		10	10	10	10	10	10
【33-5】φ4.1×32丸木ネジ		4	7	7	4	7	7
【33-6】S6フィッシャープラグ		4	7	7	4	7	7
【33-7】φ4×8特サラ タッピンネジ3種		7	13	13	7	13	13
【33-8】φ4×30サラ ピアスネジ D=8.2		1	1	1	1	1	1

E219_200607B

【34】妻梁レールセット内収納用

名称	略図	員数 右内収納 6尺	右内収納 8尺	左内収納 6尺	左内収納 8尺
上部方立		1	1	1	1
上部方立押え縁		1	1	1	1
前面上部フィックス枠 R		1	1	—	—
前面上部フィックス枠 L		—	—	1	1
前面上部フィックス枠押え縁 R		1	1	—	—
前面上部フィックス枠押え縁 L		—	—	1	1
フィックス枠 上下		2	2	2	2
フィックス枠 上下押え縁		2	2	2	2
グレチャン		1	1	1	1
妻梁 右外・左内		—	—	1	1
妻梁 左外・右内		1	1	—	—
内収納下レール R		1	1	—	—
内収納下レール L		—	—	1	1
内収納戸袋下レール R		1	1	—	—
内収納戸袋下レール L		—	—	1	1
内収納戸袋枠		2	2	2	2
後付けビート材		1	1	1	1
垂木掛け・上部方立取付金具		1	1	1	1

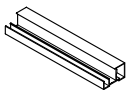
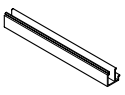
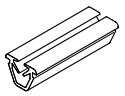
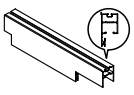
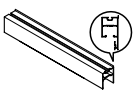
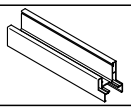
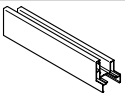
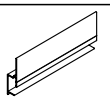
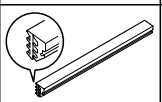
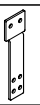
【34】妻梁レールセット内収納用（つづき）

名称	略図	員数 右内収納 6尺	右内収納 8尺	左内収納 6尺	左内収納 8尺
妻梁取付金具		2	2	2	2
下レール取付金具		2	2	2	2
レール側板連結金具		1	1	1	1
フィックス上枠取付金具		2	2	2	2
戸当りストッパー		1	1	1	1
内収納戸袋コーナーピースA		1	1	1	1
内収納戸袋コーナーピースB		1	1	1	1
内収納戸袋コーナーピースC		1	1	1	1
内収納戸袋枠取付部品		1	1	1	1
レール溝ゴミ受け		1	1	1	1
アタッチメント用パッキン		1	1	1	1
水抜きアタッチメント		1	1	1	1
ストッパーガイドプレート		1	1	1	1
ストッパーガイドパイプ		1	1	1	1
【34-1】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		12	12	12	12
【34-2】 φ4.5×63丸木ネジ		6	6	6	6
【34-3】 φ4×16ナベピアスネジ D=8.2		4	4	4	4
【34-4】 φ4×13ナベピアスネジ D=8.2		19	19	19	19
【34-5】 φ4.1×32丸木ネジ		7	7	7	7
【34-6】 S6フィッシャープラグ		7	7	7	7
【34-7】 φ4×30サラピアスネジ D=8.2		1	1	1	1
【34-8】 φ4×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2
【34-9】 φ4×25ナベピアスネジ D=8.2		1	1	1	1

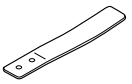
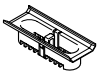
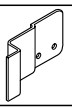
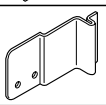
E219_200607B

■梱包明細表（つづき）

【35】樹の木Ⅲ用妻梁レールセット外収納用

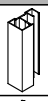
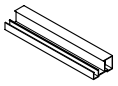
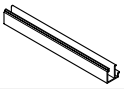
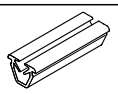
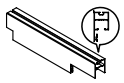
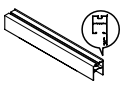
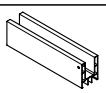
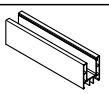
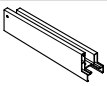
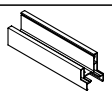
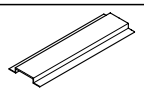
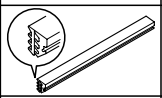
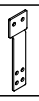
名称	略図	員数 右外収納 4尺	6尺	8尺	左外収納 4尺	6尺	8尺
上部方立		1	1	1	1	1	1
上部方立押え縁		1	1	1	1	1	1
前面上部フィックス枠 R		1	1	1	—	—	—
前面上部フィックス枠 L		—	—	—	1	1	1
前面上部フィックス枠押え縁 R		1	1	1	—	—	—
前面上部フィックス枠押え縁 L		—	—	—	1	1	1
フィックス枠 上下		2	2	2	2	2	2
フィックス枠 上下押え縁		2	2	2	2	2	2
グレチャン		1	1	1	1	1	1
妻梁 右外・左内		1	1	1	—	—	—
妻梁 左外・右内		—	—	—	1	1	1
外収納下レール 樹の木Ⅲ用 R		1	1	1	—	—	—
外収納下レール 樹の木Ⅲ用 L		—	—	—	1	1	1
上桟カバー		2	4	4	2	4	4
後付けビート材		1	1	1	1	1	1
垂木掛け・上部方立取付金具		1	1	1	1	1	1
妻梁取付金具		2	2	2	2	2	2

【35】樹の木Ⅲ用妻梁レールセット外収納用 （つづき）

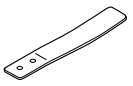
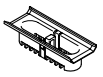
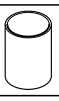
名称	略図	員数 右外収納 4尺	6尺	8尺	左外収納 4尺	6尺	8尺
下レール取付金具		2	2	2	2	2	2
フィックス上枠取付金具		2	2	2	2	2	2
戸当りストッパー		1	1	1	1	1	1
レール溝ゴミ受け		1	1	1	1	1	1
連結框カバーA		1	2	2	1	2	2
連結框カバーB		1	2	2	1	2	2
ロック框カバーA		1	2	2	1	2	2
ロック框カバーB		1	2	2	1	2	2
ストッパーガイドプレート		1	1	1	1	1	1
ストッパーガイドパイプ		1	1	1	1	1	1
【35-1】φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		10	10	10	10	10	10
【35-2】φ4.5×63 丸木ネジ		6	6	6	6	6	6
【35-3】φ4×16ナベ ピアスネジ D=8.2		4	4	4	4	4	4
【35-4】φ4×13ナベ ピアスネジ D=8.2		10	10	10	10	10	10
【35-5】φ4×25ナベ ピアスネジ D=8.2		2	5	5	2	5	5
【35-6】φ4×8特サラ タッピンネジ3種		7	13	13	7	13	13
【35-7】φ4×30サラ ピアスネジ D=8.2		1	1	1	1	1	1
【35-8】φ4.1×32 丸木ネジ		2	2	2	2	2	2

E219_200607B

【36】樹の木Ⅲ用妻梁レールセット内収納用

名称	略図	員数 右内収納 6尺	右内収納 8尺	左内収納 6尺	左内収納 8尺
上部方立		1	1	1	1
上部方立押え縁		1	1	1	1
前面上部フィックス枠 R		1	1	—	—
前面上部フィックス枠 L		—	—	1	1
前面上部フィックス枠押え縁 R		1	1	—	—
前面上部フィックス枠押え縁 L		—	—	1	1
フィックス枠 上下		2	2	2	2
フィックス枠 上下押え縁		2	2	2	2
グレチャン		1	1	1	1
妻梁 右外・左内		—	—	1	1
妻梁 左外・右内		1	1	—	—
内収納下レール 樹の木Ⅲ用 R		1	1	—	—
内収納下レール 樹の木Ⅲ用 L		—	—	1	1
内収納戸袋下レール 樹の木Ⅲ用 R		1	1	—	—
内収納戸袋下レール 樹の木Ⅲ用 L		—	—	1	1
内収納戸袋枠		2	2	2	2
内収納戸袋用内面デッキスペーサー		2	2	2	2
後付けビート材		1	1	1	1
垂木掛け・上部方立取付金具		1	1	1	1

【36】樹の木Ⅲ用妻梁レールセット内収納用（つづき）

名称	略図	員数 右内収納 6尺	右内収納 8尺	左内収納 6尺	左内収納 8尺
妻梁取付金具		2	2	2	2
下レール取付金具		2	2	2	2
レール側板連結金具		1	1	1	1
フィックス上枠取付金具		2	2	2	2
戸当りストッパー		1	1	1	1
内収納戸袋コーナーピースA		1	1	1	1
内収納戸袋コーナーピースB		1	1	1	1
内収納戸袋コーナーピースC		1	1	1	1
内収納戸袋枠取付部品		1	1	1	1
レール溝ゴミ受け		1	1	1	1
ストッパーガイドプレート		1	1	1	1
ストッパーガイドパイプ		1	1	1	1
調整根太部品		4	4	4	4
【36-1】φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		10	10	10	10
【36-2】φ4.5×63丸木ネジ		6	6	6	6
【36-3】φ4×16ナベビアスネジ D=8.2		4	4	4	4
【36-4】φ4×13ナベビアスネジ D=8.2		31	35	31	35
【36-5】φ4×25ナベビアスネジ D=8.2		6	6	6	6
【36-6】S6フィッシャープラグ		6	6	6	6
【36-7】φ4×8トラス タッピンネジ3種		2	2	2	2
【36-8】φ4×30サラビアスネジ D=8.2		1	1	1	1
【36-9】φ4.1×32丸木ネジ		2	2	2	2

E219_200607B

■梱包明細表（つづき）

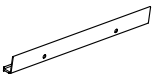
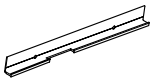
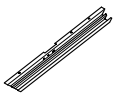
【37】妻梁上部フィックスパネルセット 右

名　称	略　図	員　数
妻梁上部フィックスパネル 右		1

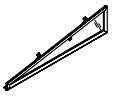
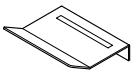
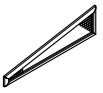
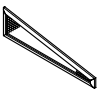
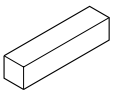
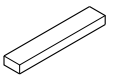
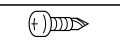
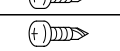
【38】妻梁上部フィックスパネルセット 左

名　称	略　図	員　数
妻梁上部フィックスパネル 左		1

【39】側面換気窓セット　オプション

名　称	略　図	員　数					
		右			左		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
取付枠 上 R		1	1	1	—	—	—
取付枠 上 L		—	—	—	1	1	1
取付枠 家側 R		1	1	1	—	—	—
取付枠 家側 L		—	—	—	1	1	1
取付枠 前側 R		1	1	1	—	—	—
取付枠 前側 L		—	—	—	1	1	1
上枠受け R		1	1	1	—	—	—
上枠受け L		—	—	—	1	1	1
縦枠受け 前側 R		1	1	1	—	—	—
縦枠受け 前側 L		—	—	—	1	1	1

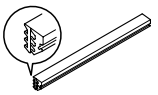
【39】側面換気窓セット（つづき）　オプション

名　称	略　図	員　数					
		右			左		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
縦枠受け 家側 R		1	1	1	—	—	—
縦枠受け 家側 L		—	—	—	1	1	1
側面換気窓 R		1	1	1	—	—	—
側面換気窓 L		—	—	—	1	1	1
ストライク		1	1	1	1	1	1
網戸R		1	1	1	—	—	—
網戸L		—	—	—	1	1	1
クッション材 10×10		1	1	1	1	1	1
クッション材 5×10		1	1	1	1	1	1
【39-1】 φ4×13ナベピアスネジ D=8.2		22	26	28	22	26	28
【39-2】 φ4×19ナベピアスネジ D=8.2		3	5	6	3	5	6

【40】側面パネル縦枠セット 外収納用

名　　称	略　　図	員　数	
		右	左
フィックス縦枠		2	2
フィックス枠押え縁		2	2
吊元枠 右外・左内 R		1	ー
吊元枠 左外・右内 L		ー	1
戸当り枠 錠仕様		1	1
戸当り枠受け 右外 R		1	ー

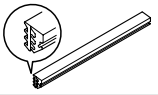
【40】側面パネル縦枠セット 外収納用（つづき）

名　　称	略　　図	員　数	
		右	左
戸当り枠受け 左外 L		ー	1
妻梁・吊元枠取付金具		1	1
後付けビート材		1	1
セッティングブロック 下面用		1	1
【40-1】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		2	2
【40-2】 φ4.5×63丸木ネジ		5	5
【40-3】 φ4×16ナベピアスネジ D=8.2		5	5
【40-4】 φ4×13ナベピアスネジ D=8.2		3	3

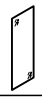
【41】側面パネル縦枠セット__内収納用

名　　称	略　　図	員　数	
		右	左
フィックス縦枠		2	2
フィックス枠押え縁		2	2
吊元枠 右外・左内 R		ー	1
吊元枠 左外・右内 L		1	ー
戸当り枠 錠仕様		1	1

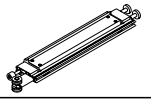
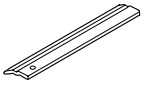
【41】側面パネル縦枠セット__内収納用（つづき）

名　　称	略　　図	員　数	
		右	左
戸当り枠受け 左外・右内		1	1
妻梁・吊元枠取付金具		1	1
後付けビート材		1	1
セッテイングブロック 下面用		1	1
【41-1】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		2	2
【41-2】 φ4.5×63丸木ネジ		5	5
【41-3】 φ4×16ナベピアスネジ D=8.2		5	5
【41-4】 φ4×13ナベピアスネジ D=8.2		3	3

【42】側面フィックスパネルセット

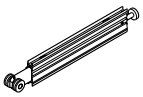
名　　称	略　　図	員　数
側面フィックスパネル		1

【43】戸当り・吊元框セット

名　　称	略　　図	員　数
戸当り框		1
吊元ストッパー		1
吊元框		1

■梱包明細表（つづき）

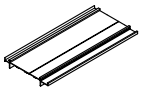
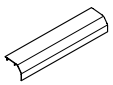
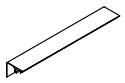
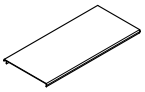
【44】連結框セット

名　　称	略　　図	員　　数
連結框		1

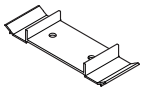
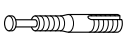
【45】ロックパネルセット

名　　称	略　　図	員　　数
パネルストッパー		2
ロックパネル		1
パネル下キャップ		2

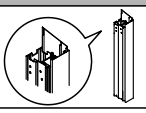
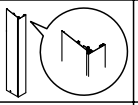
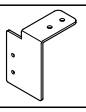
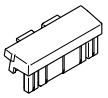
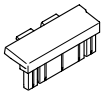
【46】腰壁用笠木セット

名　　称	略　　図	員　　数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
腰壁用ベース		1	1	1	1	1
腰壁外側笠木		1	1	1	1	1
腰壁内側笠木		1	1	1	1	1
パネル下枠カバー		2	2	2	2	2
丸樋		1	1	1	1	1
【46-1】φ4×13 ナベピアスネジ　D=8.2		18	22	26	32	34
【46-2】φ4×30 ナベタッピンネジ3種　D=7		6	6	6	6	6

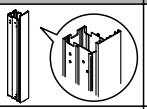
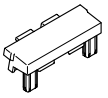
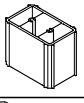
【47】腰壁用ベース受け材セット

名　　称	略　　図	員　　数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
腰壁用ベース受け		7	9	11	14	16
【47-1】M8×50 打ち込みアンカー		14	18	22	28	32
【47-2】M8用座付 ナット		14	18	22	28	32

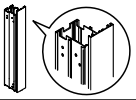
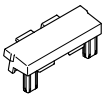
【48】端部柱セット__腰壁用

名　　称	略　　図	員 数
腰壁用端部柱 R		1
腰壁用端部柱 L		1
端部柱スリーブ		2
端部柱-桁組付金具 R		1
端部柱-桁組付金具 L		1
端部柱キャップ R		1
端部柱キャップ L		1
【48-1】φ4×75ナベタッピンネジ1種　D=7		4
【48-2】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		8
【48-3】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		4

【49】中間柱セット__腰壁用オープンテラス

名　　称	略　　図	員 数
腰壁テラス用中間柱		1
中間柱キャップ		1
中間柱-桁組付金具 R		1
中間柱-桁組付金具 L		1
中間柱スリーブ		1
【49-1】φ4×75ナベタッピンネジ1種　D=7		2
【49-2】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		6
【49-3】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		4

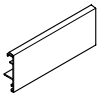
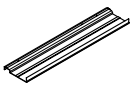
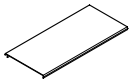
【50】中間柱セット__腰壁用

名　　称	略　図	員　数	
		1本入	3本入
腰壁用中間柱		1	3
中間柱キャップ		1	3
中間柱-桁組付金具 R		1	3

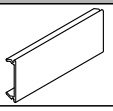
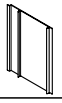
【50】中間柱セット__腰壁用（つづき）

名　　称	略　図	員　数	
		1本入	3本入
中間柱-桁組付金具 L		1	3
中間柱スリーブ		1	3
【50-1】φ4×75ナベタッピンネジ1種 D=7		2	6
【50-2】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		6	18
【50-3】φ4×13ナベピアスネジ D=8.2		4	12

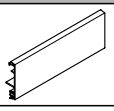
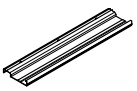
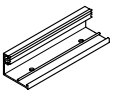
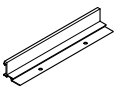
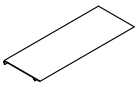
【51】前面テラス枠セット__腰壁用

名　　称	略　図	員　数
テラス用桁カバー枠		1
テラス用上枠		1
パネル下枠カバー		1

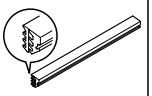
【51】前面テラス枠セット__腰壁用（つづき）

名　　称	略　図	員　数
パネル枠フタ		1
腰壁用テラス柱フタ		2
【51-1】φ4×13ナベピアスネジ D=8.2		6

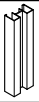
【52】前面フィックスパネル枠セット__腰壁用

名　　称	略　図	員　数
桁カバー枠		1
パネル上枠		1
パネル枠フタ		1
パネル下枠 1		1
パネル下枠 2腰壁用		1
腰壁笠木カバー		1

【52】前面フィックスパネル枠セット__腰壁用（つづき）

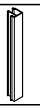
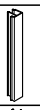
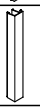
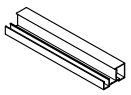
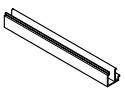
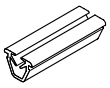
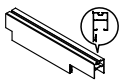
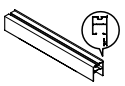
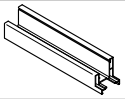
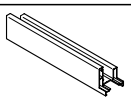
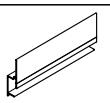
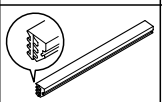
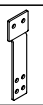
名　　称	略　図	員　数
柱フタ		2
後付けビート材		1
セッティングブロック 下面用		2
セッティングブロック 側面用		2
端部柱セッティングシート		3
【52-1】φ4×13ナベピアスネジ D=8.2		13

【53】腰壁用戸当り枠スペーサーセット

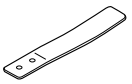
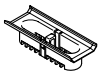
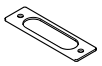
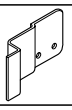
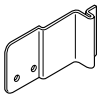
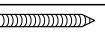
名　　称	略　図	員　数		
		H20	H22	H24
腰壁用戸当り枠スペーサー		1	1	1
【53-1】φ4×25ナベピアスネジ D=8.2		6	7	8

■梱包明細表（つづき）

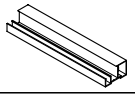
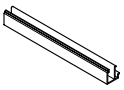
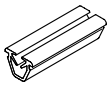
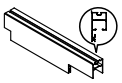
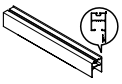
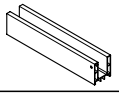
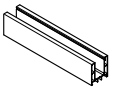
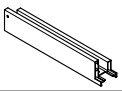
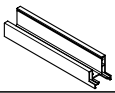
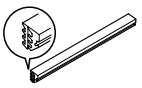
【54】妻梁レールセット外収納用__腰壁用

名称	略図	員数 右外収納 4尺	6尺	8尺	左外収納 4尺	6尺	8尺
上部方立		1	1	1	1	1	1
上部方立押え縁		1	1	1	1	1	1
前面上部フィックス枠 R		1	1	1	—	—	—
前面上部フィックス枠 L		—	—	—	1	1	1
前面上部フィックス枠押え縁 R		1	1	1	—	—	—
前面上部フィックス枠押え縁 L		—	—	—	1	1	1
腰壁用フィックス枠 上下		2	2	2	2	2	2
腰壁用フィックス枠 上下押え縁		2	2	2	2	2	2
グレチャン		1	1	1	1	1	1
腰壁用妻梁 右外・左内		1	1	1	—	—	—
腰壁用妻梁 左外・右内		—	—	—	1	1	1
外収納下レール R		1	1	1	—	—	—
外収納下レール L		—	—	—	1	1	1
上桟カバー		2	4	4	2	4	4
後付けビート材		1	1	1	1	1	1
垂木掛け・上部方立取付金具		1	1	1	1	1	1
妻梁取付金具		2	2	2	2	2	2

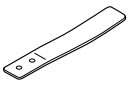
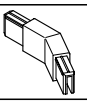
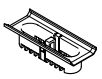
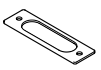
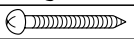
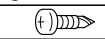
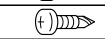
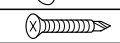
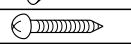
【54】妻梁レールセット外収納用__腰壁用（つづき）

名称	略図	員数 右外収納 4尺	6尺	8尺	左外収納 4尺	6尺	8尺
下レール取付金具		2	2	2	2	2	2
フィックス上枠取付金具		2	2	2	2	2	2
戸当りストッパー		1	1	1	1	1	1
レール溝ゴミ受け		1	1	1	1	1	1
アタッチメント用パッキン		1	1	1	1	1	1
水抜きアタッチメント		1	1	1	1	1	1
連結框カバー A		1	2	2	1	2	2
連結框カバー B		1	2	2	1	2	2
ロック框カバー A		1	2	2	1	2	2
ロック框カバー B		1	2	2	1	2	2
ストッパーガイドプレート		1	1	1	1	1	1
ストッパーガイドパイプ		1	1	1	1	1	1
【54-1】φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		12	12	12	12	12	12
【54-2】φ4.5×63丸木ネジ		6	6	6	6	6	6
【54-3】φ4×16ナベ ピアスネジ D=8.2		4	4	4	4	4	4
【54-4】φ4×13ナベ ピアスネジ D=8.2		10	10	10	10	10	10
【54-5】φ4.1×32 丸木ネジ		4	7	7	4	7	7
【54-6】S6フィッシャープラグ		4	7	7	4	7	7
【54-7】φ4×8特サラ タッピンネジ3種		7	13	13	7	13	13
【54-8】φ4×30サラ ピアスネジ D=8.2		1	1	1	1	1	1

【55】妻梁レールセット内収納用__腰壁用

名称	略図	員数 右内収納 6尺	右内収納 8尺	左内収納 6尺	左内収納 8尺
上部方立		1	1	1	1
上部方立押え縁		1	1	1	1
前面上部フィックス枠 R		1	1	—	—
前面上部フィックス枠 L		—	—	1	1
前面上部フィックス枠押え縁 R		1	1	—	—
前面上部フィックス枠押え縁 L		—	—	1	1
腰壁用フィックス枠 上下		2	2	2	2
腰壁用フィックス枠 上下押え縁		2	2	2	2
グレチャン		1	1	1	1
腰壁用妻梁 右外・左内		—	—	1	1
腰壁用妻梁 左外・右内		1	1	—	—
内収納下レール R		1	1	—	—
内収納下レール L		—	—	1	1
内収納戸袋下レール R		1	1	—	—
内収納戸袋下レール L		—	—	1	1
内収納戸袋枠		2	2	2	2
後付けビート材		1	1	1	1
垂木掛け・上部方立取付金具		1	1	1	1

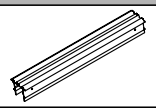
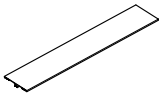
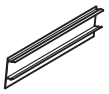
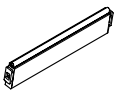
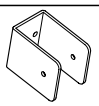
【55】妻梁レールセット内収納用__腰壁用（つづき）

名称	略図	員数 右内収納 6尺	右内収納 8尺	左内収納 6尺	左内収納 8尺
妻梁取付金具		2	2	2	2
下レール取付金具		2	2	2	2
レール側板連結金具		1	1	1	1
フィックス上枠取付金具		2	2	2	2
戸当りストッパー		1	1	1	1
内収納戸袋コーナーピースA		1	1	1	1
内収納戸袋コーナーピースB		1	1	1	1
内収納戸袋コーナーピースC		1	1	1	1
内収納戸袋枠取付部品		1	1	1	1
レール溝ゴミ受け		1	1	1	1
アタッチメント用パッキン		1	1	1	1
水抜きアタッチメント		1	1	1	1
ストッパーガイドプレート		1	1	1	1
ストッパーガイドパイプ		1	1	1	1
【55-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		12	12	12	12
【55-2】φ4.5×63丸木ネジ		6	6	6	6
【55-3】φ4×16ナベピアスネジ D=8.2		4	4	4	4
【55-4】φ4×13ナベピアスネジ D=8.2		19	19	19	19
【55-5】φ4×25ナベピアスネジ D=8.2		1	1	1	1
【55-6】S6フィッシャープラグ		7	7	7	7
【55-7】φ4×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2
【55-8】φ4×30サラピアスネジ D=8.2		1	1	1	1
【55-9】φ4.1×32丸木ネジ		7	7	7	7

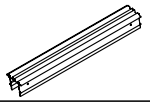
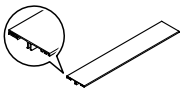
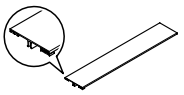
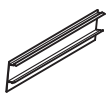
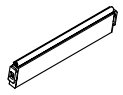
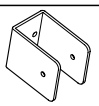
E219_200607B

■梱包明細表（つづき）

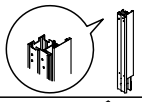
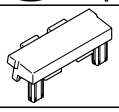
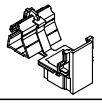
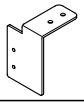
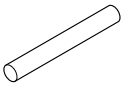
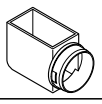
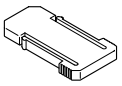
【56】積雪用垂木セット

名　　称	略　図	員　数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	3	3	3
垂木フタ		6	6	10	18	18	30
中骨		2	2	4	6	6	12
垂木組付金具		2	2	2	6	6	6
【56-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		8	8	8	24	24	24
【56-2】φ4×12トラスタッピンネジ2種（PW+ゴムパッキン）		8	11	14	24	33	42
【56-3】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		5	7	9	15	21	27

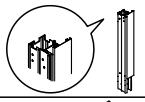
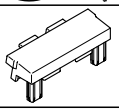
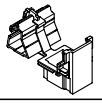
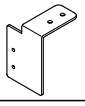
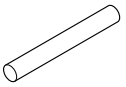
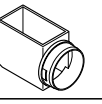
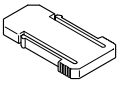
【57】積雪用妻垂木セット

名　　称	略　図	員　数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木		2	2	2
妻垂木カバー R		1	1	1
妻垂木カバー L		1	1	1
垂木フタ		6	6	10
中骨		2	2	4
垂木組付金具		4	4	4
雪下ろし指示シール		1	1	1
【57-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		16	16	16
【57-2】φ4×12トラスタッピンネジ2種（PW+ゴムパッキン）		15	22	28
【57-3】φ4×13ナベピアスネジ　D=8.2		5	7	9

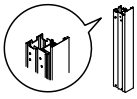
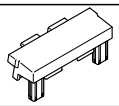
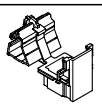
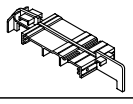
【58】連棟柱セット__オープンテラス用

名　　称	略　　図	員数
テラス用連棟柱		1
中間柱キャップ		1
連棟用桁キャップ		1
連棟用垂木掛け部品		1
端部柱-桁組付金具 R		1
端部柱-桁組付金具 L		1
アンカー棒		1
雨樋受けエッジカバー		1
雨樋受け部品B		1
雨樋受け部品C		1
【58-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		12

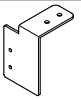
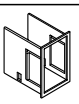
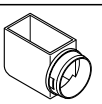
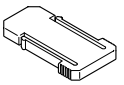
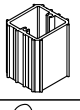
【59】連棟柱セット

名　　称	略　　図	員数
連棟柱		1
中間柱キャップ		1
連棟用桁キャップ		1
連棟用垂木掛け部品		1
端部柱-桁組付金具 R		1
端部柱-桁組付金具 L		1
アンカー棒		1
雨樋受けエッジカバー		1
雨樋受け部品B		1
雨樋受け部品C		1
【59-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		8

【60】連棟柱セット__腰壁用オープンテラス用

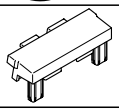
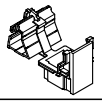
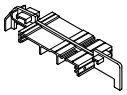
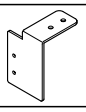
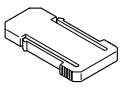
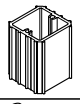
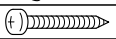
名　　称	略　　図	員数
腰壁テラス用連棟柱		1
中間柱キャップ		1
連棟用桁キャップ		1
連棟用垂木掛け部品		1
腰壁笠木連結キャップ		1
端部柱-桁組付金具 R		1

【60】連棟柱セット__腰壁用オープンテラス用（つづき）

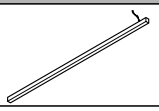
名　　称	略　　図	員数
端部柱-桁組付金具 L		1
雨樋受けエッジカバー		1
雨樋受け部品B		1
雨樋受け部品C		1
端部柱スリーブ		1
【60-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		12
【60-2】φ4×10トラスタッピンネジ3種　D=8		4
【60-3】φ4×75ナベタッピンネジ1種　D=7		2

■梱包明細表（つづき）

【61】連棟柱セット＿腰壁用

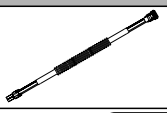
名　　称	略　　図	員数
腰壁用連棟柱		1
中間柱キャップ		1
連棟用桁キャップ		1
連棟用垂木掛け部品		1
腰壁笠木連結キャップ		1
端部柱-桁組付金具 R		1
端部柱-桁組付金具 L		1
雨樋受けエッジカバー		1
雨樋受け部品B		1
雨樋受け部品C		1
端部柱スリーブ		1
【61-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種　D=8		12
【61-2】φ4×75ナベタッピンネジ1種　D=7		2
【61-3】φ4×10トラスタッピンネジ3種　D=8		4

【62】LED照明ユニット　オプション

名　　称	略　　図	員数
LED照明ユニット本体		1
取付け金具		2
【62-1】φ4×13 ナベピアスネジ		2
【62-2】φ4×50トラス タッピンネジ1種		2
【62-3】φ4×50トラス タッピンネジ1種		2
取付説明書〈Z217〉※1	−	1
取扱説明書〈UC015〉	−	1

※1の取付説明書は使用しません。

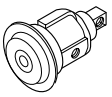
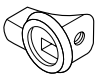
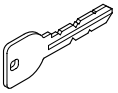
【63】電源ケーブル　オプション

名　　称	略　　図	員数
電源ケーブル		1

【64】トランス電源ユニット　オプション

名　　称	略　　図	員　数	
		35W	60W
本体		1	1
木ネジ		2	2
コンクリート用プラグ		2	2
保証書	−	1	1
取扱説明書<UZ051>	−	1	1

【65】錠セット

名　　称	略　　図	員　数	
		1個入	2個入
シリンダーユニット		1	2
サムターン座		1	2
サムターンツマミ		1	2
小鍵		1	2
【65-1】M3×10サラ小ネジ		2	4
【65-2】M3×10ナベ小ネジ		1	2
【65-3】M4×16サラ小ネジ		1	2

INDEX

1　基本寸法と各部名称…… 35
　1．基本寸法…… 35
　2．各部名称…… 52
　3．断面納まり図…… 56
2　柱の位置出し…… 66
　1．基本仕様…… 66
　2．連棟仕様…… 67
3　本体の施工…… 68
　1．水盛遣方・水糸張り…… 68
　2．基本仕様の配線工事 オプション …… 69
　3．腰壁仕様の配線工事 オプション …… 70
　4．垂木掛けの取付け…… 71
　5．連棟の場合の垂木掛けの取付け…… 73
　6．基本仕様　柱の建込み ベースの取付け…… 74
　7．腰壁仕様　柱の建込み ベースの取付け…… 86
　8．桁の組立て…… 93
　9．桁の取付け…… 94
　10．桁カバー枠の取付け…… 96
　11．妻垂木・垂木の取付け…… 97
　12．中骨の取付け…… 98
　13．屋根材の取付け…… 99
　14．垂木カバーの取付け…… 100
　15．垂木化粧材の取付け…… 102
　16．ロールスクリーン本体の取付け オプション …… 108
　17．垂木フタの取付け…… 109
　18．内部日除けの取付け オプション …… 110
　19．垂木掛けキャップの取付け…… 111
　20．垂木掛けカバーの取付け…… 112
　21．テラス用上枠の取付け…… 113
　22．パネル下枠カバーの取付け…… 114
　23．柱フタの取付け…… 114
　24．腰壁笠木キャップの取付け…… 115
　25．雨樋受け部品の取付け…… 116
4　前面パネルの取付け…… 117
　1．パネル下枠1の取付け…… 117
　2．中桟の取付け…… 118
　3．パネル下枠1の取付け…… 118
　4．前面パネルの取付け…… 119
　5．パネル上枠の取付け…… 121
　6．パネル下枠　2、ベース化粧材　内の取付け…… 122
　7．中桟カバーの取付け…… 122
　8．パネル下枠 2腰壁用、腰壁笠木カバーの取付け…… 123
　9．後付けビートの取付け…… 124
　10．前面上げ下げ窓の取付け オプション …… 125
　11．柱フタの取付け…… 127
　12．ロープ引掛けフックの取付け オプション …… 128

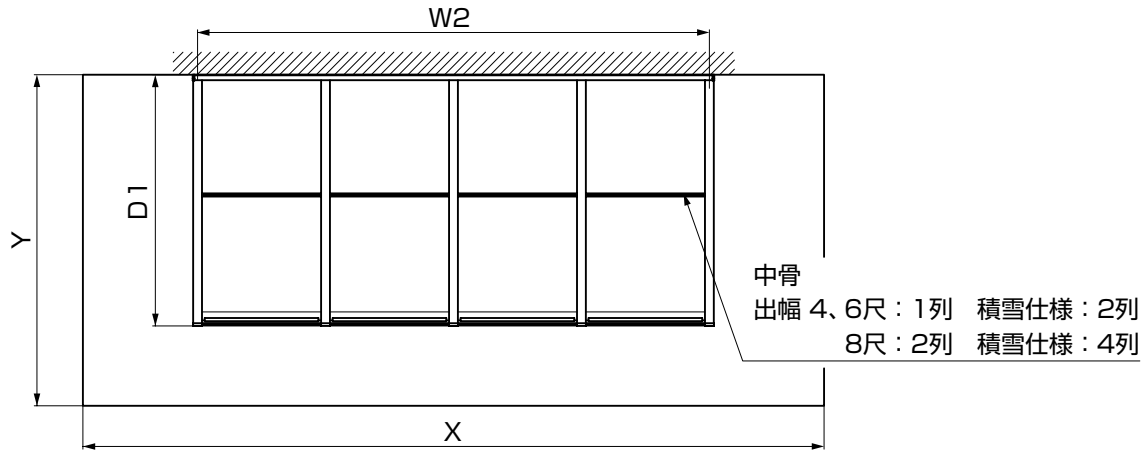
5　妻梁上部フィックスパネル・側面換気窓の取付け…… 129
1．上部方立の取付け…… 129
2．妻梁上部フィックス枠の取付け…… 131
3．妻梁の取付け…… 132
4．妻梁上部フィックスパネルの取付け…… 133
5．側面換気窓の取付け オプション …… 135
6　側面折戸パネルの取付け…… 139
1．戸当り枠受けの取付け…… 139
2．腰壁戸当り枠スペーサーの取付け…… 140
3．腰壁笠木の取付け…… 141
4．連棟の場合の腰壁笠木の取付け…… 142
5．コンクリートブロックの表面仕上げ…… 143
6．丸樋の取付け…… 143
7．下レールの取付け…… 144
8．戸当り枠の取付け…… 147
9．戸当り框、連結框、吊元框の吊込み…… 148
10．吊元枠の取付け…… 149
11．錠の取付け…… 151
12．パネルの吊込み…… 152
13．パネルストッパーおよびパネル下キャップの取付け…… 153
14．吊元ストッパーの取付け…… 153
15．戸当りストッパーおよびストッパーガイドの取付け…… 154
16．上桟カバーおよび框カバーの取付け…… 155
7　側面フィックスパネルの取付け…… 156
1．フィックス枠の取付け…… 156
2．側面フィックスパネルの取付け…… 157
8　カーテンレールの取付け オプション …… 158

1　基本寸法と各部名称

1. 基本寸法

1-1 基本仕様

（1）オープンテラスタイプ



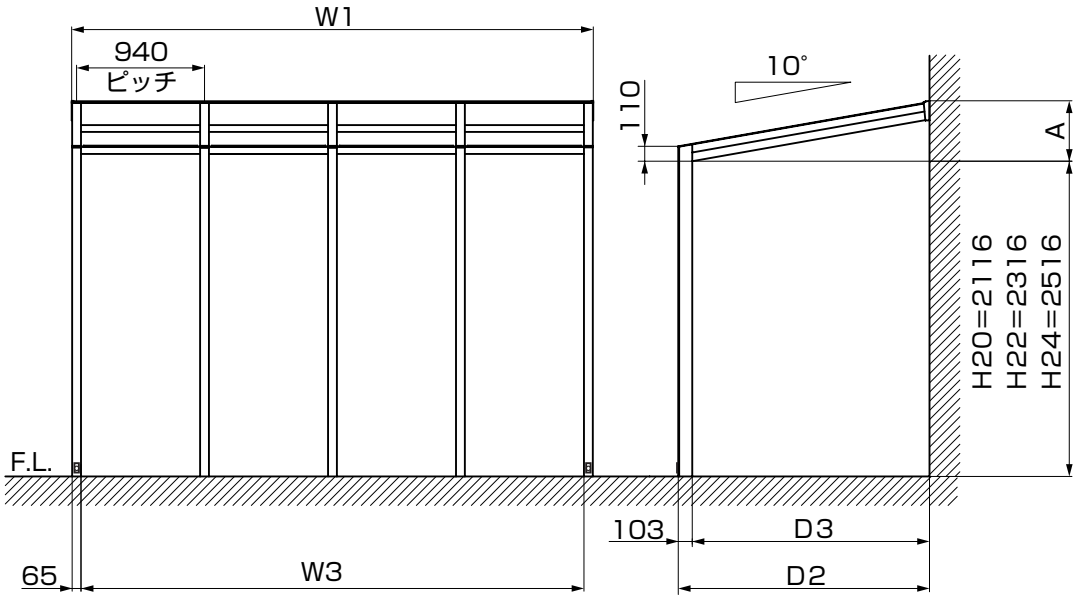


表1-1　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 柱間隔数	屋根材 枚数	X　対応デッキ間口 ウェスタン・レッドシダー	 イペセレクト	 樹の木Ⅲ
1.0間	1952	1880	1815	2		3733	3711	3620
1.5間	2892	2820	2755	3		4579	4557	4520
2.0間	3832	3760	3695	4		5425	5403	5420
2.5間	4772	4700	4635	5		6412	6390	6320
3.0間	5712	5640	5575	6		7258	7236	7220

表1-2　出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	A	Y　対応デッキ出幅 ウェスタン・レッドシダー	 イペセレクト	 樹の木Ⅲ
4尺	1246	1143	337	1836	1825	1812.5	
6尺	1846	1743	444	2736	2725	2412.5	
8尺	2446	2343	548	2936	2925	2912.5	

※樹の木Ⅲ対応デッキ寸法は、幕板Bを使用してください。幕板A使用時は、上記値の間口＋40mm／出幅＋20mmです。

1.（つづき）

(2) サイドスルータイプ

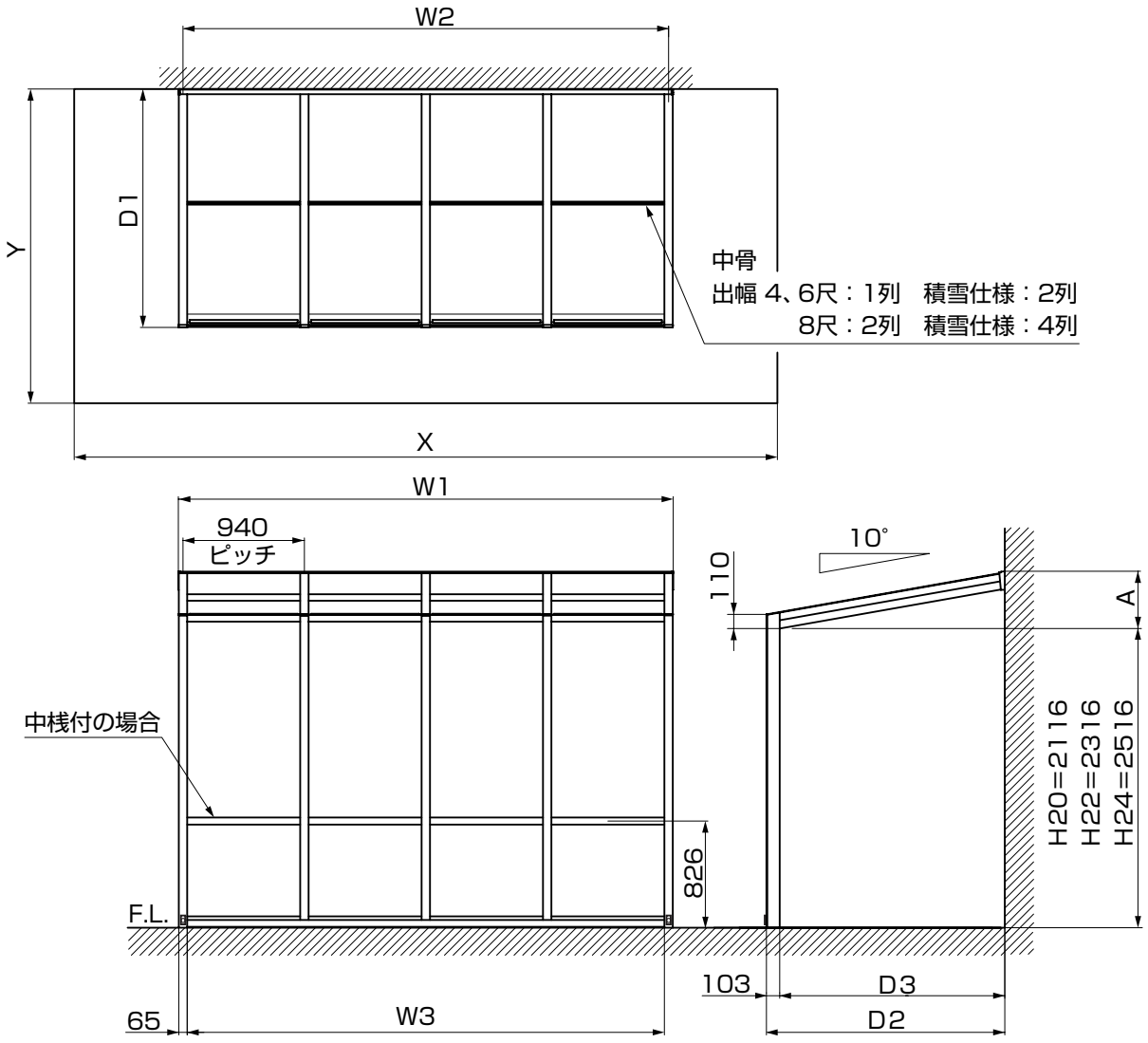


表1-3　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 パネル数	屋根材 枚数	X　対応デッキ間口 ｳｪｽﾀﾝ･ﾚｯﾄﾞｼﾀﾞｰ	イペセレクト	樹の木Ⅲ
1.0間	1952	1880	1815	2		3733	3711	3620
1.5間	2892	2820	2755	3		4579	4557	4520
2.0間	3832	3760	3695	4		5425	5403	5420
2.5間	4772	4700	4635	5		6412	6390	6320
3.0間	5712	5640	5575	6		7258	7236	7220

表1-4　出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	A	Y　対応デッキ出幅 ｳｪｽﾀﾝ･ﾚｯﾄﾞｼﾀﾞｰ	イペセレクト	樹の木Ⅲ
4尺	1246		1143	337	1836	1825	1812.5
6尺	1846		1743	444	2736	2725	2412.5
8尺	2446		2343	548	2936	2925	2912.5

※樹の木Ⅲ対応デッキ寸法は、幕板Bを使用してください。幕板A使用時は、上記値の間口＋40mm／出幅＋20mmです。

(3) ガーデンルームタイプ　※(　)内寸法は樹の木Ⅲの場合を示します。

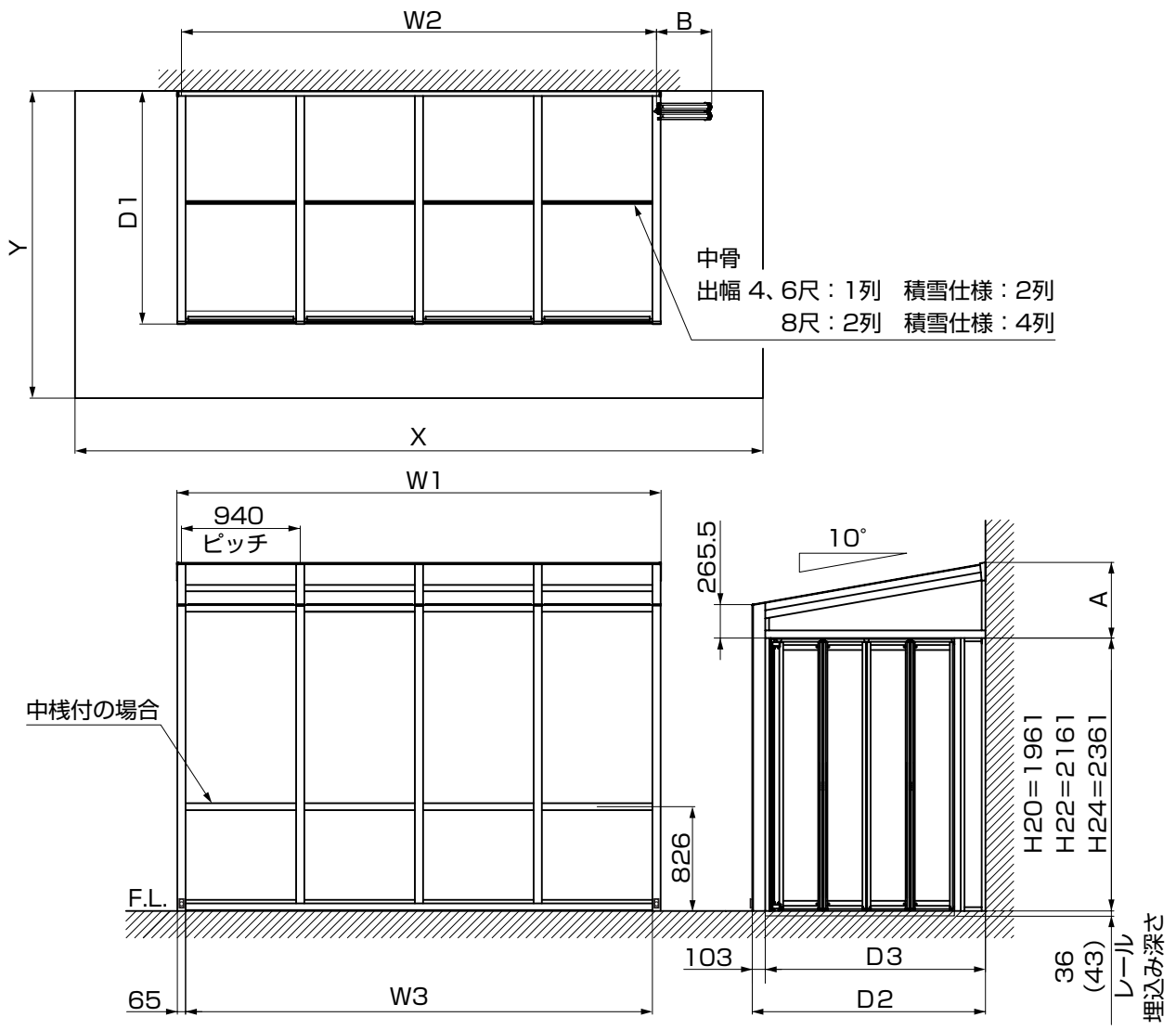


表1-5　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 パネル数	屋根材 枚数	X　対応デッキ間口 ｳｪｽﾀﾝ･ﾚｯﾄﾞｼﾀﾞｰ	イペセレクト	樹の木Ⅲ
1.0間	1952	1880	1815	2		3733	3711	3620
1.5間	2892	2820	2755	3		4579	4557	4520
2.0間	3832	3760	3695	4		5425	5403	5420
2.5間	4772	4700	4635	5		6412	6390	6320
3.0間	5712	5640	5575	6		7258	7236	7220

表1-6　出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	側面部 有効開口	側面部 ﾊﾟﾈﾙ数(片側)	A	B 折り戸ﾊﾟﾈﾙ出幅	Y　対応デッキ出幅 ｳｪｽﾀﾝ･ﾚｯﾄﾞｼﾀﾞｰ	イペセレクト	樹の木Ⅲ
4尺	1246		1143	698	2	492	379.5	1836	1825	1812.5
6尺	1846		1743	1263	4	599	344.0	2736	2725	2412.5
8尺	2446		2343	1597	4	703	427.5	2936	2925	2912.5

※樹の木Ⅲ対応デッキ寸法は、幕板Bを使用してください。幕板A使用時は、上記値の間口＋40mm／出幅＋20mmです。

1.（つづき）

1-2 基本連棟仕様

（1）オープンテラスタイプ

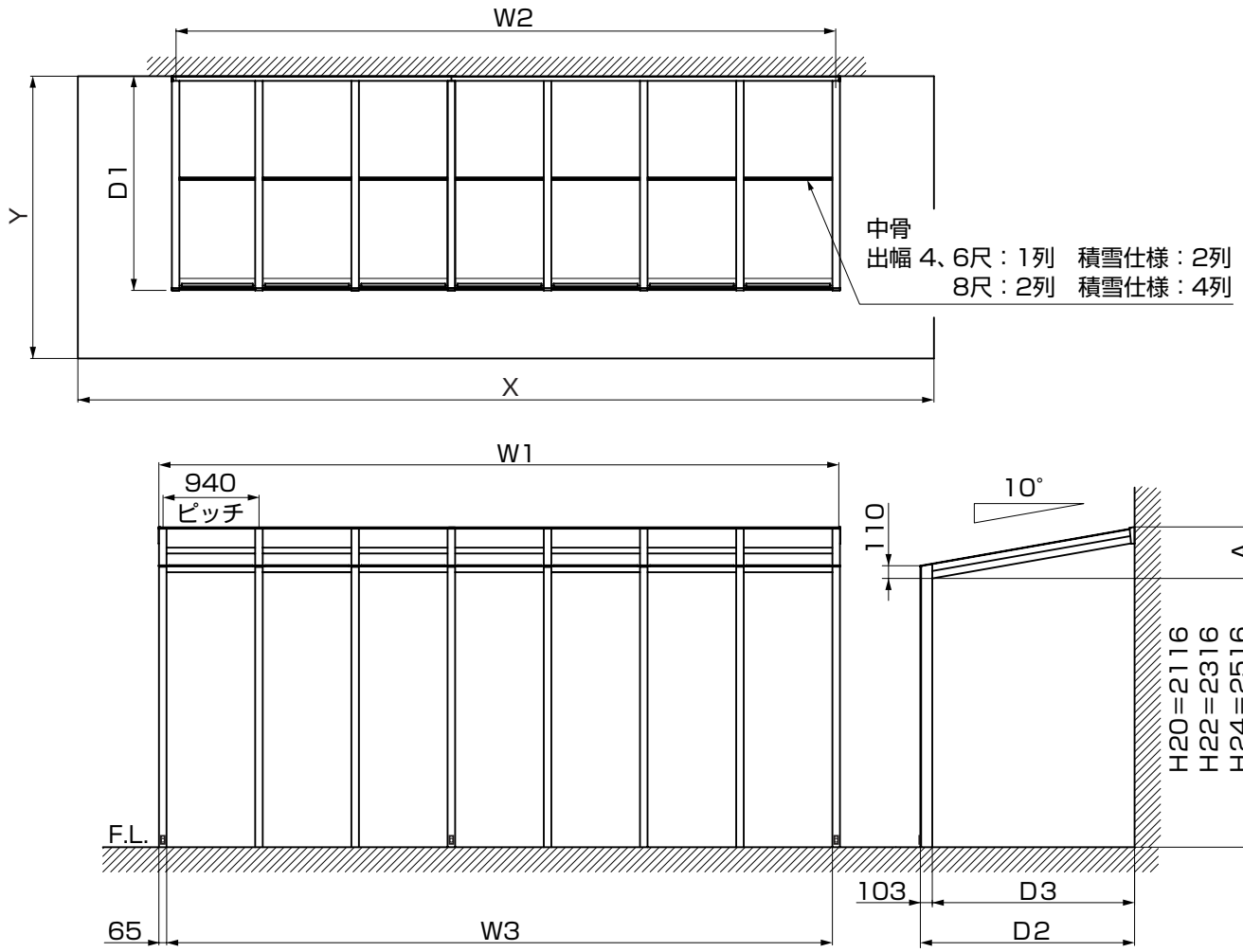


表1-7　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 柱間隔数	屋根材 枚数	X　対応デッキ間口 ｳｪｽﾀﾝ･ﾚｯﾄﾞｼﾀﾞｰ	イペセレクト	樹の木Ⅲ
2.0間＋1.5間＝3.5間	6652	6580	6515	7		8104	8093	8120
2.5間＋1.5間＝4.0間	7592	7520	7455	8		9091	9080	9020
3.0間＋1.5間＝4.5間	8532	8460	8395	9		9937	9926	9920
2.5間＋2.5間＝5.0間	9472	9400	9335	10		10783	10772	10820
3.0間＋2.5間＝5.5間	10412	10340	10275	11		11770	11759	11720
3.0間＋3.0間＝6.0間	11352	11280	11215	12		12616	12605	12620

表1-8　出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	A	Y　対応デッキ出幅 ｳｪｽﾀﾝ･ﾚｯﾄﾞｼﾀﾞｰ	イペセレクト	樹の木Ⅲ
4尺	1246	1143	337	1836	1825	1812.5	
6尺	1846	1743	444	2736	2725	2412.5	
8尺	2446	2343	548	2936	2925	2912.5	

※樹の木Ⅲ対応デッキ寸法は、幕板Bを使用してください。幕板A使用時は、上記値の間口＋40mm／出幅＋20mmです。

(2) サイドスルータイプ

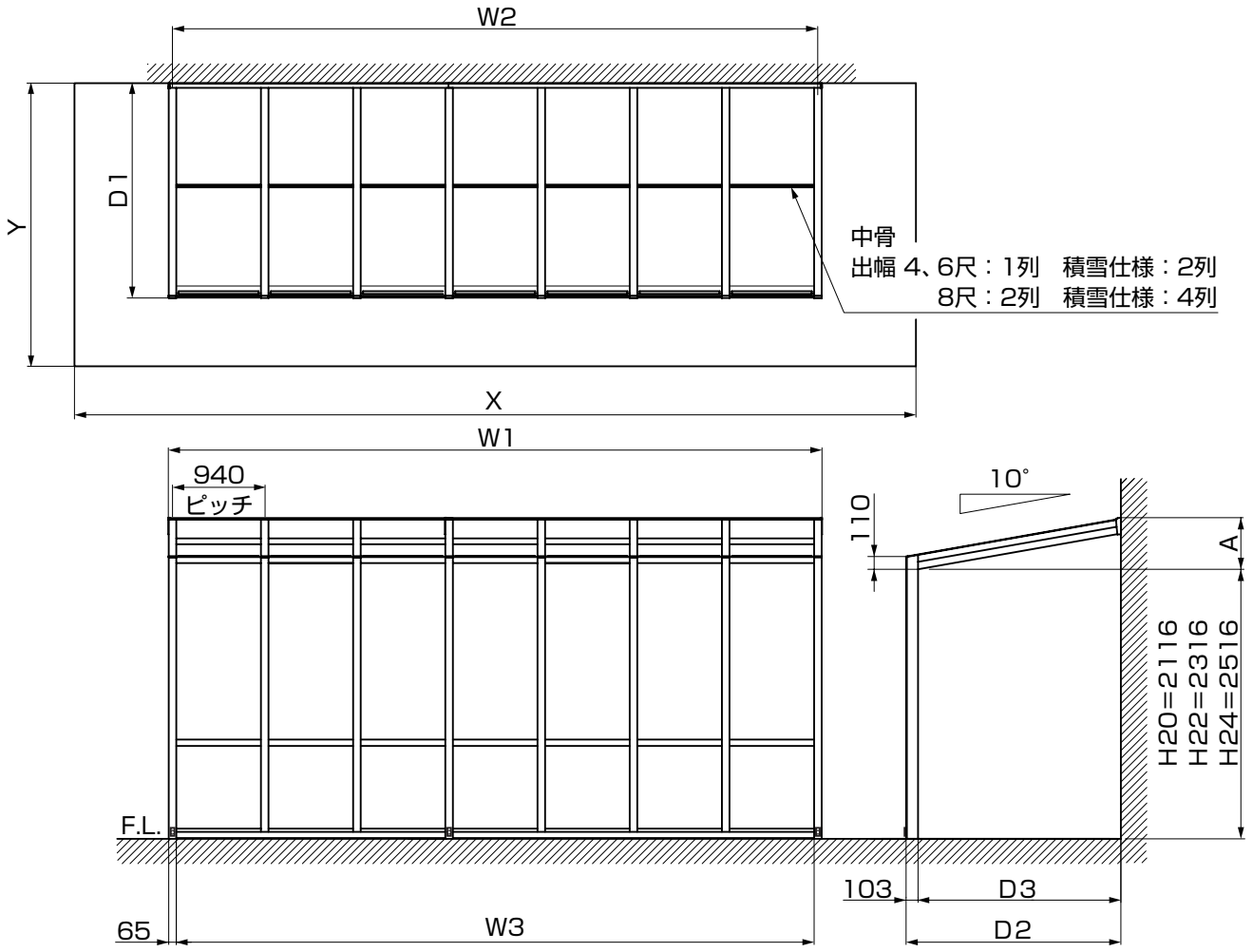


表1-9　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 パネル数	屋根材 枚数	X　対応デッキ間口 ｳｪｽﾀﾝ･ﾚｯﾄﾞｼﾀﾞｰ	イペセレクト	樹の木Ⅲ
2.0間+1.5間=3.5間	6652	6580	6515	7		8104	8093	8120
2.5間+1.5間=4.0間	7592	7520	7455	8		9091	9080	9020
3.0間+1.5間=4.5間	8532	8460	8395	9		9937	9926	9920
2.5間+2.5間=5.0間	9472	9400	9335	10		10783	10772	10820
3.0間+2.5間=5.5間	10412	10340	10275	11		11770	11759	11720
3.0間+3.0間=6.0間	11352	11280	11215	12		12616	12605	12620

表1-10　出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	A	Y　対応デッキ出幅 ｳｪｽﾀﾝ･ﾚｯﾄﾞｼﾀﾞｰ	イペセレクト	樹の木Ⅲ
4尺	1246		1143	337	1836	1825	1812.5
6尺	1846		1743	444	2736	2725	2412.5
8尺	2446		2343	548	2936	2925	2912.5

※樹の木Ⅲ対応デッキ寸法は、幕板Bを使用してください。幕板A使用時は、上記値の間口+40mm／出幅+20mmです。

1.（つづき）

（3）ガーデンルームタイプ　※(　) 内寸法は樹の木Ⅲの場合を示します。

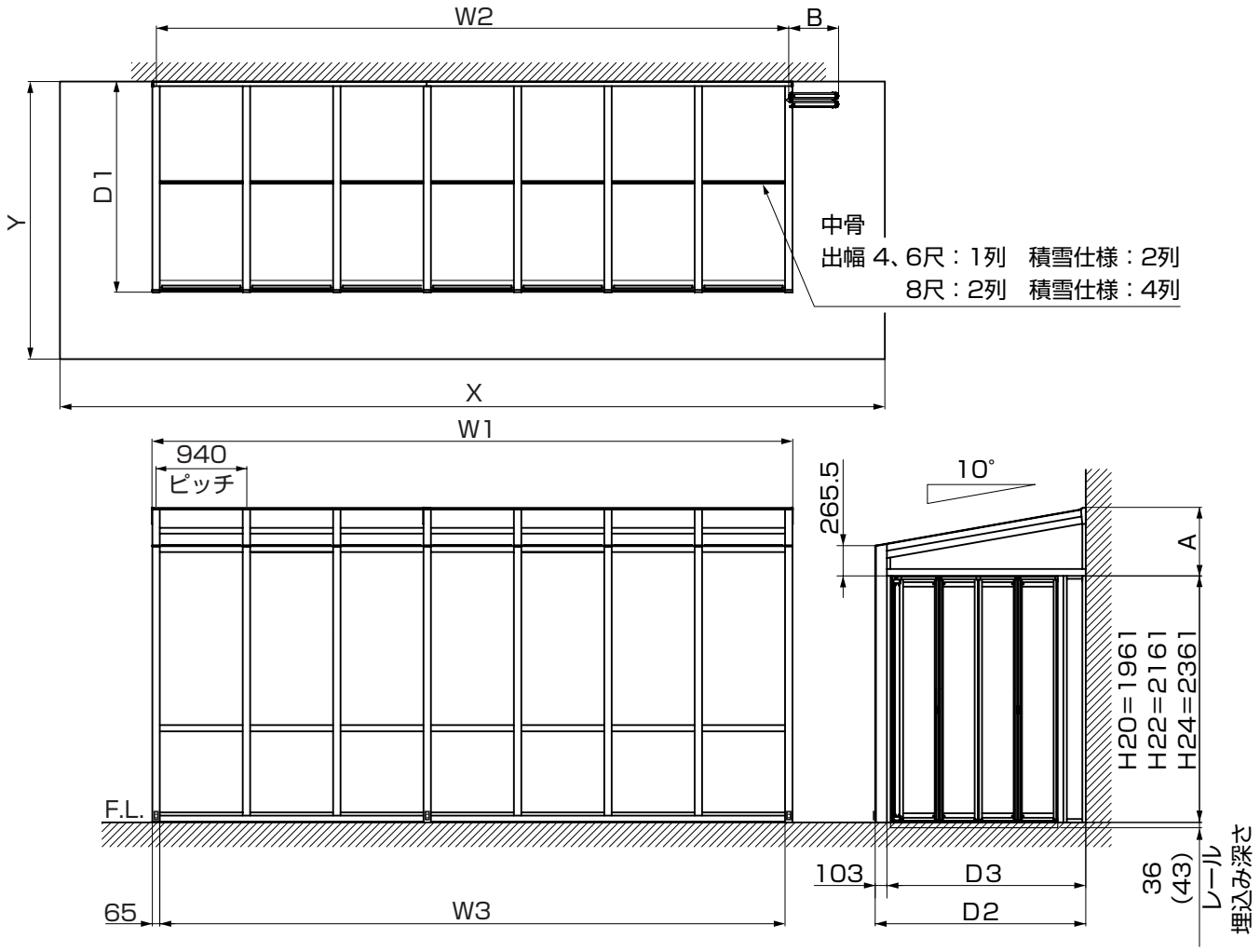


表1-11　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 パネル数	屋根材 枚数	X　対応デッキ間口 ウェスタン・レッドシダー	イペセレクト	樹の木Ⅲ
2.0間＋1.5間＝3.5間	6652	6580	6515	7		8104	8093	8120
2.5間＋1.5間＝4.0間	7592	7520	7455	8		9091	9080	9020
3.0間＋1.5間＝4.5間	8532	8460	8395	9		9937	9926	9920
2.5間＋2.5間＝5.0間	9472	9400	9335	10		10783	10772	10820
3.0間＋2.5間＝5.5間	10412	10340	10275	11		11770	11759	11720
3.0間＋3.0間＝6.0間	11352	11280	11215	12		12616	12605	12620

表1-12　出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	側面部 有効開口	側面部 パネル数(片側)	A	B 折り戸パネル出幅	Y　対応デッキ出幅 ウェスタン・レッドシダー	イペセレクト	樹の木Ⅲ
4尺	1246		1143	698	2	492	379.5	1836	1825	1812.5
6尺	1846		1743	1263	4	599	344.0	2736	2725	2412.5
8尺	2446		2343	1597	4	703	427.5	2936	2925	2912.5

※樹の木Ⅲ対応デッキ寸法は、幕板Bを使用してください。幕板A使用時は、上記値の間口＋40mm／出幅＋20mmです。

1-3 腰壁仕様

（1）オープンテラス腰壁タイプ

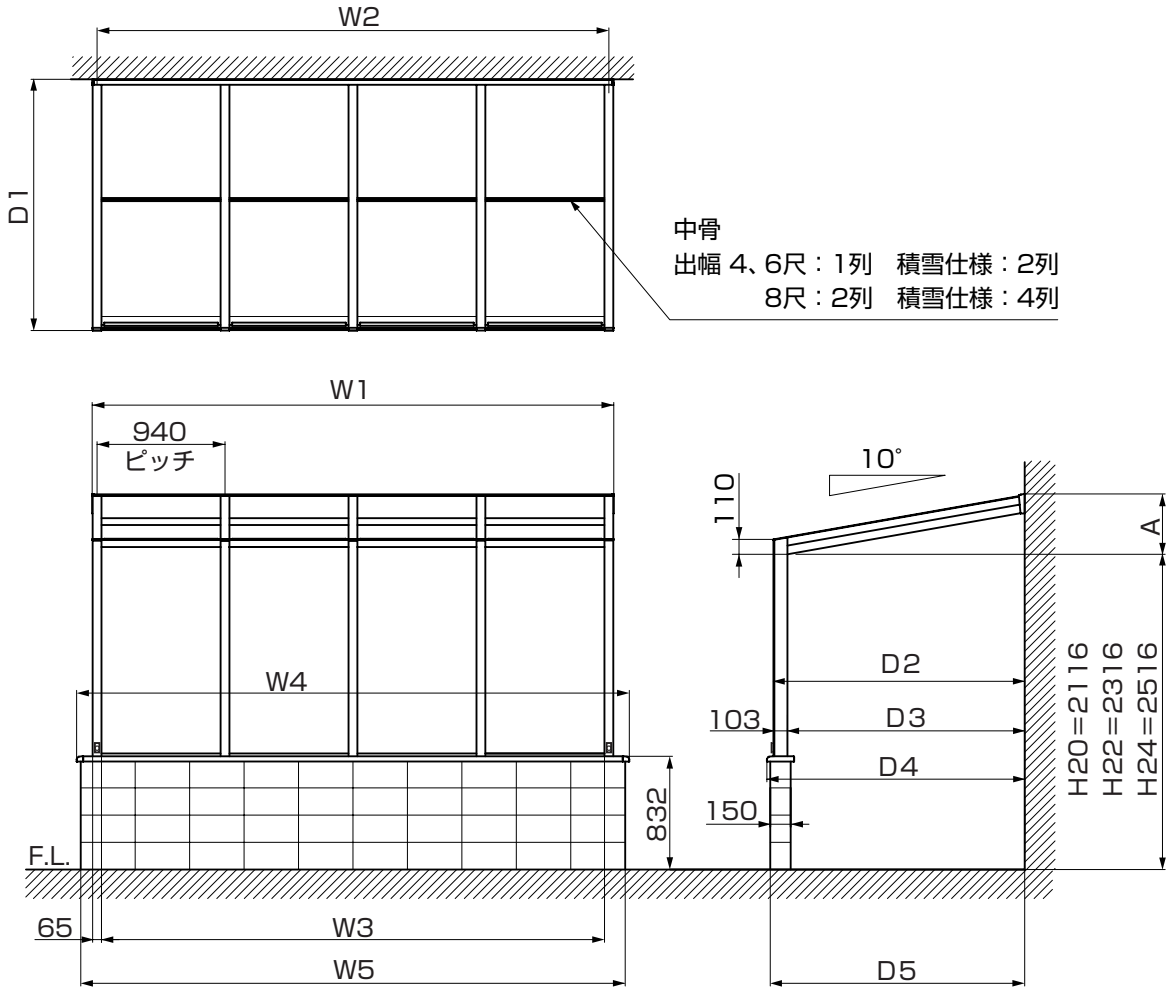


表1-13　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁笠木外寸	W5 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	正面部 柱間隔数	屋根材 枚数
1.0間	1952	1880	1815	2460	2400	2	
1.5間	2892	2820	2755	3260	3200	3	
2.0間	3832	3760	3695	4060	4000	4	
2.5間	4772	4700	4635	5260	5200	5	
3.0間	5712	5640	5575	6060	6000	6	

表1-14　出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	D4 躯体～腰壁 笠木外寸	D5 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	A
4尺	1246		1143	1294	1269	337
6尺	1846		1743	1894	1869	444
8尺	2446		2343	2494	2469	548

1.（つづき）

（2）サイドスルー腰壁タイプ

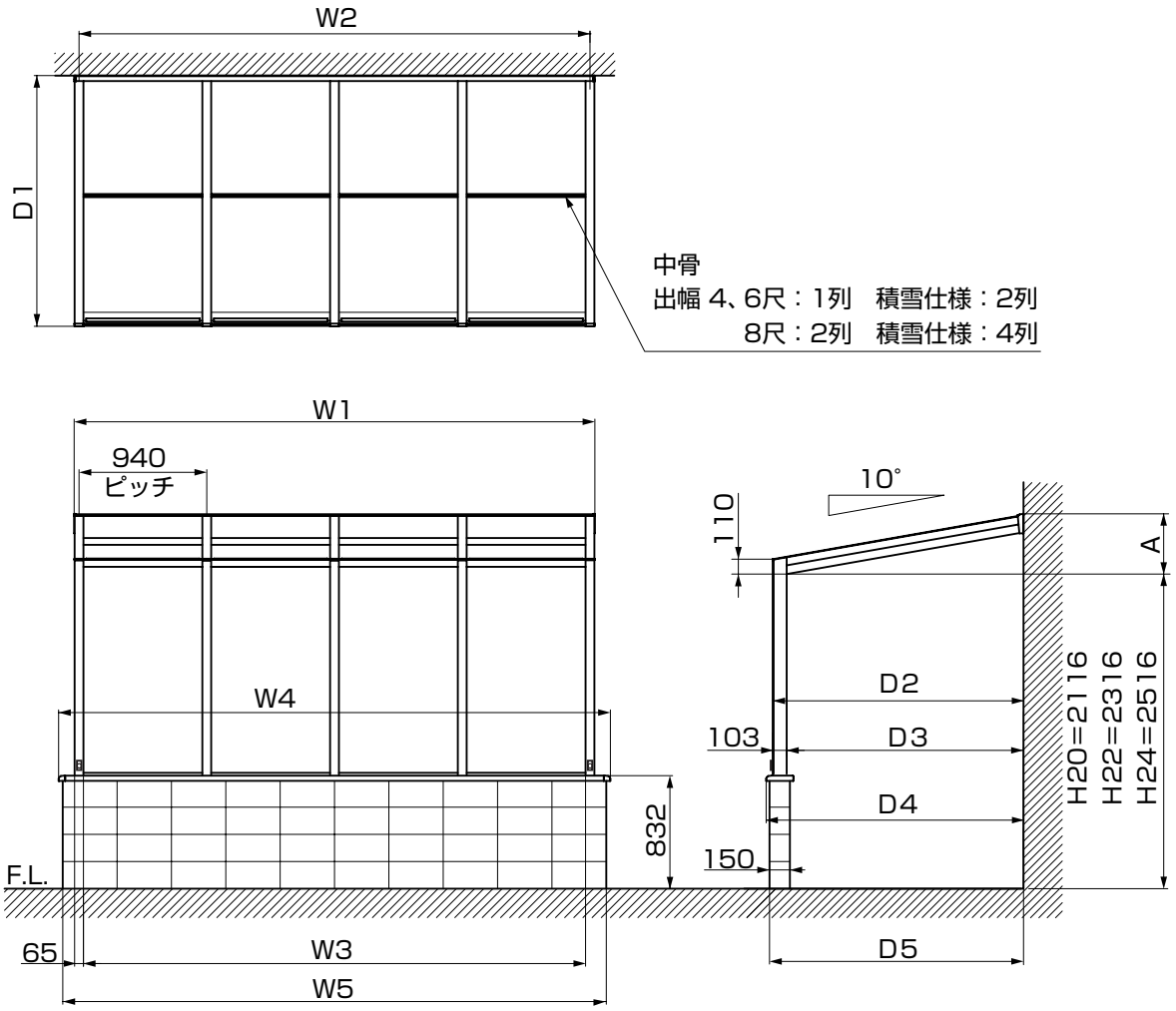


表1-15　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁笠木外寸	W5 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	正面部 パネル数	屋根材 枚数
1.0間	1952	1880	1815	2460	2400	2	
1.5間	2892	2820	2755	3260	3200	3	
2.0間	3832	3760	3695	4060	4000	4	
2.5間	4772	4700	4635	5260	5200	5	
3.0間	5712	5640	5575	6060	6000	6	

表1-16　出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	D4 躯体～腰壁 笠木外寸	D5 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	A
4尺	1246		1143	1294	1269	337
6尺	1846		1743	1894	1869	444
8尺	2446		2343	2494	2469	548

(3) ガーデンルーム腰壁タイプ　※(　) 内寸法は樹の木Ⅲの場合を示します。

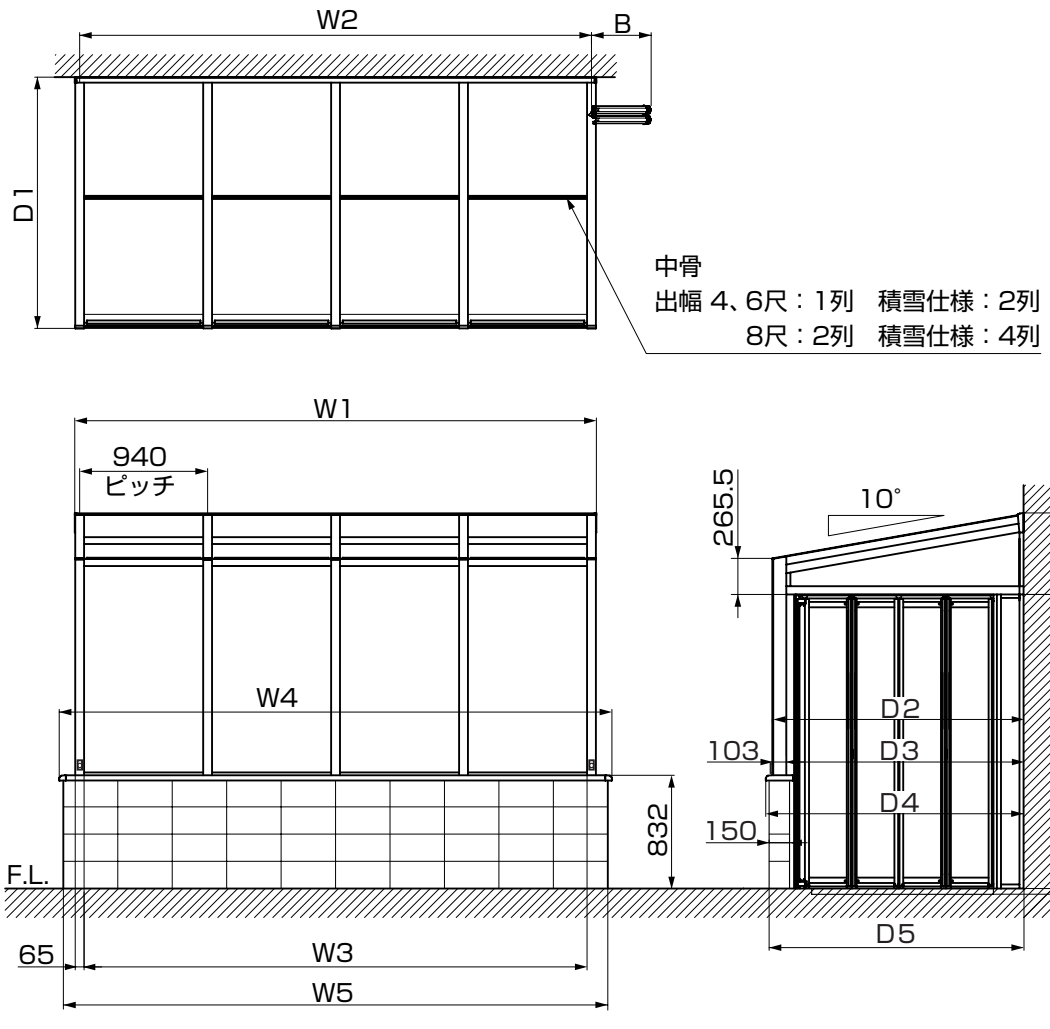


表1-17　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁笠木外寸	W5 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	正面部パネル数	屋根材枚数
1.0間	1952	1880	1815	2460	2400	2	
1.5間	2892	2820	2755	3260	3200	3	
2.0間	3832	3760	3695	4060	4000	4	
2.5間	4772	4700	4635	5260	5200	5	
3.0間	5712	5640	5575	6060	6000	6	

表1-18　出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	D4 躯体～腰壁笠木外寸	D5 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	側面部有効開口	側面部パネル数 (片側)	A	B 折り戸パネル出幅
4尺	1246		1143	1294	1269	698	2	492	379.5
6尺	1846		1743	1894	1869	1263	4	599	344.0
8尺	2446		2343	2494	2469	1597	4	703	427.5

1.（つづき）

1-4 腰壁連棟仕様

（1）オープンテラス腰壁タイプ

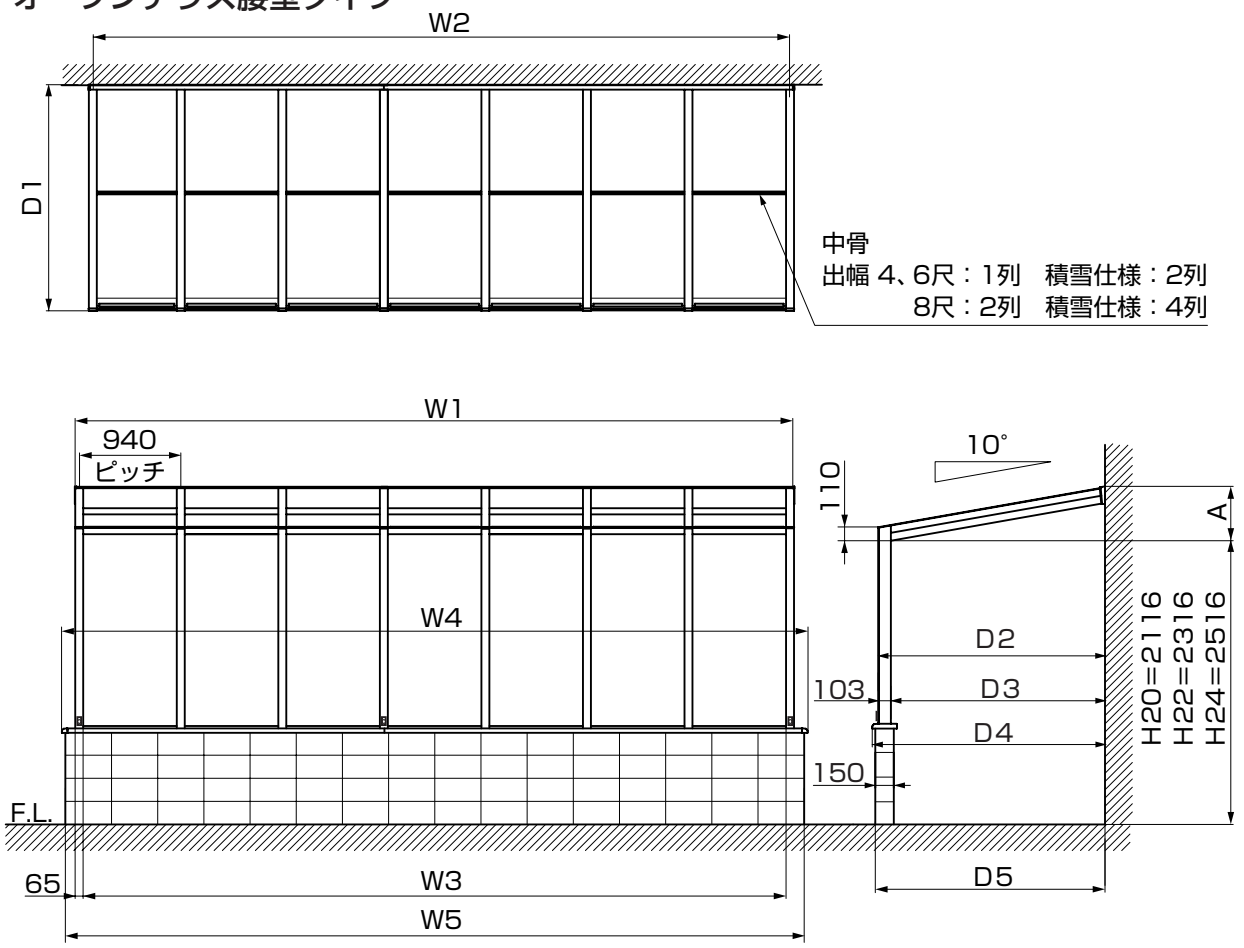


表1-19　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁笠木外寸	W5 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	コンクリートブロック列数	正面部柱間隔数	屋根材枚数
2.0間+1.5間=3.5間	6652	6580	6515	6860	6800	17	7	
2.5間+1.5間=4.0間	7592	7520	7455	7860	7800	19.5	8	
3.0間+1.5間=4.5間	8532	8460	8395	8860	8800	22	9	
2.5間+2.5間=5.0間	9472	9400	9335	9860	9800	24.5	10	
3.0間+2.5間=5.5間	10412	10340	10275	10660	10600	26.5	11	
3.0間+3.0間=6.0間	11352	11280	11215	11660	11600	29	12	

表1-20　出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	D4 躯体～腰壁笠木外寸	D5 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	A
4尺	1246		1143	1294	1269	337
6尺	1846		1743	1894	1869	444
8尺	2446		2343	2494	2469	548

(2) サイドスルー腰壁タイプ

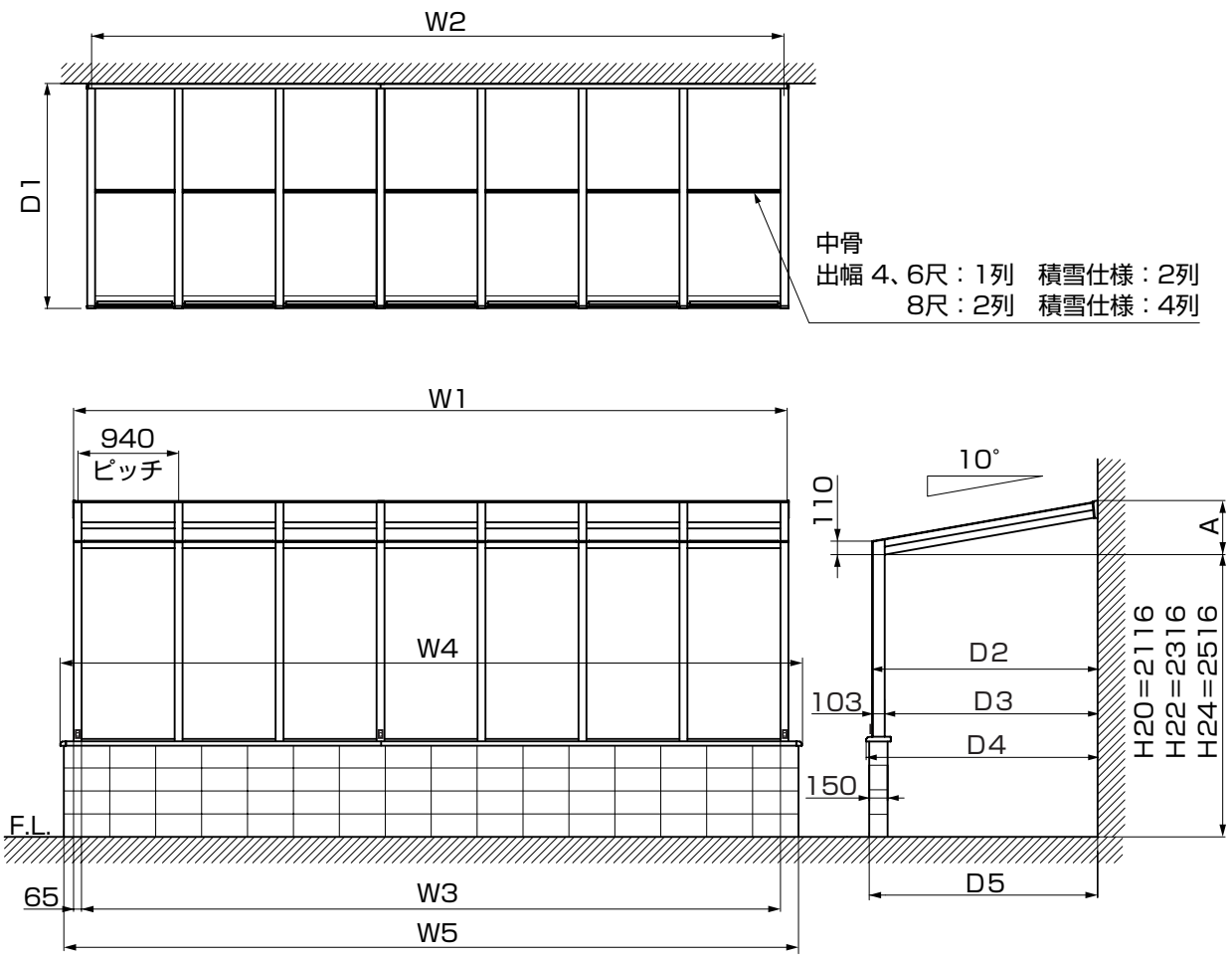


表1-21　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁笠木外寸	W5 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	コンクリート ブロック 列数	正面部 パネル数	屋根材 枚数
2.0間+1.5間=3.5間	6652	6580	6515	6860	6800	17	7	
2.5間+1.5間=4.0間	7592	7520	7455	7860	7800	19.5	8	
3.0間+1.5間=4.5間	8532	8460	8395	8860	8800	22	9	
2.5間+2.5間=5.0間	9472	9400	9335	9860	9800	24.5	10	
3.0間+2.5間=5.5間	10412	10340	10275	10660	10600	26.5	11	
3.0間+3.0間=6.0間	11352	11280	11215	11660	11600	29	12	

表1-22　出幅寸法

出幅	D1 躯体~前枠外寸	D2 躯体~柱外寸	D3 躯体~柱内寸	D4 躯体~腰壁 笠木外寸	D5 躯体~腰壁外寸 (仕上げ含まず)	A
4尺	1246		1143	1294	1269	337
6尺	1846		1743	1894	1869	444
8尺	2446		2343	2494	2469	548

1.（つづき）

（3）ガーデンルーム腰壁タイプ　※（　）内寸法は樹の木Ⅲの場合を示します。

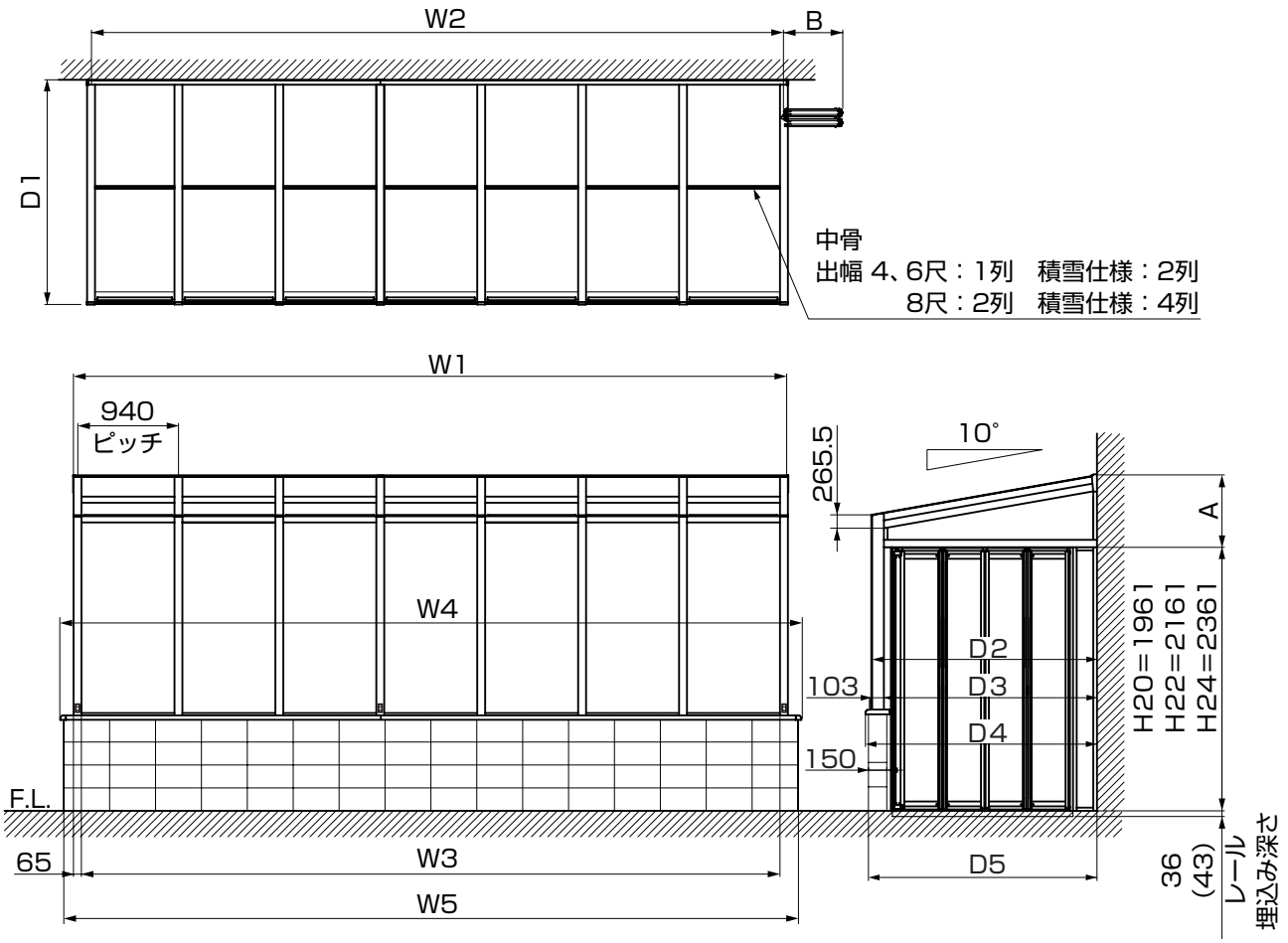


表1-23　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁笠木外寸	W5 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	コンクリート ブロック 列数	正面部 パネル数	屋根材 枚数
2.0間+1.5間=3.5間	6652	6580	6515	6860	6800	17	7	
2.5間+1.5間=4.0間	7592	7520	7455	7860	7800	19.5	8	
3.0間+1.5間=4.5間	8532	8460	8395	8860	8800	22	9	
2.5間+2.5間=5.0間	9472	9400	9335	9860	9800	24.5	10	
3.0間+2.5間=5.5間	10412	10340	10275	10660	10600	26.5	11	
3.0間+3.0間=6.0間	11352	11280	11215	11660	11600	29	12	

表1-24　出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	D4 躯体～腰壁 笠木外寸	D5 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	側面部 有効開口	側面部 パネル枚数 (片側)	A	B 折り戸パネル 出幅
4尺	1246		1143	1294	1269	698	2	492	379.5
6尺	1846		1743	1894	1869	1263	4	599	344.0
8尺	2446		2343	2494	2469	1597	4	703	427.5

1-5 樹の木Ⅲ基礎伏図

（1）基本仕様　1.0間・1.5間

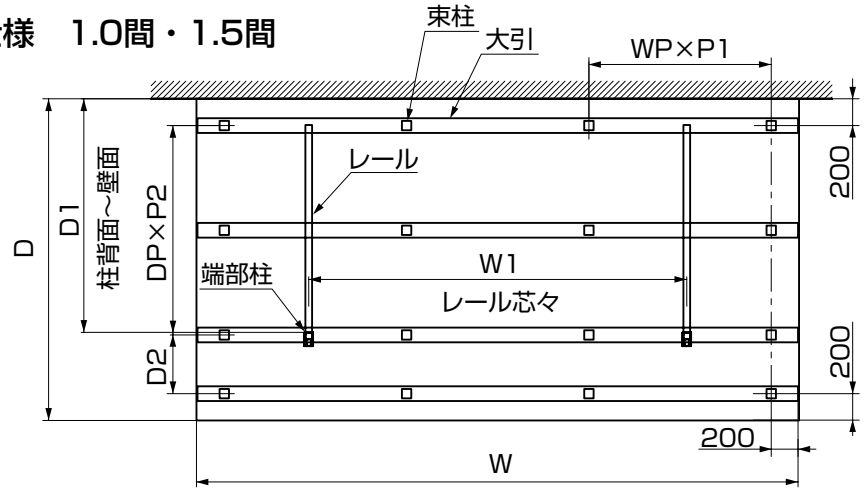


表1-25　間口寸法

	W	W1	WP(ピッチ)	P1
1.0間	3595	1880	2	1590
1.5間	4495	2820	3	1360

表1-26　出幅寸法

	D	D1	D2	DP(ピッチ)	P2
4尺	1800	1143	438	2	481
6尺	2400	1743	438	2	781
8尺	2900	2343	339	3	※1

※1の8尺用P2寸法は、躯体側より720、720、721です。

ポイント

●オープンテラスの場合は、柱の直下に大引がくるようにしてください。サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合はベース材の下に大引がくるようにしてください。

（2）基本仕様　2.0間～3.0間

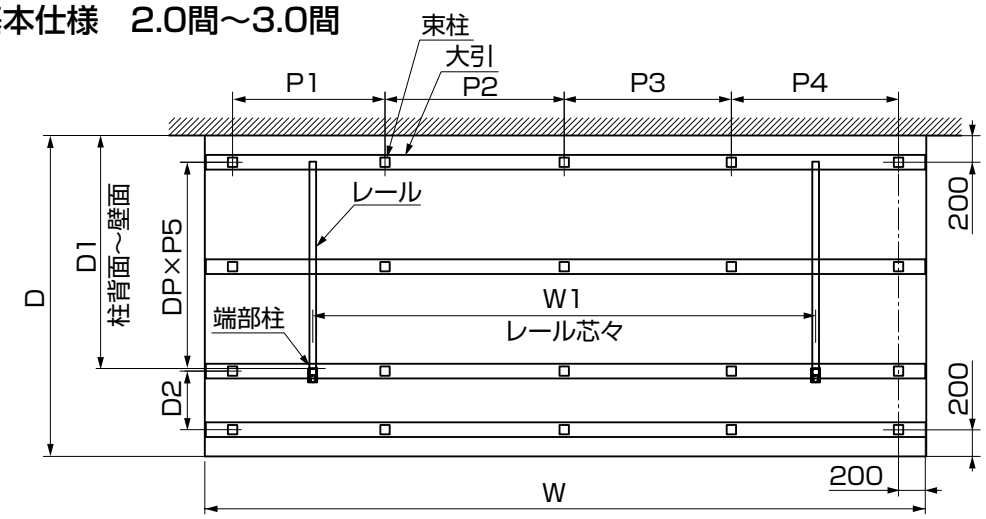


表1-27　間口寸法

	W	W1	P1	P2	P3	P4
2.0間	5395	3760	1140	1340	1250	1250
2.5間	6295	4700	1590	1790	1250	1250
3.0間	7195	5640	1590	1790	1700	1700

表1-28　出幅寸法

	D	D1	D2	DP(ピッチ)	P5
4尺	1800	1143	438	2	481
6尺	2400	1743	438	2	781
8尺	2900	2343	339	3	※1

※1の8尺用P5寸法は、躯体側より720、720、721です。

ポイント

●オープンテラスの場合は、柱の直下に大引がくるようにしてください。サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合はベース材の下に大引がくるようにしてください。

1.（つづき）

1-5 つづき

（3）入隅仕様　1.0間～2.0間　※図は右入隅の場合を示します。

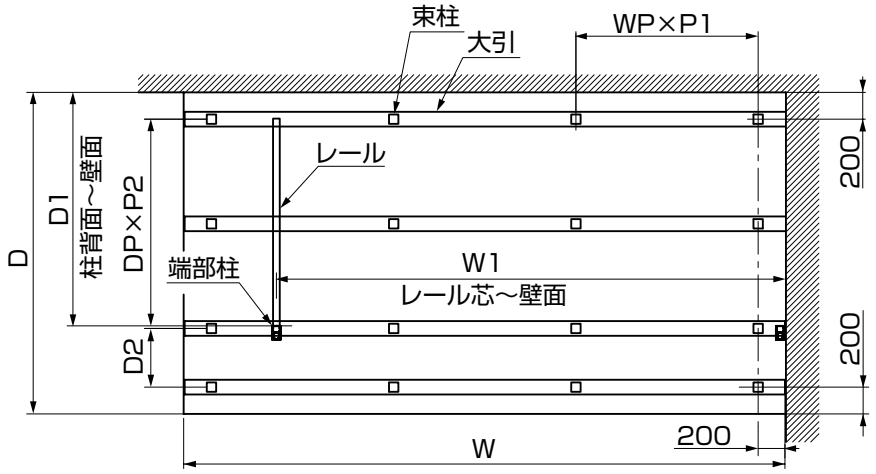


表1-29　間口寸法

	W	W1	WP(ピッチ)	P1
1.0間	2695	1912.5	2	1140
1.5間	3595	2852.5	2	1590
2.0間	4495	3792.5	3	1360

表1-30　出幅寸法

	D	D1	D2	DP(ピッチ)	P2
4尺	1800	1143	438	2	481
6尺	2400	1743	438	2	781
8尺	2900	2343	339	3	※1

※1の8尺用P2寸法は、躯体側より720、720、721です。

ポイント

●オープンテラスの場合は、柱の直下に大引がくるようにしてください。サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合はベース材の下に大引がくるようにしてください。

（4）入隅仕様　2.5間・3.0間

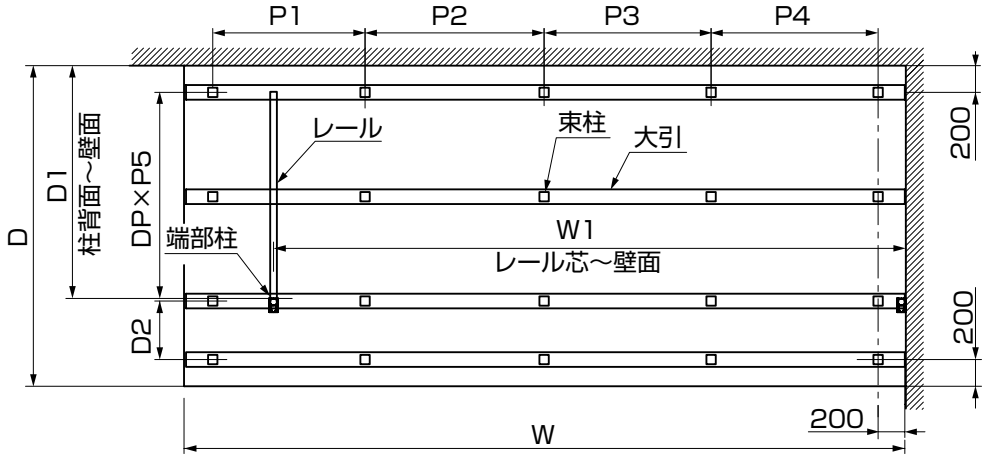


表1-31　間口寸法

	W	W1	P1	P2	P3	P4
2.5間	5395	4732.5	1140	1340	1250	1250
3.0間	6295	5672.5	1590	1790	1250	1250

表1-32　出幅寸法

	D	D1	D2	DP(ピッチ)	P5
4尺	1800	1143	438	2	481
6尺	2400	1743	438	2	781
8尺	2900	2343	339	3	※1

※1の8尺用P5寸法は、躯体側より720、720、721です。

ポイント

●オープンテラスの場合は、柱の直下に大引がくるようにしてください。サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合はベース材の下に大引がくるようにしてください。

1-6 ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト基礎伏図 ※図は束柱仕様を示します。

ポイント

- ●オープンテラスの場合は、柱の直下に、根太または大引がくるようにしてください。サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合はベース材の下に、根太または大引がくるようにしてください。
- ●「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- ●「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具、または大引受金具の位置を示します。

(1) 基本仕様

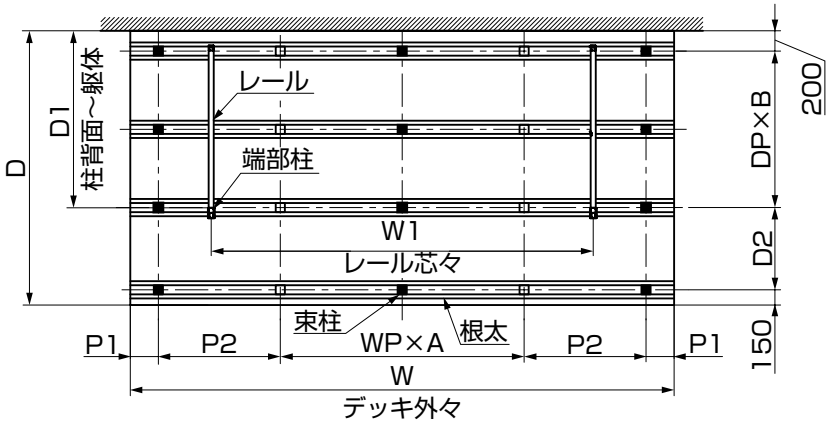


表1-33 間口寸法

	W	W1	P1	P2	WP	A
1.0間	3661	1880	130.5	1100	1	1200
1.5間	4507	2820	153.5	1050	2	1050
2.0間	5353	3760	276.5	1200	2	1200
2.5間	6340	4700	220	1150	3	1200
3.0間	7186	5640	193	1000	4	1200

表1-34 出幅寸法

	D	D1	D2	DP(ピッチ)	B
4尺	1800	1143	510	1	940
6尺	2700	1743	810	2	770
8尺	2900	2343	410	3	※1

※1の8尺用B寸法は、躯側より720、720、700です。

(2) 入隅仕様 ※図は右入隅の場合を示します。

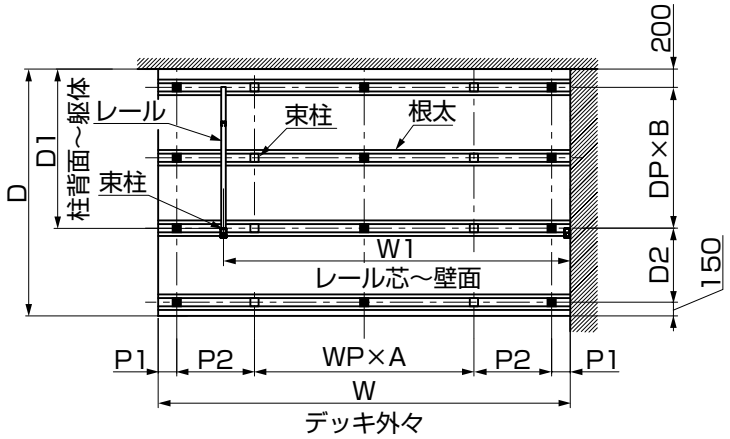


表1-35 間口寸法

	W	W1	P1	P2	WP	A
1.0間	2674	1912.5	137	1200	−	−
1.5間	3661	2852.5	130.5	1100	1	1200
2.0間	4507	3792.5	203.5	850	2	1200
2.5間	5494	4732.5	247	700	3	1200
3.0間	6340	5672.5	220	1150	3	1200

表1-36 出幅寸法

	D	D1	D2	DP(ピッチ)	B
4尺	1800	1143	510	1	940
6尺	2700	1743	810	2	770
8尺	2900	2343	410	3	※1

※1の8尺用B寸法は、躯側より720、720、700です。

1.（つづき）

1-7 下レールの取付け方法 ※ガーデンルームタイプの場合の作業です。

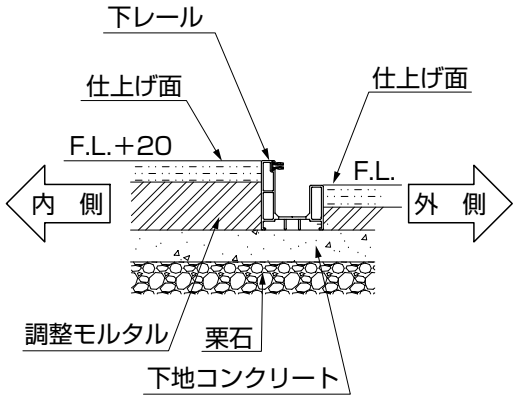


図1-1 外収納の場合

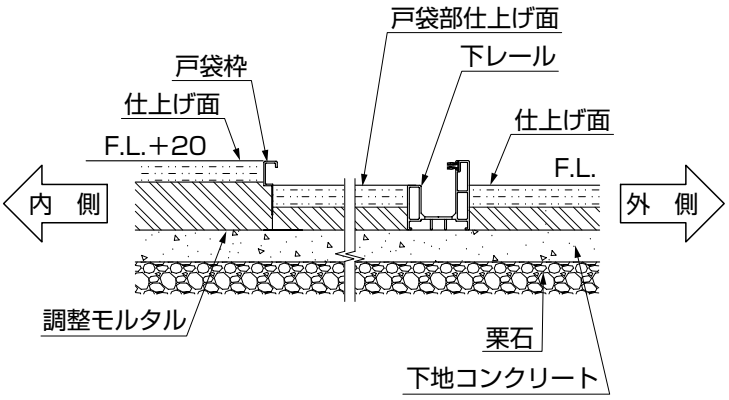


図1-2 内収納の場合

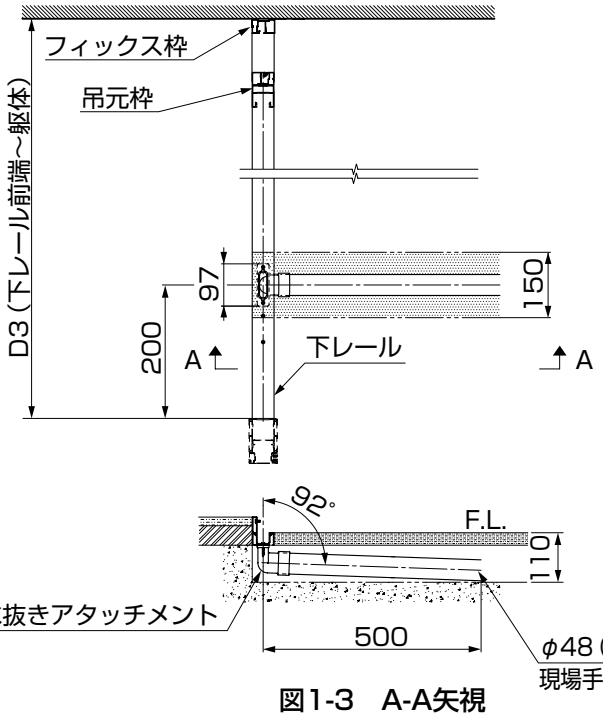


図1-3 A-A矢視

表1-37

出幅	D3基本仕様	D3腰壁仕様
4尺	1143	1118
6尺	1743	1718
8尺	2343	2318

ポイント

- ●レール取付け前に土間の下打ちを行ってください。デッキ仕様の場合は、「ココマ －デッキ編（ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト）－ 取付説明書（E220）」、「ココマ －デッキ編（樹の木Ⅲ）－ 取付説明書（E221）」にしたがってデッキを仕上げてください。
- ●レールは埋込みが必要です。土間仕様の場合、排水溝を設置する部分を確保してレール取付け後、床面を仕上げてください。
- ●F.L.の高さをパネルサイズに合わせて正確に位置出しして施工してください。F.L.の高さが正確でないと、パネルの開閉に支障がでる場合があります。
- ●調整モルタルの厚みは、タイル仕上げ、洗い出し仕上げ等仕上げ方法によって調整してください。
- ●仕上げ後、レール等に付着したモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後に拭き取ると表面を傷めますので注意してください。

1-8 土間仕上り寸法

(1) ガーデンルームタイプ

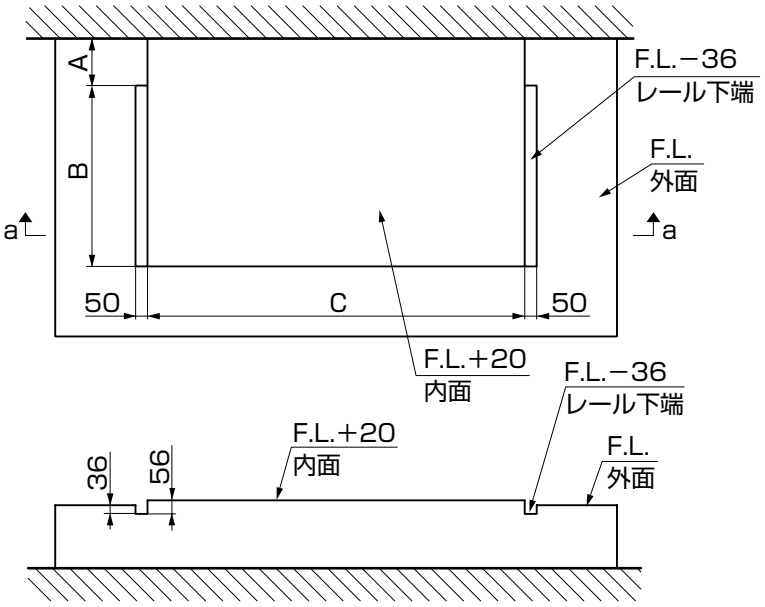


図1-5 a-a矢視図

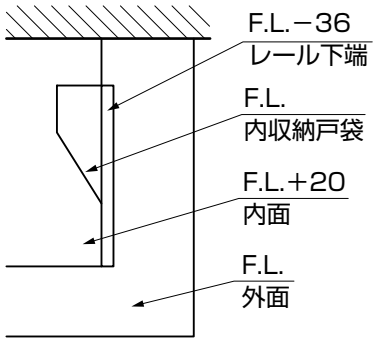


図1-4 内収納の場合

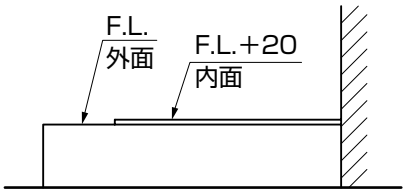


表1-38 ガーデンルームタイプ

	A	B	A+B
4尺	217	926	1143
6尺	196	1547	1743
8尺	461	1882	2343

表1-39 ガーデンルーム、ガーデンルーム腰壁タイプ共通

	C		C		C		C
1.0間	1830	2.5間	4650	4.0間	7470	5.5間	10290
1.5間	2770	3.0間	5590	4.5間	8410	6.0間	11230
2.0間	3710	3.5間	6530	5.0間	9350		

ポイント

●内収納の場合の戸袋寸法は「6 側面折戸パネルの取付け 7. 下レールの取付け 7-4 戸袋枠の取付け」を参照してください。

(2) ガーデンルーム腰壁タイプ

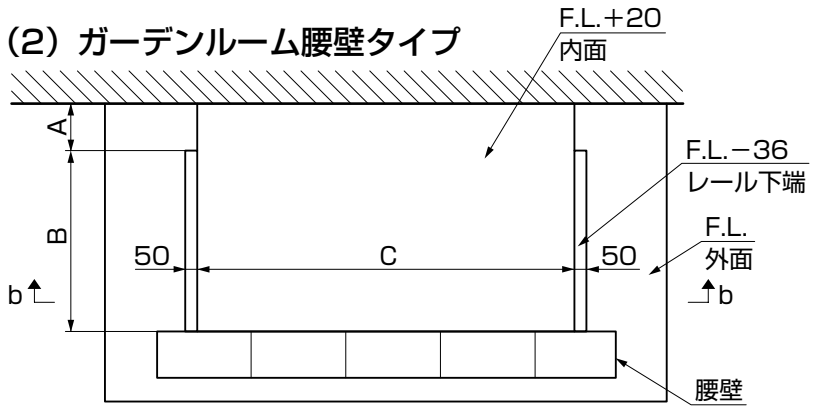
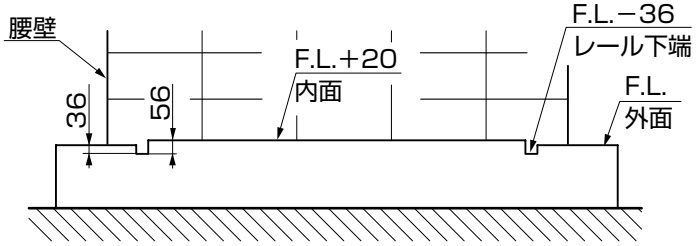


表1-40 ガーデンルーム腰壁タイプ

	A	B	A+B
4尺	192	926	1118
6尺	171	1547	1718
8尺	436	1882	2318



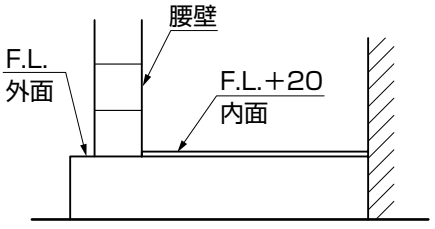
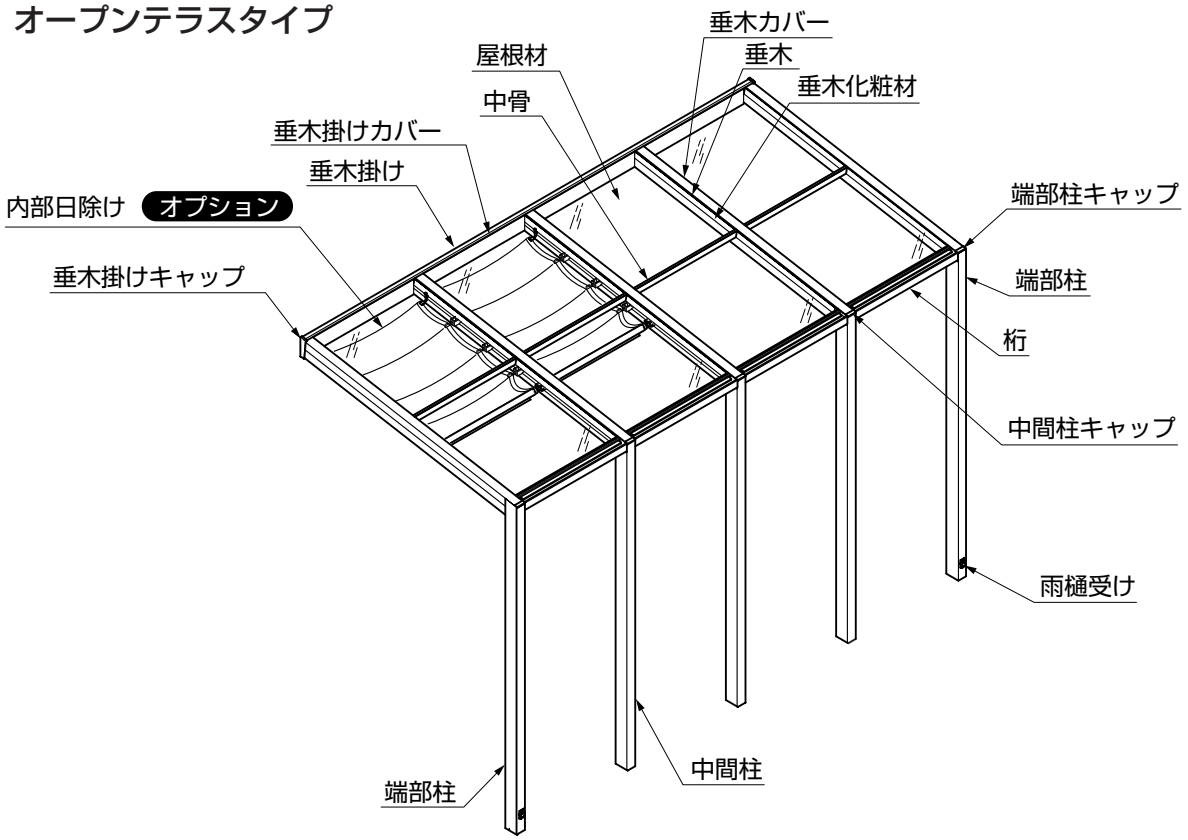


図1-6 b-b矢視図

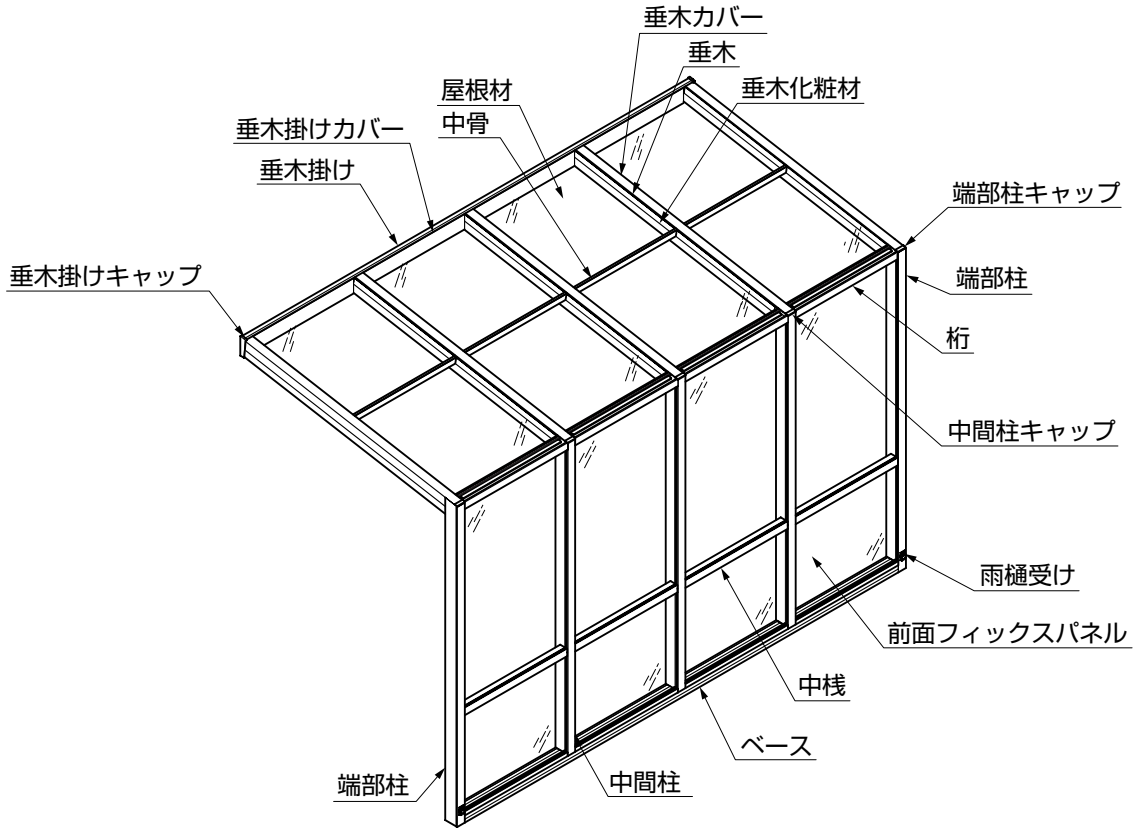
2. 各部名称

2-1 基本仕様 ※積雪仕様の場合は1スパンあたりの中骨の本数が倍になります。

（1）オープンテラスタイプ

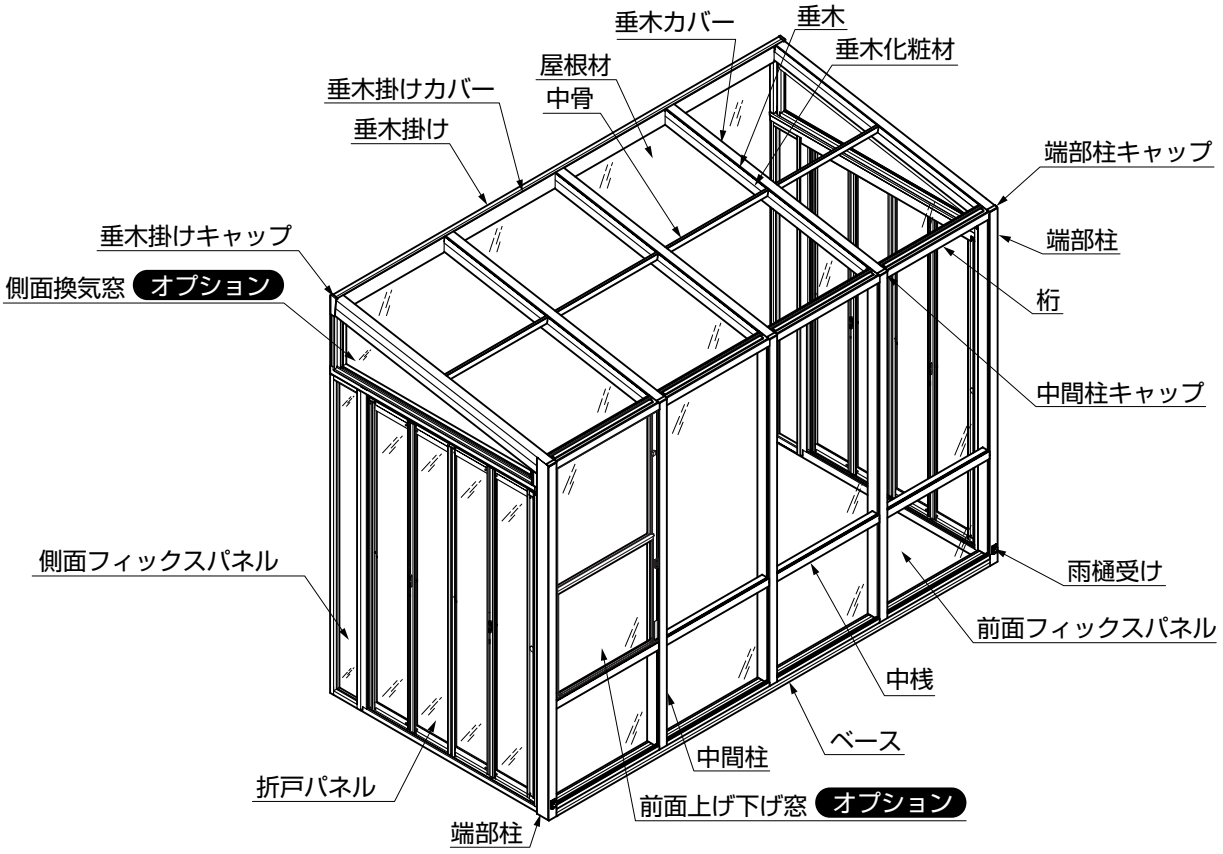


（2）サイドスルータイプ ※図は中桟を取付ける場合を示します。



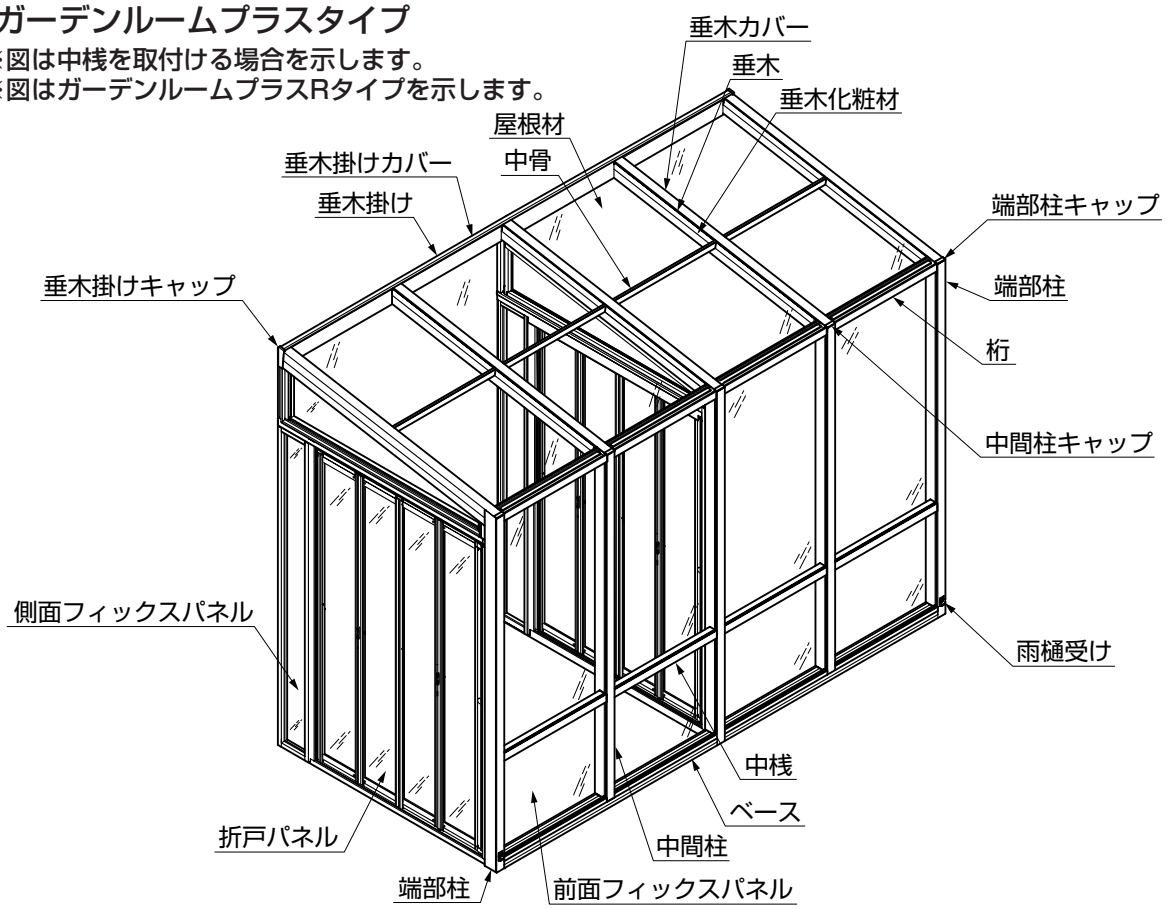
E219_200607B

（3）ガーデンルームタイプ　※図は中桟を取付ける場合を示します。



（4）ガーデンルームプラスタイプ

※図は中桟を取付ける場合を示します。
※図はガーデンルームプラスRタイプを示します。

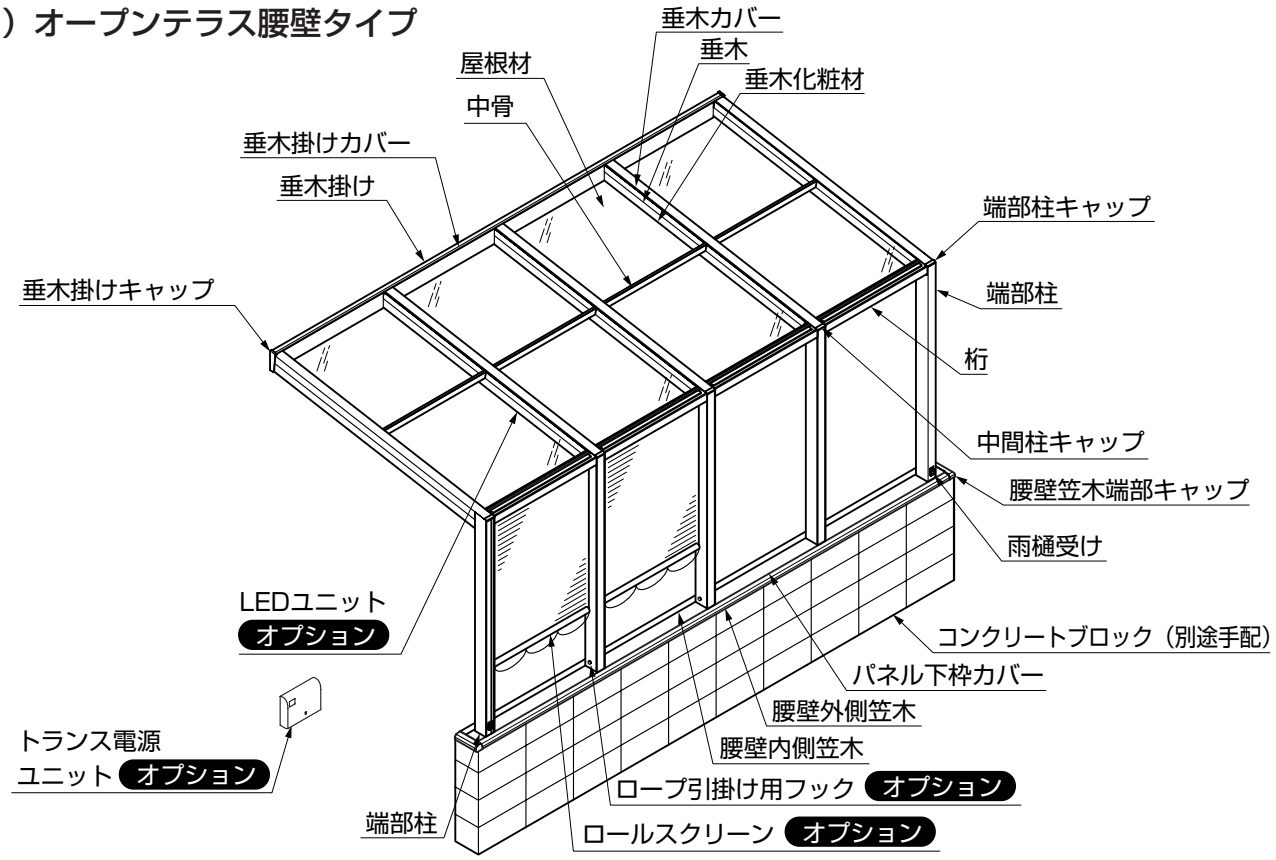


E219_200607B

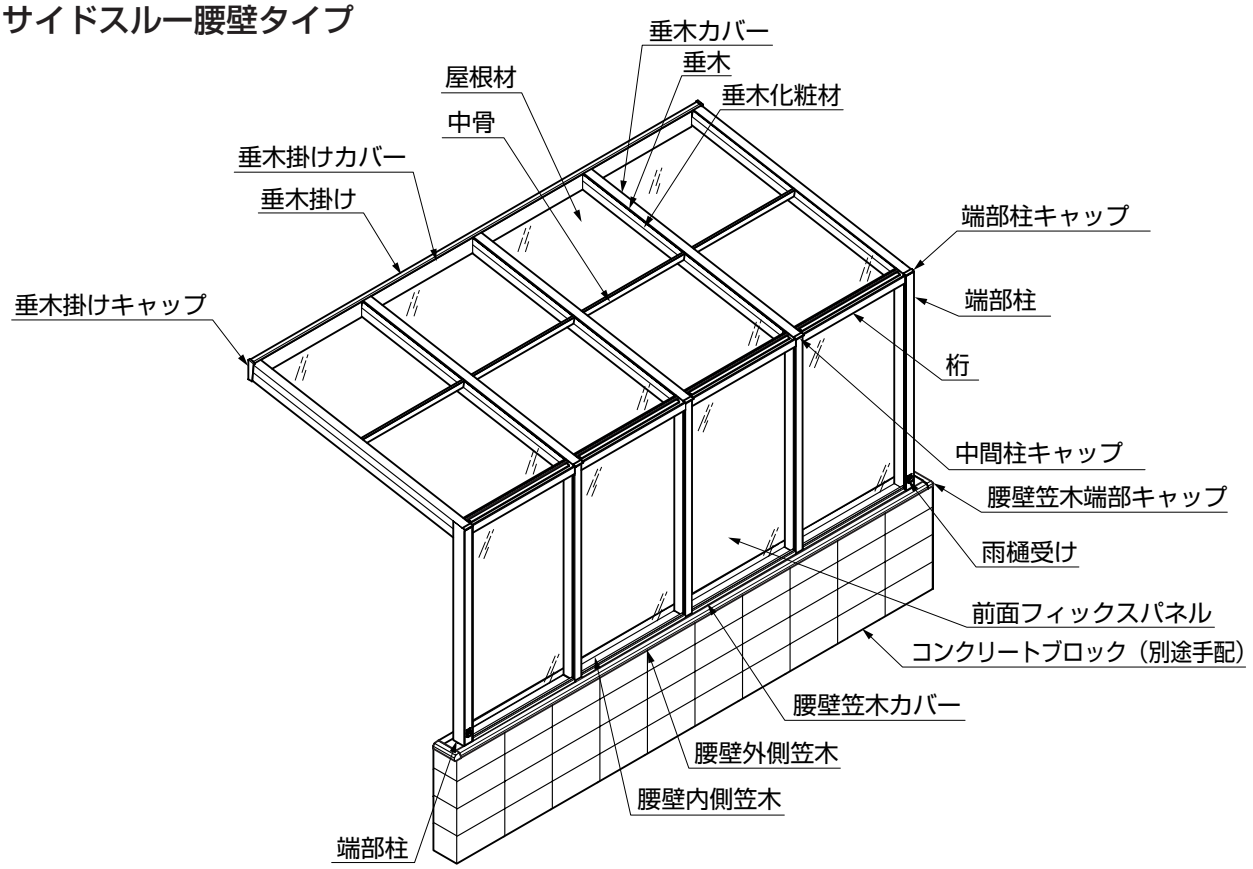
2.（つづき）

2-2 腰壁仕様 ※積雪仕様の場合は1スパンあたりの中骨の本数が倍になります。

（1）オープンテラス腰壁タイプ

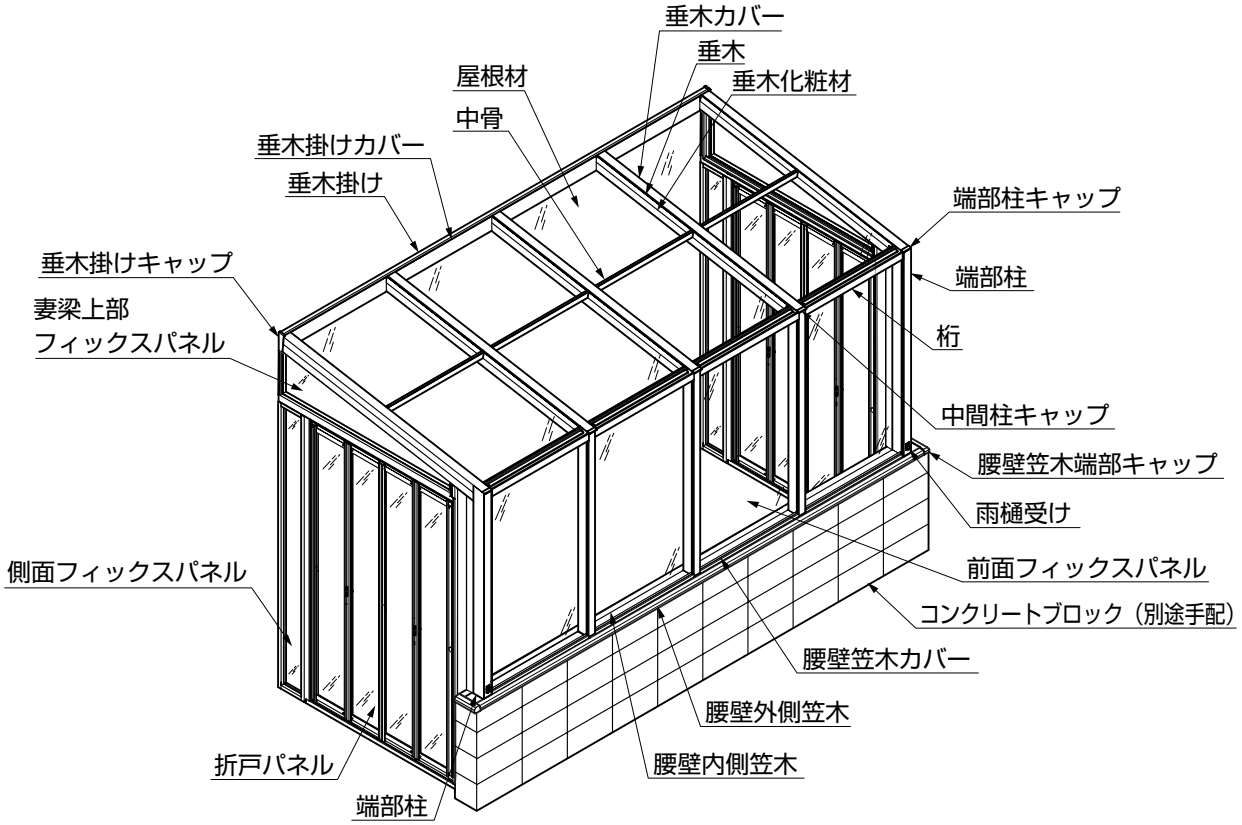


（2）サイドスルー腰壁タイプ

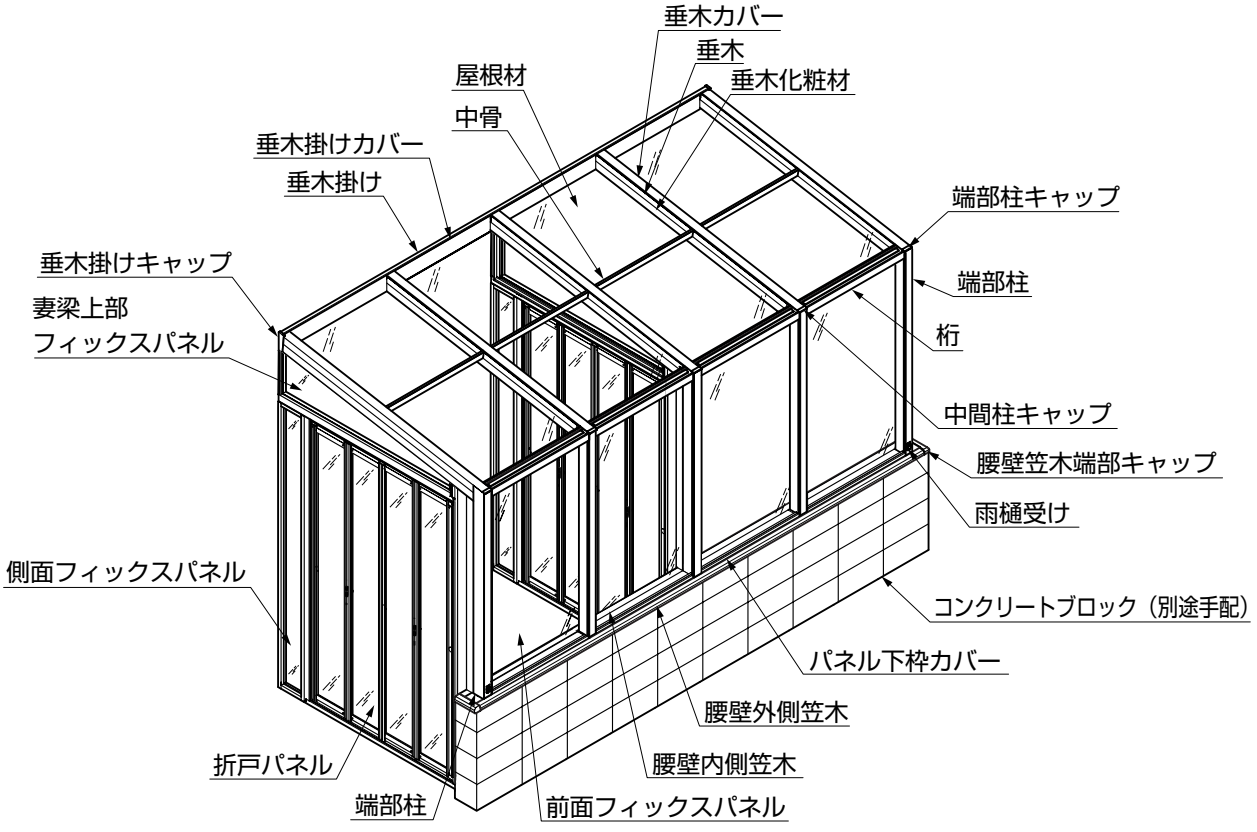


E219_200607B

（3）ガーデンルーム腰壁タイプ

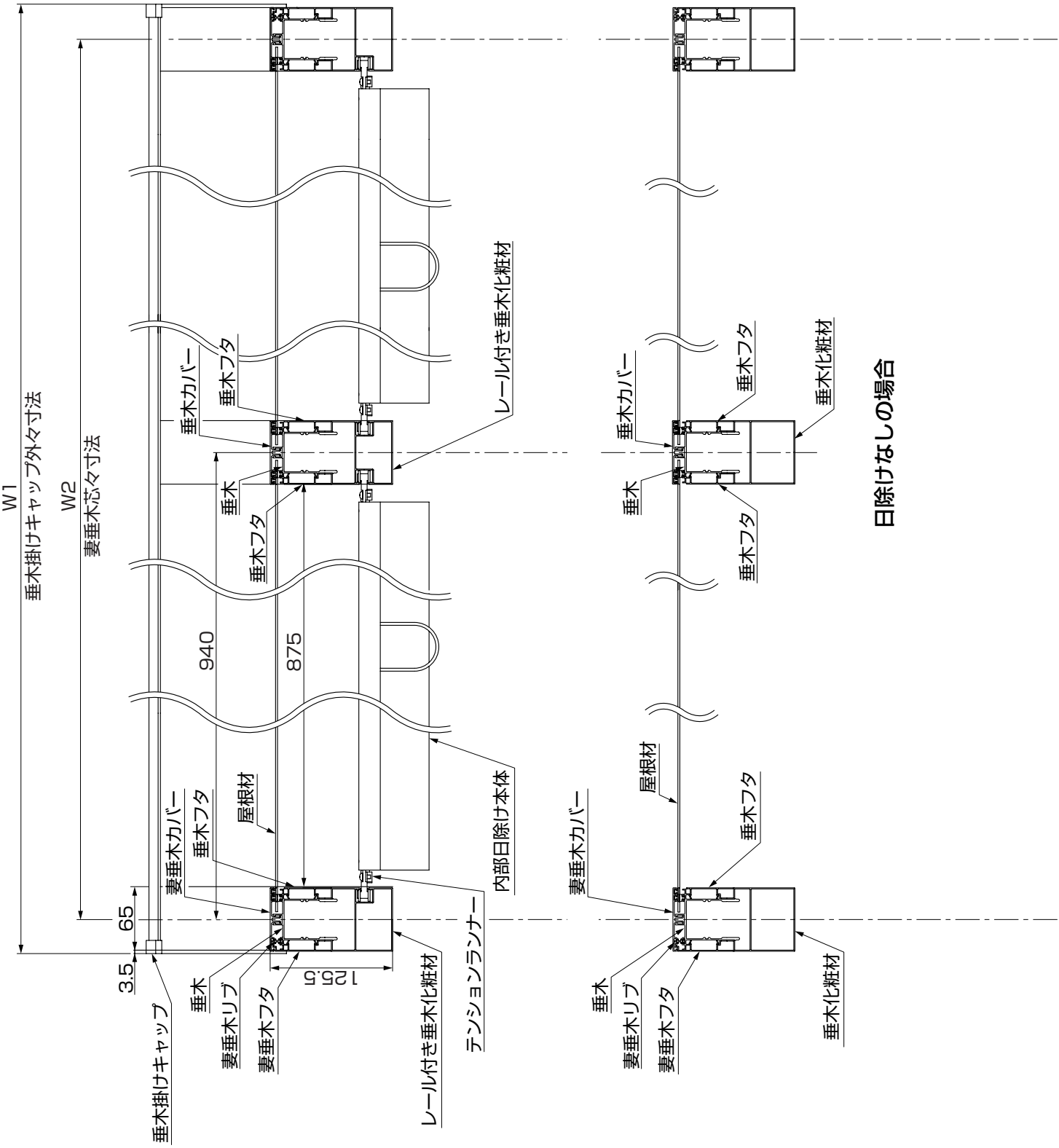


（4）ガーデンルームプラス腰壁タイプ　※図はガーデンルームプラスR腰壁タイプを示します。

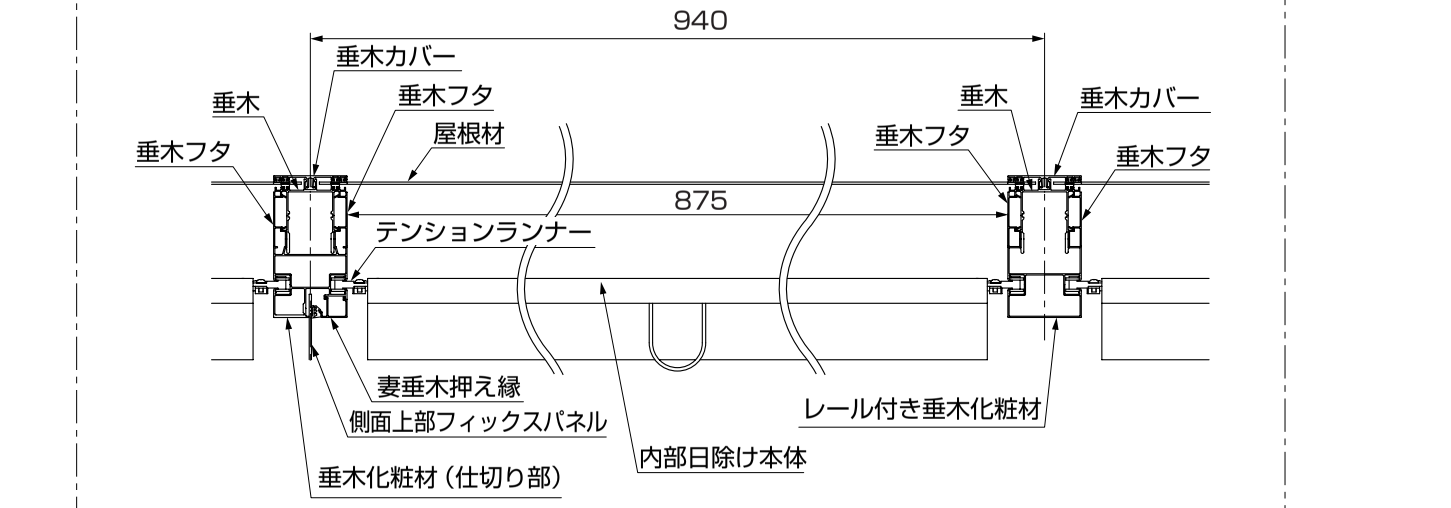


3. 断面納まり図

3-1 オープンテラス、サイドスルータイプ間口断面納まり図



E219_200607B



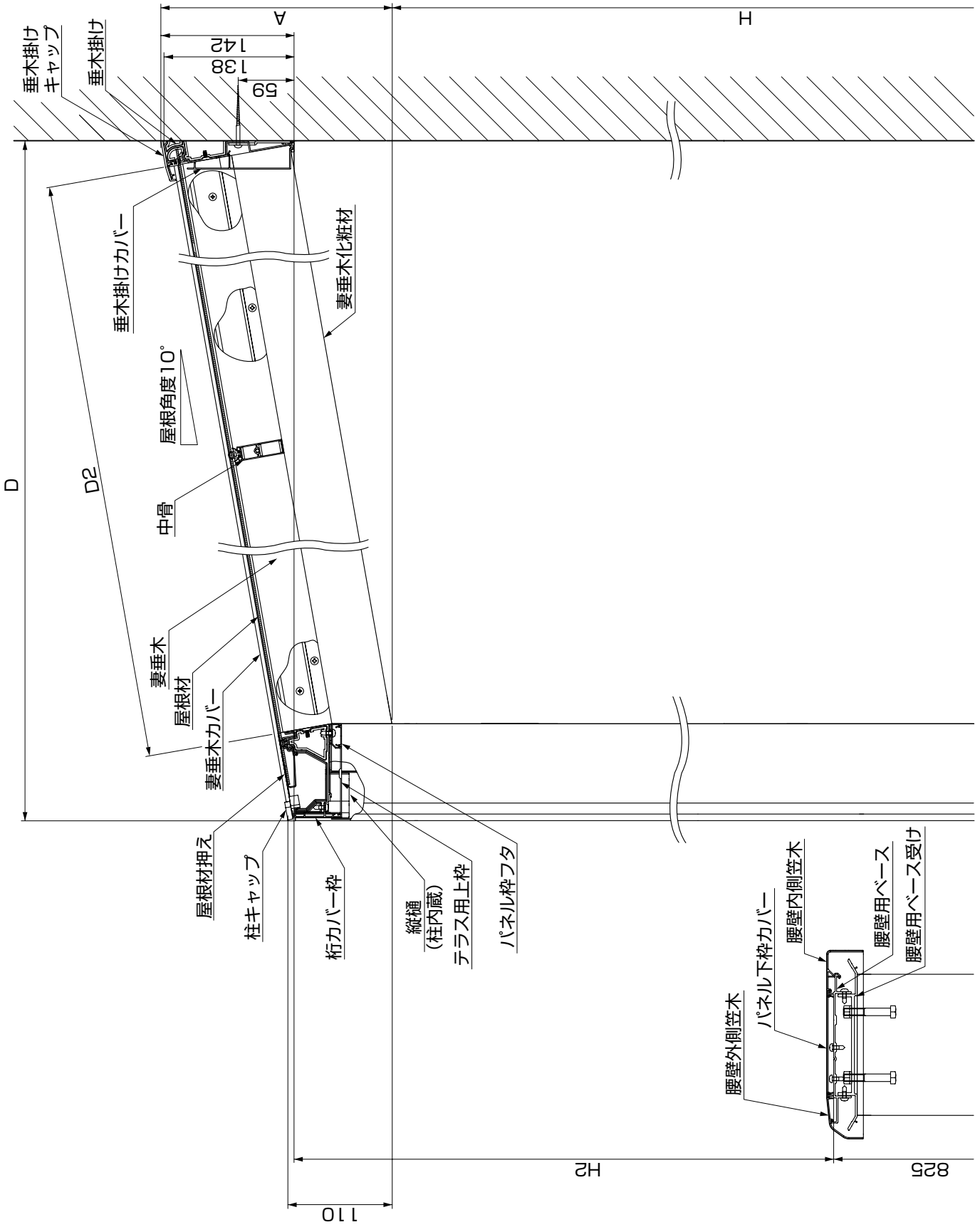
ガーデンルームプラスの場合

表3-1

間口 / 間口寸法	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W1	1952	2892	3832	4772	5712
W2	1880	2820	3760	4700	5640

3.（つづき）

3-2 オープンテラスタイプ出幅断面納まり図



E219_200607B

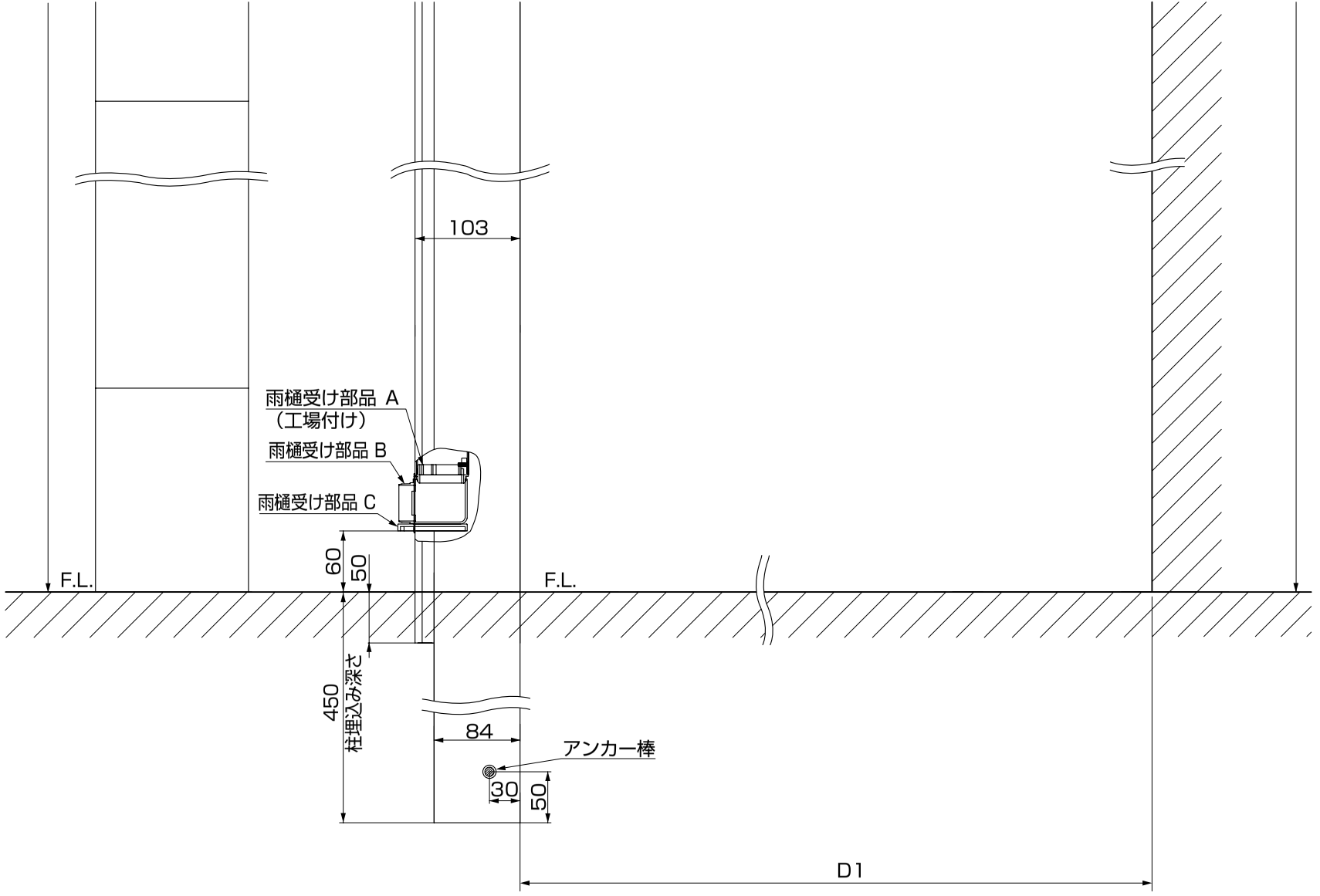


表3-2

高さ呼称	H
H20	2116
H22	2316
H24	2516

表3-3　H2寸法表

	4尺	6尺	8尺
H20	1486	1593	1697
H22	1686	1793	1897
H24	1886	1993	2097

表3-4

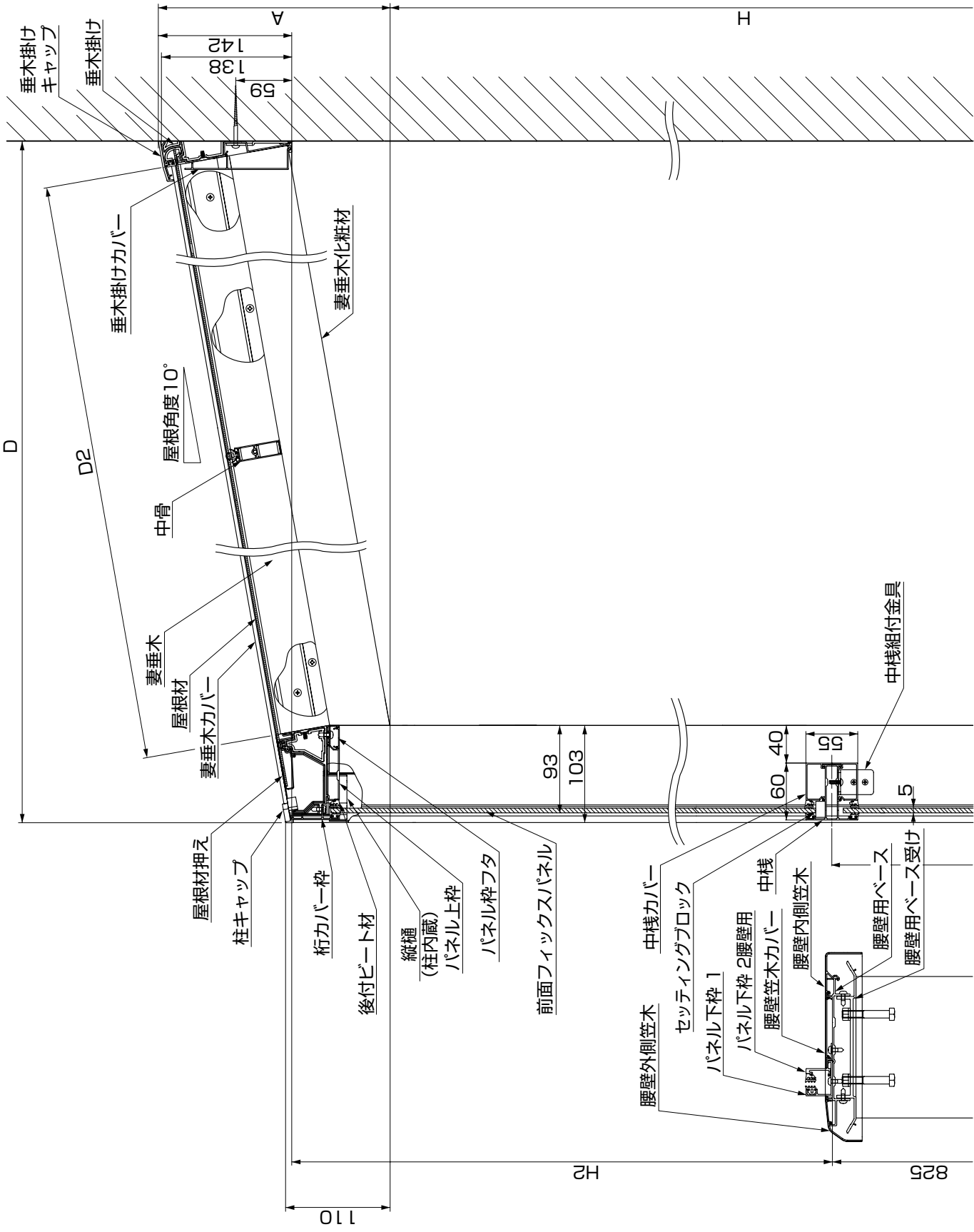
出幅寸法＼出幅	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446
D1	1143	1743	2343
D2	1145	1754	2363

表3-5

高さ寸法＼出幅	4尺	6尺	8尺
A	337	444	548

3.（つづき）

3-3 サイドスルータイプ出幅断面納まり図



E219_200607B

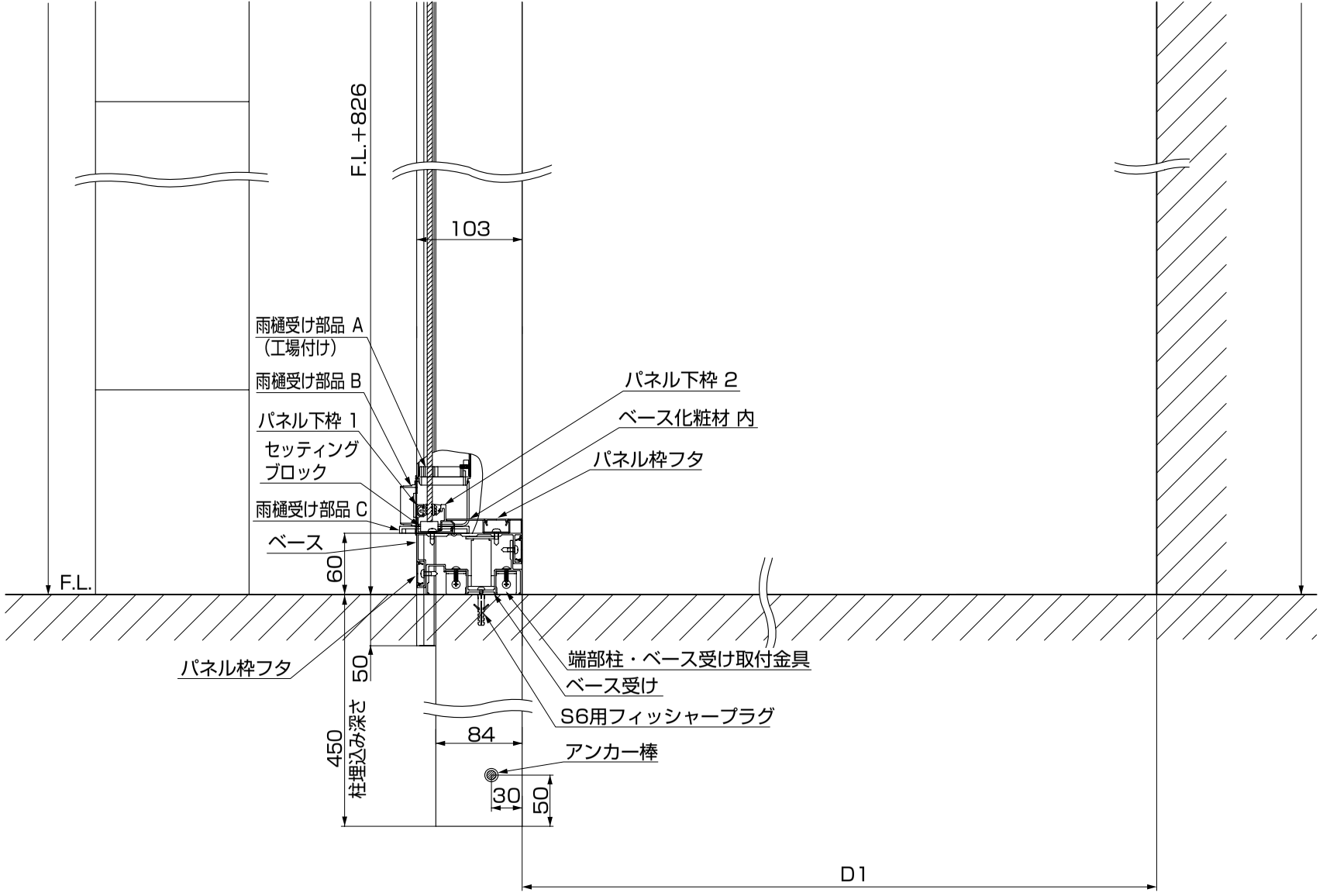


表3-6

高さ呼称	H
H20	2116
H22	2316
H24	2516

表3-7　H2寸法表

	4尺	6尺	8尺
H20	1486	1593	1697
H22	1686	1793	1897
H24	1886	1993	2097

表3-8

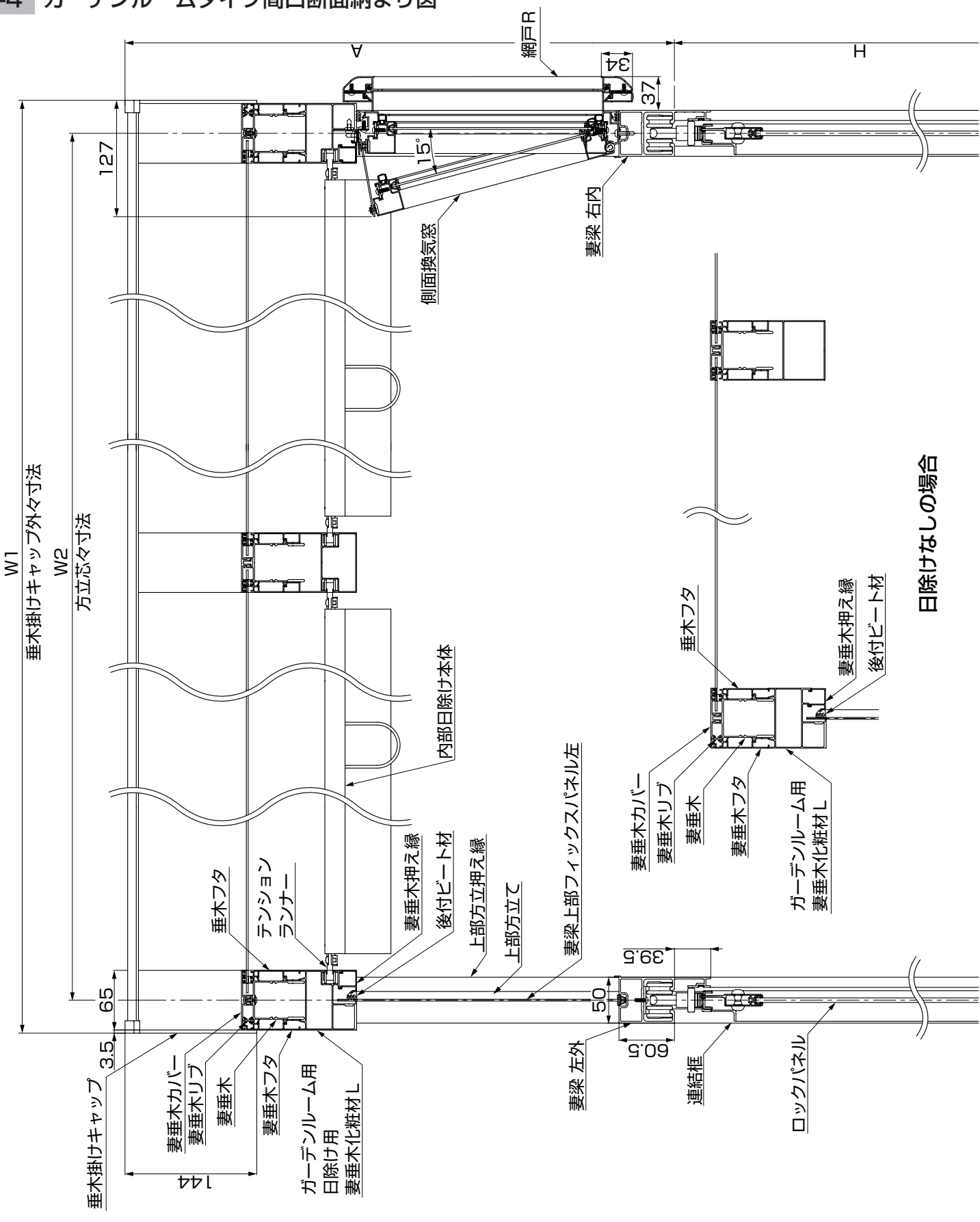
出幅寸法＼出幅	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446
D1	1143	1743	2343
D2	1145	1754	2363

表3-9

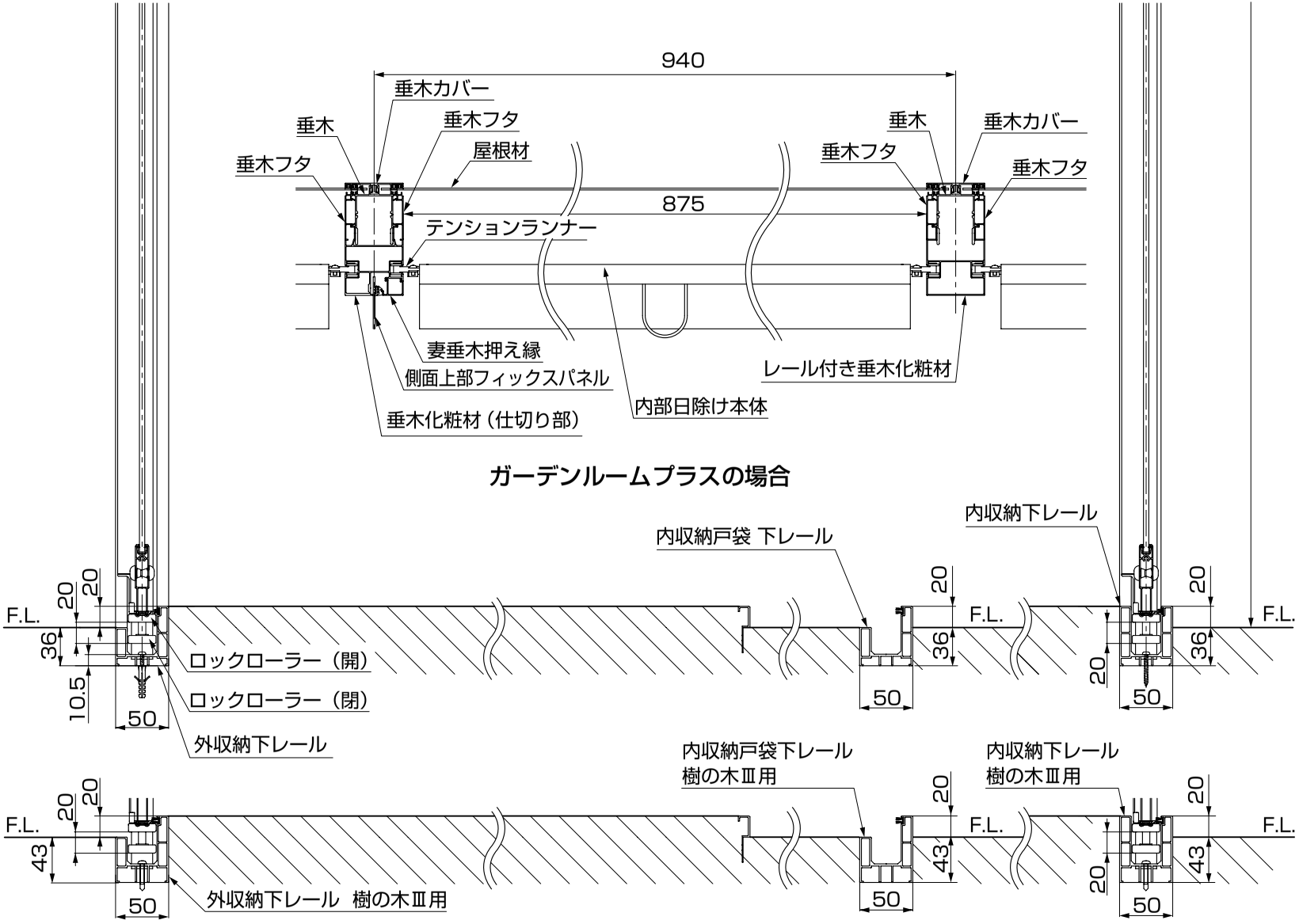
高さ寸法＼出幅	4尺	6尺	8尺
A	337	444	548

3.（つづき）

3-4 ガーデンルームタイプ間口断面納まり図



E219_200607B



ガーデンルームプラスの場合

表3-10

高さ呼称	H
H20	1961
H22	2161
H24	2361

表3-11

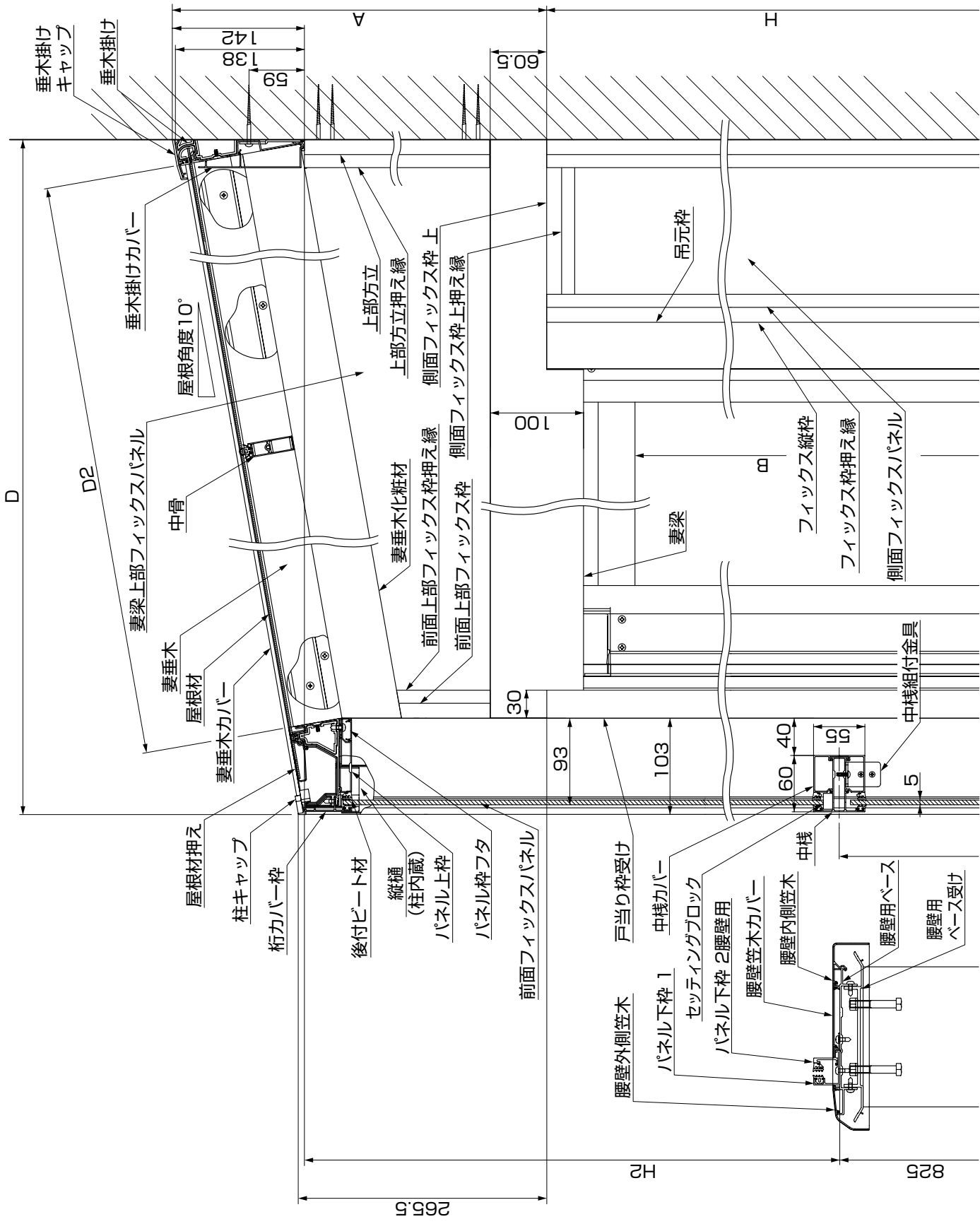
間口 / 間口寸法	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W1	1952	2892	3832	4772	5712
W2	1880	2820	3760	4700	5640

表3-12

出幅 / 高さ寸法	4尺	6尺	8尺
A	492	599	703

3.（つづき）

3-5 ガーデンルームタイプ出幅断面納まり図



E219_200607B

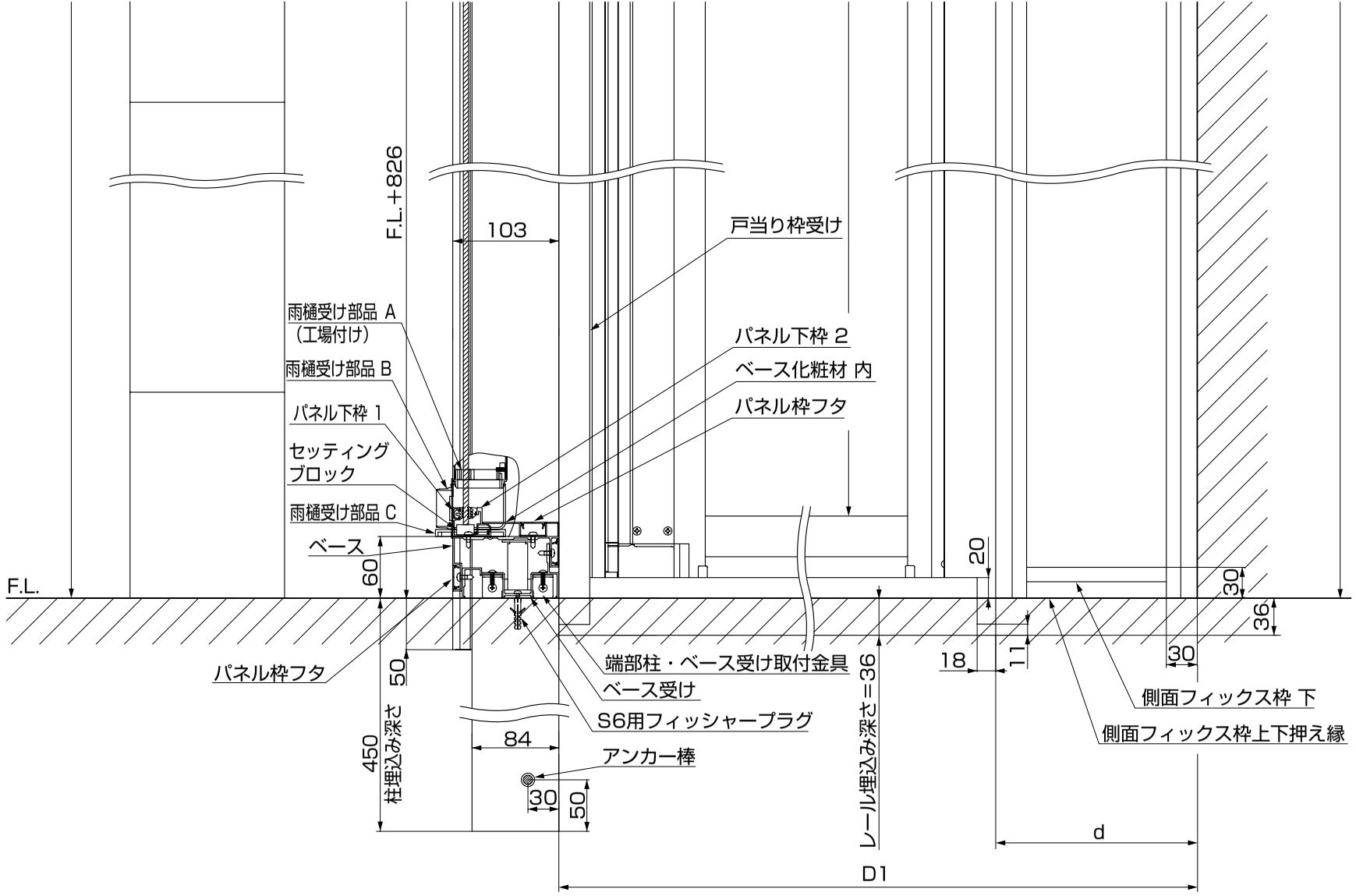


表3-13

高さ呼称	H	B
H20	1961	1786
H22	2161	1986
H24	2361	2186

表3-14　H2寸法表

	4尺	6尺	8尺
H20	1486	1593	1697
H22	1686	1793	1897
H24	1886	1993	2097
d(基本タイプ)	217	196	461
d(腰壁タイプ)	192	171	436

表3-15

出幅 / 出幅寸法	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446
D1	1143	1743	2343
D2	1145	1754	2363

表3-16

出幅 / 高さ寸法	4尺	6尺	8尺
A	492	599	703

E219 200607B

2　柱の位置出し

1. 基本仕様

1-1　オープンテラスタイプ、オープンテラス腰壁タイプの場合

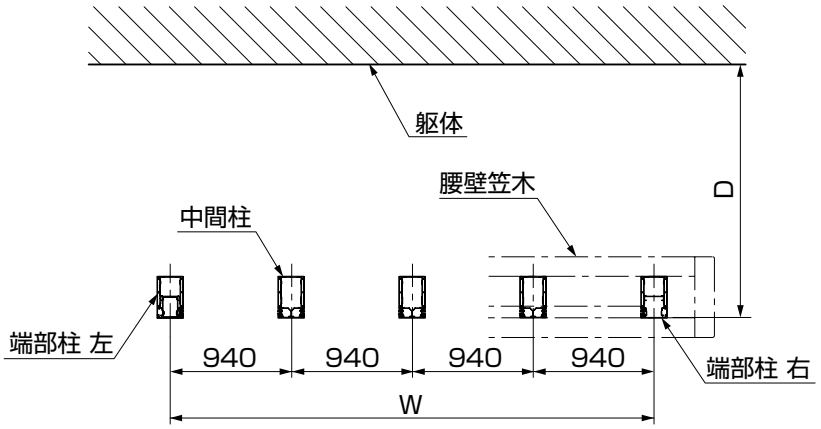


表1-1　出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446

表1-2　間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
柱間隔数	2	3	4	5	6
W	1880	2820	3760	4700	5640

1-2　サイドスルータイプ、ガーデンルームタイプ、サイドスルー腰壁タイプ、ガーデンルーム腰壁タイプの場合

※図はガーデンルームタイプを示します。サイドスルータイプの場合は柱のみです。

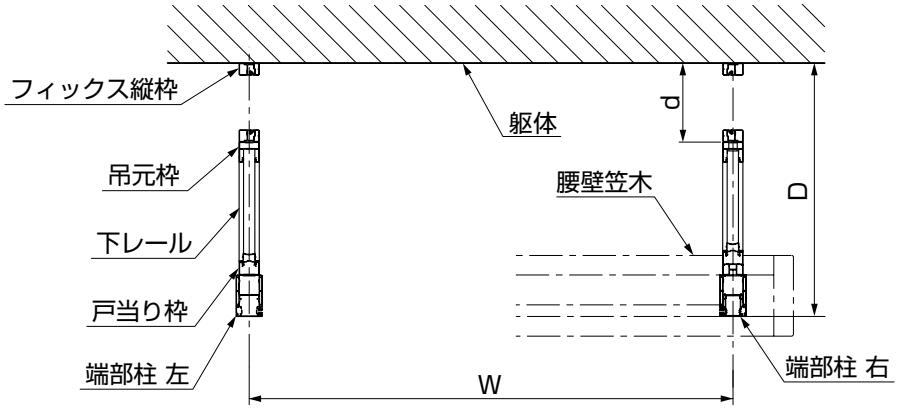


表1-3　出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446

表1-4　間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	1880	2820	3760	4700	5640

表1-5　側面フィックス部寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
d	217	196	461

※端部柱背面からは下レールの長さと同じです。

表1-6　腰壁タイプ側面フィックス部寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
d	192	171	436

※端部柱背面からは下レールの長さと同じです。

2. 連棟仕様

2-1 オープンテラスタイプ、オープンテラス腰壁タイプの場合

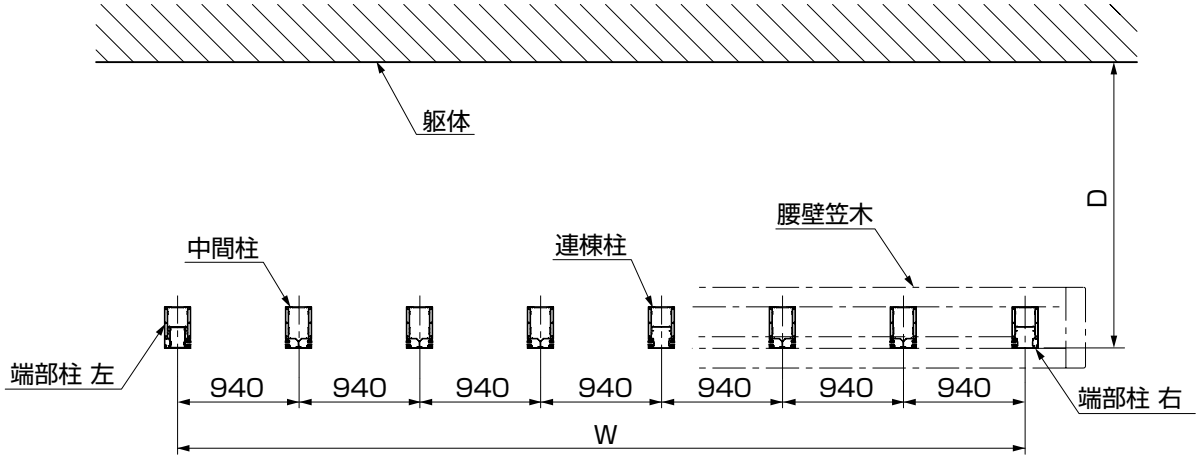


表2-1　出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446

表2-2　間口寸法

間口	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間	5.5間	6.0間
柱間隔数	7	8	9	10	11	12
W	6580	7520	8460	9400	10340	11280

2-2 サイドスルータイプ、ガーデンルームタイプ、サイドスルー腰壁タイプ、ガーデンルーム腰壁タイプの場合

※図はガーデンルームタイプを示します。サイドスルータイプの場合は柱のみです。

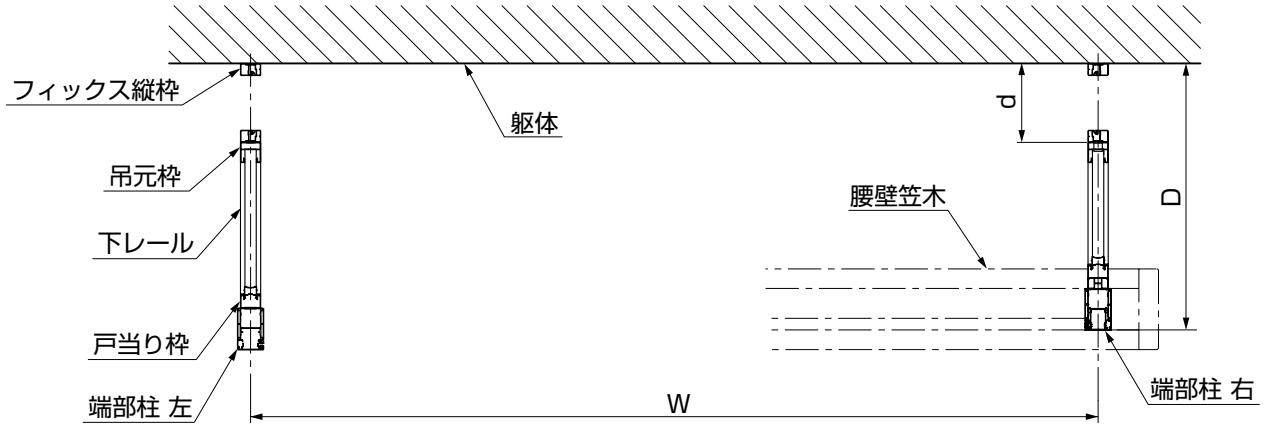


表2-3　出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446

表2-4　間口寸法

間口	3.5間	4.0間	4.5間
W	6580	7520	8460
間口	5.0間	5.5間	6.0間
W	9400	10340	11280

表2-5　側面フィックス部寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
d	217	196	461

※端部柱背面からは下レールの長さと同じです。

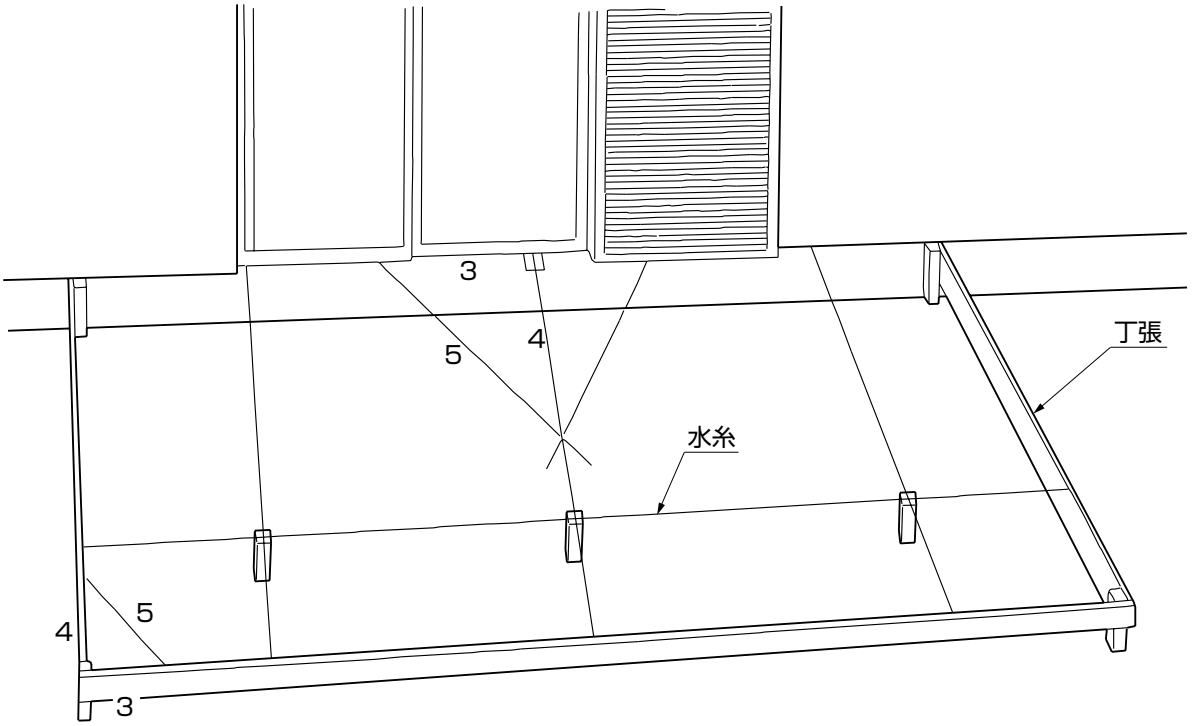
表2-6　腰壁タイプ側面フィックス部寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
d	192	171	436

※端部柱背面からは下レールの長さと同じです。

3　本体の施工

1. 水盛遣方・水糸張り



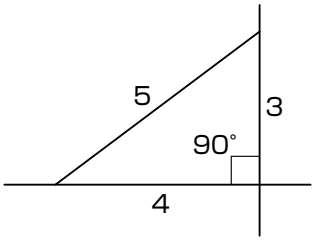


図1-1　直角出し寸法

①「1　基本寸法と各部名称」を参照して本体の取付位置およびフロアの高さを決めてください。
②前面･両側面に丁張を組んでください。
③躯体に柱寸法の印をつけ、図1-1の方法で直角をだし、束柱の位置を出してください。
④束柱の位置から、両側の柱位置を決めてください。

ポイント

●ガーデンルームタイプの場合は、下レール取付けレベルの高さを正確に位置出しし、水平に土間を仕上げてください。下レール取付けレベルの高さが正確でないとパネルの開閉に支障が出る場合があります。
●丁張の位置は本体外寸より前面･両側面ともにやや大きめに決めてください。
●丁張は水準器等で水平を取ってください。
●各コーナーの直角を定規、図1-1の方法等で割り出してください。

2. 基本仕様の配線工事 オプション ※LED照明を取付ける場合の作業です。

2-1 LEDユニット配線のとりまわし

（1）上部から配線する場合

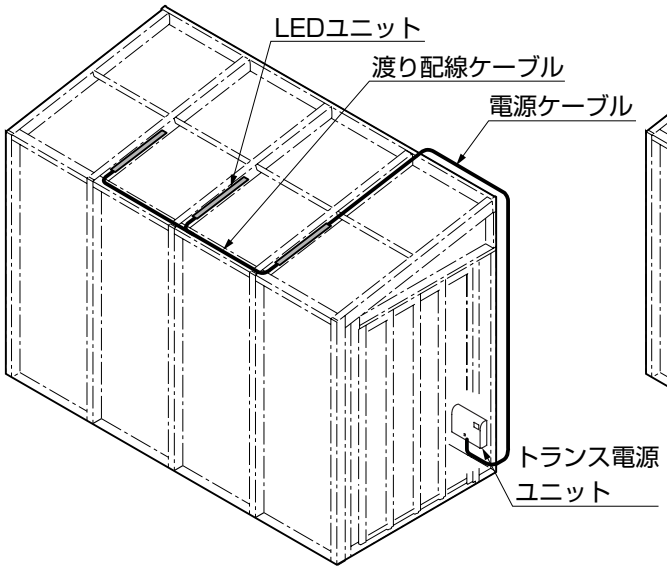


図2-1

（2）下部から配線する場合

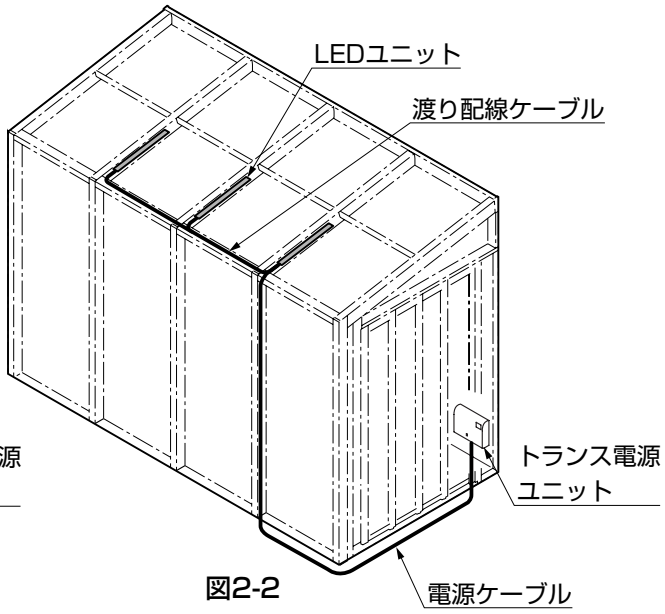
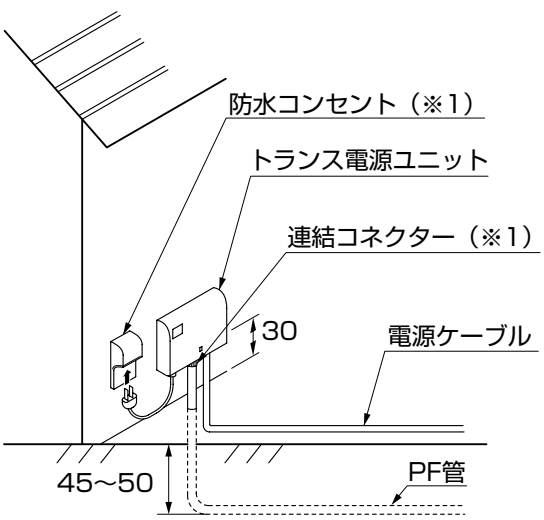
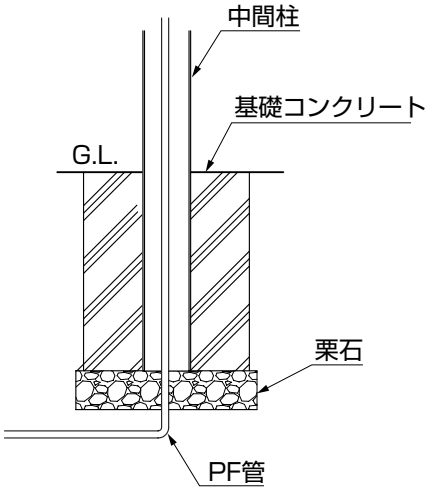


図2-2

①図2-1、図2-2のようにLEDユニットの配線をとりまわしてください。

2-2 配線工事





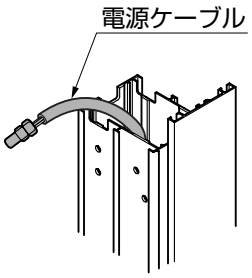


図2-4

図2-3　オープンテラスタイプ 柱埋込みの場合

①トランス電源ユニットを取付けてください。

ポイント

- ●トランス電源ユニットの取付けは、「トランス電源ユニット取扱説明書（UZ051）」を参照してください。
- ●防水コンセント、連結コネクターは別途手配してください。（※1）
- ●躯体側から配線配管をする場合は、躯体側に配線を出してください。
- ●地下埋設する場合のPF管は、現場で手配してください。
- ●電源ケーブルは柱上部まで引出してください。（図2-4参照）
- ●電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切りつめてください。

3. 腰壁仕様の配線工事 オプション

※LED照明を取付ける場合の作業です。
※LEDユニットに同梱されている取付説明書〈Z217〉は使用しません。

3-1 LEDユニット配線のとりまわし

（1）上部から配線する場合

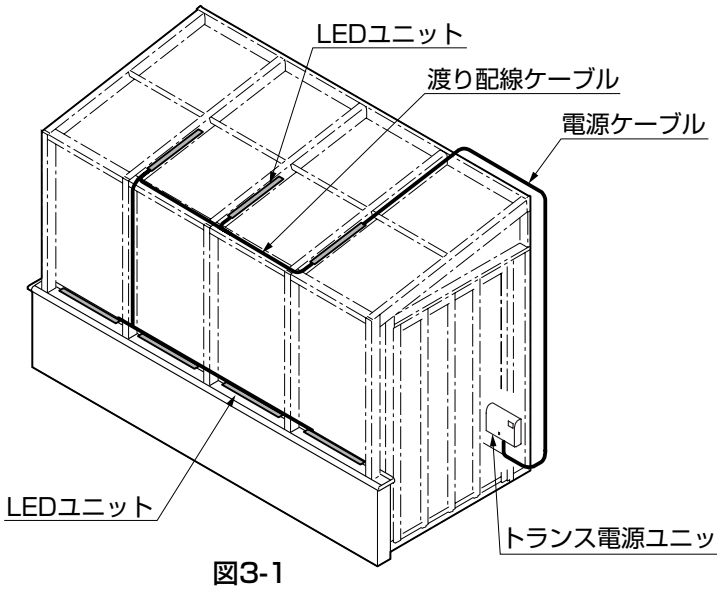


図3-1

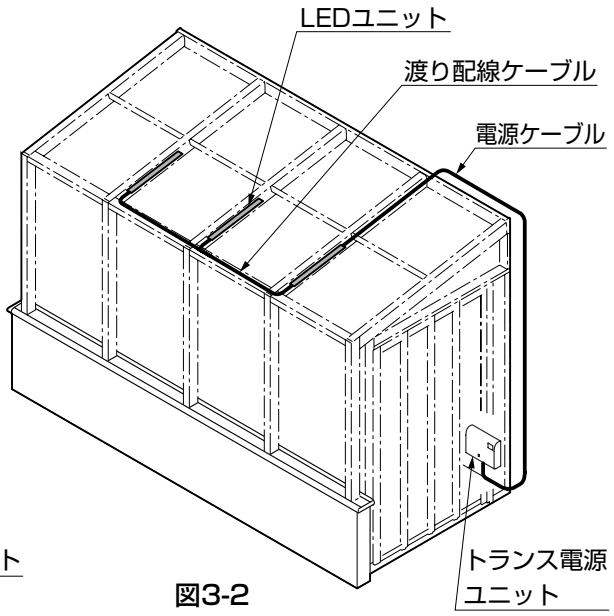


図3-2

①図3-1、図3-2のようにLEDユニットの配線をとりまわしてください。

ポイント

●LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して6本まで連続接続が可能です。

（2）下部から配線する場合

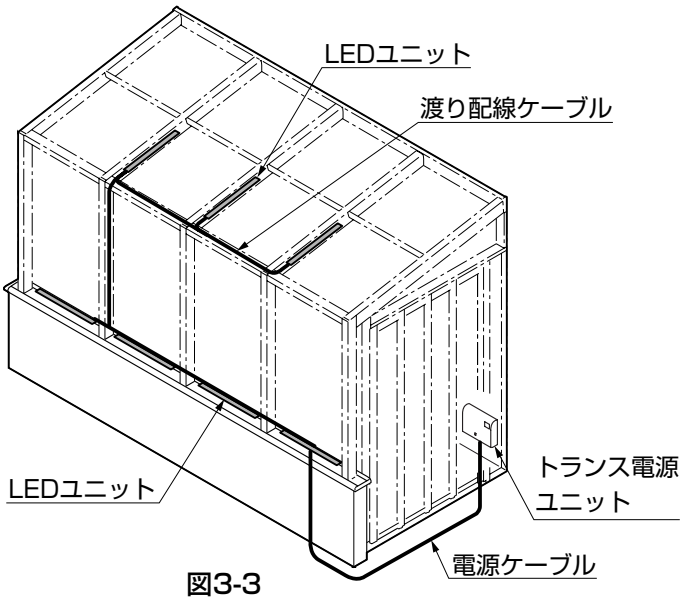


図3-3

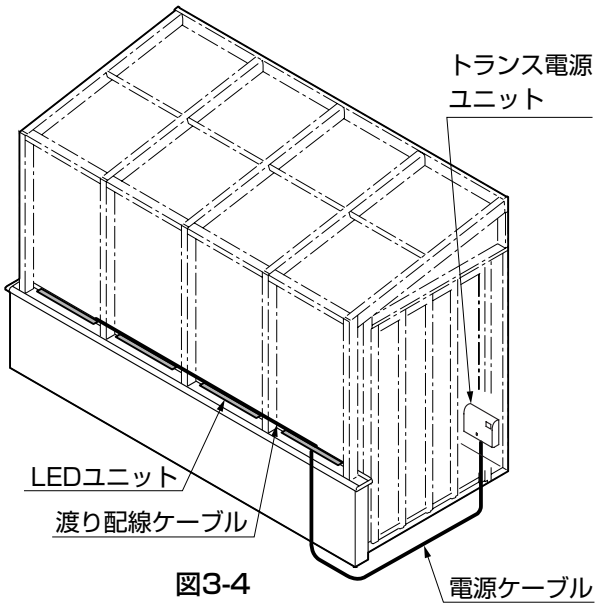


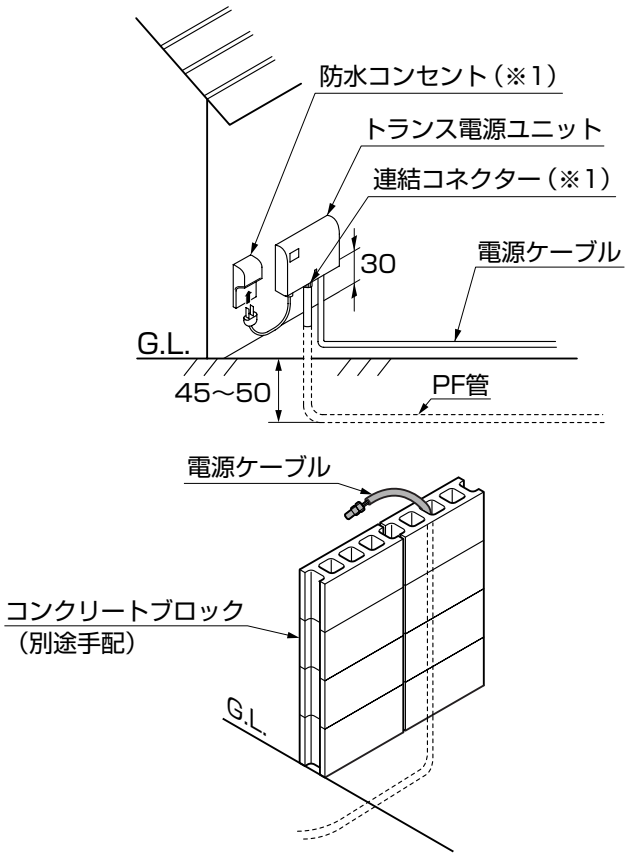
図3-4

①図3-3、図3-4のようにLEDユニットの配線をとりまわしてください。

ポイント

●LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して6本まで連続接続が可能です。

3-2 配線工事



①トランス電源ユニットを取付けてください。

ポイント

- ●トランス電源ユニットの取付けは「トランス電源ユニット取扱説明書（UZ051）」を参照してください。
- ●防水コンセント、連結コネクターは別途手配してください。（※1）
- ●躯体側から配線配管をする場合は躯体側に配線を出してください。
- ●PF管は、現場で手配してください。
- ●電源ケーブルはコンクリートブロック内を通してください。
- ●電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切りつめてください。

②「3 本体の施工 3. 腰壁仕様の配線工事 オプション 3-1 LEDユニット配線のとりまわし」を参照してココマ本体に電源ケーブルをまわしてください。

4. 垂木掛けの取付け

※連棟の場合は「3 本体の施工 5. 連棟の場合の垂木掛けの取付け」と同時に行う作業です。

4-1 垂木掛けの取付け

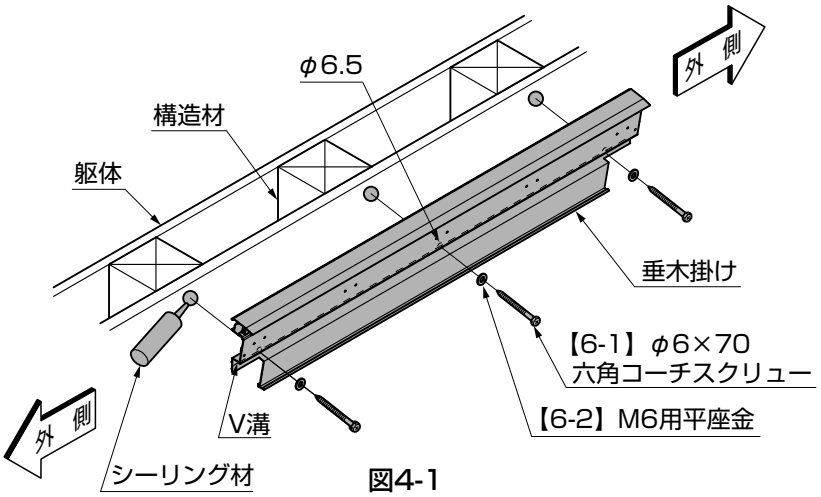


図4-1

①垂木掛けのV溝部に、φ6.5の孔をあけてください。
②垂木掛けを躯体に【6-2】、【6-1】で取付けてください。

注意

- ●垂木掛けは強度確保のため、必ず躯体の柱、間柱等の構造材に取付けてください。

4.（つづき）

4-1 つづき

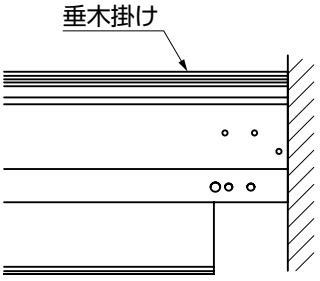


図4-2　入隅時の垂木掛けの位置

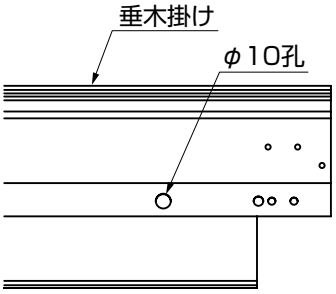


図4-3　LED照明 オプション を取付ける場合

ポイント

- ●垂木掛けの水平・垂直に注意してください。
- ●入隅の場合は図4-2のように垂木掛けを取付けてください。
- ●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
- ●LED照明 オプション を取付ける場合は、「3 本体の施工 2.基本仕様の配線工事 オプション (1) 上部から配線する場合」または、「3 本体の施工 3.腰壁仕様の配線工事 オプション (1) 上部から配線する場合」を参照して電源ケーブルを通す位置の垂木掛けにφ10の孔をあけ、躯体内に配線してください。(図4-3参照)
- ●ワイヤレスガーデンスピーカーを取付ける場合、その電源ケーブルの配線は、LED照明用電源ケーブルと同様に行なってください。

4-2 垂木組付金具の取付け

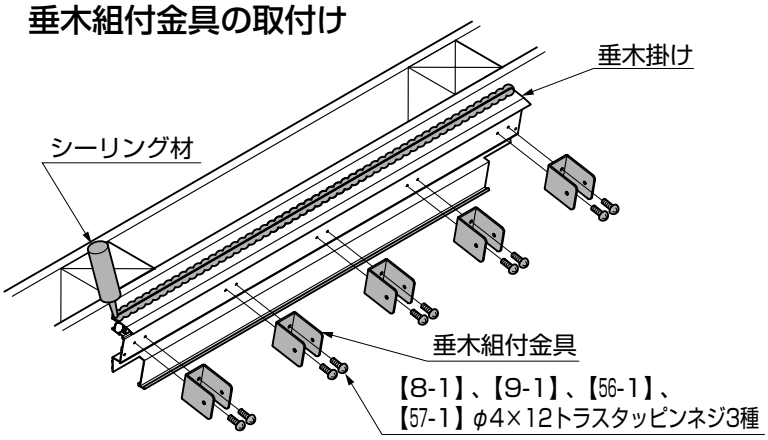


図4-4　垂木組付金具の取付け

①垂木組付金具を垂木掛けに、【8-1】または【9-1】、【56-1】、【57-1】で取付けてください。

ポイント

- ●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
- ●ガーデンルームタイプの場合は、垂木取付金具を取付けた後、「3 本体の施工 4. 垂木掛けの取付け 4-3 垂木掛け-上部方立取付金具の取付け」を行ってください。

4-3 垂木掛け-上部方立取付金具の取付け

※ガーデンルームタイプの場合の作業です。
※「3 本体の施工 4. 垂木掛けの取付け」と同時に行う作業です。

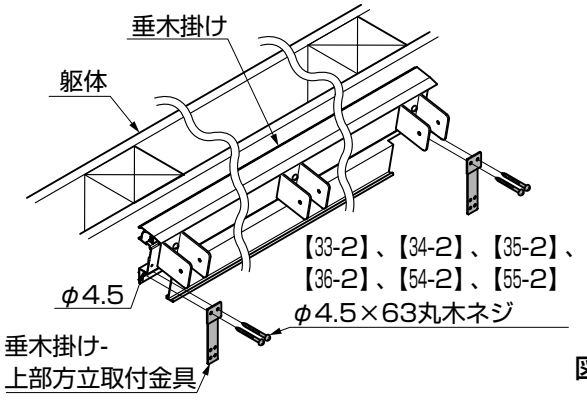


図4-5　垂木掛け-上部方立取付金具の取付け

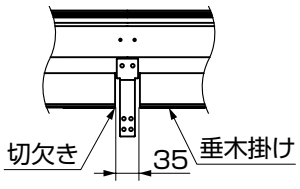


図4-6　ガーデンルーム
プラスタイプの場合

①垂木掛け-上部方立取付金具を垂木掛けに、【33-2】または【34-2】、【35-2】、【36-2】、【54-2】、【55-2】で取付けてください。(図4-5参照)

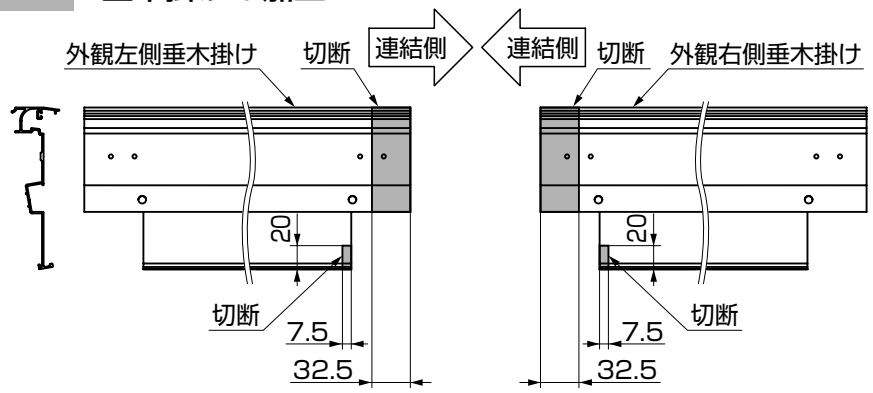
ポイント

- ●ガーデンルームプラスタイプの場合の垂木に上部方立を取付ける場合は、垂木掛けに切欠きが必要です。(図4-6参照)

5. 連棟の場合の垂木掛けの取付け

※連棟の場合の作業です。
※「3　本体の施工　4. 垂木掛けの取付け」と同時に行う作業です。

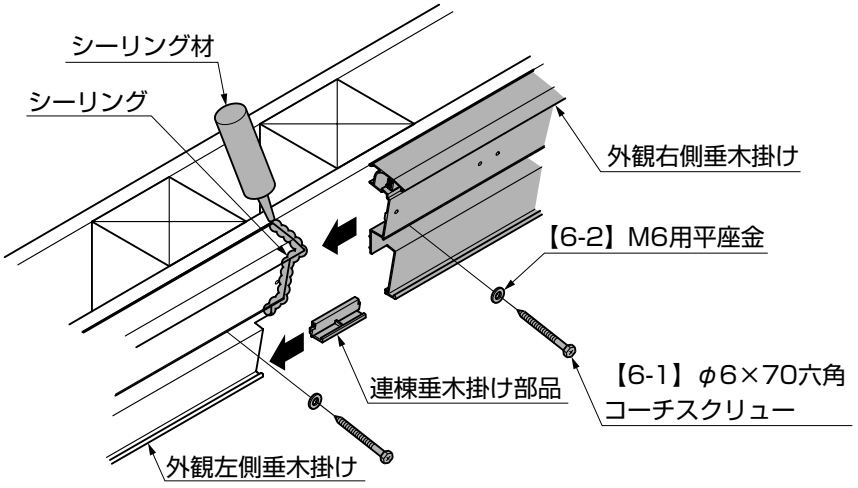
5-1　垂木掛けの加工



①連結する側の垂木掛け端部を、図5-1を参照して加工してください。

図5-1　垂木掛けの加工

5-2　垂木掛けの取付け



①垂木掛け連結部分にシーリングをして躯体に、【6-2】、【6-1】で取付けてください。

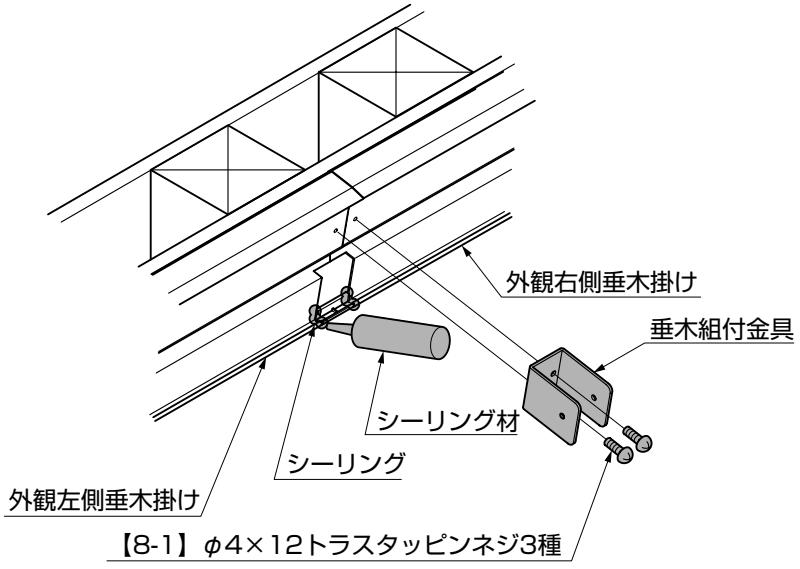
ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

②連棟垂木掛け部品を垂木掛けと垂木掛けで、はさみ込むようにして取付けてください。

図5-2　垂木掛けの取付け

5-3　垂木組付金具の取付け

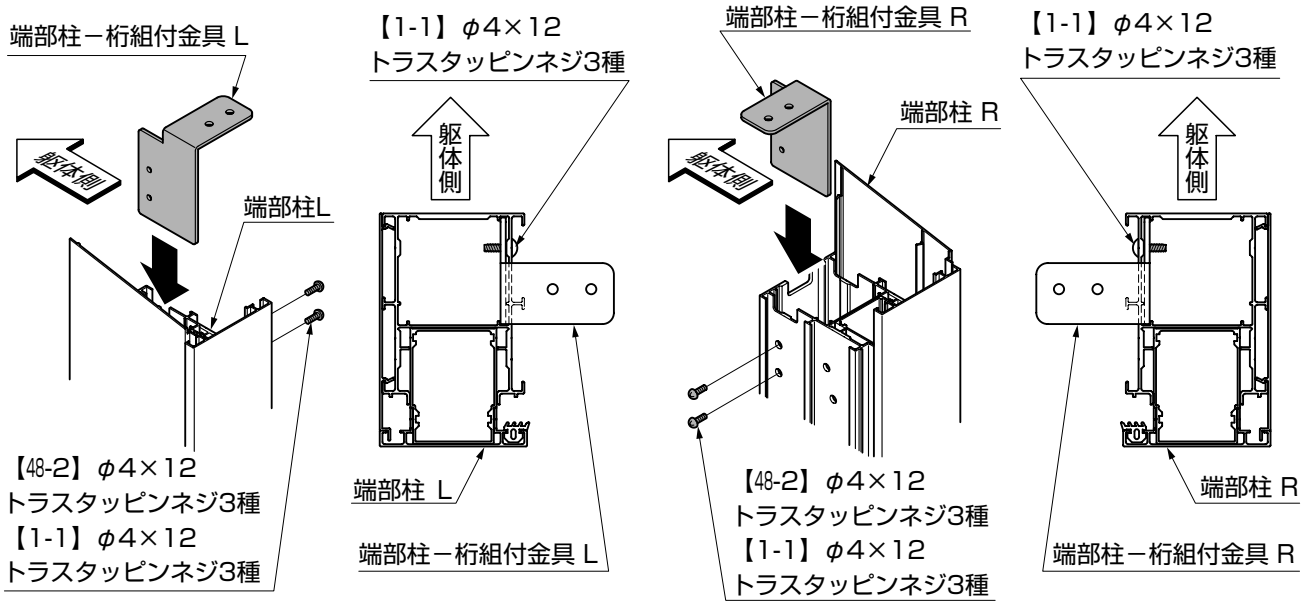


①垂木組付金具を連結した垂木掛けに、【8-1】で取付けてください。

図5-3　垂木組付金具の取付け

6. 基本仕様 柱の建込み ベースの取付け

6-1 柱－桁組付金具の取付け

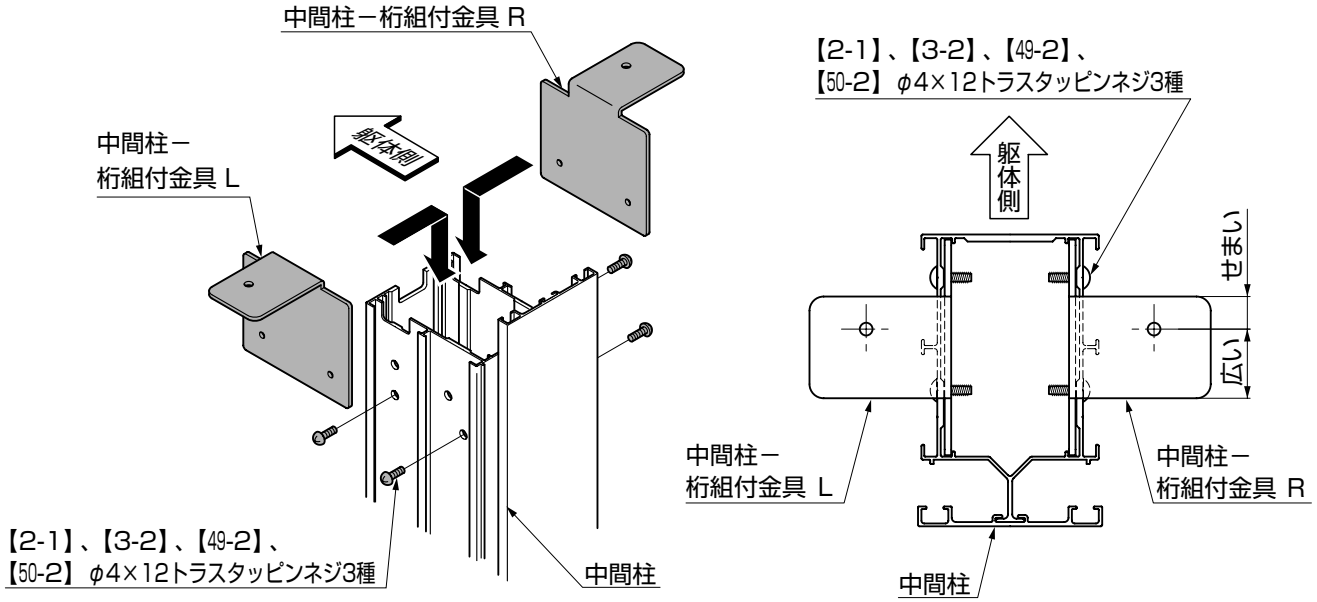


①端部柱－桁組付金具を端部柱に、【1-1】または【48-2】で取付けてください。

ポイント

●端部柱－桁組付金具は、左右取付方向があります。

6-2 中間柱－桁組付金具の取付け



①中間柱に中間柱－桁組付金具を、【2-1】または【3-2】、【49-2】、【50-2】で取付けてください。

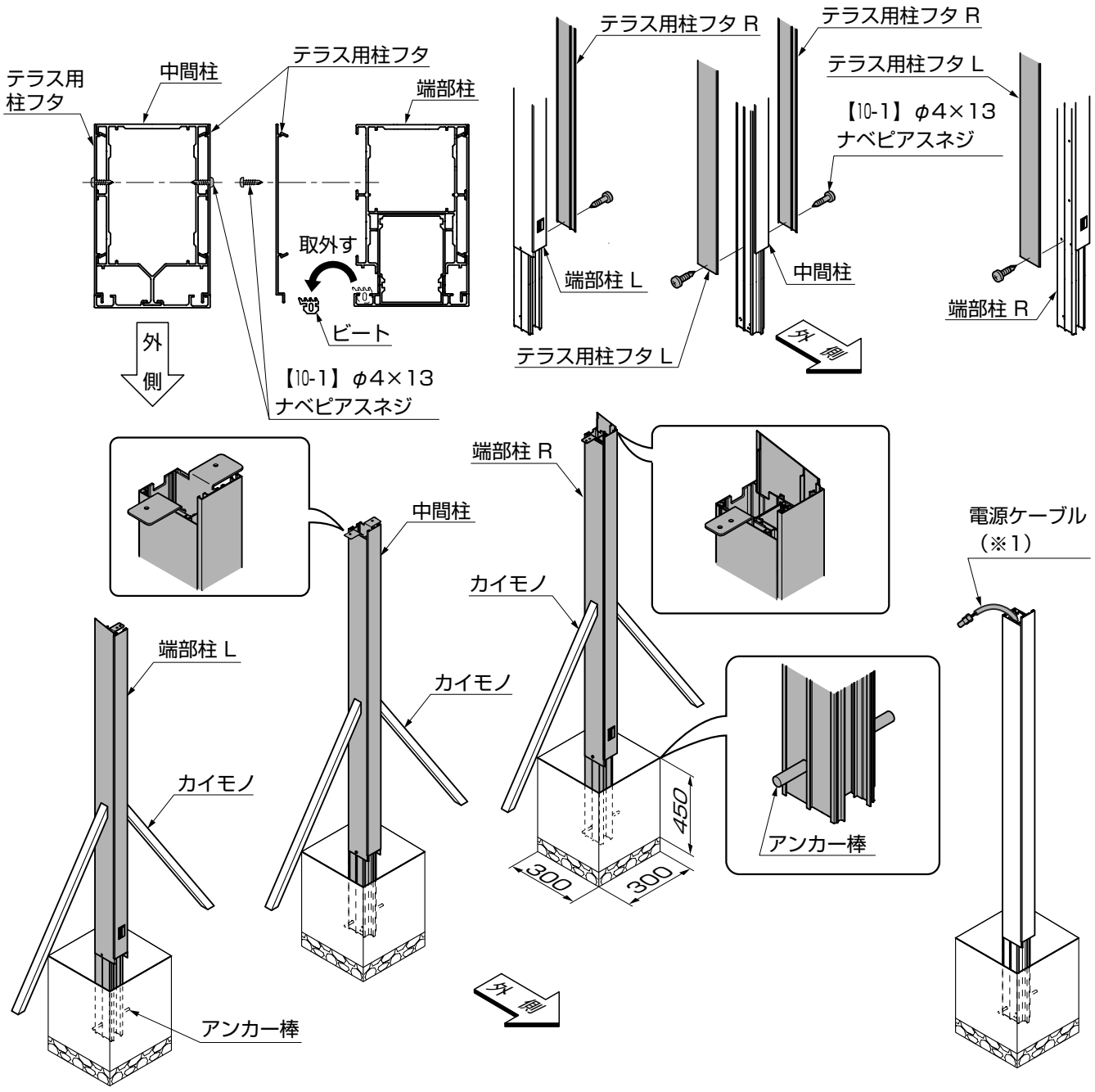
ポイント

●中間柱－桁組付金具には、左右取付方向があります。

E219_200607B

6-3 オープンテラスタイプの場合の柱の建込み

（1）柱を埋込む場合　※端部柱、中間柱を仮固定するカイモノなどは現場調達してください。



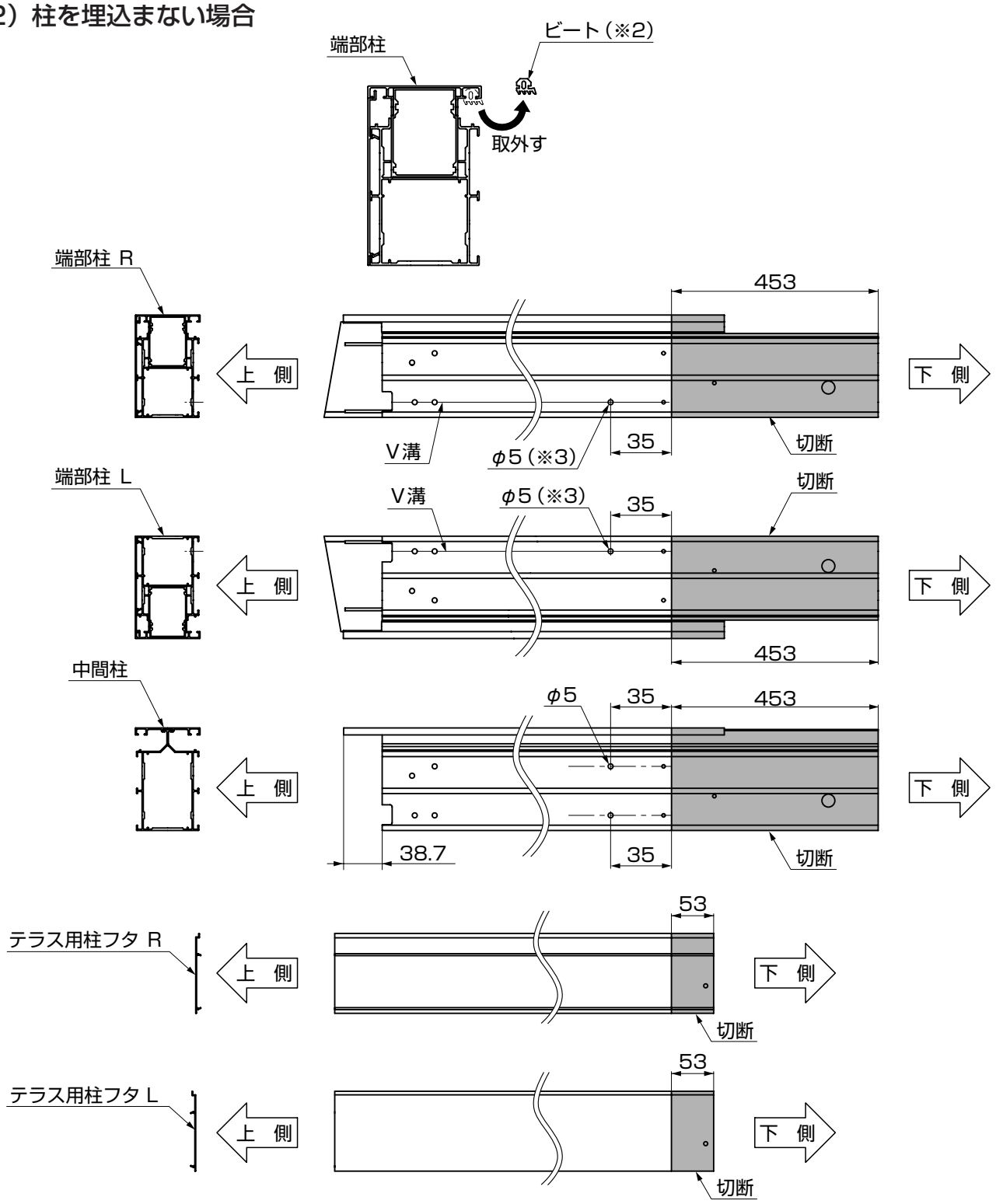
①端部柱からビートを取外してください。
②テラス用柱フタを端部柱、中間柱にはめ込んだ後、【10-1】を取付けてください。
③アンカー棒を端部柱、中間柱に差込み、「3 本体の施工 2 柱の位置出し」を参照して建込んでください。
④端部柱、中間柱が倒れないようにカイモノなどで仮固定してください。

ポイント

●LED照明 オプション を取付ける場合は、「3 本体の施工 2. 基本仕様の配線工事 オプション 」を参照して柱に電源ケーブルを通し、建込んでください。（※1）

6.（つづき）

（2）柱を埋込まない場合



①端部柱からビートを取外してください。（※2）
②端部柱、中間柱、テラス用柱フタを加工してください。

ポイント

●端部柱にφ5の貫通孔をあける場合は、端部柱に取付いている柱フタを一度ずらし、柱フタに孔をあけないようにしてください。（※3）

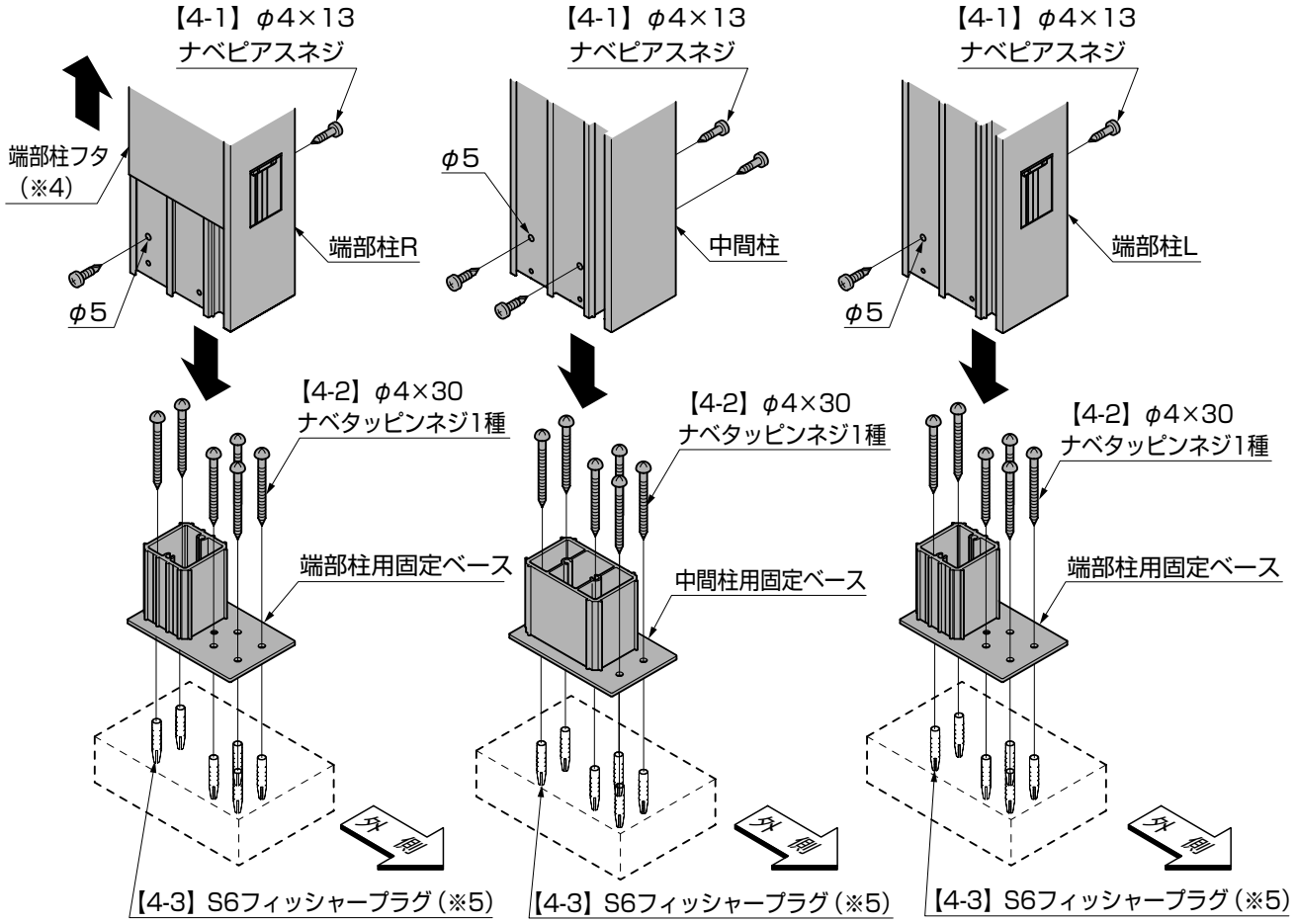


図6-1　図6-2　図6-3

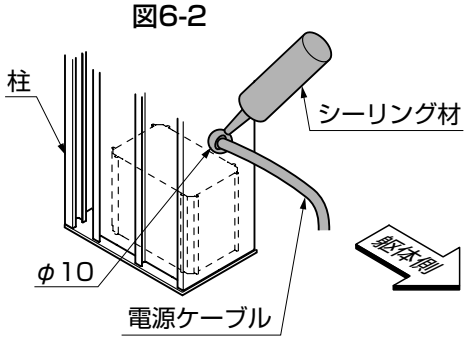


図6-4　LED照明 オプション を取付ける場合

③【4-3】を固定してから柱用固定ベースを、【4-2】で取付けてください。(図6-1、図6-2、図6-3参照)
④端部柱、中間柱を端部柱用固定ベース、中間柱用固定ベースに、【4-1】で取付けてください。(図6-1、図6-2、図6-3参照)

ポイント

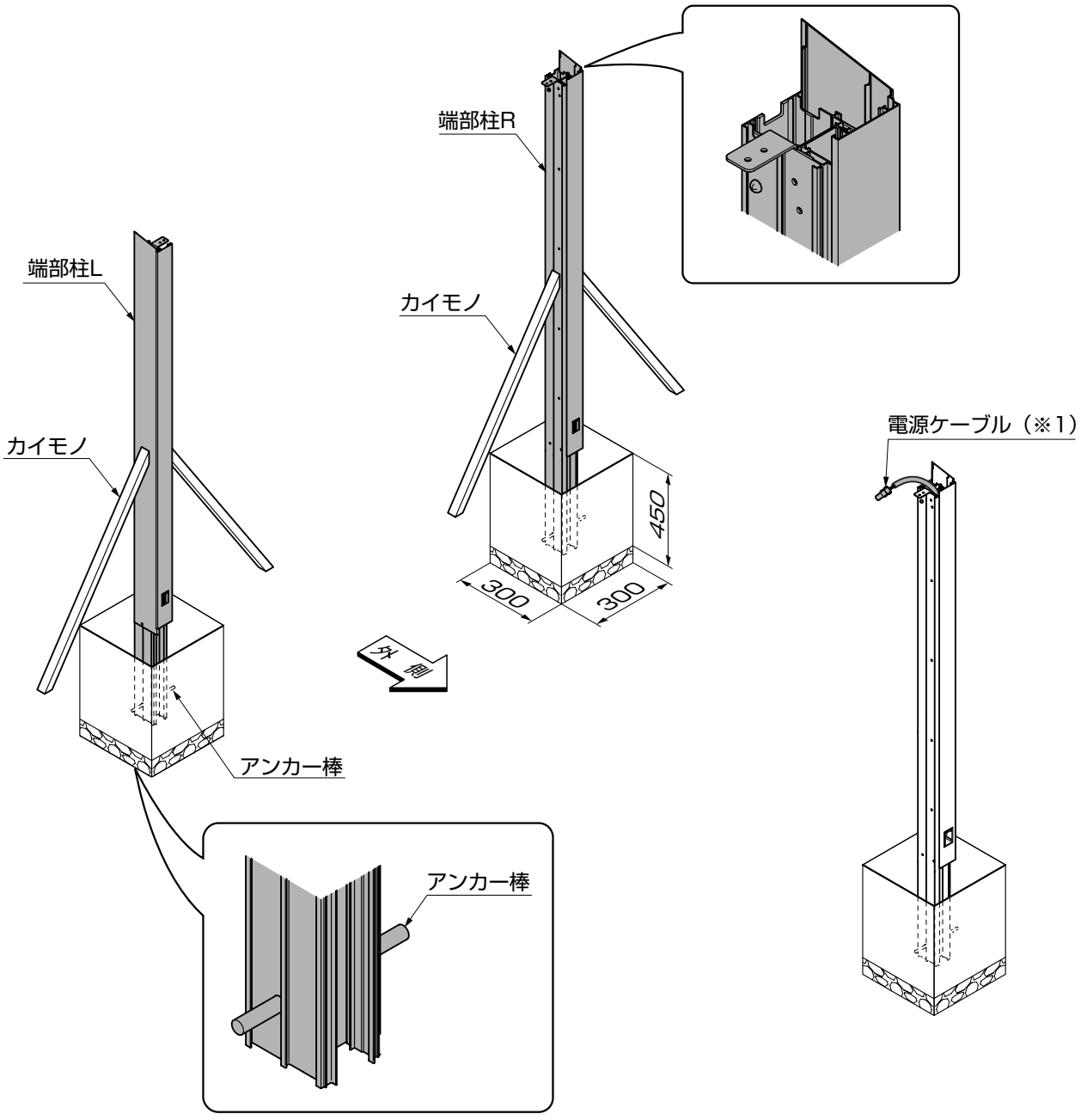
- 【4-3】を固定する際に土間の強度を確認してください。
- 端部柱を端部柱固定ベースに【4-1】で取付ける際に、端部柱に取付いている柱フタを一度上にずらし、【4-1】で取付けた後、元の位置に戻してください。(※4)
- デッキへ取付ける場合は【4-3】は不要です。(※5)
- LED照明 オプション を取付ける場合は、「3　本体の施工　2. 基本仕様の配線工事 オプション 」を参照してください。
- LED照明 オプション を下部から配線する場合は、電源ケーブルを通す柱の柱固定ベースを避ける位置にφ10の孔をあけ、電源ケーブルを通してください。(図6-4参照)

E219_200607B

6.（つづき）

6-4 サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合の柱の建込み

（1）柱を埋込む場合　※端部柱を仮固定するカイモノ等は、現場調達してください。



①端部柱にアンカー棒を差込み、「2　柱の位置出し」を参照して建込んでください。
②端部柱が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。

ポイント

●LED照明 オプション を取付ける場合は「3　本体の施工　2. 基本仕様の配線工事 オプション 」を参照して柱に配線を通して、建込んでください。（※1）

(2) 柱を埋込まない場合

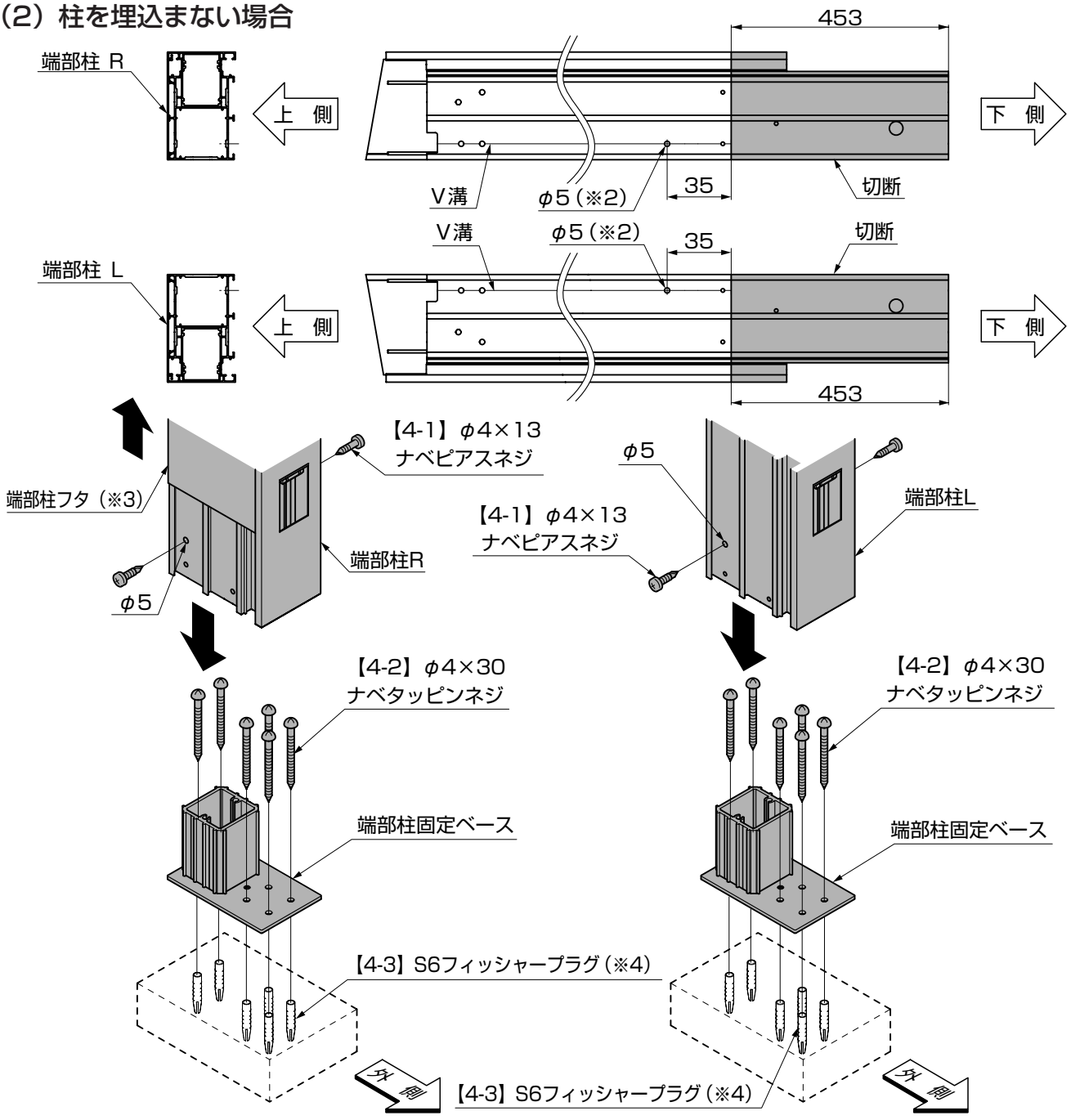


図6-5　　図6-6

①端部柱を加工してください。
②【4-3】を固定してから端部柱固定ベースを、【4-2】で取付けてください。(図6-5、図6-6参照)
③端部柱を端部柱固定ベースに、【4-1】で取付けてください。(図6-5、図6-6参照)

ポイント

- ●【4-2】を固定する際は、土間の強度を確認してください。
- ●端部柱にφ5の貫通孔をあける場合は、端部柱に取付いている柱フタを一度ずらし、柱フタに孔をあけないようにしてください。(※2)
- ●端部柱を端部柱固定ベースに【4-1】で取付ける際に、端部柱に取付いている柱フタを一度上にずらし、【4-1】で取付けた後、元の位置に戻してください。(※3)
- ●デッキへ取付ける場合は【4-3】は不要です。(※4)

6.（つづき）

6-5 入隅の場合 ※図は右入隅の場合を示します。左入隅の場合は対称です。

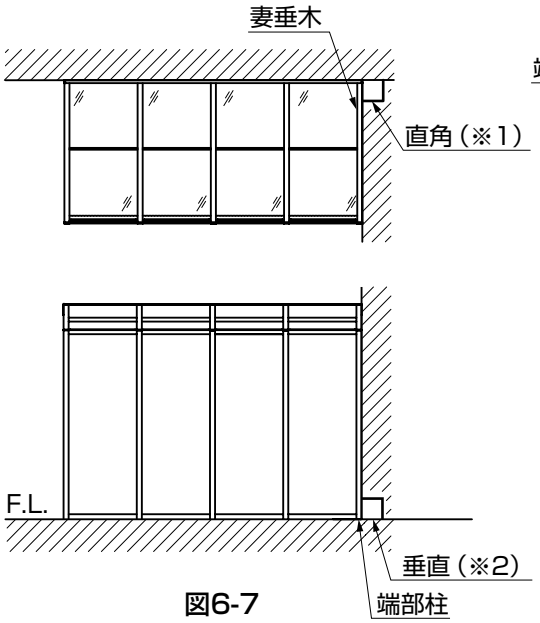


図6-7

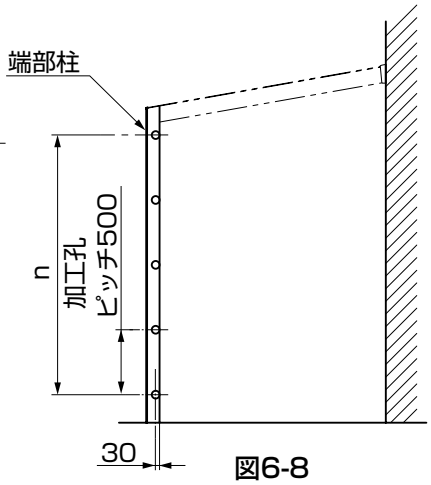


図6-8

表6-1

	加工孔n
H20	5
H22	5
H24	6

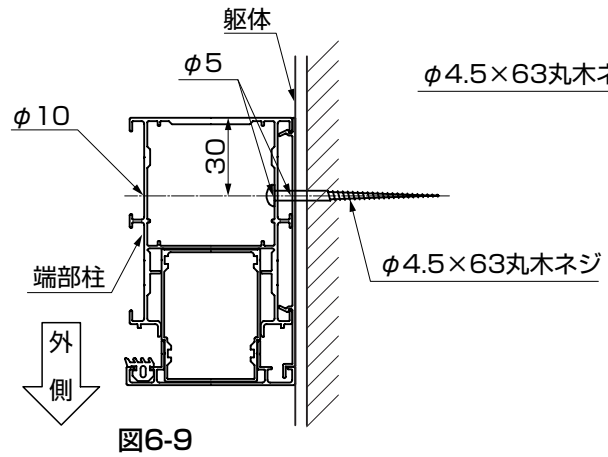


図6-9

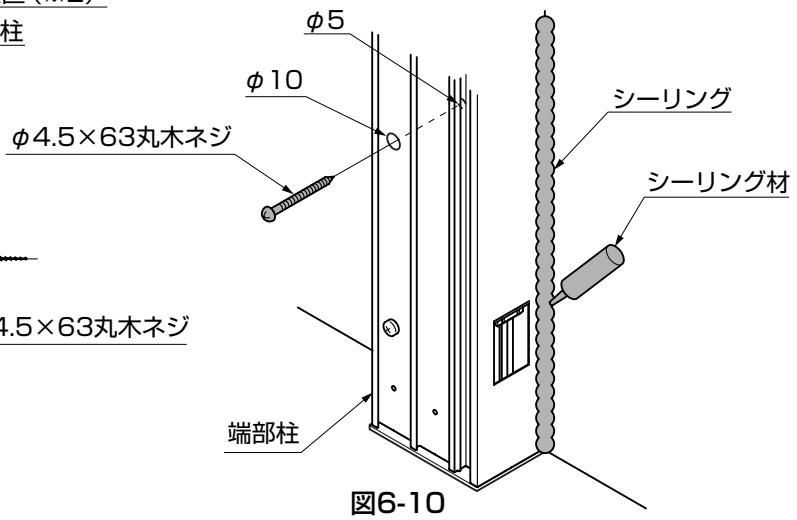


図6-10

ポイント

●躯体外壁の直角度（※1）、垂直度（※2）に狂いが生じている場合は、取付けることができませんので、修正してください。修正時の部材については、現場で手配してください。（図6-7参照）

①入隅側の端部柱に、φ10、φ5の孔をあけてください。（図6-8、図6-9、表6-1参照）
②端部柱と躯体を、「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。（図6-9、図6-10参照）

ポイント

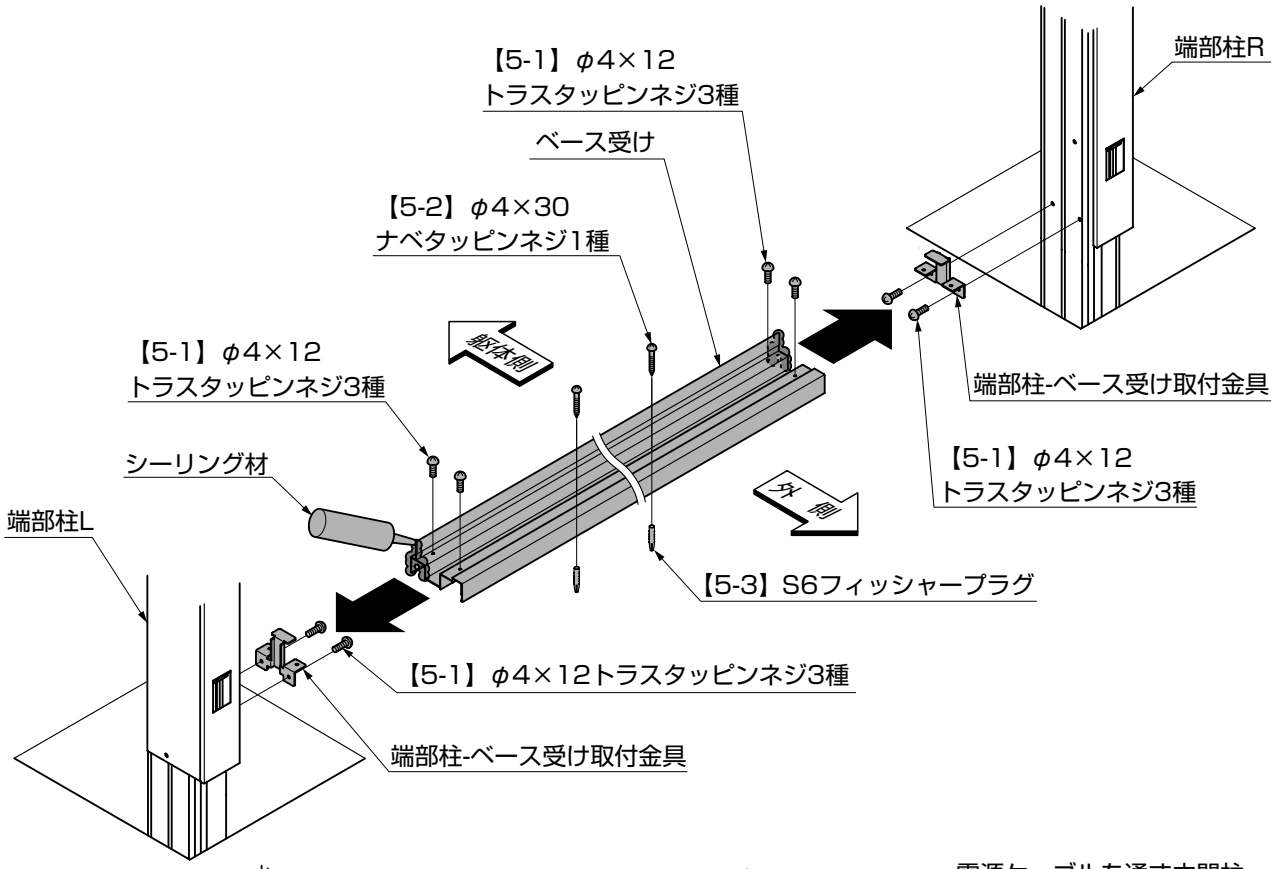
●「φ4.5×63丸木ネジ」は、現場で手配してください。

③端部柱と躯体の取合せ部にシーリングをしてください。（図6-10参照）

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
●入隅側のシーリング材は、現場で手配してください。

6-6 ベース受けの取付け　※サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合の作業です。



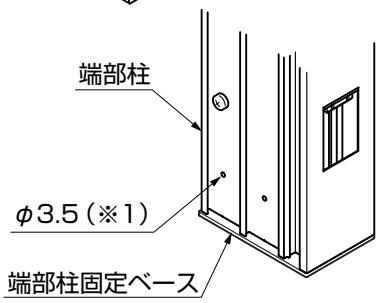


図6-11　柱を埋込まない場合

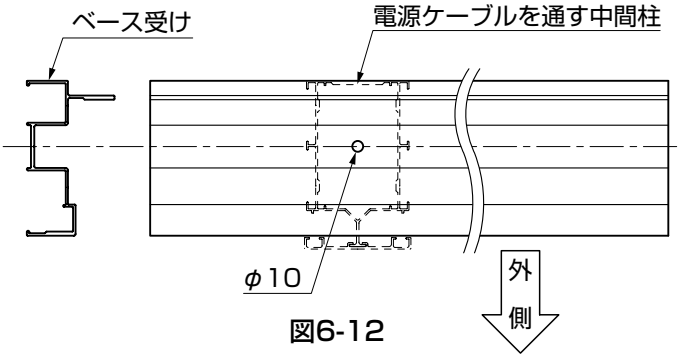


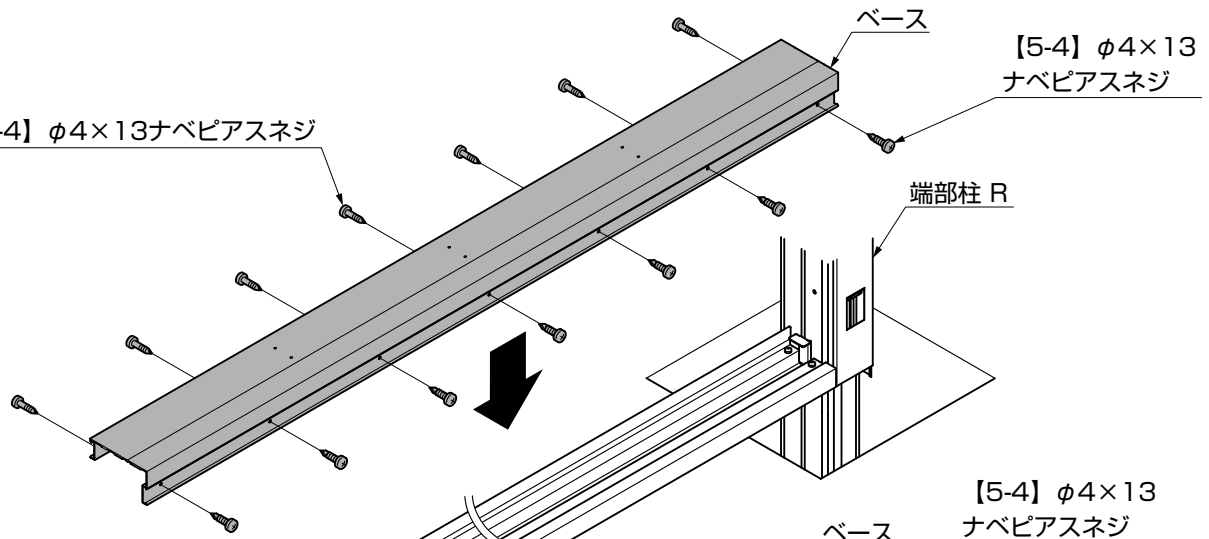
図6-12

①端部柱に端部柱-ベース受け取付金具を、【5-1】で取付けてください。
②ベース受けにシーリングをしてください。
③柱端部ベース受け取付金具にベース受けを、【5-1】で取付けてください。
④ベース受けを土間に、【5-3】、【5-2】で取付けてください。

ポイント

- ●【5-3】を固定する際は、土間の強度を確認してください。
- ●基礎コンクリートの打設は、ベース受け取付け前に行わないでください。ベース受けが取付けできなくなります。
- ●柱を埋込まない仕様の場合には、（※1）の孔をガイドにφ3.5の孔を端部柱固定ベースにあけてください。（図6-11参照）
- ●LED照明 オプション を取付ける場合は、「3 本体の施工　2. 基本仕様の配線工事 オプション 」を参照して、電源ケーブルを通す中間柱取付け位置のベース受けに、φ10の孔をあけ、電源ケーブルをとりまわしてください。（図6-12参照）
- ●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

6-7 ベースの取付け　※サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合の作業です。



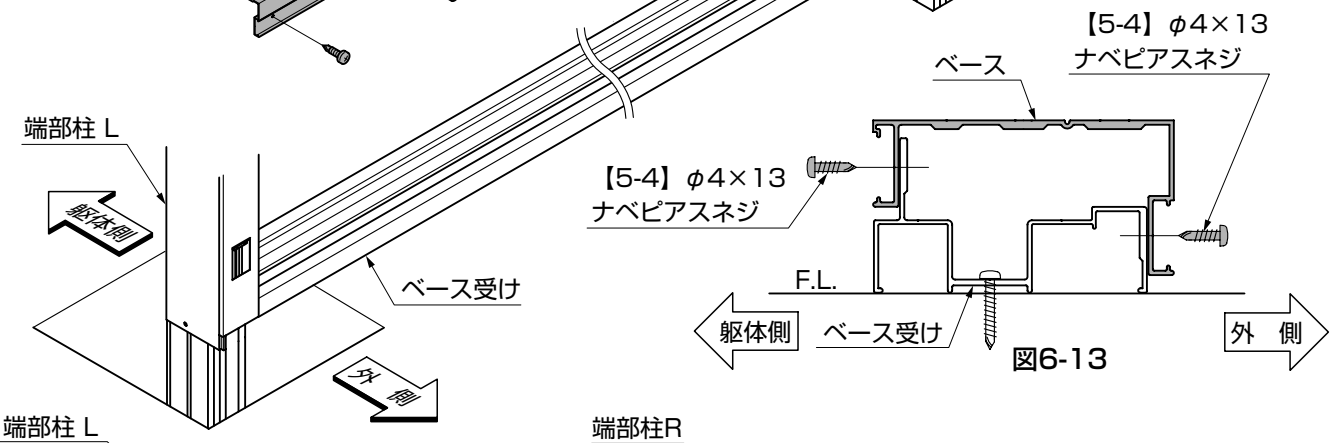


図6-13

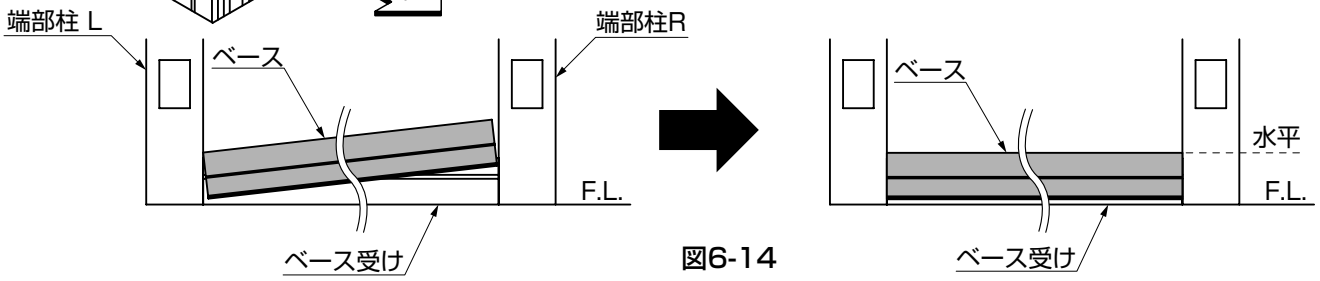


図6-14

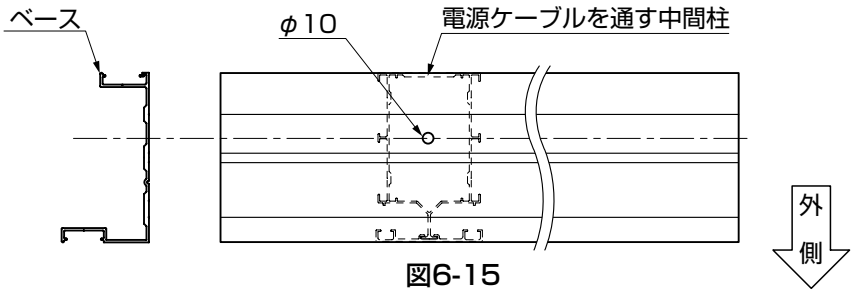


図6-15

①ベースをベース受けに、【5-4】で取付けてください。

ポイント

●ベースは水平になるように取付けてください。（図6-14参照）
●LED照明 オプション を取付ける場合は、「3　本体の施工　2. 基本仕様の配線工事 オプション 」を参照して、電源ケーブルを通す中間柱取付け位置のベースにφ10の孔をあけ、電源ケーブルをとりまわしてください。（図6-15参照）

6-8 パネル枠フタの取付け　※サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合の作業です。

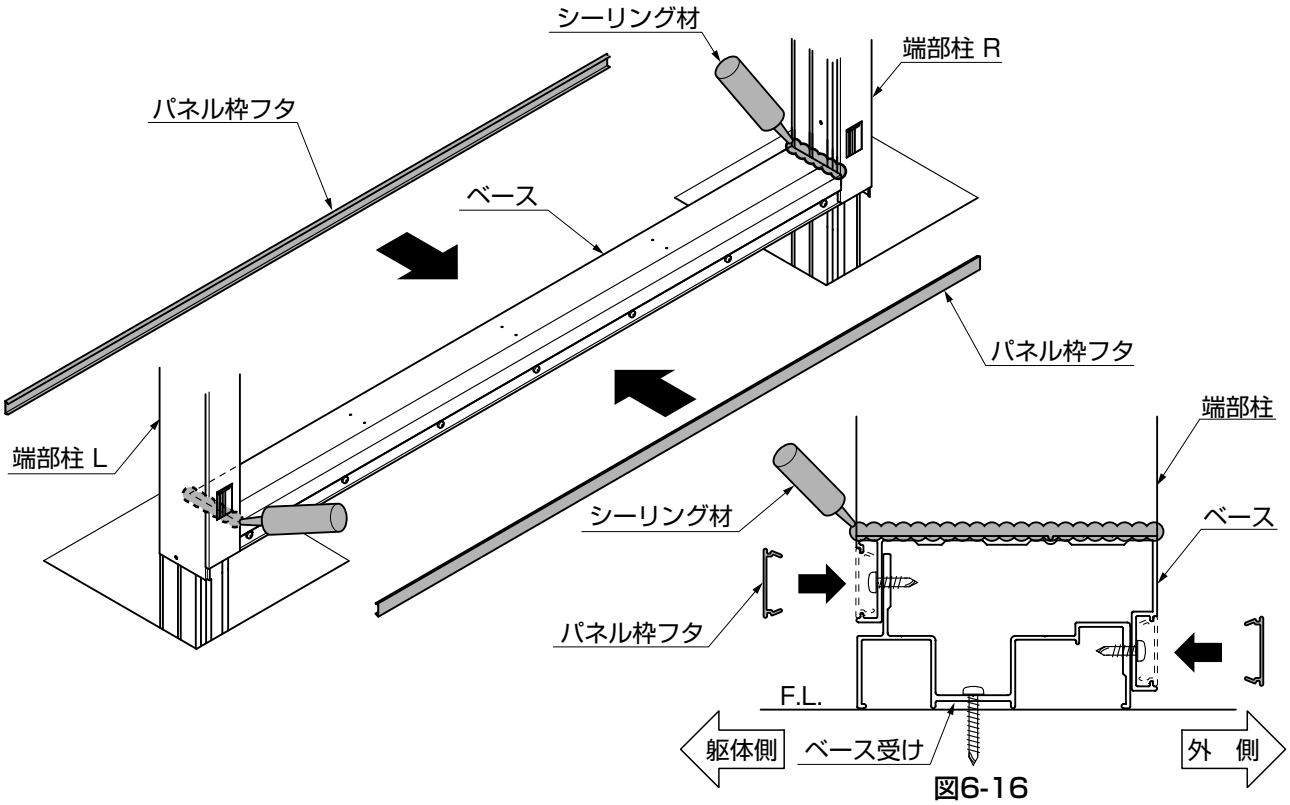


図6-16

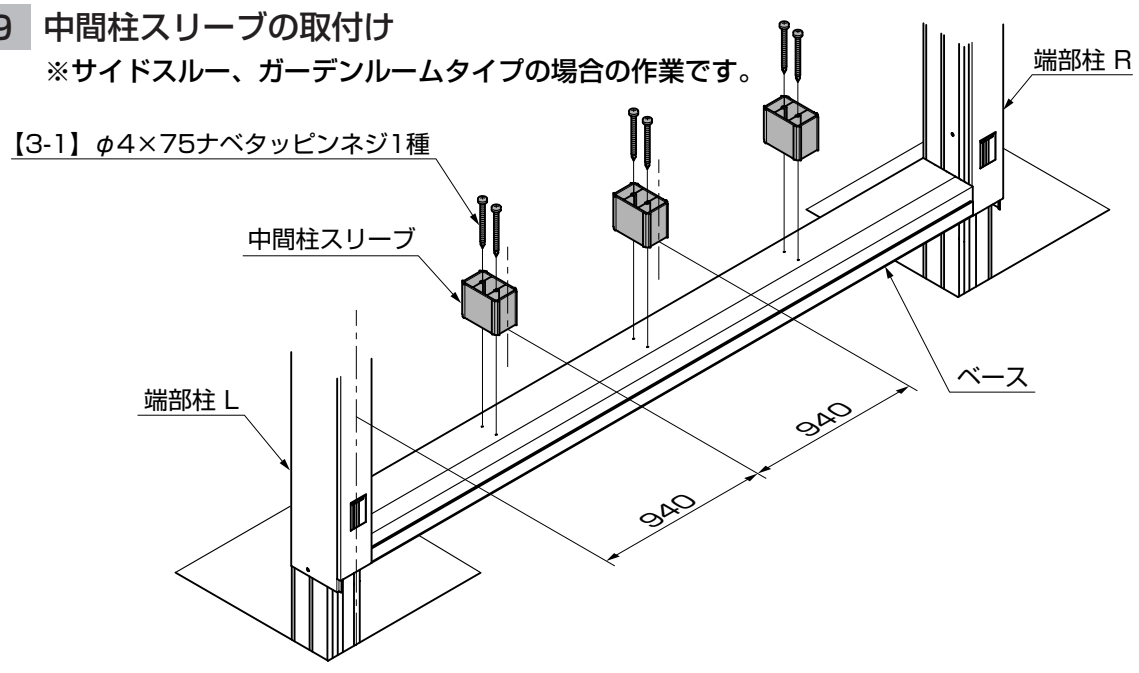
①パネル枠フタを、ベースにはめ込んでください。
②端部柱とベースが接する箇所に、シーリングをしてください。

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

6-9 中間柱スリーブの取付け

※サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合の作業です。



①中間柱スリーブをベースに、【3-1】で取付けてください。

6.（つづき）

6-10 中間柱の建込み　※サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合の作業です。

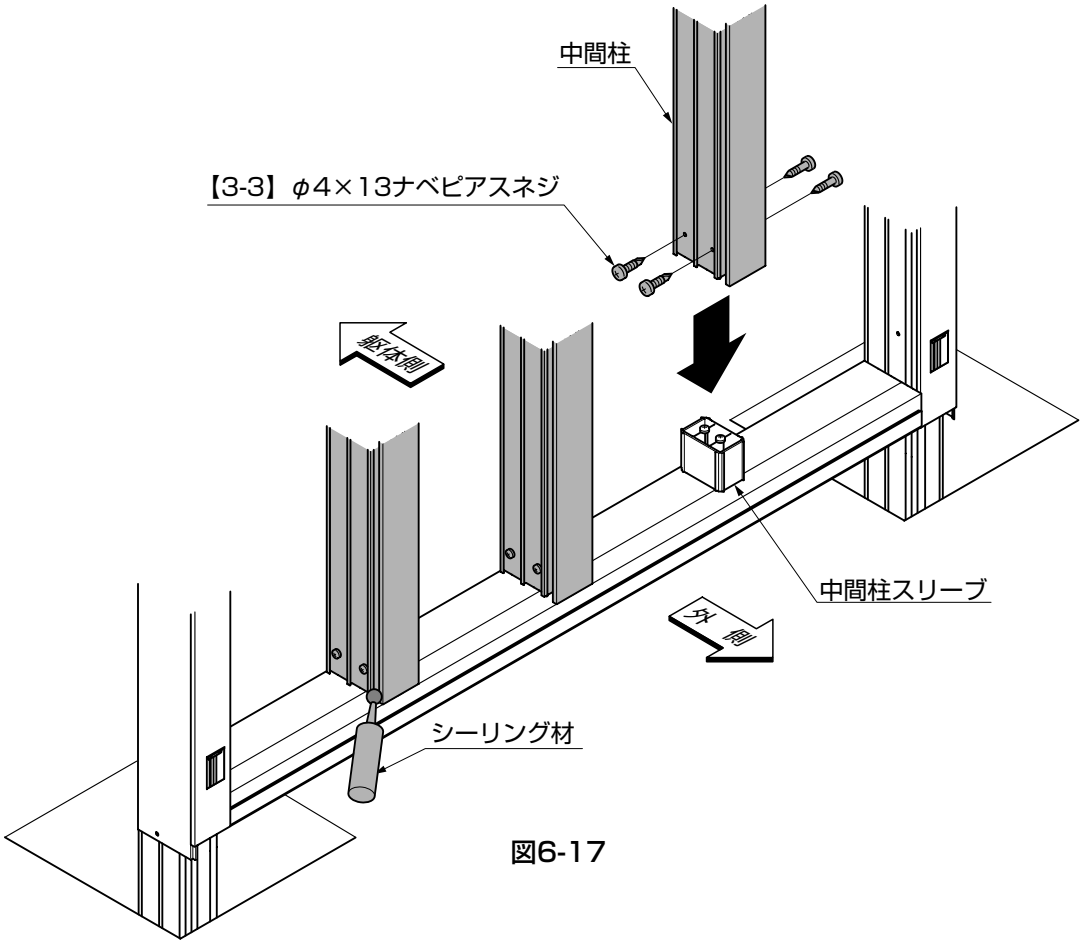


図6-17

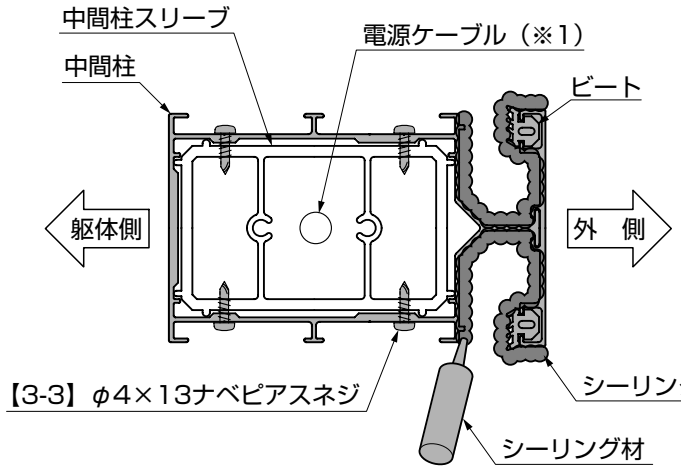


図6-18

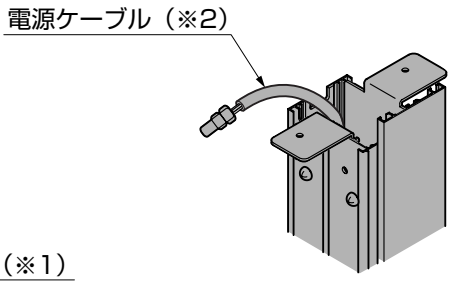


図6-19

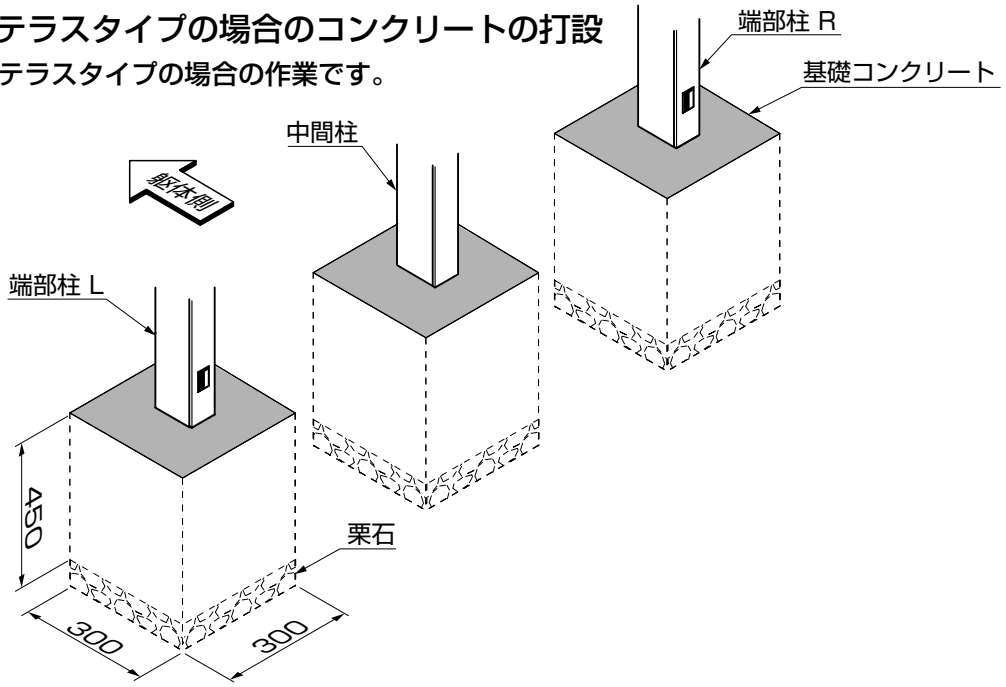
①中間柱を中間柱スリーブに、【3-3】で取付けてください。（図6-17参照）
②中間柱を取付けた後、ベースと接する※1の箇所にシーリングをしてください。

ポイント

- ●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
- ●LED照明 オプション を取付ける場合は、「3　本体の施工　2. 基本仕様の配線工事 オプション」を参照して柱に電源ケーブルを通し、建込んでください。（※2）

6-11 オープンテラスタイプの場合のコンクリートの打設

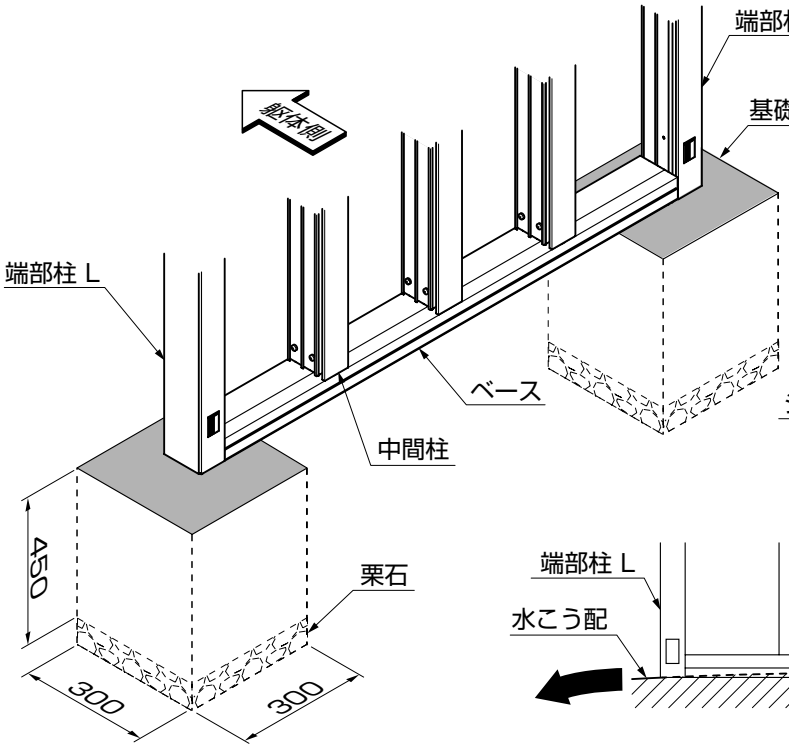
※オープンテラスタイプの場合の作業です。



①基礎コンクリートを打設してください。

6-12 サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合のコンクリートの打設

※サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合の作業です。



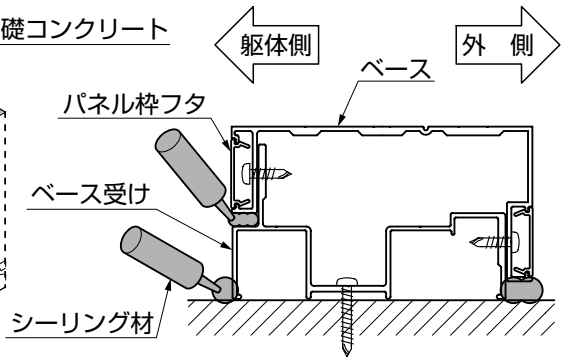


図6-20

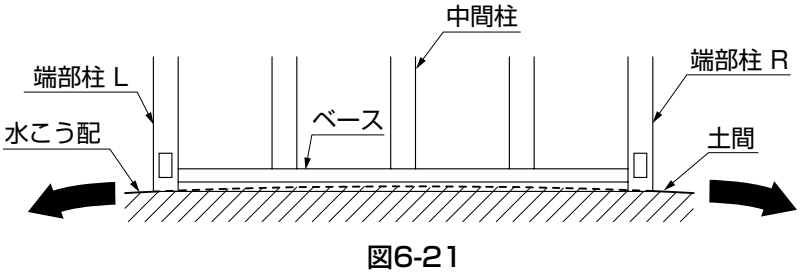


図6-21

①基礎コンクリートを打設してください。

②基礎土間工事完了後、ベース受けの外周に、シーリングをしてください。(図6-20参照)

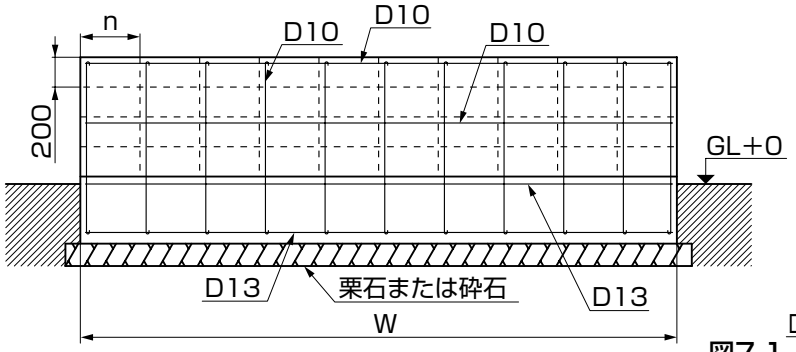
ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

●ベース材の中心から端部柱の方向へ、土間の水こう配をとってください。(図6-21参照)

7. 腰壁仕様 柱の建込み ベースの取付け ※腰壁仕様の場合の作業です。

7-1 腰壁用ベース受けの取付け



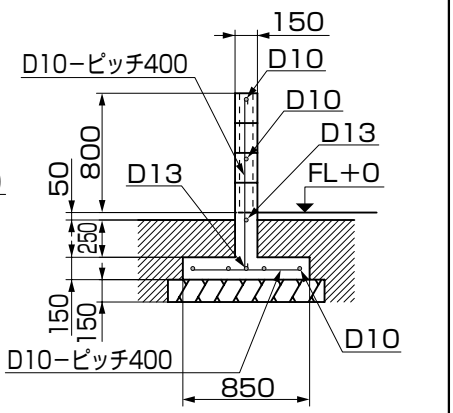


図7-1

表7-1

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
n (列)	6	8	10	13	15
W (mm)	2400	3200	4000	5200	6000

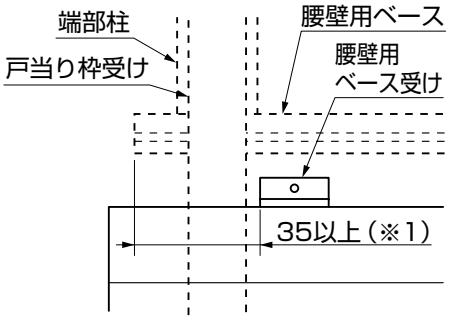


図7-3

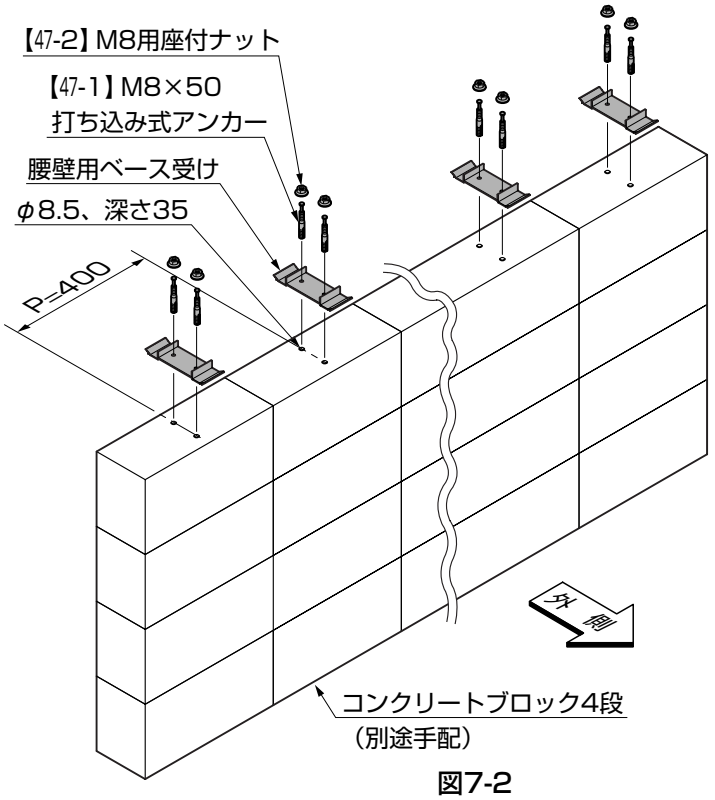


図7-2

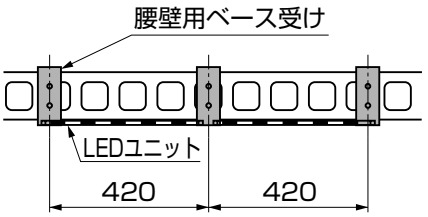


図7-4 LED標準プラン

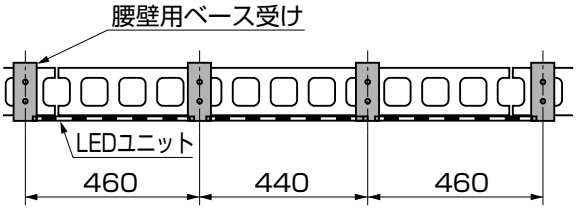


図7-5 LED連続プラン

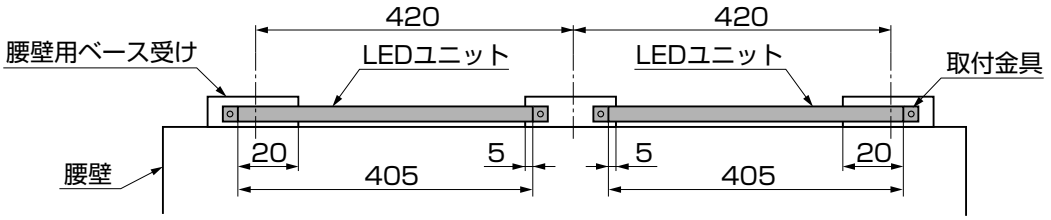
①所定の位置にφ8.5、深さ35の孔をあけてください。
②腰壁用ベース受けをφ8.5の孔に、【47-2】、【47-1】、【47-3】で取付けてください。(図7-2参照)

ポイント

- ●腰壁用ベース受けは、腰壁用ベースの端部から35mm以上 (※1) かつ、戸当り枠受けに干渉しない位置に埋込んでください。(図7-3参照)
- ●ココマ本体の所定寸法は、FL+0 (=GL+50) が基準です。
- ●寒冷地で凍上するおそれのある地域で施工する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ●笠木にLEDユニットを取付ける場合の腰壁用ベース受けの取付けピッチは、図7-4、図7-5にしたがってください。

7-2 腰壁笠木LEDユニットの配置 オプション ※LED照明を取付ける場合の作業です。

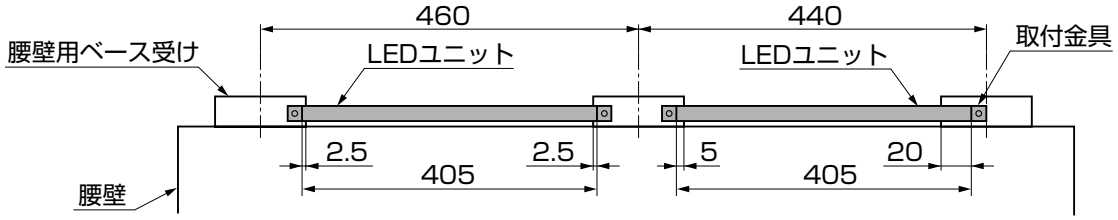
（1）標準プラン



ポイント

●腰壁用ベース受けを420mmピッチで取付けた部分に、LEDユニットを2連続取付けしてください。

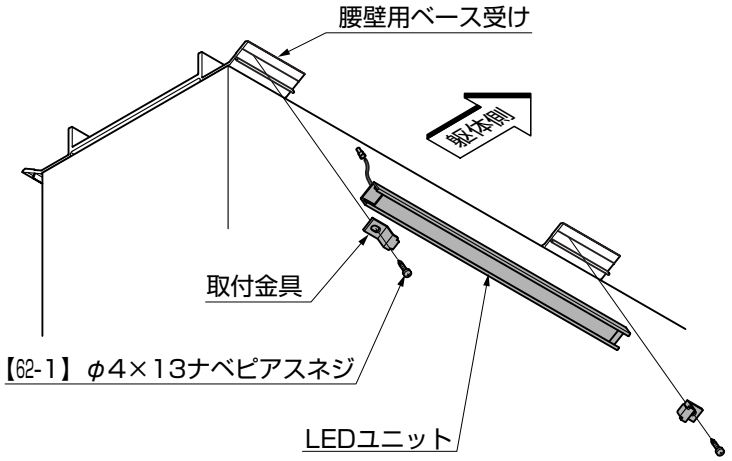
（2）連続プラン

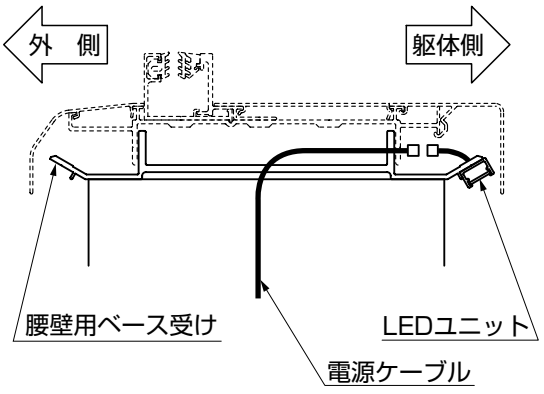


ポイント

●腰壁用ベース受けを460mmピッチ、440mmピッチと交互に取付けた部分に、LEDユニットを連続取付けしてください。

7-3 LEDユニットの取付け オプション ※LED照明を取付ける場合の作業です。





①LEDユニットを腰壁用ベース受けに取付金具と、【62-1】で取付けてください。

7-4 LED照明の結線 オプション ※LED照明を取付ける場合の作業です。

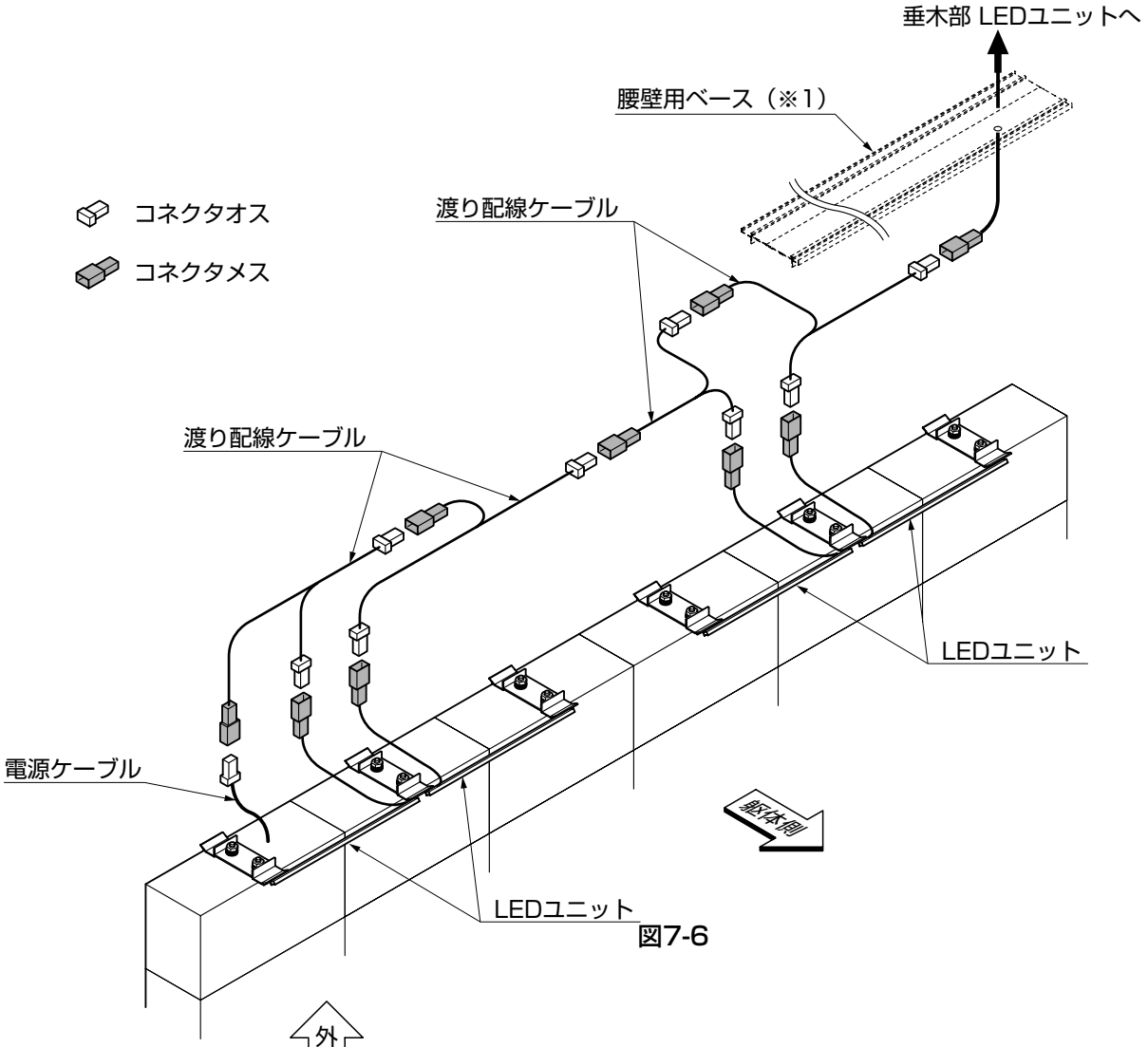


図7-6

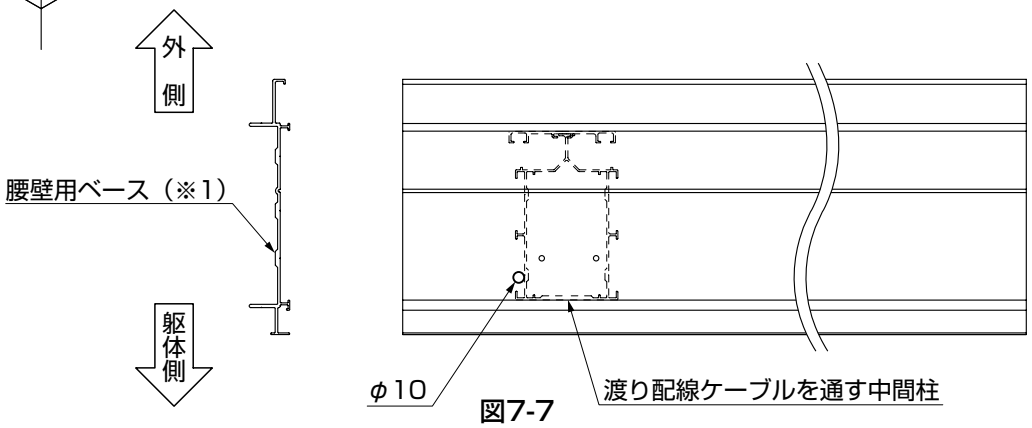


図7-7

①LED照明結線は、図7-6を参照してとりまわしてください。

ポイント

- ●LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して6本まで連続接続が可能です。
- ●垂木部にLEDユニットを取付ける場合は、渡り配線ケーブルを通す中間柱取付け位置付近の腰壁用ベース（※1）にφ10の孔をあけ、渡り配線ケーブルをとりまわしてください。（図7-6、図7-7参照）

7-5 腰壁用ベースのレベル出し ※連棟の場合は「7-7 連棟用腰壁用ベースの加工、7-8 連棟用腰壁用ベースの取付け」と同時に行なってください。

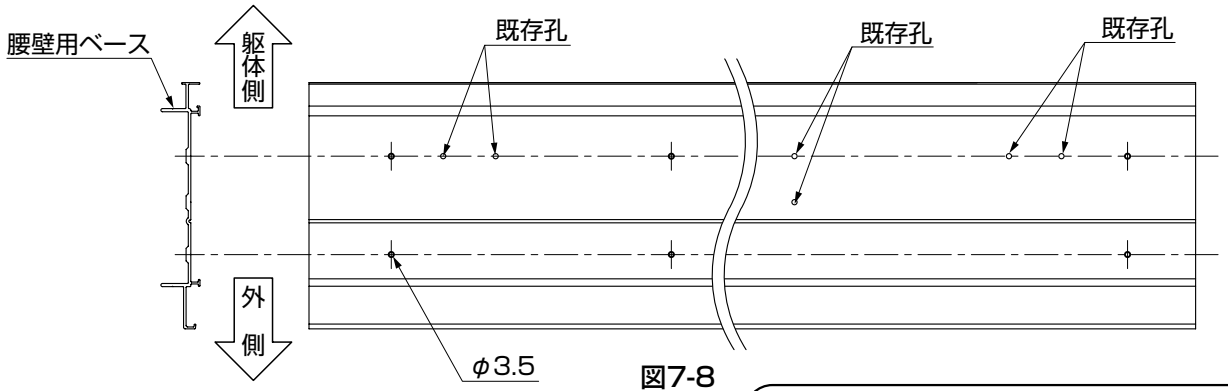


図7-8

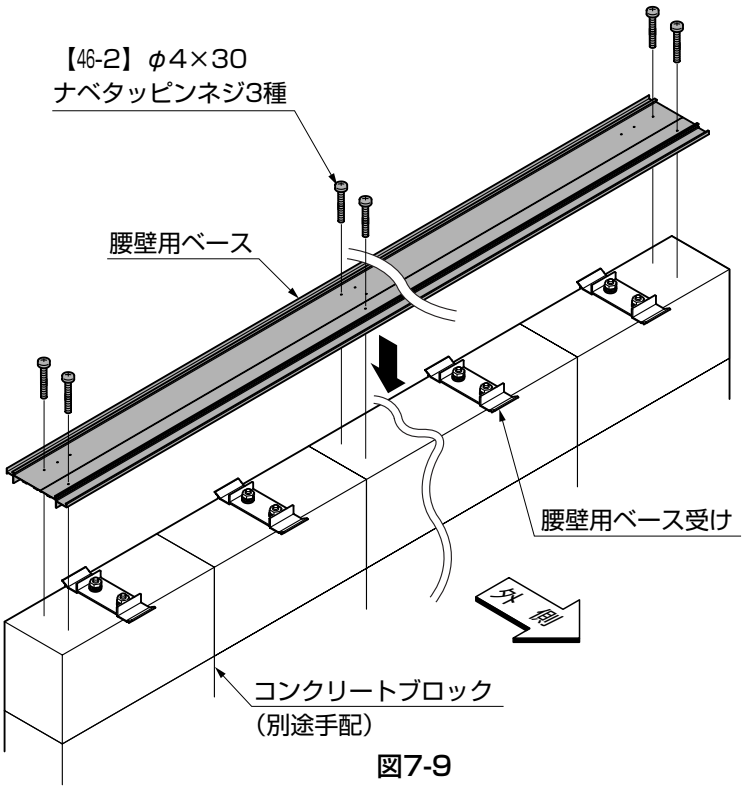


図7-9

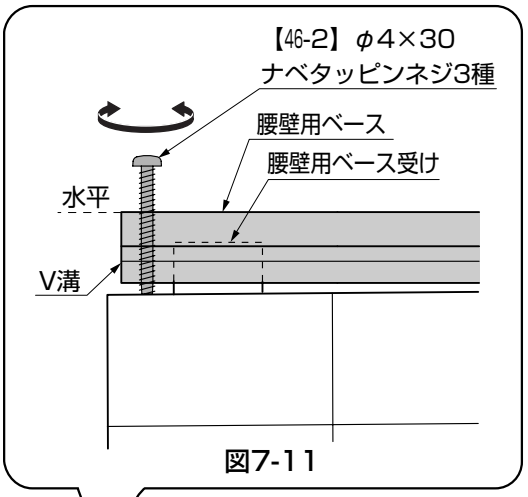


図7-11

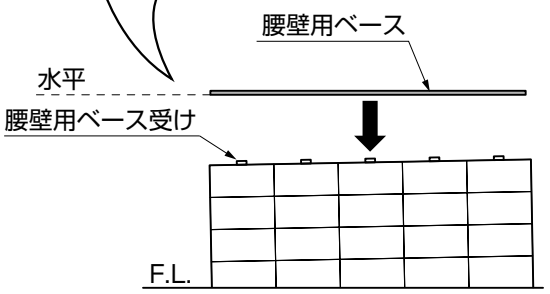


図7-10

①腰壁用ベースに、φ3.5の孔を6箇所あけください。（図7-8参照）

ポイント

●両端部2箇所ずつ、中間部2箇所に孔加工をしてください。

②調整ネジ【46-2】をφ3.5の孔に取付け、コンクリートブロックの上にのせてください。（図7-9参照）

ポイント

●腰壁用ベースには取付ける向きがあります。（図7-8、図7-9参照）
●コンクリートブロックが水平でない場合がありますので、図7-10、図7-11のように腰壁用ベースが水平になるように【46-2】を回して調整してください。
●腰壁用ベースのV溝が腰壁用ベース受けにかかるよう、水平に調整してください。腰壁用ベース固定用ネジが取付けられなくなります。

7.（つづき）

7-6　腰壁用ベースの取付け　※連棟の場合は「 7-7 連棟用腰壁用ベースの加工、7-8 連棟用腰壁用ベースの取付け」と同時に行なってください。

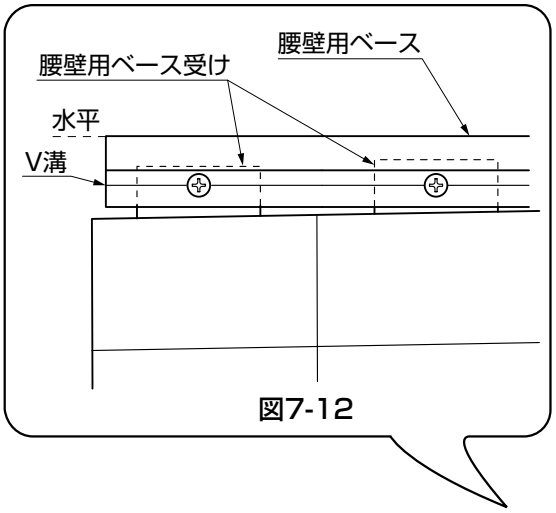


図7-12

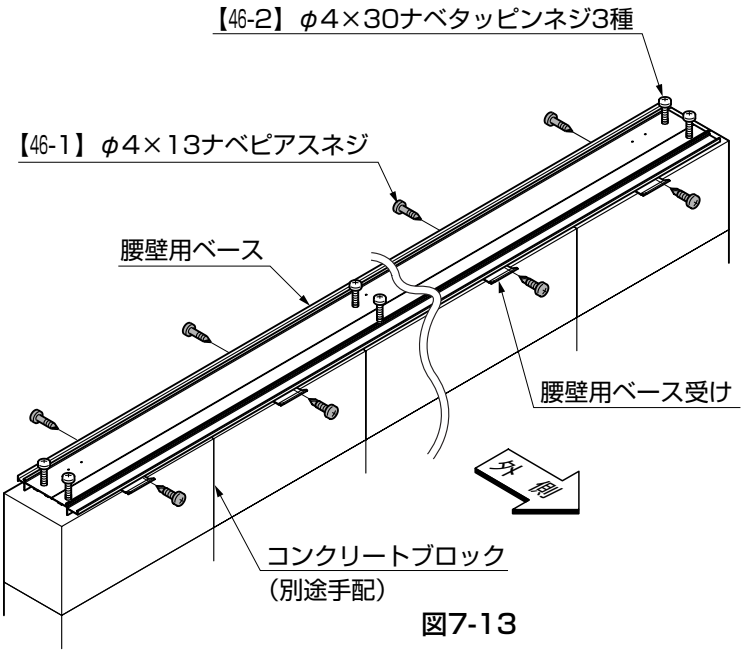


図7-13

①腰壁用ベースを腰壁用ベース受けに、【46-1】で取付けてください。（図7-12、図7-13参照）
②調整ネジ【46-2】を取外してください。

7-7　連棟用腰壁用ベースの加工　※連棟の場合の作業です。
※「 7-5 腰壁用ベースのレベル出し、7-6 腰壁用ベースの取付け」と同時に行なう作業です。

表7-2　腰壁用ベース寸法

連棟間口	基本				連棟			
	間口	L寸法	A 連結部カット寸法	a カット寸法	間口	L寸法	B 連結部カット寸法	b カット寸法
3.5間	2.0	3963.0	103.5	10	1.5	3163.0	173.5	80
4.0間	2.5	5163.0	233.5	110	1.5	3163.0	173.5	50
4.5間	3.0	5963.0	163.5	10	1.5	3163.0	173.5	20
5.0間	2.5	5163.0	233.5	50	2.5	5163.0	233.5	50
5.5間	3.0	5963.0	163.5	50	2.5	5163.0	233.5	120
6.0間	3.0	5963.0	163.5	20	3.0	5963.0	163.5	20

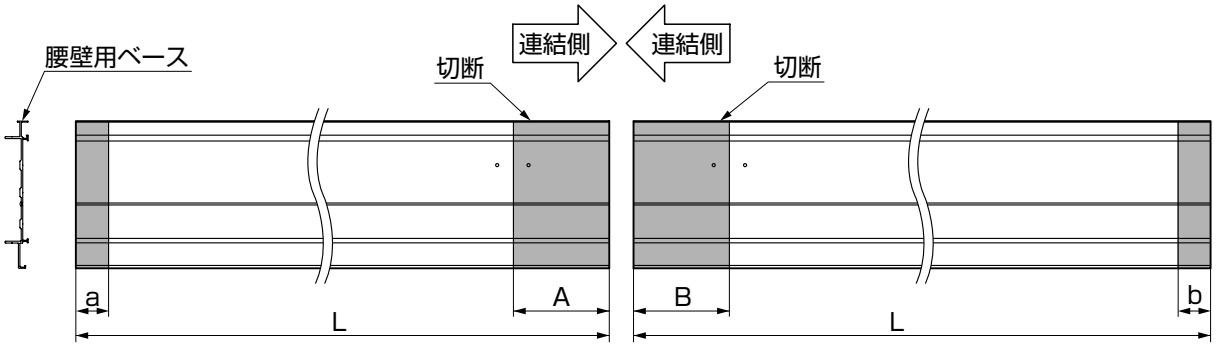


図7-14　腰壁用ベースの加工

①腰壁用ベースを、表7-2の指示寸法で切断してください。

7-8 連棟用腰壁用ベースの取付け

※連棟の場合の作業です。
※「7-5 腰壁用ベースのレベル出し、7-6 腰壁用ベースの取付け」と同時に行なう作業です。

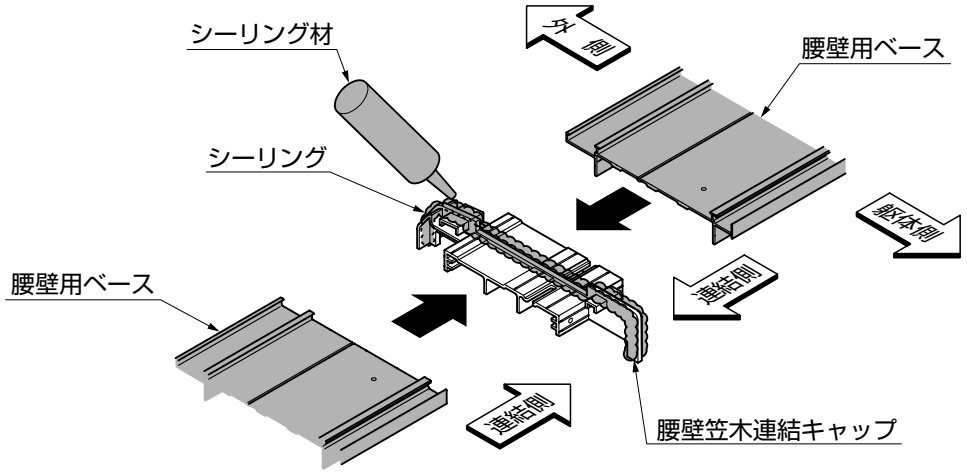


図7-15

①腰壁笠木連結キャップにシーリングをしてください。

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

②腰壁用ベースを腰壁笠木連結キャップで連結してください。

7-9 柱スリーブの取付け

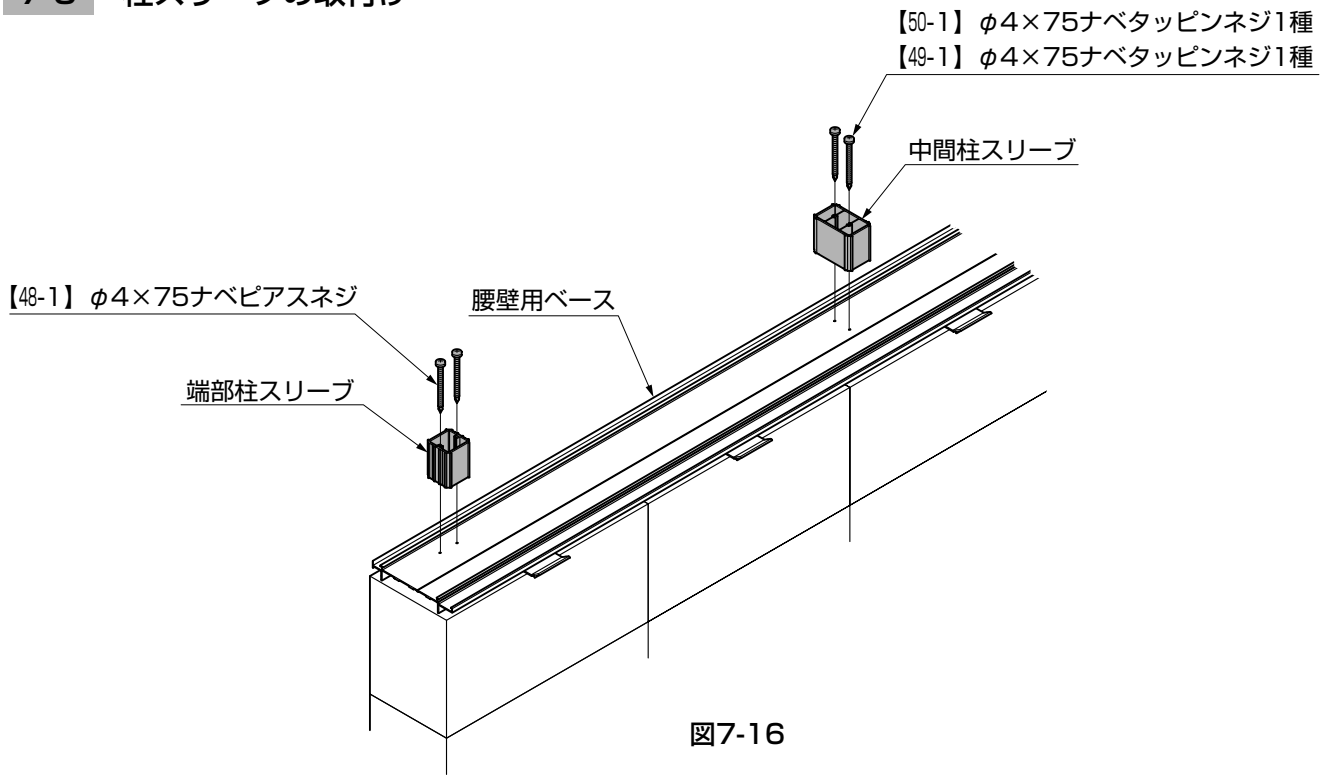
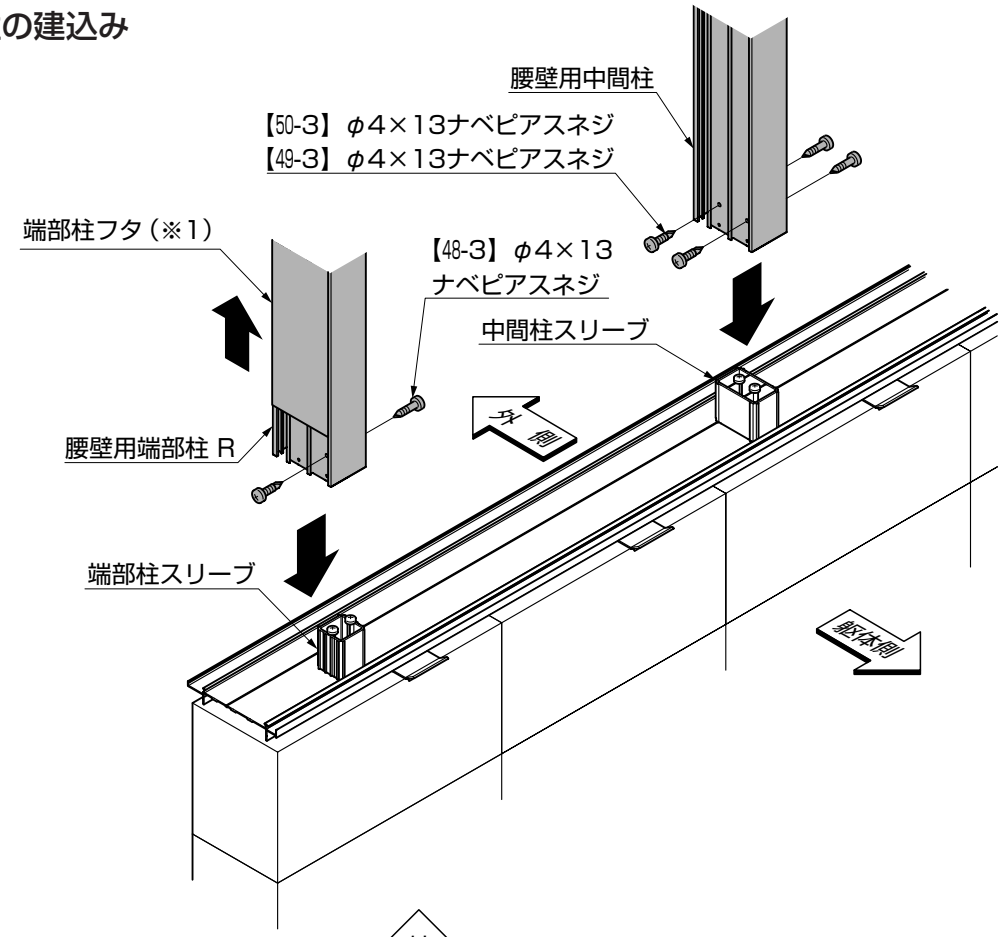


図7-16

①端部柱スリーブを腰壁用ベースに、【48-1】で取付けてください。
②中間柱スリーブを腰壁用ベースに、【49-1】または【50-1】で取付けてください。

7-10 柱の建込み



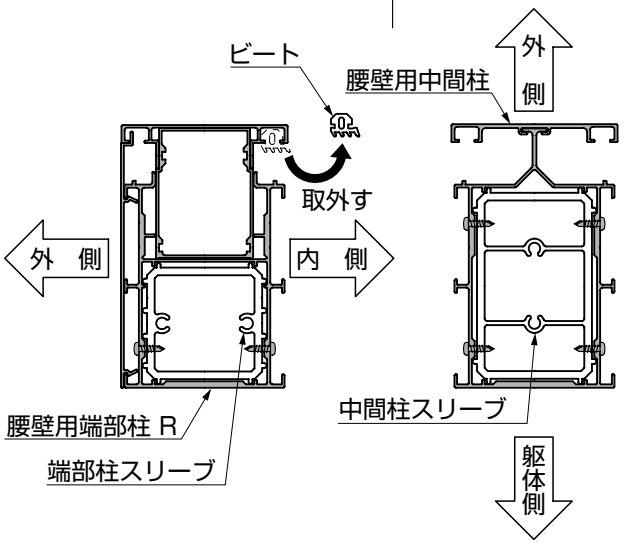


図7-17　オープンテラスタイプの場合

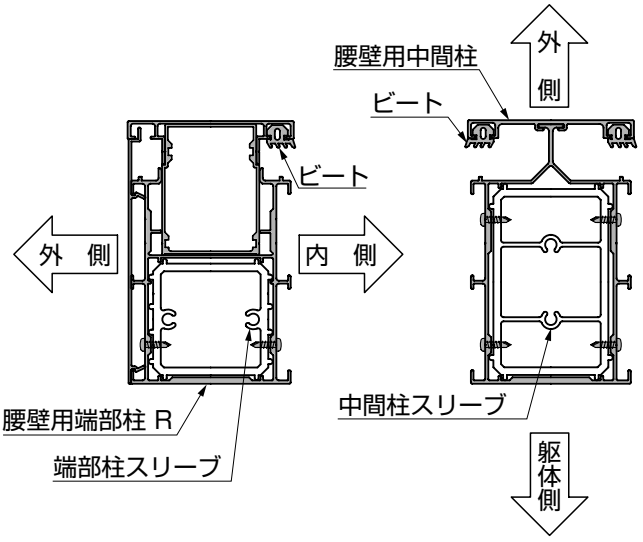


図7-18　サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合

①腰壁用端部柱を端部柱スリーブに、【48-3】で取付けてください。
②腰壁用中間柱を中間柱スリーブに、【49-3】または【50-3】で取付けてください。

ポイント

- ●腰壁用端部柱を端部柱スリーブに【48-3】で取付ける際に、腰壁用端部柱に取付いている柱フタを一度上にずらし、【48-3】で取付けた後、元の位置に戻してください。（※1）
- ●オープンテラスタイプの場合には、腰壁用端部柱のビートを取外してください。（図7-17参照）
- ●屋根の取付けは「3 本体の施工」にしたがってください。

8. 桁の組立て

8-1 垂木組付金具の取付け

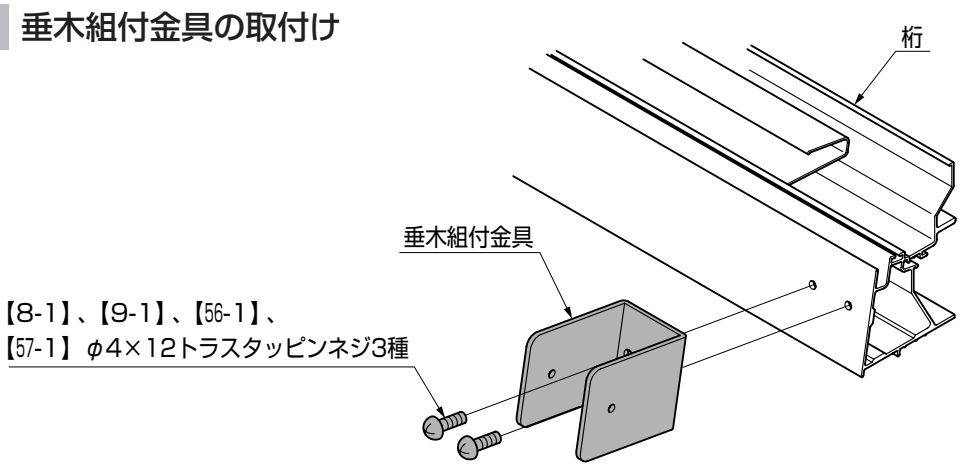


図8-1

①垂木組付金具を桁に、【8-1】または【9-1】、【56-1】、【57-1】で取付けてください。

8-2 桁キャップの取付け

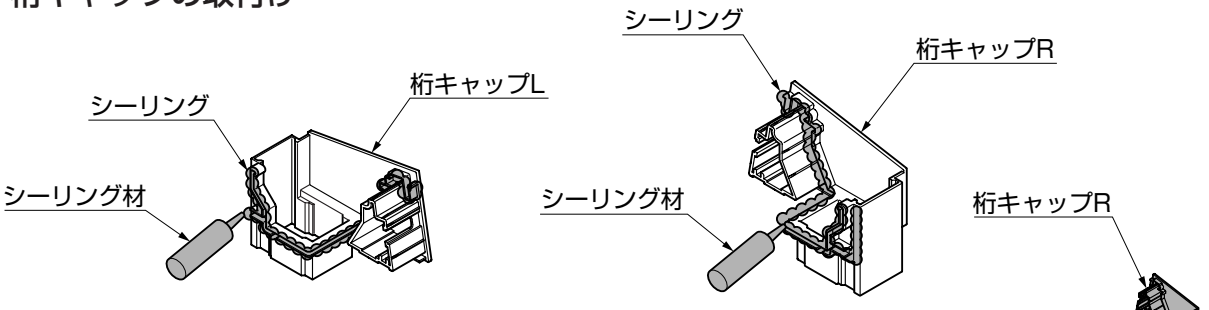
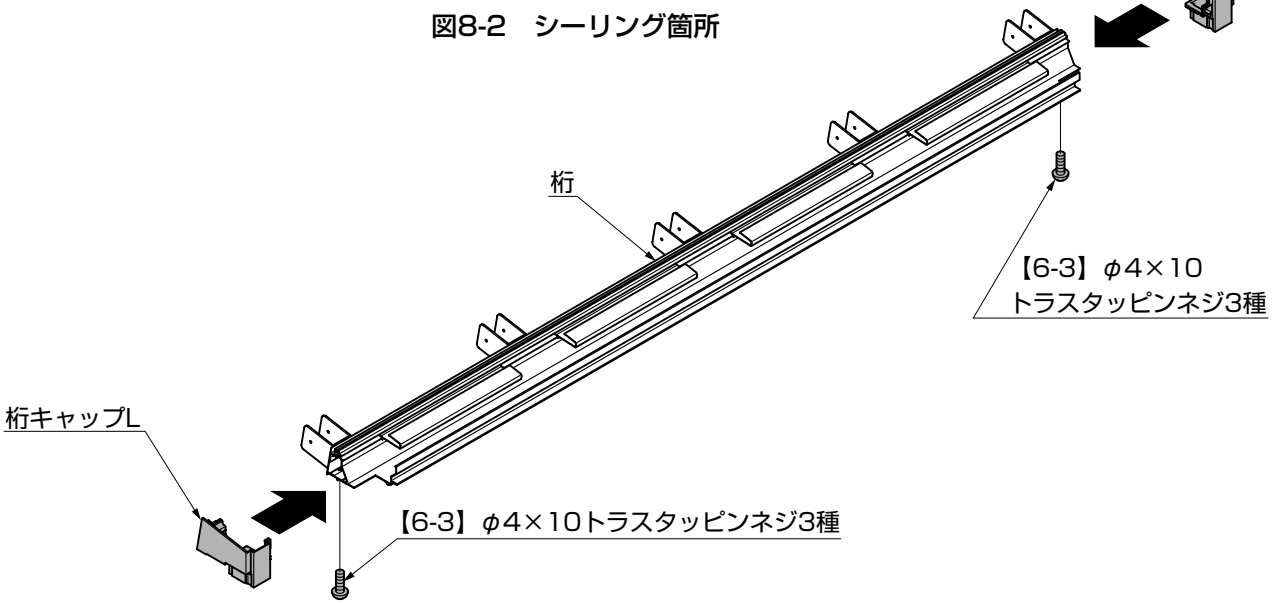


図8-2　シーリング箇所



①桁キャップをシーリングしてください。(図8-2参照)

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

②桁キャップを桁に、【6-3】で取付けてください。

9. 桁の取付け

※連棟の場合は「9-2 連棟時の桁の加工、9-3 連棟用の桁の取付け、9-4 連棟時の垂木組付金具の取付け」と同時に行う作業です。

9-1 桁の取付け

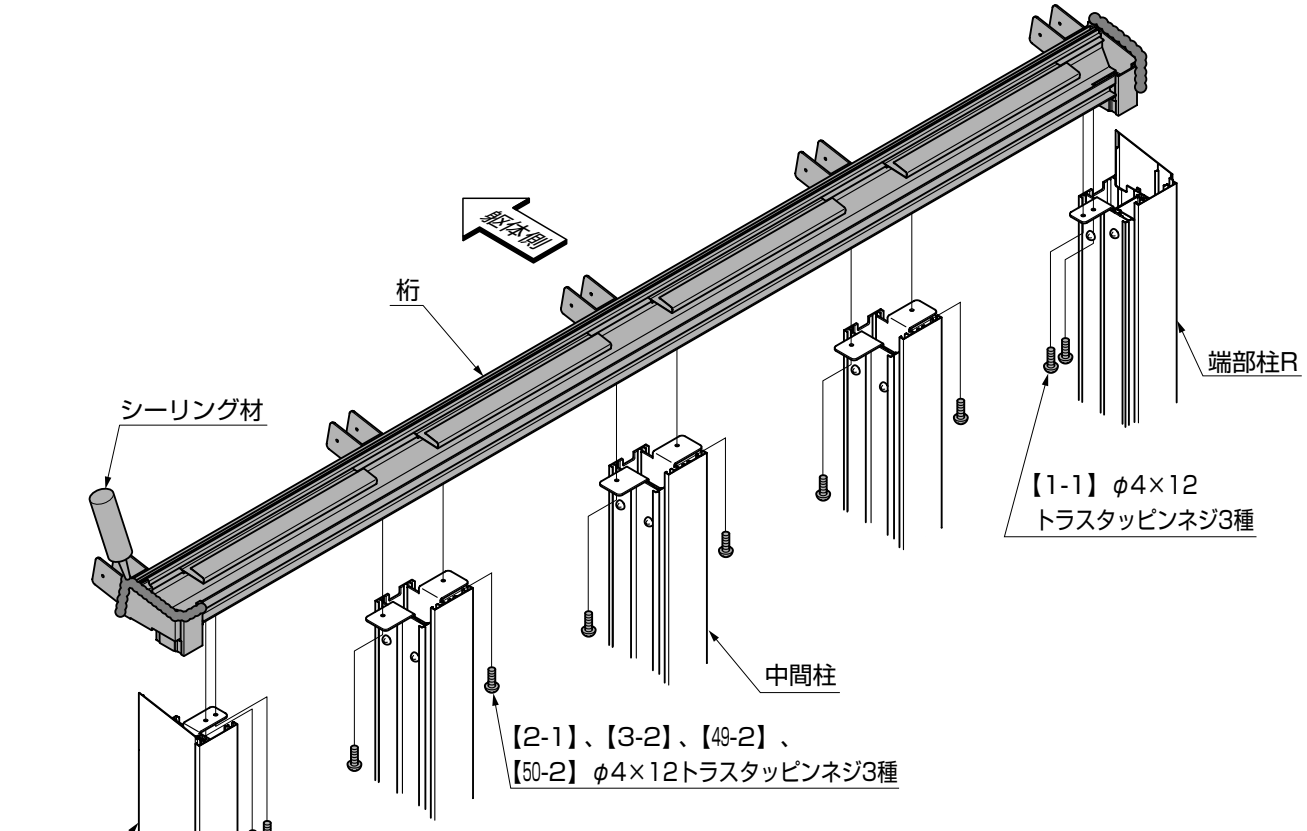


図9-1

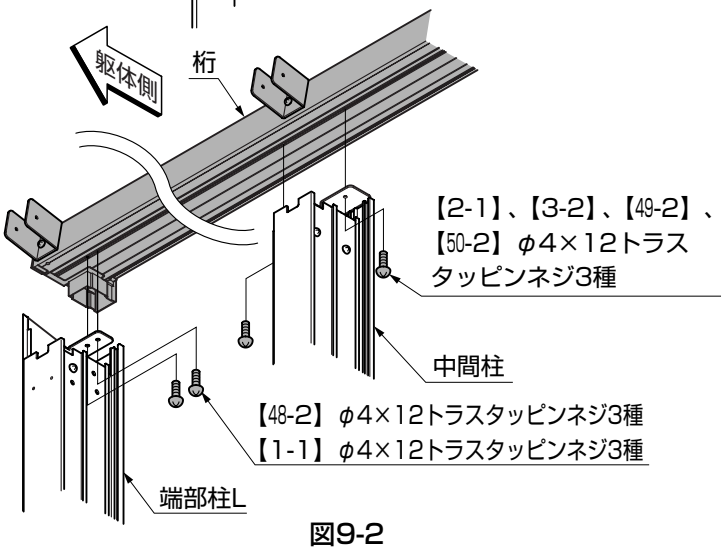


図9-2

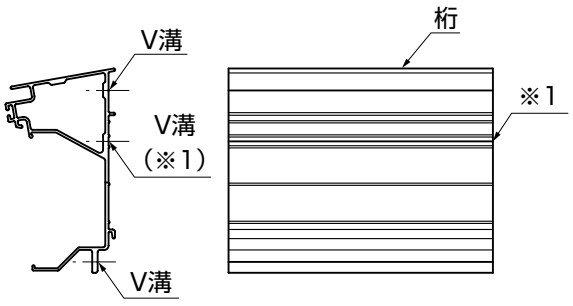


図9-3

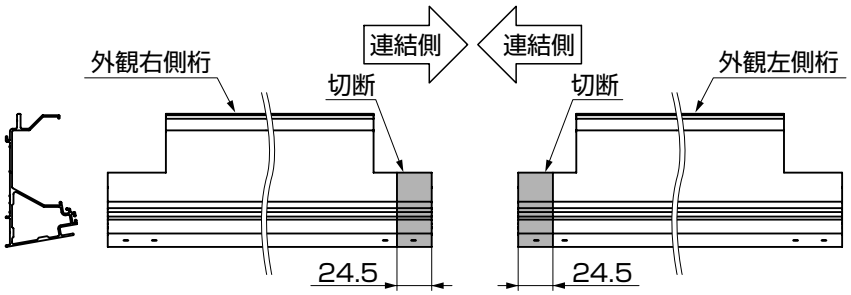
①桁の端部をシーリングしてください。（図9-1参照）
②桁を端部柱、中間柱に【1-1】、【2-1】、または【3-2】、【48-2】、【49-2】、【50-2】で取付けてください。

ポイント

- 端部柱、中間柱を、桁の3本あるV溝の真中（※1）に取付けてください。（図9-3参照）
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

E219_200607B

9-2　連棟時の桁の加工　※連棟の場合の作業です。
※「9-1 桁の取付け」と同時に行う作業です。



①外観右側の桁を、24.5mm切断してください。
②外観左側の桁を、24.5mm切断してください。

図9-4　桁の加工

9-3　連棟用の桁の取付け　※連棟の場合の作業です。
※「9-1 桁の取付け」と同時に行う作業です。

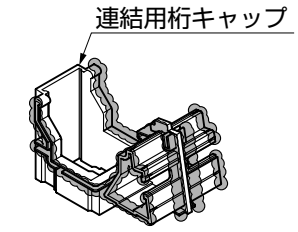
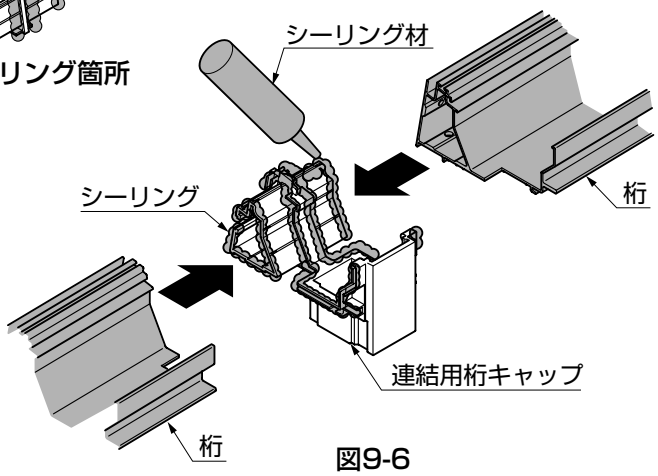


図9-5　シーリング箇所

①連結用桁キャップに、シーリングをしてください。（図9-5、図9-6参照）

ポイント

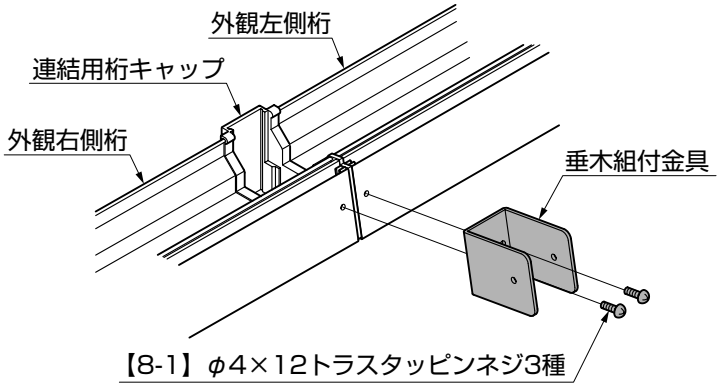
●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。



②桁を連結用桁キャップに取付けてください。

図9-6

9-4　連棟時の垂木組付金具の取付け　※連棟の場合の作業です。
※「9-1 桁の取付け」と同時に行う作業です。



①垂木組付金具を連結した桁に、【8-1】で取付けてください。

図9-7

10. 桁カバー枠の取付け

※桁カバー枠は、オープンテラスタイプと
サイドスルー、ガーデンルームタイプがあります。

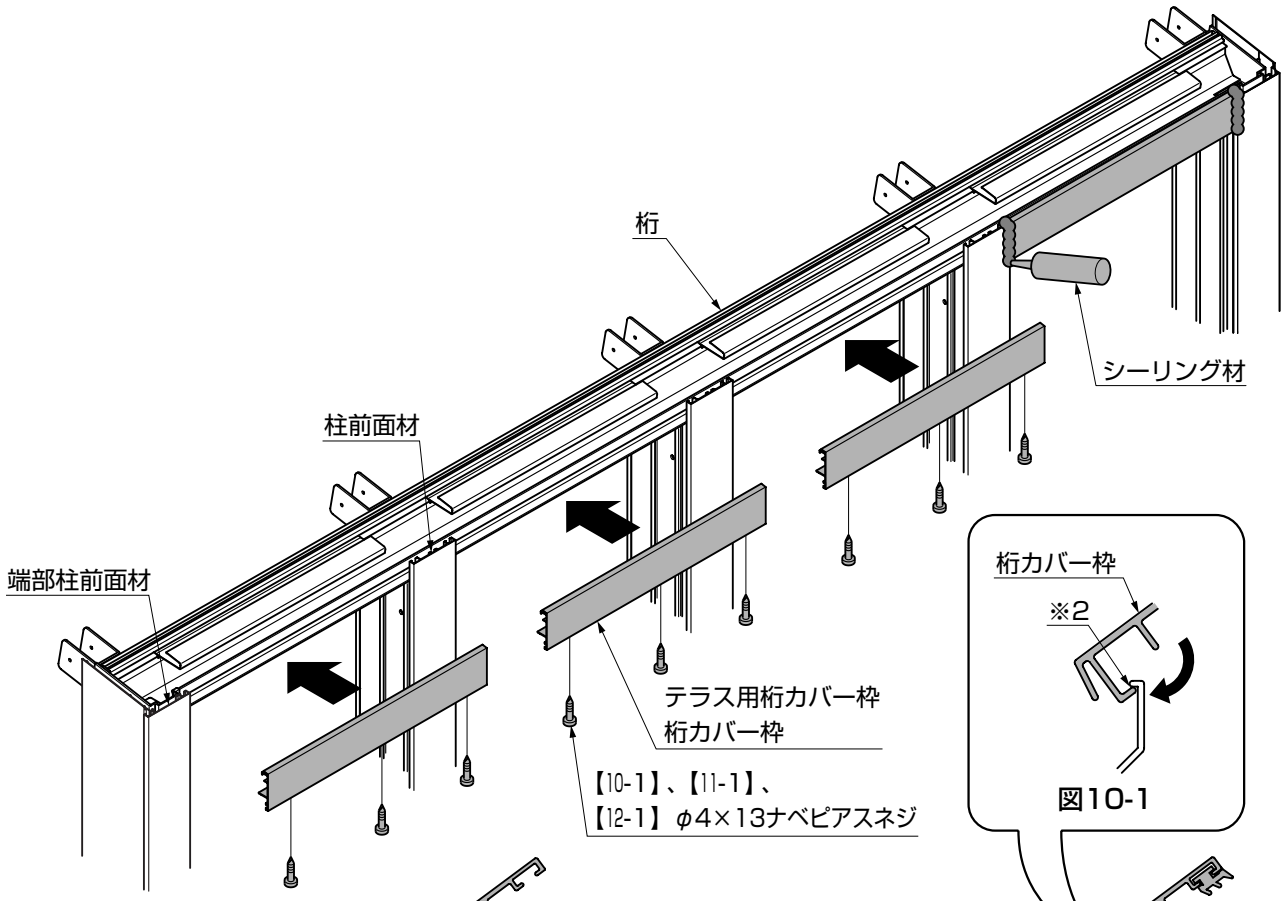


図10-1

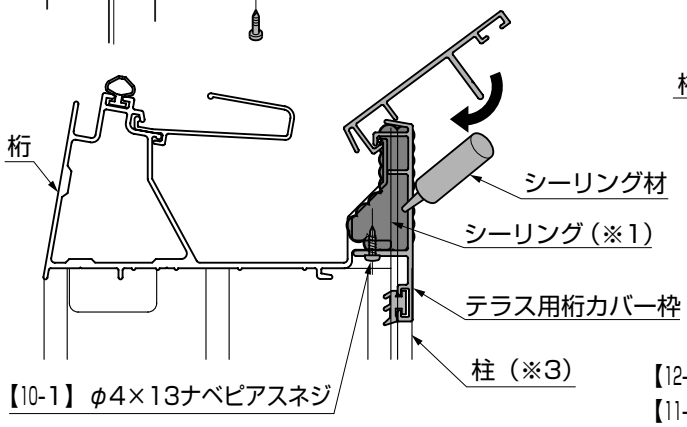


図10-2　オープンテラスタイプの場合

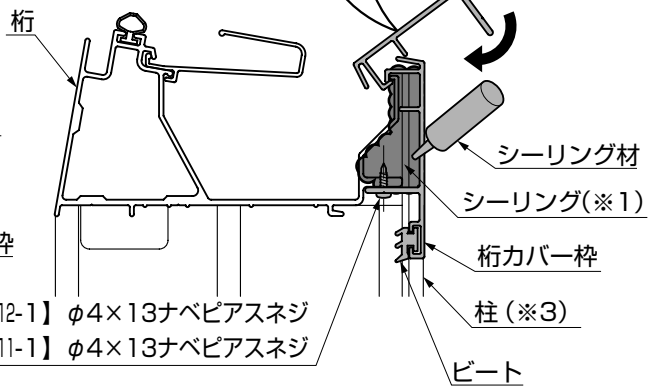


図10-3　サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合

①桁カバー枠と桁の間（※1）に、シーリングをしてください。（図10-2、図10-3参照）
②桁カバー枠を桁にはめ込み、【10-1】または【11-1】、【12-1】で取付けてください。
③桁カバー枠の両端に、シーリングをしてください。

ポイント

●桁カバー枠の上部（※2）を桁に引っ掛けてはめ込んでください。（図10-1参照）
●柱と桁カバー枠が平行になるように取付けてください。（※3）
●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

11. 妻垂木・垂木の取付け

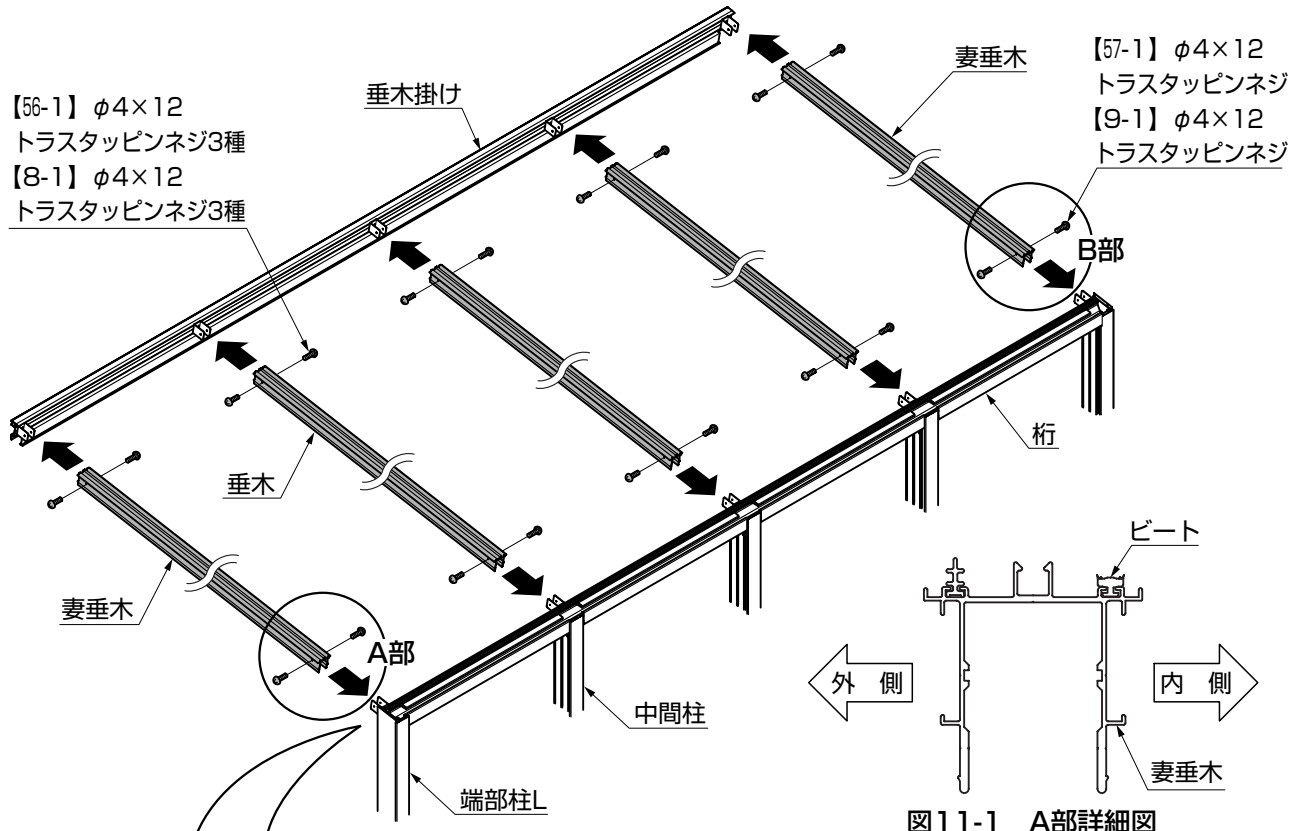


図11-1　A部詳細図

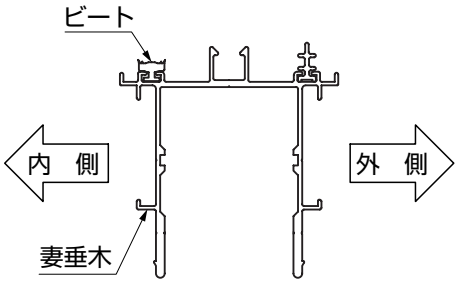
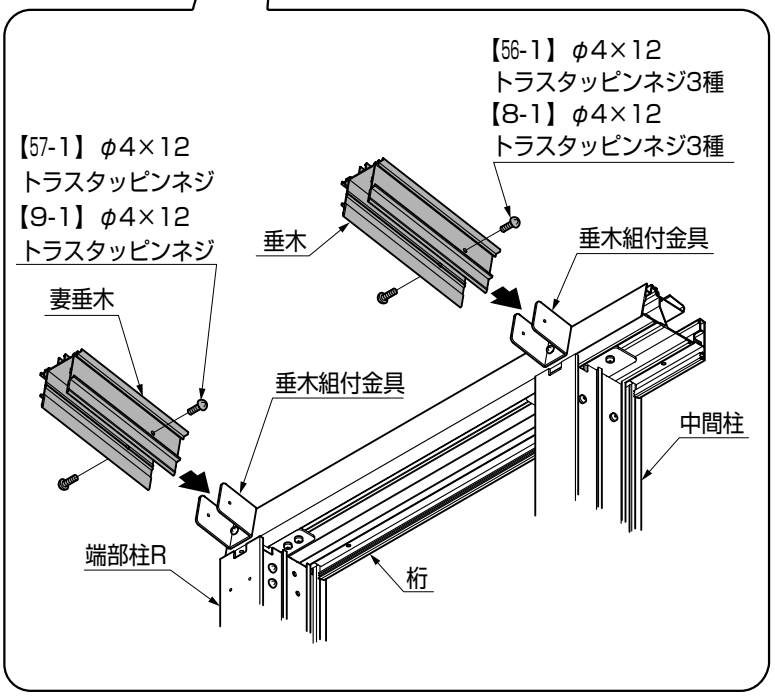


図11-2　B部詳細図



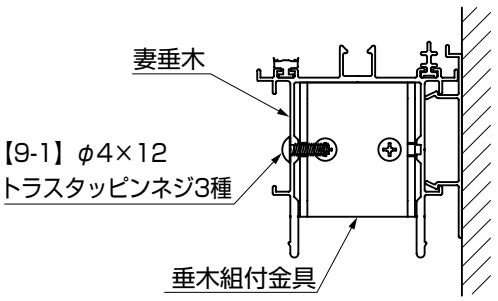


図11-3　入隅時の取付け

①妻垂木を垂木組付金具に、【9-1】または、【57-1】で取付けてください。
②垂木を垂木組付金具に、【8-1】または、【56-1】で取付けてください。

ポイント

●妻垂木には取付ける向きがあります。図11-1、図11-2を参照して取付けてください。
●入隅の場合の妻垂木の取付けは、【9-1】を片側だけ垂木組付金具に取付けてください。（図11-3参照）

12. 中骨の取付け

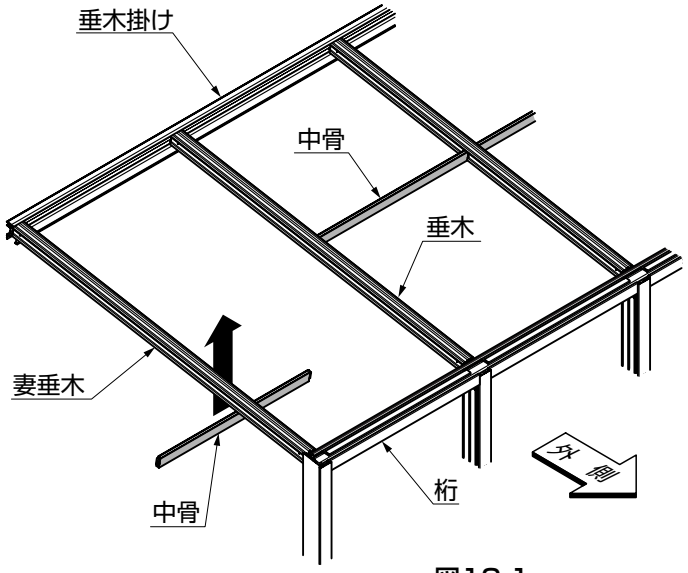
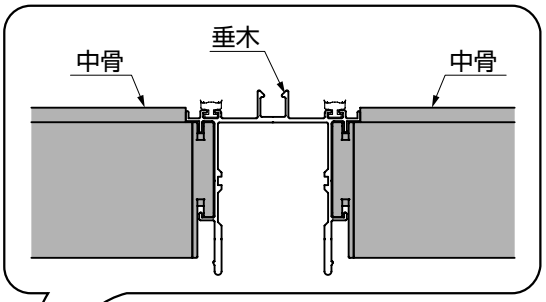


図12-1

表12-1　1スパン当りの中骨本数

	4尺	6尺	8尺
一般地域用	1	1	2
積雪地域用	2	2	4



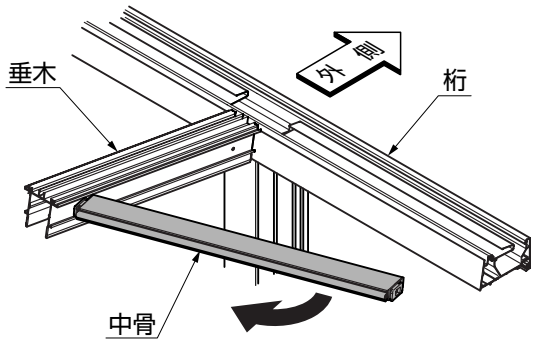


図12-2

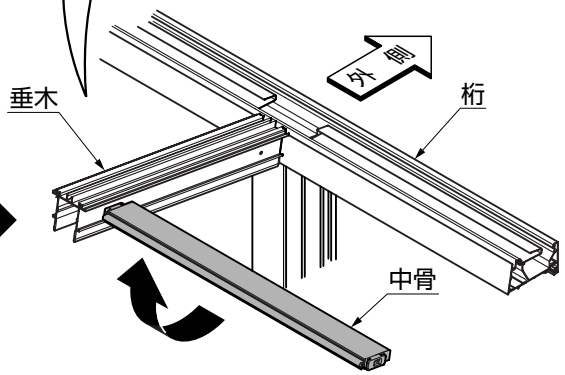


図12-3

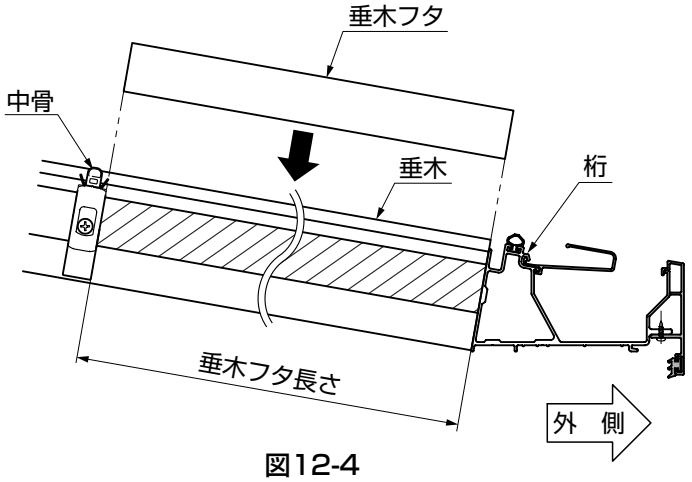


図12-4

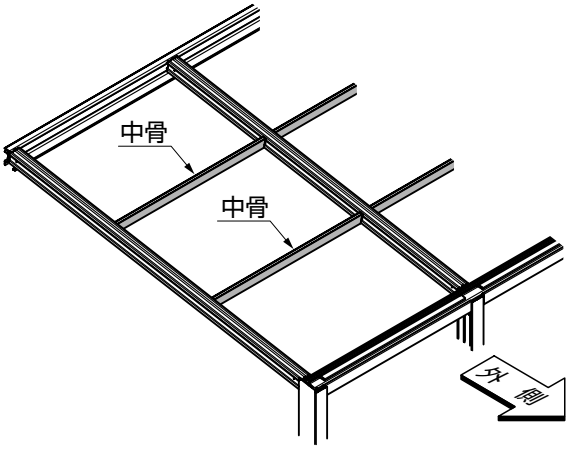


図12-5　積雪地域用の場合

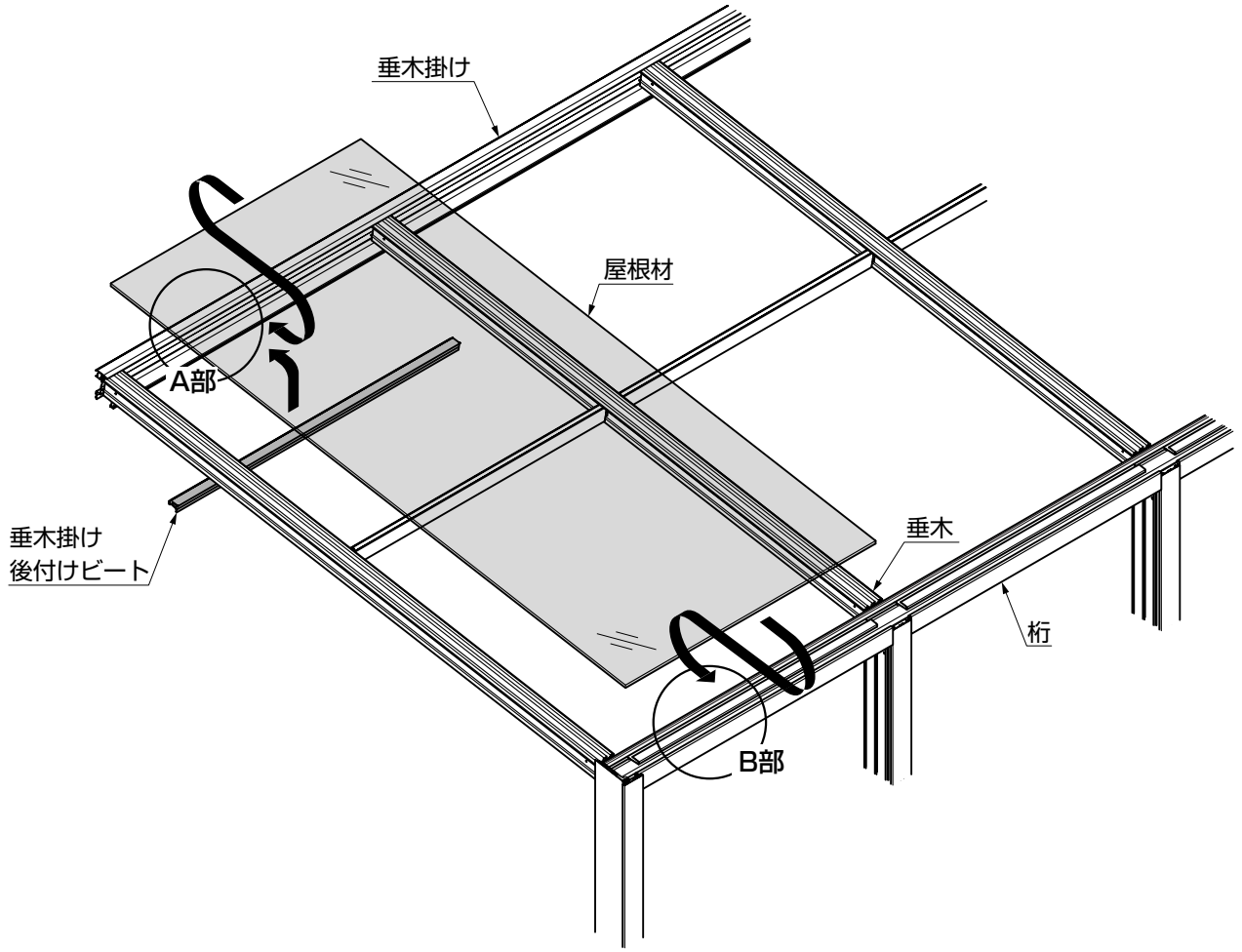
①中骨を垂木間に回転しながら、はめ込んでください。(図12-2、図12-3参照)

ポイント

●垂木フタの長さを目安に中骨のおおよその位置を決めてください。中骨は後で動かすことができます。(図12-4参照)

●積雪地域用の場合は、中骨の本数が異なります。(表12-1、図12-5参照)

13. 屋根材の取付け



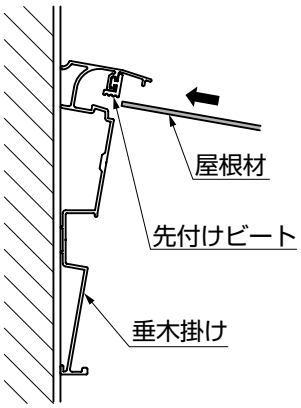


図13-1　A部詳細図

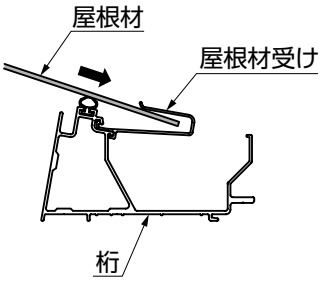


図13-2　B部詳細図

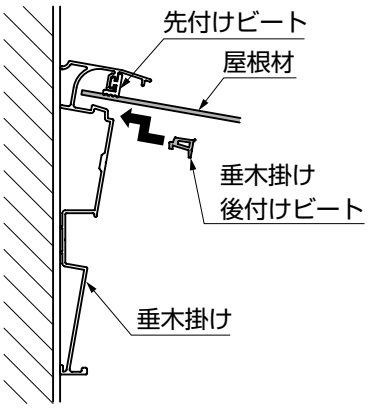


図13-3

ポイント

●左右どちらかの妻垂木より、1スパンごとに屋根材を取付けてください。

①屋根材受けを、垂木と垂木の中間に位置合わせしてください。
②屋根材を垂木掛けに、差込んでください。（図13-1参照）
③屋根材を屋根材受けに、差込んでください。（図13-2参照）
④垂木掛け後付けビートを、垂木掛けに差込んでください。（図13-3参照）

14. 垂木カバーの取付け

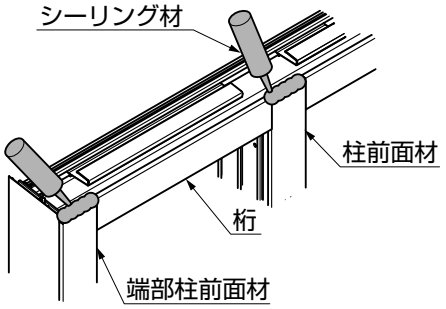


図14-1

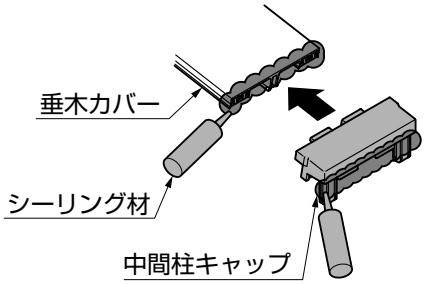


図14-2　垂木の場合

①柱前面材と桁の間のすき間をふさぐように、シーリングをしてください。（図14-1参照）
②垂木カバー、妻垂木カバー、中間柱キャップ、妻垂木キャップに、シーリングをしてください。（図14-2、図14-3参照）

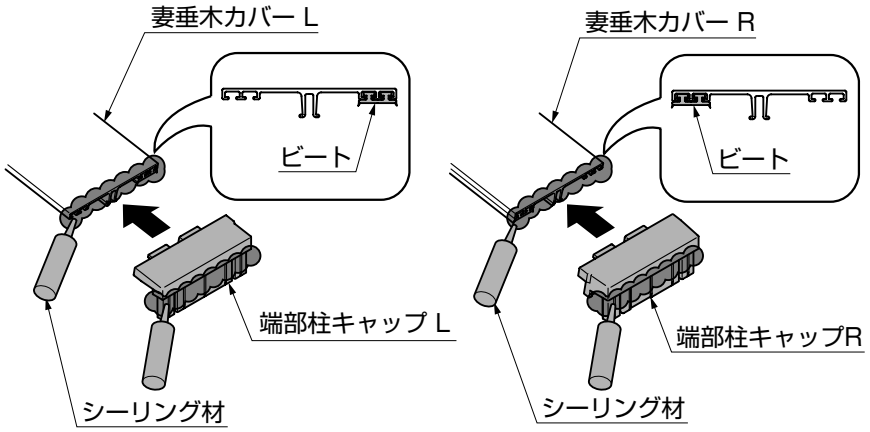


図14-3　妻垂木の場合

ポイント
●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

③中間柱キャップを垂木カバーに差込んでください。（図14-2参照）
④端部柱キャップを妻垂木カバーに差込んでください。（図14-3参照）

ポイント
●妻垂木カバーには左右があります。（図14-3参照）

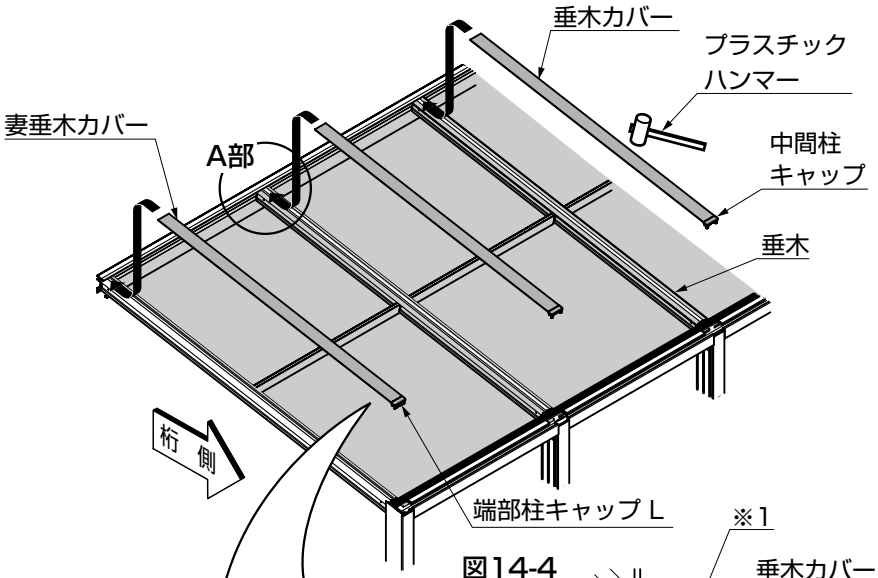


図14-4

⑤垂木カバー、妻垂木カバーを垂木掛けに差込んでください。妻垂木カバーは両端の垂木に、垂木カバーは中間の垂木に取付けてください。（図14-4参照）

ポイント
●垂木カバー、妻垂木カバーは切欠きがある方を桁側にしてください。（図14-5参照）
●垂木カバー、妻垂木カバーは、垂木掛けに突当てて、（※1）取付けてください。（図14-6参照）
●垂木カバー、妻垂木カバーは、部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。

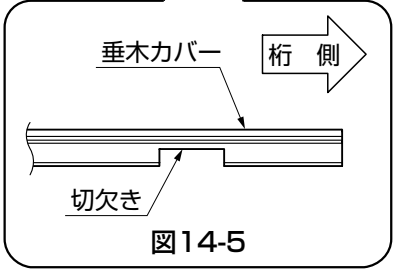


図14-5

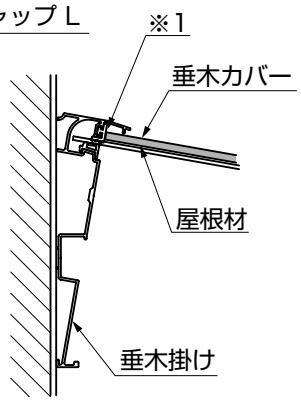


図14-6　A部詳細図

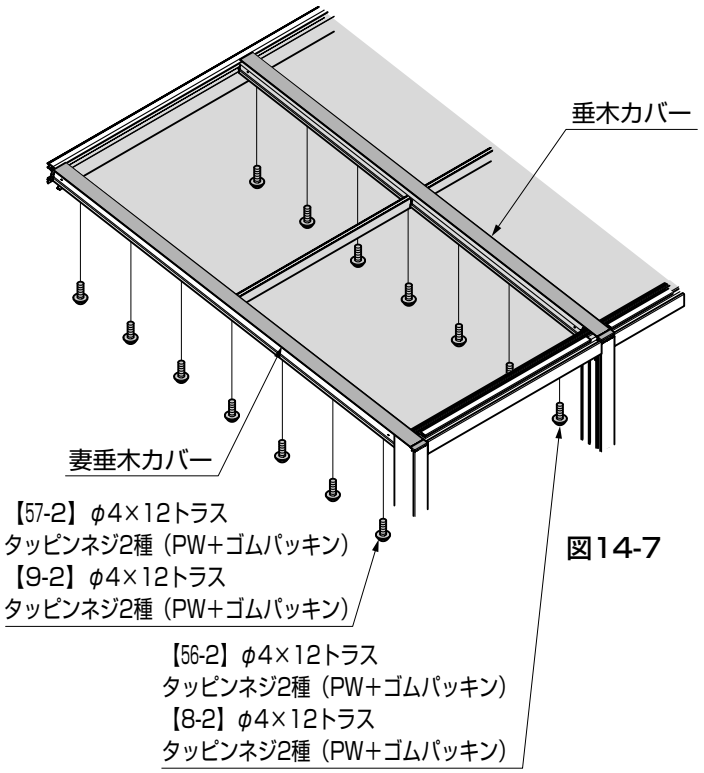


図14-7

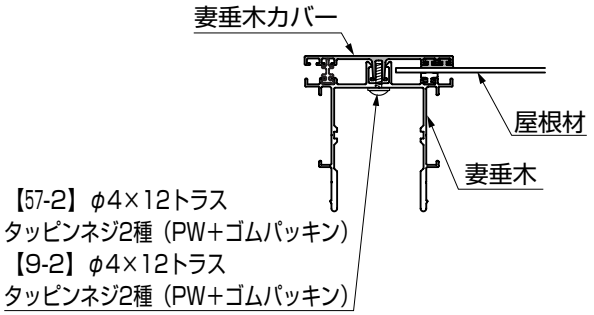


図14-8　妻垂木部

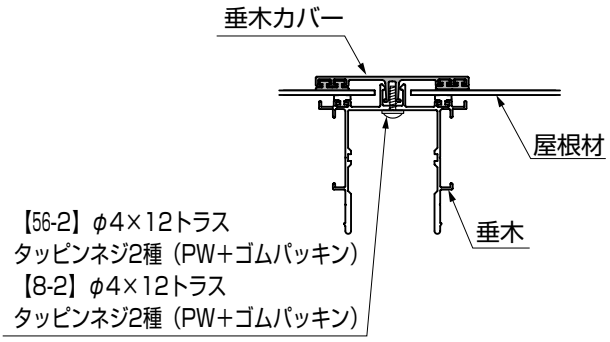


図14-9　中間垂木部

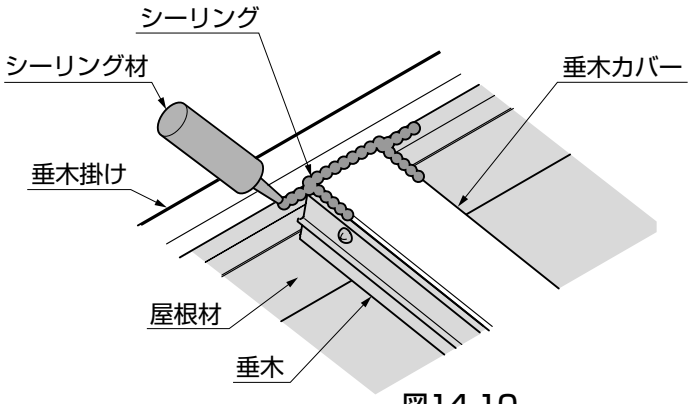


図14-10

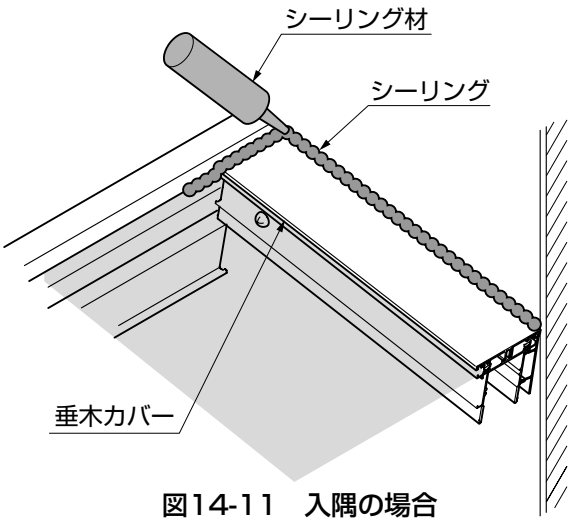


図14-11　入隅の場合

表14-1

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
GE東芝シリコーン（株）	トスシール380
東レ・ダウコーニング・シリコーン（株）	SE960

⑤妻垂木カバーを妻垂木に、【9-2】または【57-2】で固定してください。（図14-7、図14-8参照）
⑥垂木カバーを垂木に、【8-2】または【56-2】で固定してください。（図14-7、図14-9参照）

ポイント

●屋根材の取付けは、のみ込みが左右均等になるようにしてください。（図14-8、図14-9参照）

⑦垂木カバーに、シーリングをしてください。（図14-10、図14-11参照）

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

15. 垂木化粧材の取付け　※図はサイドスルータイプを示します。

15-1　垂木化粧材の取付け

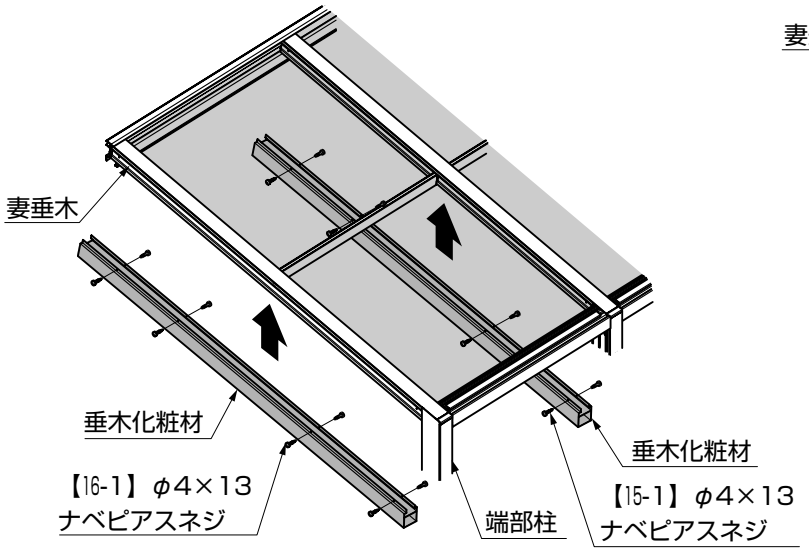


図15-1

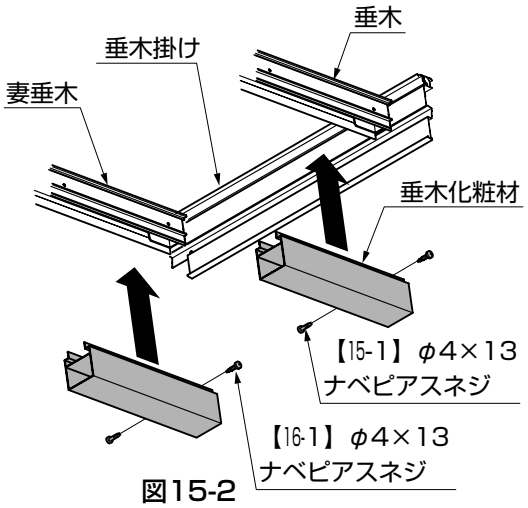


図15-2

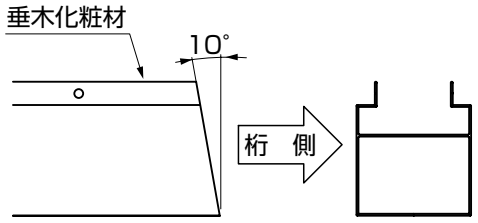


図15-3

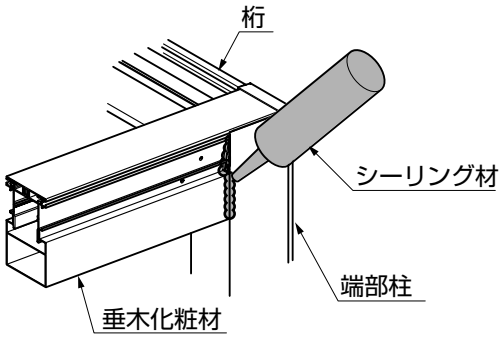
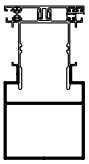
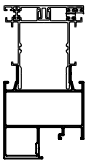
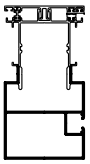
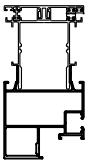
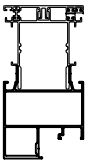
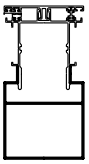
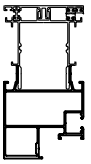
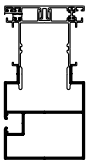
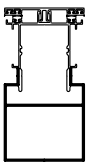
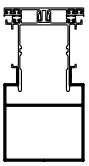
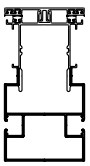
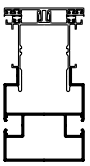
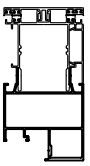
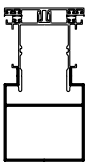
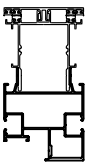
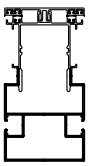


図15-4

表15-1　垂木化粧材一覧表

	オープンテラスタイプ・サイドスルータイプ・	ガーデンルームタイプ	オープンテラスタイプ・サイドスルータイプ・（日除け用）	ガーデンルームタイプ（日除け用）	ガーデンルームプラスタイプ		ガーデンルームプラスタイプ（日除け用）	
妻側垂木								
中間垂木								

①垂木化粧材を垂木、妻垂木に、【15-1】、【16-1】で取付けてください。
②妻垂木、垂木化粧材と端部柱の接合部を、シーリングしてください。（図15-4参照）

ポイント

- ●垂木化粧材の端が10° 切欠いている側を桁側にしてください。（図15-3参照）
- ●積雪仕様の場合は垂木化粧材を取付けるための既存孔と既存孔の間にφ3.5の孔をあけ、【15-1】、【56-3】、【16-1】、【57-3】で取付けてください。
- ●各タイプの垂木化粧材はそれぞれ異なります。（表15-1参照）
- ●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。（図15-4参照）

15-2　ガーデンルームプラスタイプの場合

（1）日除けなしタイプの場合

表15-2　ガーデンルームプラスLタイプの場合

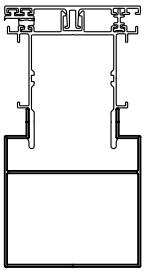
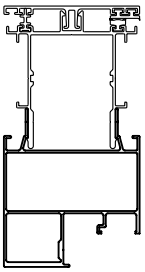
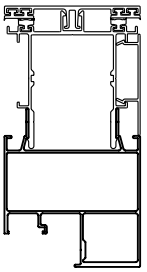
使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付けたい垂木	妻垂木 右
タイプ	サイドスルータイプ	ガーデンルームタイプ	
使用する垂木化粧材	垂木化粧材	垂木化粧材 L_ガーデンルーム用	垂木化粧材 R_ガーデンルーム用
納まり図			

表15-3　ガーデンルームプラスRタイプの場合

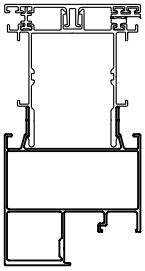
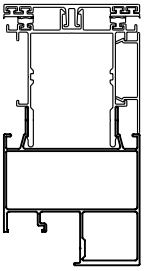
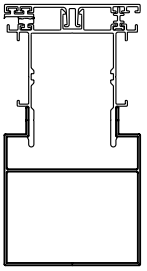
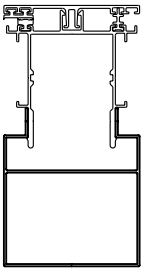
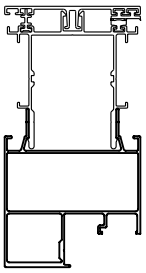
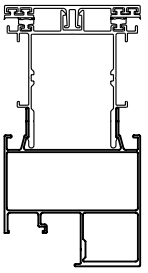
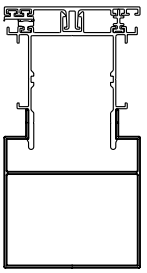
使用箇所	妻垂木 右	折戸パネルを取付けたい垂木	妻垂木 左
タイプ	ガーデンルームタイプ		サイドスルータイプ
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L_ガーデンルーム用	垂木化粧材 R_ガーデンルーム用	垂木化粧材
納まり図			

表15-4　ガーデンルームプラスRLタイプの場合

使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付けたい垂木		妻垂木 右
タイプ	サイドスルータイプ	ガーデンルームタイプ		サイドスルータイプ
使用する垂木化粧材	垂木化粧材	垂木化粧材 L_ ガーデンルーム用	垂木化粧材 R_ ガーデンルーム用	垂木化粧材
納まり図				

①表15-2、表15-3、表15-4を参照して、垂木化粧材を取付けてください。

15.（つづき）

15-2 つづき

（2）日除け付きタイプの場合

表15-5　ガーデンルームプラスLタイプの場合

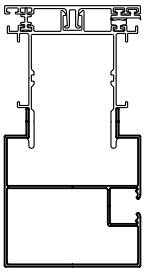
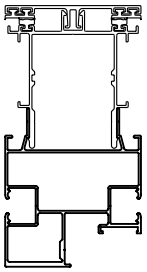
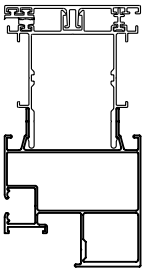
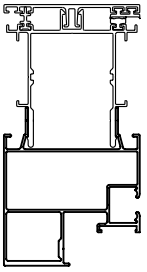
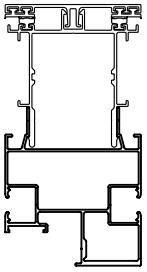
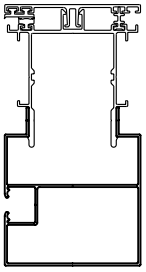
使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	サイドスルータイプ	ガーデンルームタイプ	
使用する垂木化粧材	日除け用垂木化粧材 L（※1）	日除け用仕切り部垂木化粧材 L_ ガーデンルーム用（※1）	日除け用垂木化粧材 R_ ガーデンルーム用（※1）
納まり図			

表15-6　ガーデンルームプラスRタイプの場合

使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	ガーデンルームタイプ		サイドスルータイプ
使用する垂木化粧材	日除け用垂木化粧材 L_ ガーデンルーム用（※1）	日除け用仕切り部垂木化粧材 R_ ガーデンルーム用（※1）	日除け用垂木化粧材 R（※1）
納まり図			

①表15-5、表15-6を参照して、垂木化粧材を取付けてください。

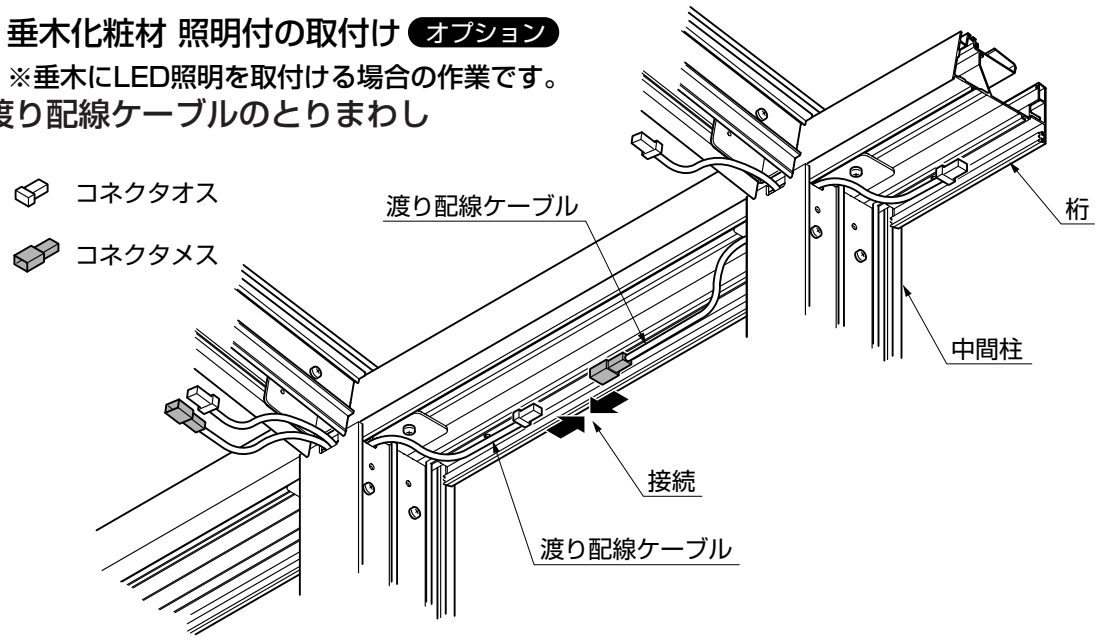
ポイント

●ガーデンルームプラスタイプ日除け付きの場合は、ガーデンルームプラスRLタイプは選択できません。
●各タイプの垂木化粧材（※1）は、「【21】日除け用右（左）入妻垂木化粧材セット」に梱包しています。

15-3 垂木化粧材 照明付の取付け オプション

※垂木にLED照明を取付ける場合の作業です。

（1）渡り配線ケーブルのとりまわし



①渡り配線ケーブルを中間柱に、とりまわしてください。

ポイント

●LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して、6本まで連続接続が可能です。

（2）垂木化粧材 照明付の取付け

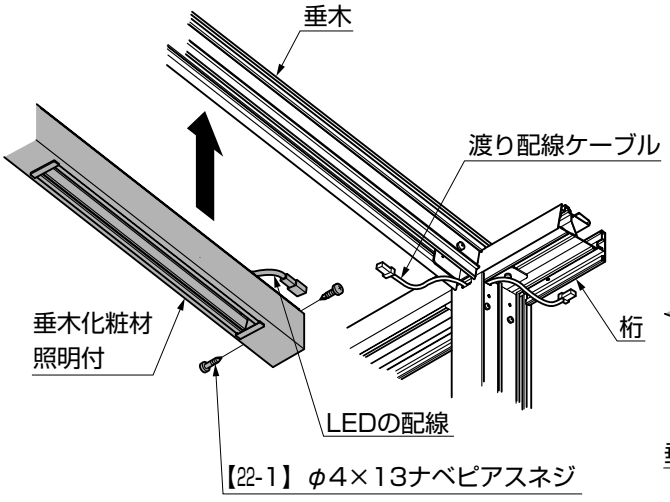


図15-5 下部から配線する場合

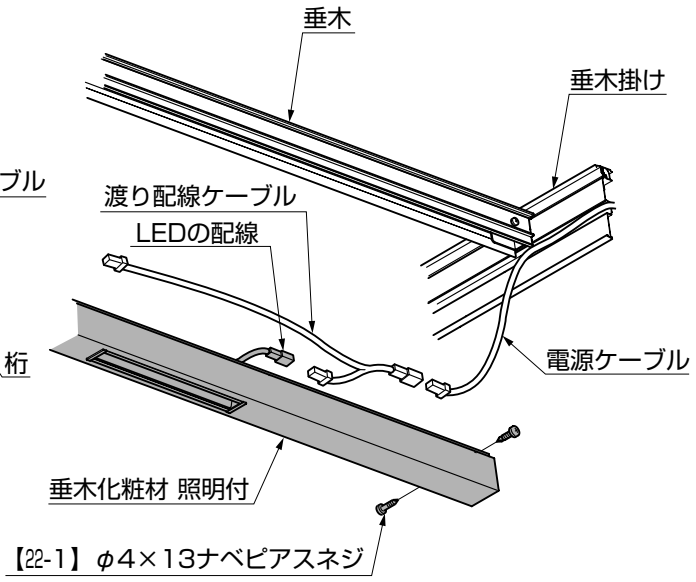


図15-6 上部から配線する場合

①垂木化粧材 照明付に付いているLEDの配線を、電源ケーブルまたは渡り配線ケーブルに接続してください。
②垂木化粧材 照明付を垂木に、【22-1】で取付けてください。

ポイント

●垂木化粧材 照明付の端が10° 切欠いている側を桁側にしてください。
●LED照明 オプション を取付ける場合は、「3 本体の施工 2. 基本仕様の配線工事 オプション 」を参照してください。
●ワイヤレスガーデンスピーカーを取付ける場合、その電源ケーブルは、LED照明用電源ケーブルの配線図15-6を参考に、同様に行なってください。

15.（つづき）

15-4　入隅の場合

（1）妻垂木の加工

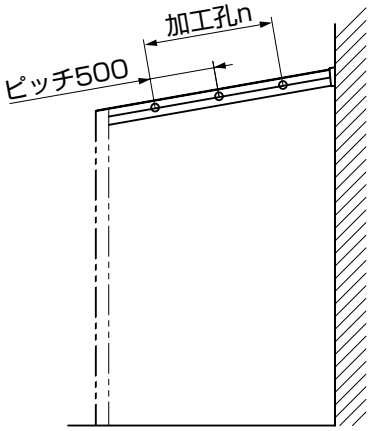


図15-7

表15-7

	加工孔n
4尺	2
6尺	3
8尺	4

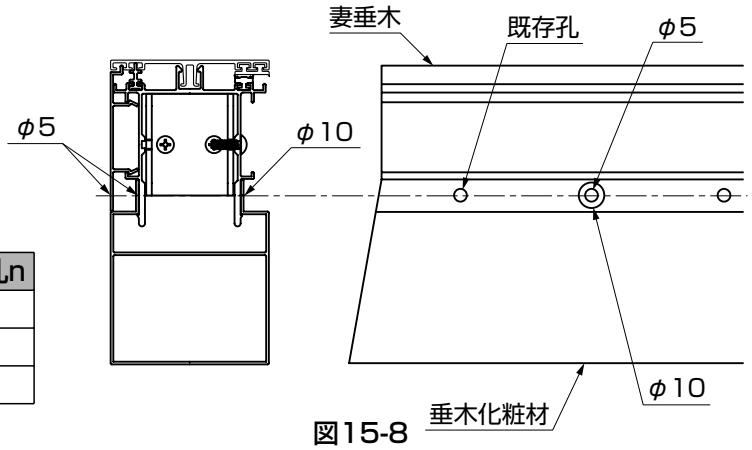


図15-8

①垂木化粧材を妻垂木に仮置きして、 垂木化粧材と妻垂木にφ10、φ5の孔をあけてください。
（図15-7、15-8、表15-7参照）

ポイント

●孔加工は、既存孔の間にあけてください。

（2）オープンテラス、サイドスルータイプの場合の垂木化粧材の取付け

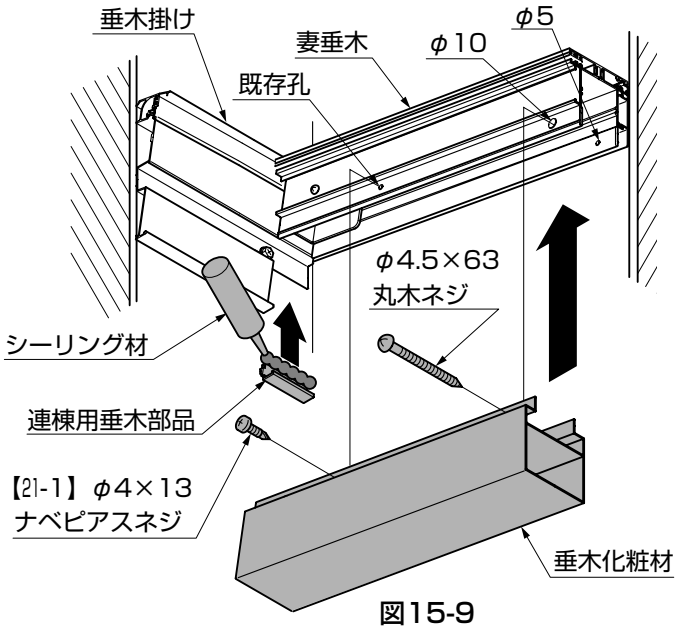


図15-9

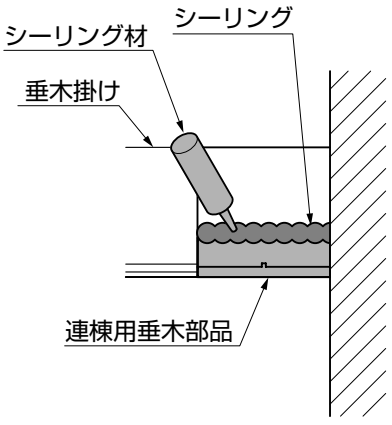


図15-10

①垂木化粧材を妻垂木に組付け、φ10の孔から「φ4.5×63丸木ネジ」を差込み、φ5の孔から躯体に取付けてください。

ポイント

●「φ4.5×63丸木ネジ」は現場で手配してください。

②垂木化粧材を妻垂木の既存孔に、【21-1】で取付けてください。
③連棟用垂木掛部品にシーリングし、垂木掛けに取付けてください。（図15-10参照）

（3）ガーデンルームタイプの場合の垂木化粧材の取付け

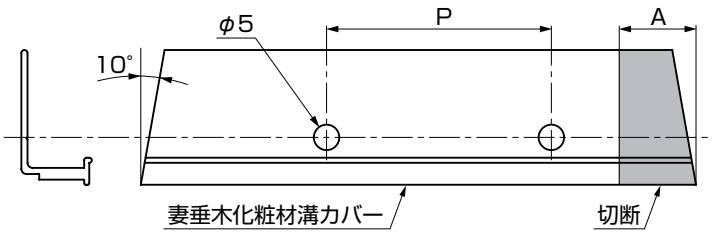


図15-10

表15-8

	加工孔n	P	切断寸法A
4尺	2	1000	1218
6尺	3	800	609
8尺	4	700	0

①4尺・6尺の場合、妻垂木化粧材溝カバーを切断してください。
（図15-10、表15-8参照）
②妻垂木化粧材溝カバーに、φ5の孔をあけてください。
（図15-10、表15-8参照）

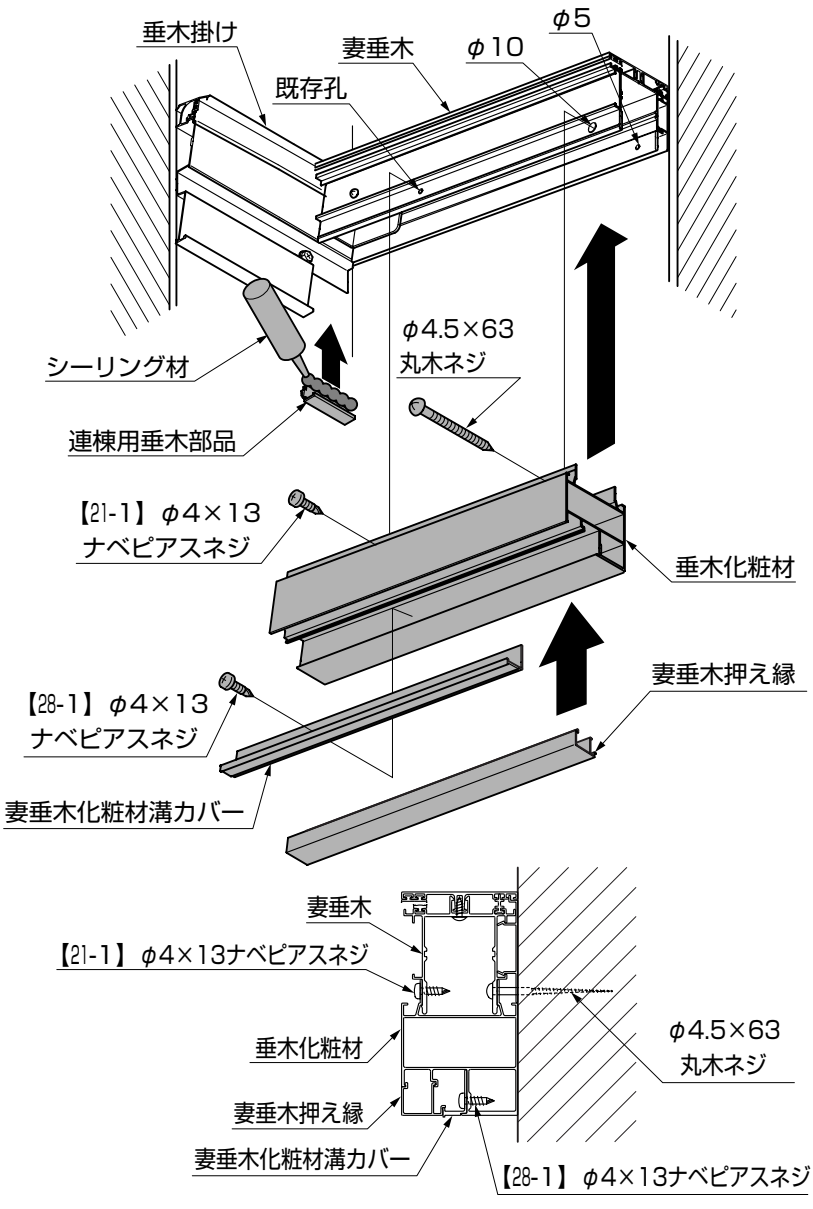


図15-11

③垂木化粧材を妻垂木に組付け、φ10の孔から「φ4.5×63丸木ネジ」を差込み、φ5の孔から躯体に取付けてください。

ポイント

●「φ4.5×63丸木ネジ」は現場で手配してください。

④連棟用垂木掛部品にシーリングし、垂木掛けに取付けてください。
⑤垂木化粧材を妻垂木の既存孔に、【21-1】で取付けてください。
⑥妻垂木化粧材溝カバーを垂木化粧材に【28-1】で取付けてください。
⑦妻垂木押え縁を垂木化粧材に取付けてください。

16. ロールスクリーン本体の取付け オプション

16-1 ロールスクリーン本体の取付け オプション

※ロールスクリーンを取付ける場合の作業です。

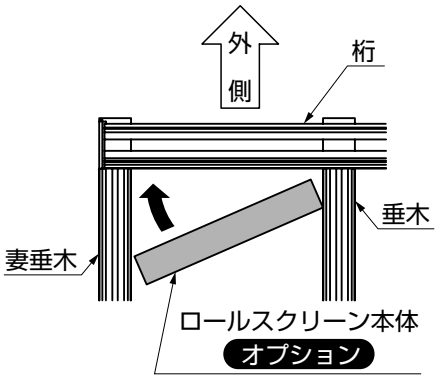


図16-1

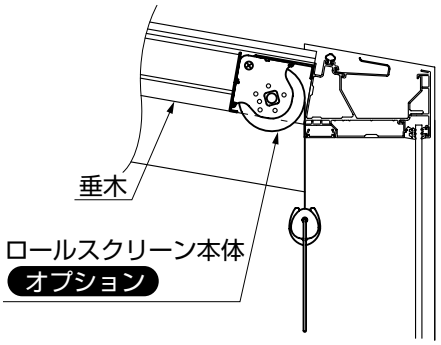


図16-2 ロールスクリーン納まり

①ロールスクリーン本体を、垂木間にはめ込んでください。

ポイント

- ●ロールスクリーン本体は、中骨の取付け同様に斜めに差込み取付けてください。
- ●ロールスクリーン本体のロープクリップが、均等にパイプを3等分する位置にとまっていることを確認してください。（図16-4参照）

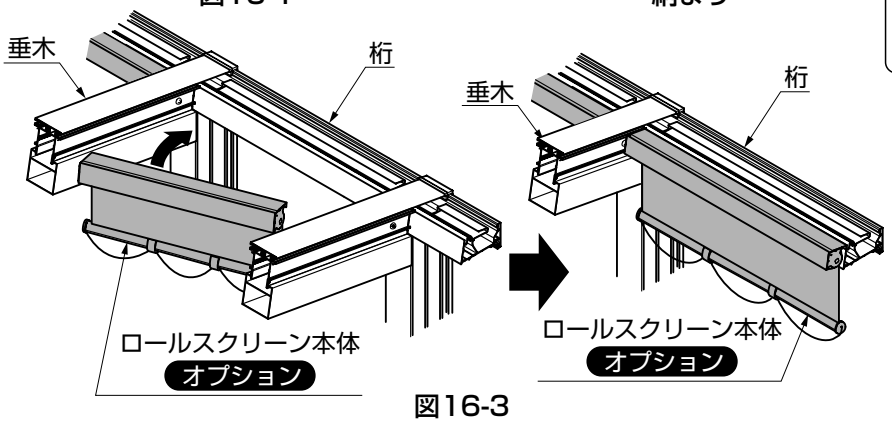


図16-3

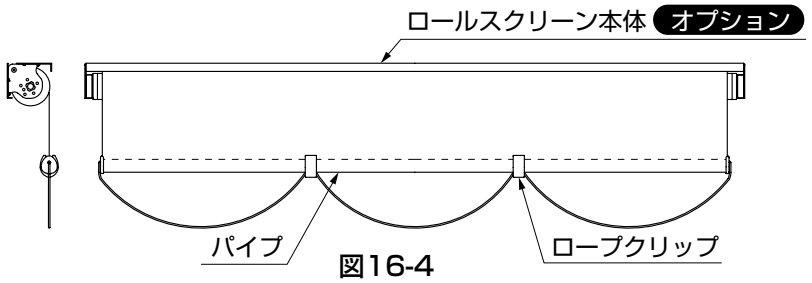


図16-4

16-2 ロールスクリーンを取付ける場合の垂木フタの取付け オプション

※ロールスクリーンを取付ける場合の作業です。

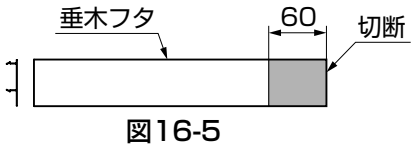


図16-5

①垂木フタを切断してください。（図16-5参照）

ポイント

- ●ロールスクリーンを取付けた側の垂木フタを切断してください。

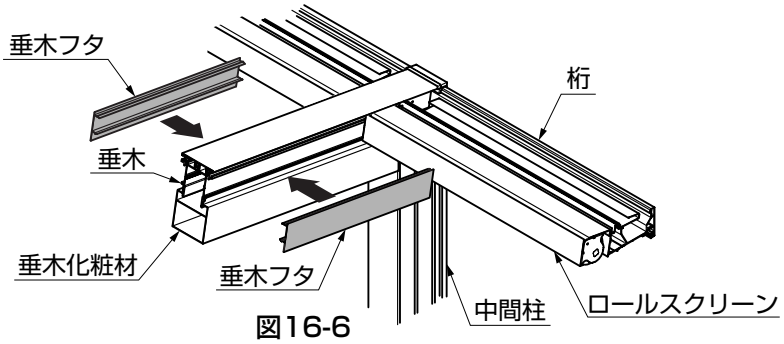


図16-6

②垂木フタをロールスクリーンに突きあてて、垂木にはめ込んでください。（図16-6参照）

17. 垂木フタの取付け　※図はサイドスルータイプを示します。

17-1　垂木フタの取付け

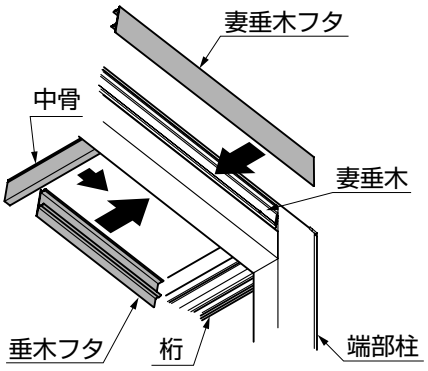


図17-1　妻垂木部

①妻垂木フタを、妻垂木にはめ込んでください。
②桁側の垂木フタを、桁に突きあてて垂木にはめ込んでください。
③中骨を、取付けた垂木フタ側に寄せてください。
④垂木掛け側の垂木フタを、中骨に突きあてて、垂木にはめ込んでください

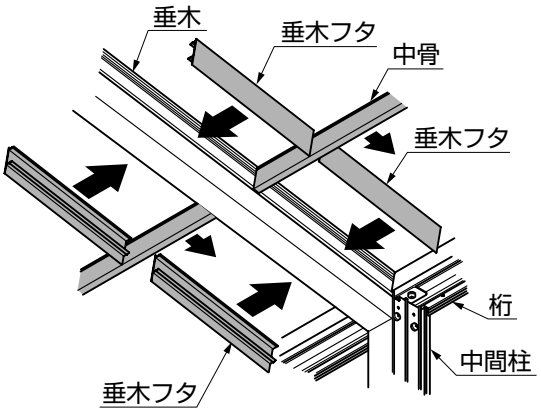
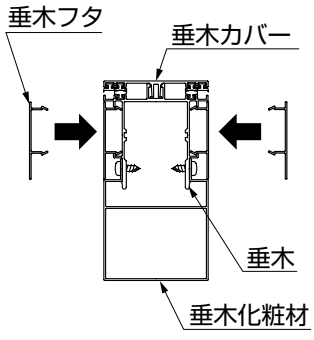


図17-2　中間垂木部



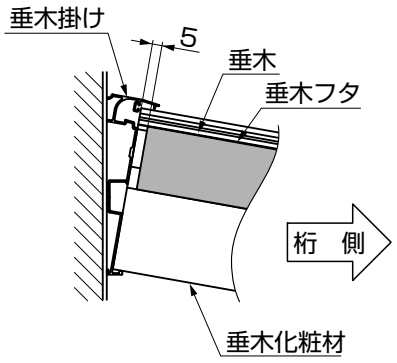


図17-3

ポイント

- 垂木フタは桁側に寄せて取付けて、垂木掛けと垂木フタを5mm程度のすき間をあけてください。（図17-3参照）
- 垂木フタは端部用と中間用があります。端部には妻垂木フタを取付けてください。（図17-4、図17-5参照）

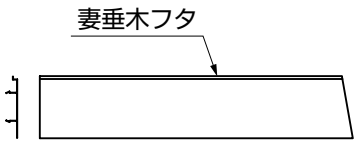


図17-4　端部用

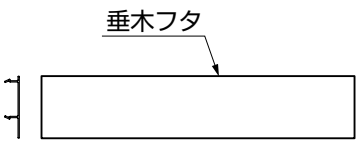


図17-5　中間用

18. 内部日除けの取付け オプション ※内部日除けを取付ける場合の作業です。

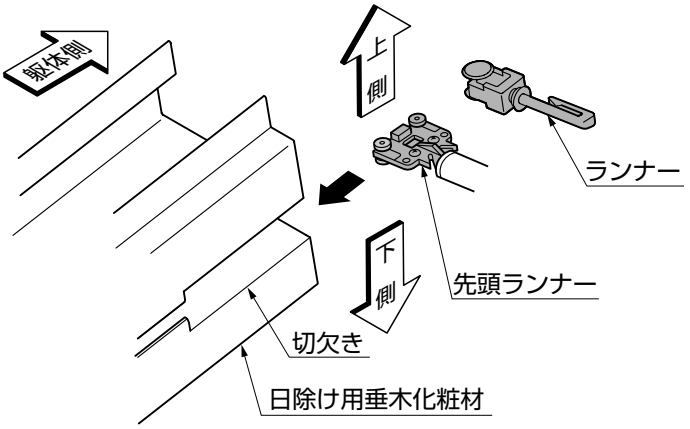


図18-1

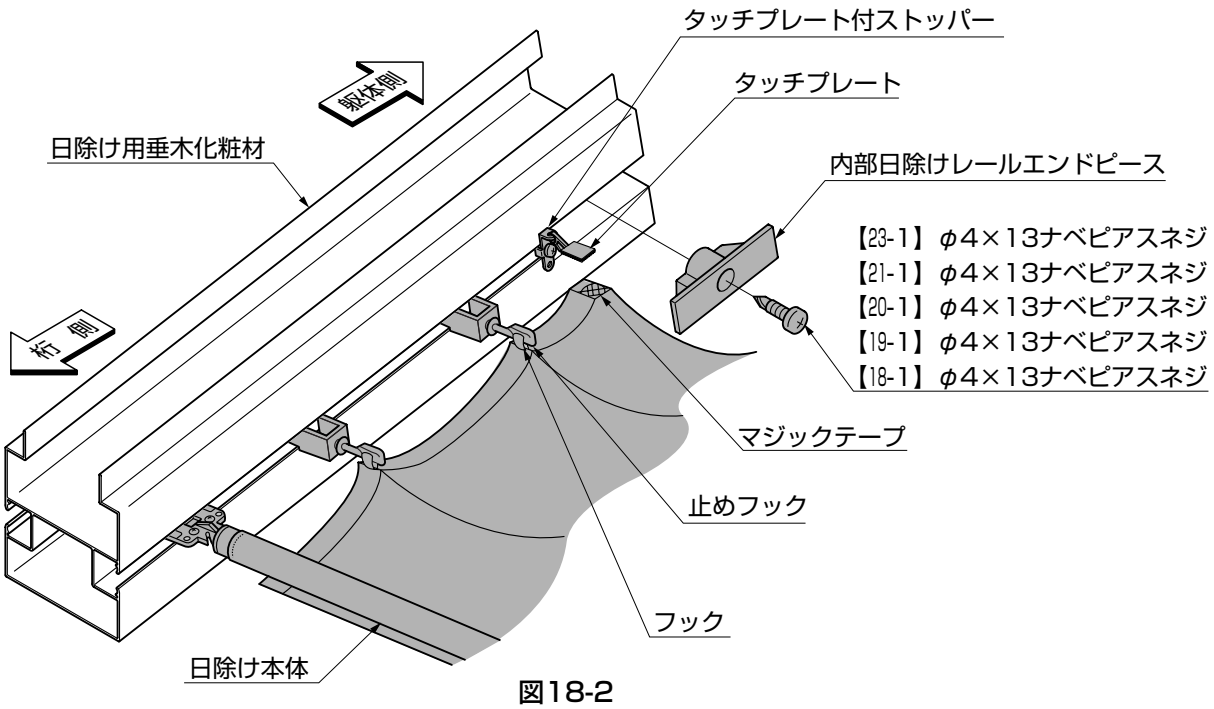


図18-2

①日除け用垂木化粧材の躯体側の切欠きから、日除け本体の先頭ランナー側を差込んでください。(図18-1参照)

ポイント

●先頭ランナーの上下を間違えないでください。日除け本体の作動不良・生地破損の原因になります。(図18-2参照)

②ランナーを日除け用垂木化粧材に差込んでください。その際、ランナーのU字型をした止めフックを指でつまみながら差込んでください。
③タッチプレート付ストッパーを取付けて、日除け本体後端のマジックテープと、タッチプレートを貼付けてください。
④先頭ランナー側の止めフックから順に、日除け本体のフックを引掛けてください。
⑤内部日除けレールエンドピースを日除け用垂木化粧材に、【18-1】または【19-1】、【20-1】、【21-1】、【23-1】で取付けてください。

ポイント

●【18-1】または【19-1】、【20-1】、【21-1】、【23-1】は強く締めすぎないようにしてください。

19. 垂木掛けキャップの取付け

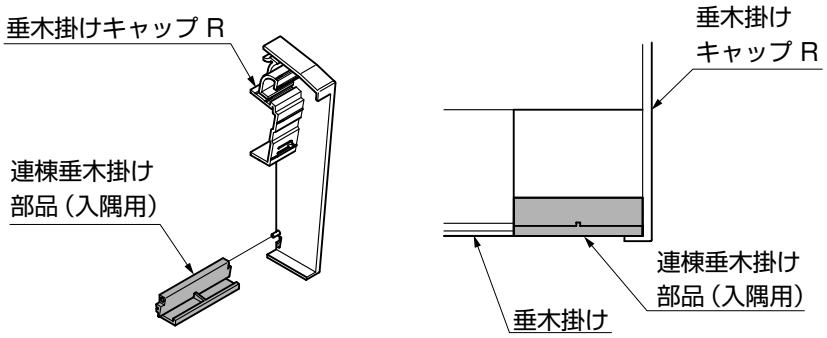


図19-1　オープンテラスタイプ、サイドスルータイプの場合

①オープンテラスタイプ、サイドスルータイプの場合、連棟垂木掛け部品を垂木掛けキャップに取付けてください。（図19-1参照）

ポイント

●ガーデンルームタイプの場合には、垂木掛けキャップに連棟垂木掛け部品を取付けません。

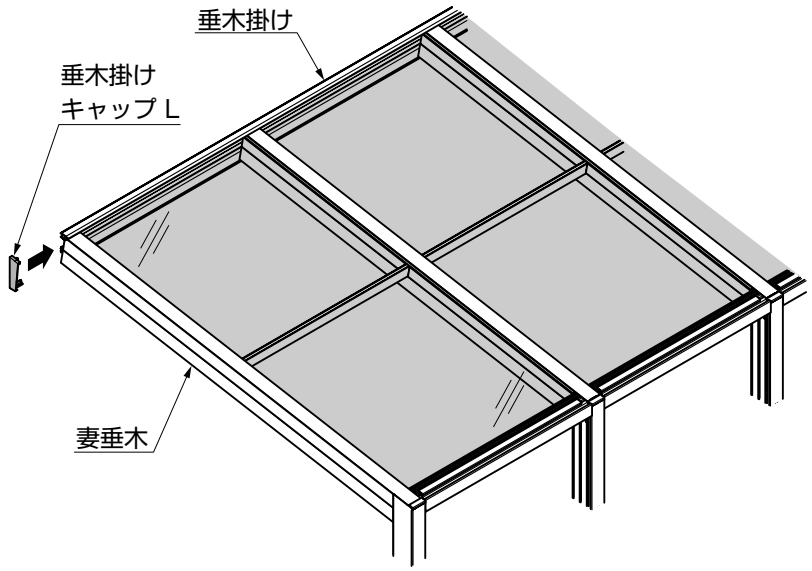


図19-2

②垂木掛けキャップを、垂木掛けに取付けてください。（図19-2参照）

ポイント

●入隅の場合は、入隅側の垂木掛けキャップは取付けません。

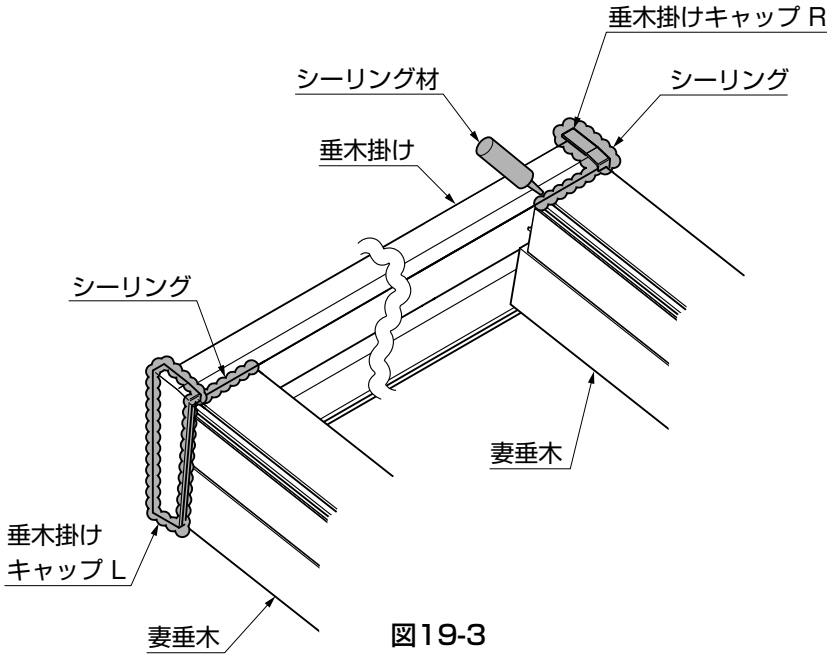


図19-3

③垂木掛けキャップのまわりに、シーリングをしてください。（図19-3参照）

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

20. 垂木掛けカバーの取付け

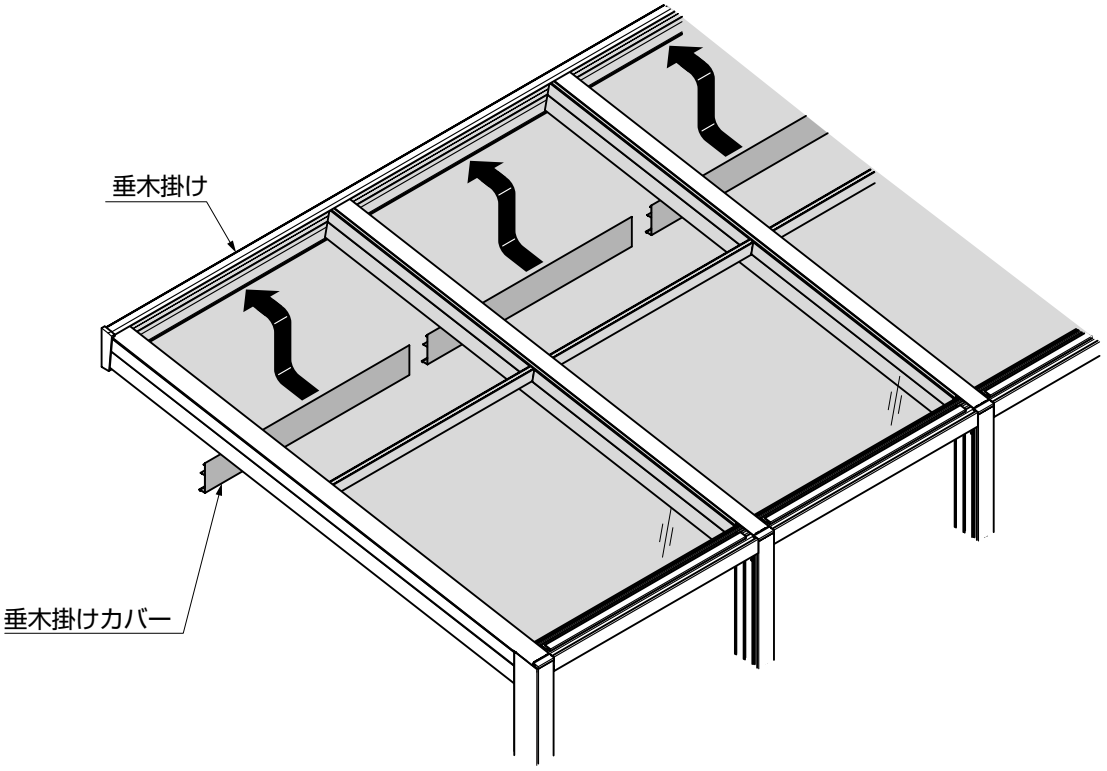


図20-1

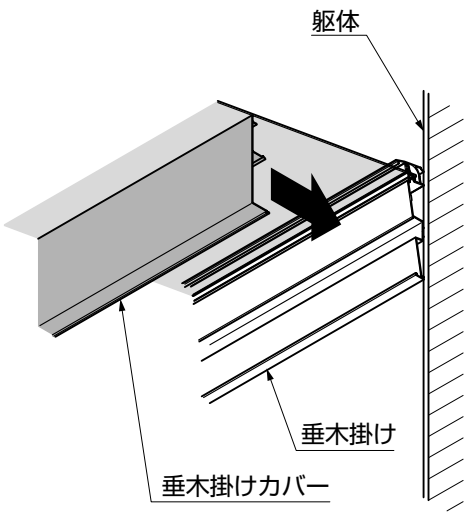


図20-2

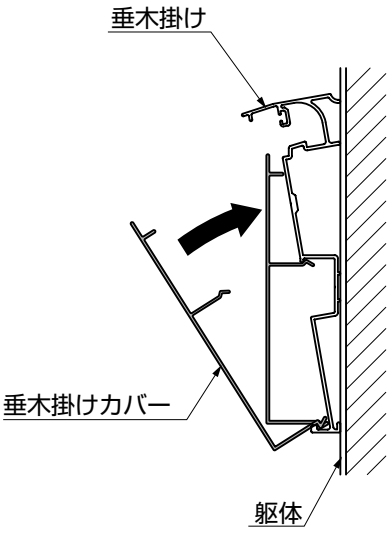


図20-3

ポイント

●内部日除けを取付ける場合は、先に取付けてください。

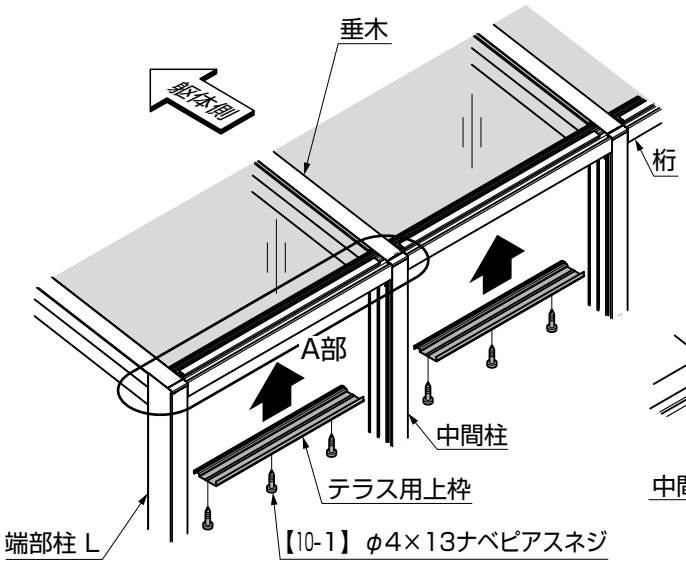
①垂木掛けカバーを、垂木掛けにはめ込んでください。

ポイント

●垂木掛けカバーを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。

21. テラス用上枠の取付け　※オープンテラスタイプの場合の作業です。

21-1 テラス用上枠の取付け



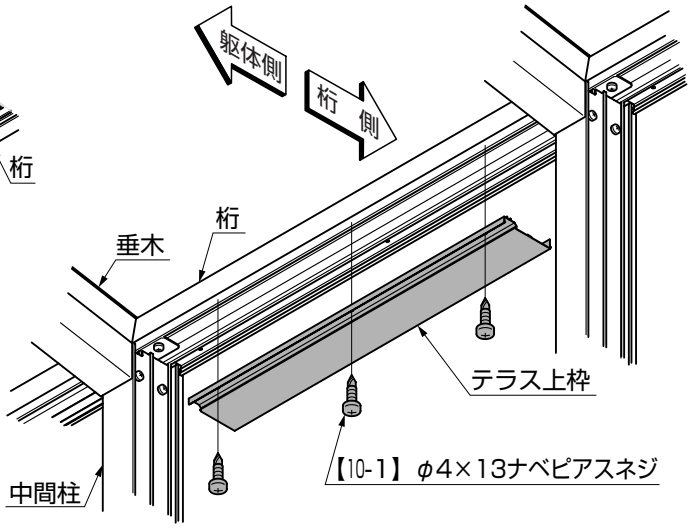


図21-1　A部詳細図

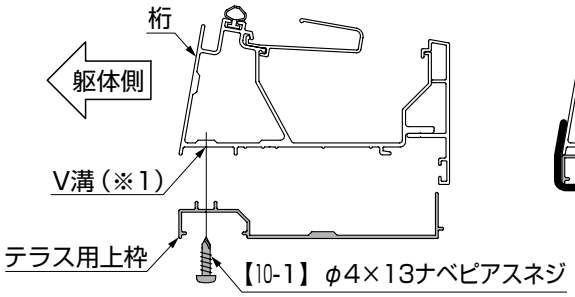


図21-2

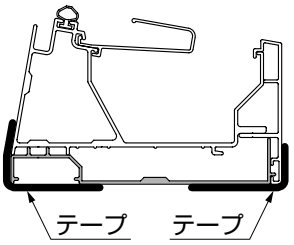


図21-3

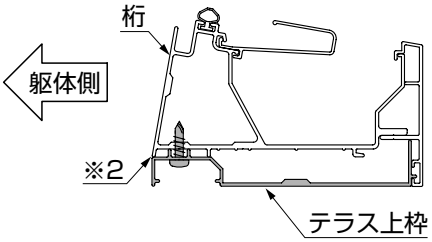


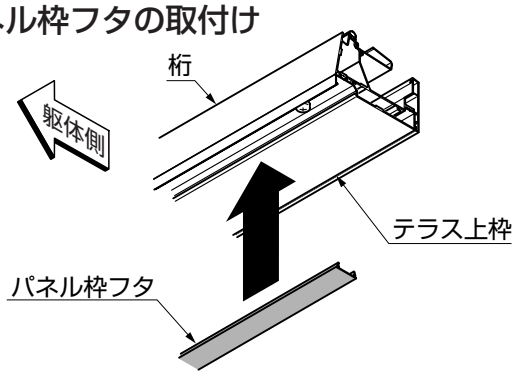
図21-4

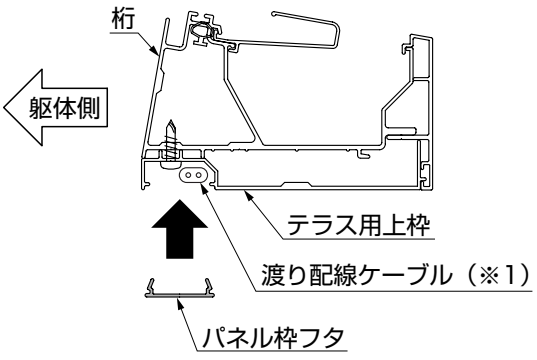
①テラス用上枠を桁のV溝（※1）に、【10-1】で取付けてください。

ポイント

●テラス用上枠を取付ける際は、テープ等で仮止めして取付けてください。（図21-3参照）
●テラス用上枠と桁のコーナー目地部（※2）に、段差がつかないように取付けてください。（図21-4参照）

21-2 パネル枠フタの取付け



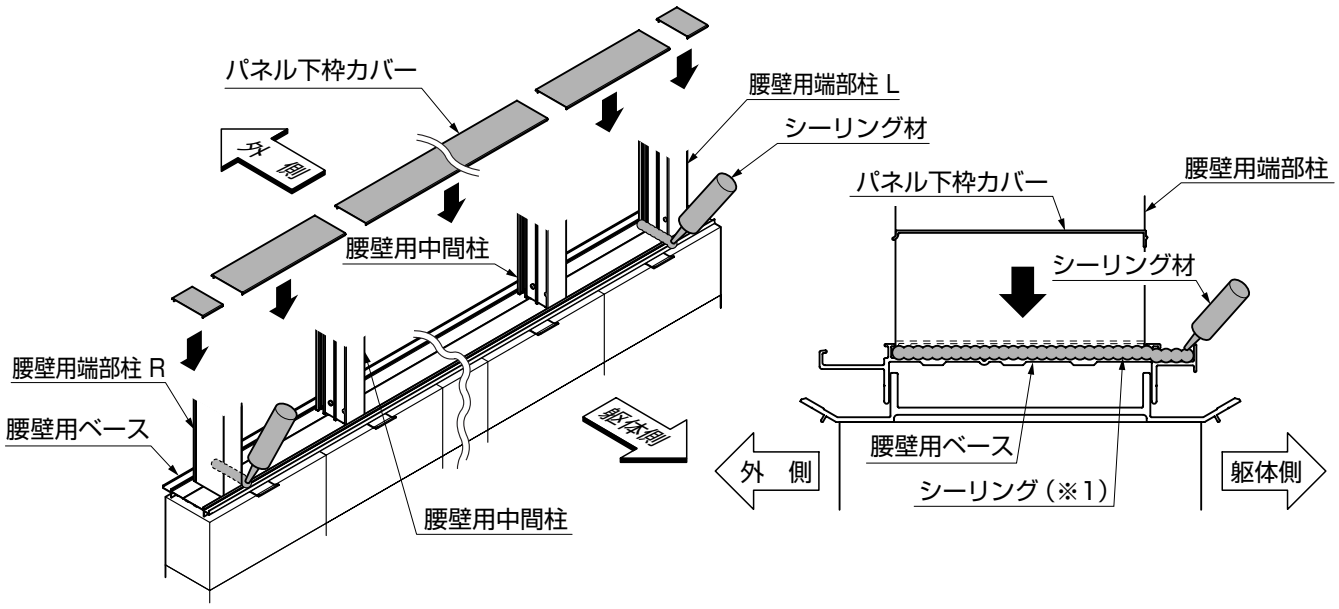


①パネル枠フタをテラス上枠にはめ込んでください。

ポイント

●LED照明 オプション を取付ける場合は、「3　本体の施工　2. 基本仕様の配線工事 オプション 、3. 腰壁仕様の配線工事 オプション 」を参照してください。

22. パネル下枠カバーの取付け ※オープンテラス腰壁タイプの場合の作業です。



①腰壁用端部柱の内側と腰壁用ベースの合わせ面にシーリングをしてください。（※1）

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

②パネル下枠カバーを、腰壁用ベースにはめ込んでください。

ポイント

●パネル下枠カバーを取付けた後、「3 本体の施工 23. 柱フタの取付け」を参照して腰壁用柱フタを取付けてください。

23. 柱フタの取付け ※オープンテラスで柱を埋込まないタイプの場合の作業です。

23-1 端部柱への取付け

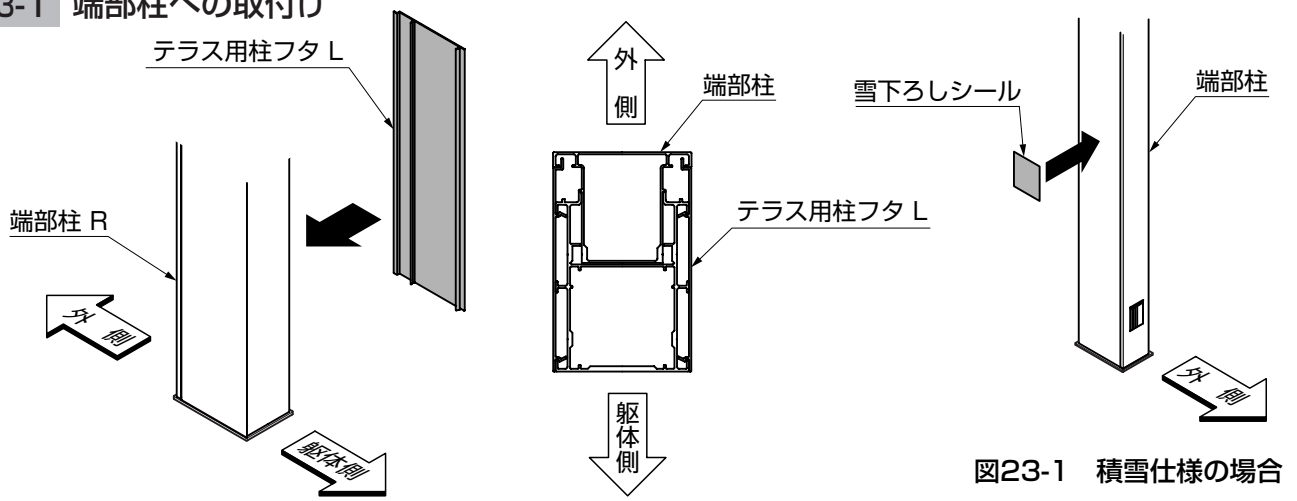


図23-1 積雪仕様の場合

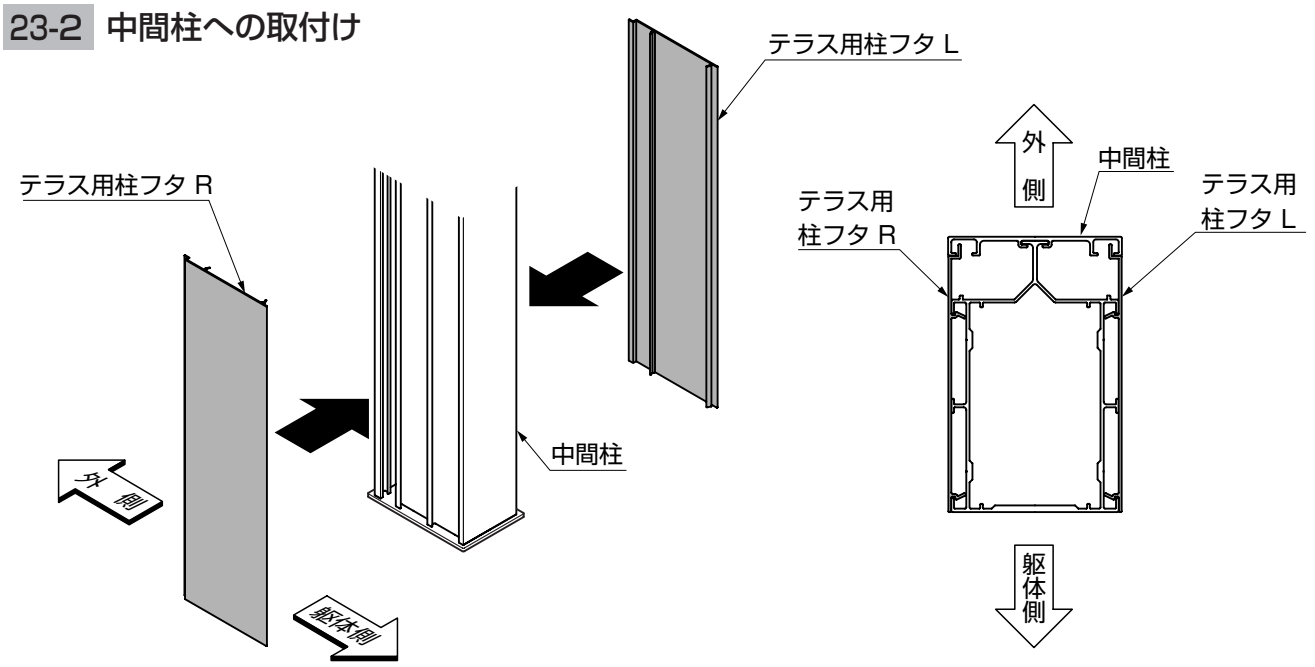
①テラス用柱フタを端部柱の内側からはめ込んでください。

ポイント

●積雪仕様の場合は施工終了後、端部柱の見やすい位置に雪下ろしシールを貼付けてください。（図23-1参照）

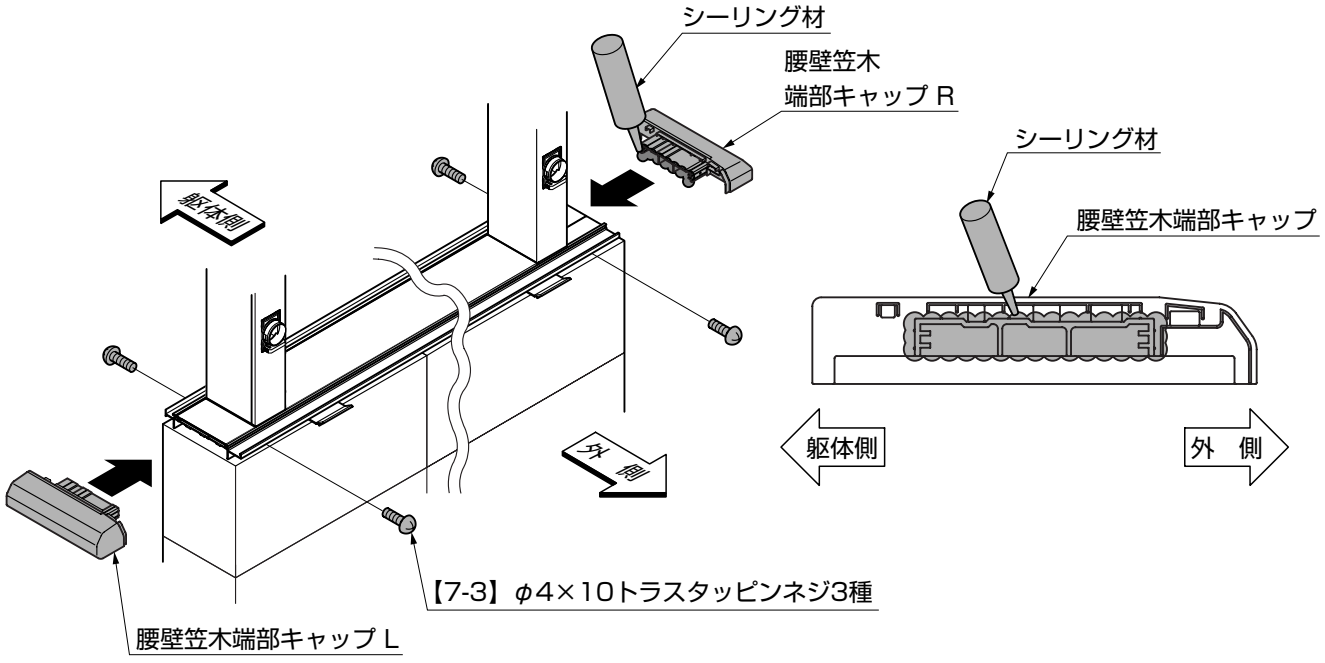
E219_200607B

23-2 中間柱への取付け



①テラス用柱フタを、中間柱にはめ込んでください。

24. 腰壁笠木キャップの取付け ※図はオープンテラス腰壁タイプの場合を示します。



①腰壁笠木端部キャップにシーリングをしてください。

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

②腰壁笠木端部キャップを、【7-3】で取付けてください。

E219_200607B

25. 雨樋受け部品の取付け

25-1 雨樋受け部品の取付け

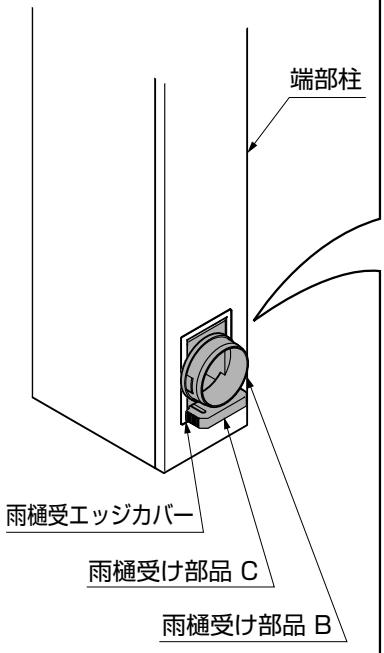


図25-1

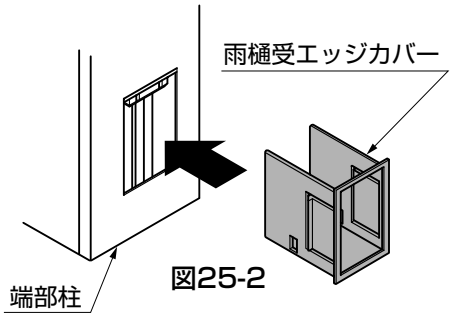


図25-2

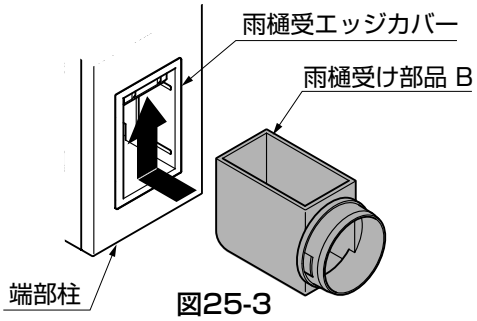


図25-3

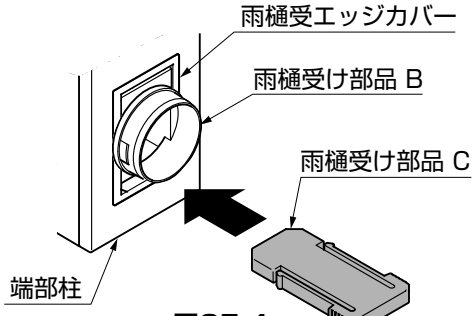


図25-4

①端部柱に、雨樋受けエッジカバーをはめ込んでください。（図25-2参照）
②雨樋受け部品 Bを端部柱にはめ込み、上に少し持ち上げてください。（図25-3参照）
③雨樋受け部品 Cを端部柱にはめ込んでください。（図25-4参照）

ポイント

●雨樋受け部品 B、雨樋受け部品 Cは接着しないでください。

25-2 雨樋受け部品の取外し

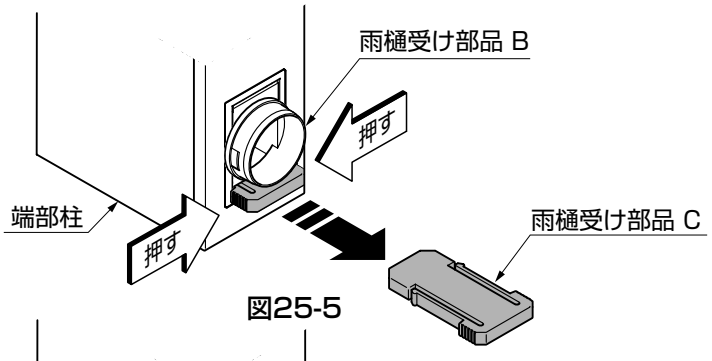


図25-5

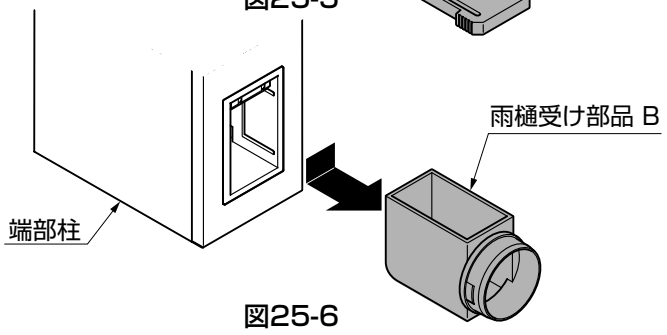


図25-6

補 足

●雨樋受けは、ゴミがたまったとき等に取外すことができます。

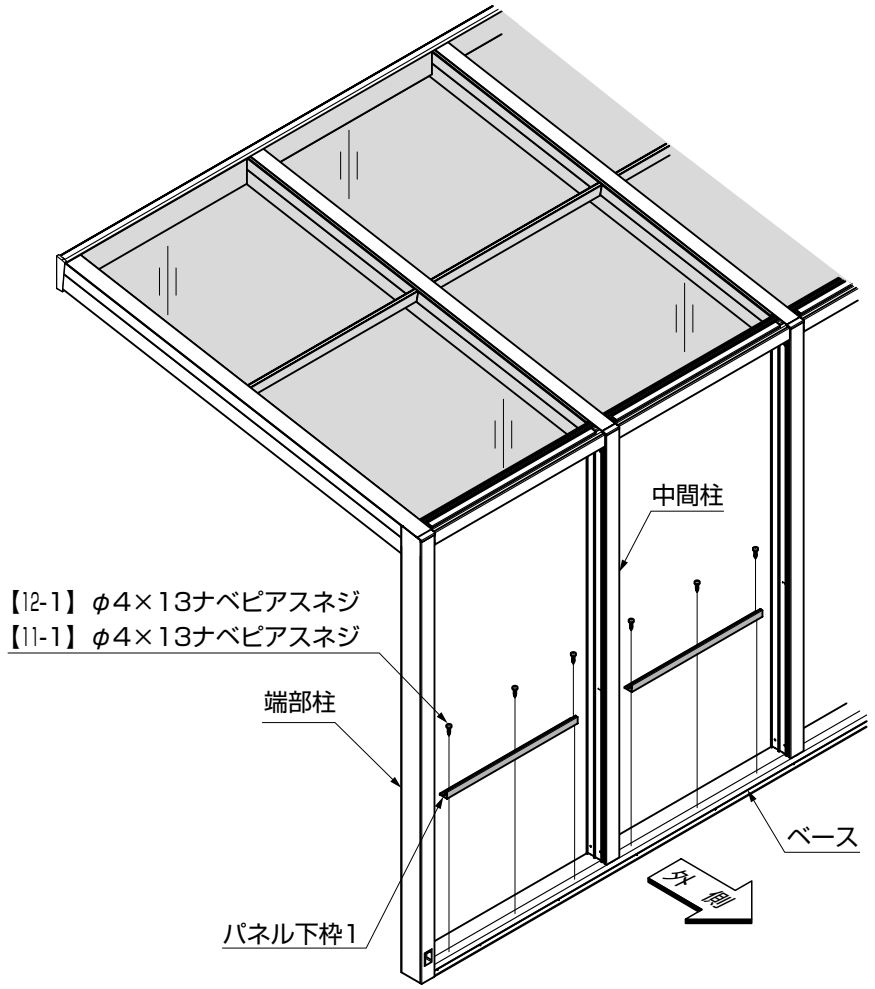
①雨樋受け部品 Cを取外してください。（図25-5参照）
②雨樋受け部品 Bを取外してください。（図25-6参照）

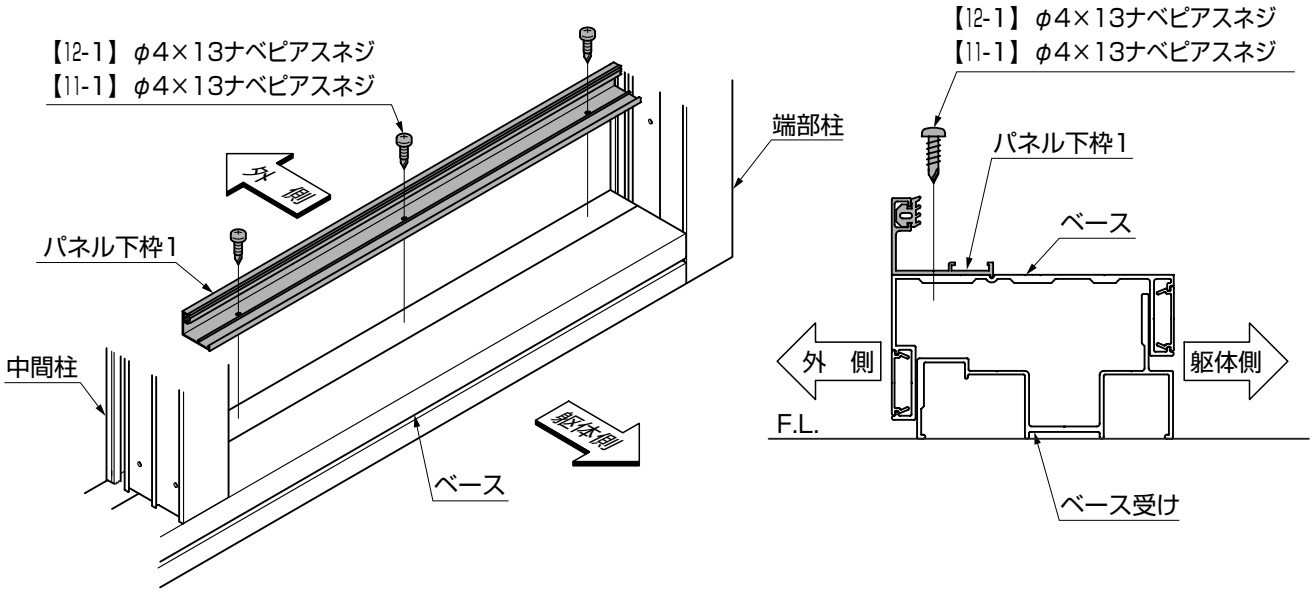
E219_200607B

4　前面パネルの取付け

※サイドスルー、ガーデンルームタイプの場合の作業です。腰壁仕様の場合も同様の作業です。
※図はサイドスルータイプを示します。

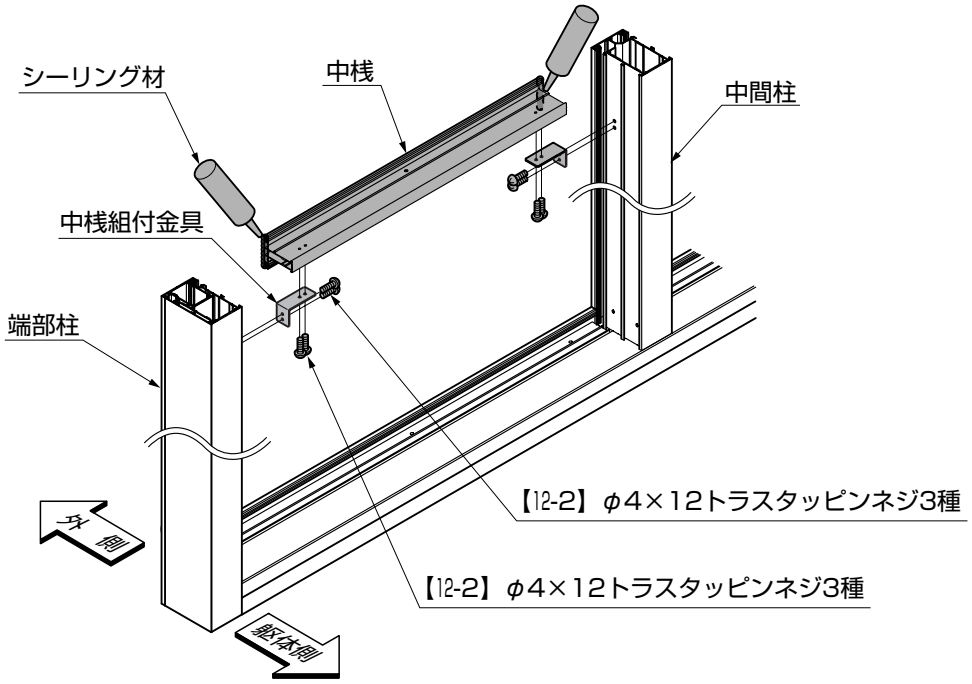
1. パネル下枠1の取付け





①パネル下枠1をベースに、【11-1】または【12-1】で取付けてください。

2. 中桟の取付け　※中桟を取付ける場合の作業です。



①中桟の端部をシーリングしてください。
②中桟組付金具を端部柱、中間柱に【12-2】で取付けてください。
③中桟を中桟組付金具に、【12-2】で取付けてください。

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

3. パネル下枠 1の取付け　※サイドスルー、ガーデンルーム腰壁タイプの場合の作業です。

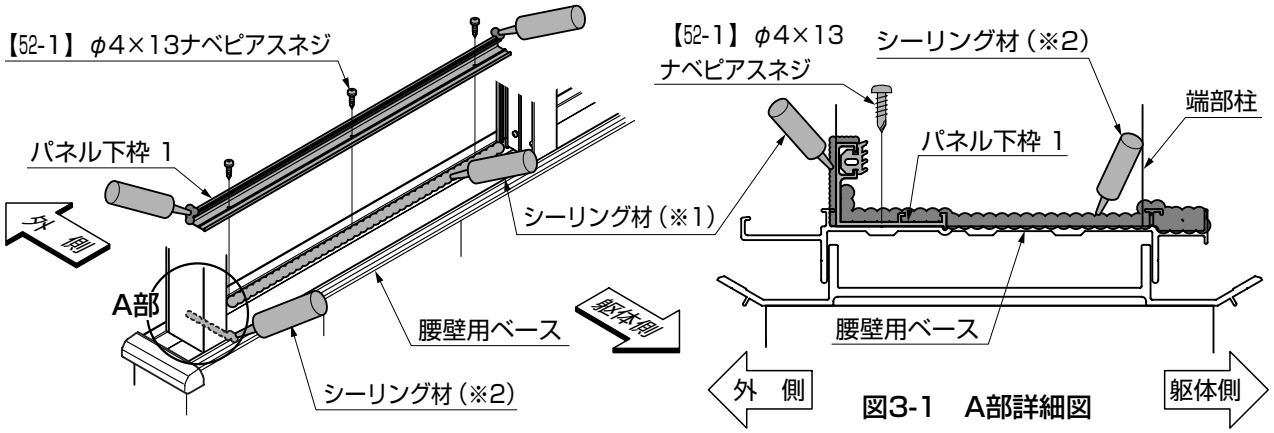


図3-1　A部詳細図

①パネル下枠 1と腰壁用ベースの間に、シーリング（※1）をしてください。
②パネル下枠 1を腰壁用ベースに、【52-1】で取付けてください。
③端部柱と腰壁用ベース、パネル下枠 1の合わせ面に、シーリング（※2）をしてください。（図3-1参照）

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
●パネル下枠カバーを取付けた後、「4 前面パネルの取付け」を行ってください。

4. 前面パネルの取付け

4-1 中桟なしの場合の取付け

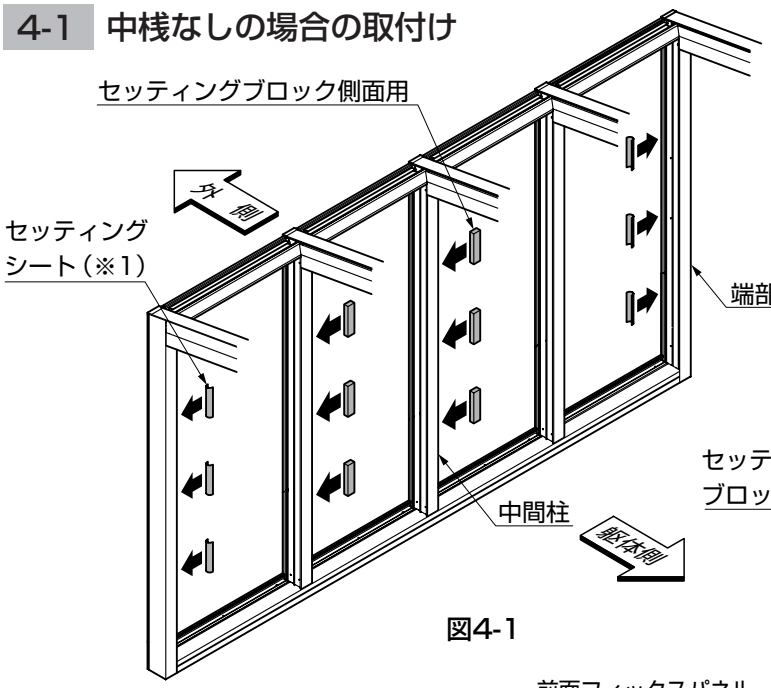


図4-1

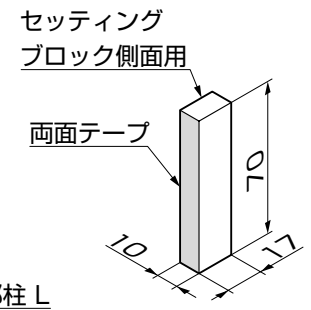


図4-2　側面用

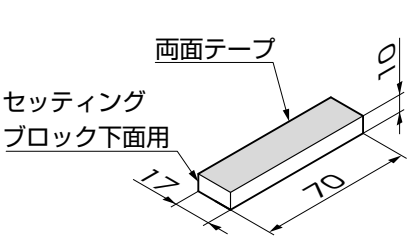


図4-3　下面用

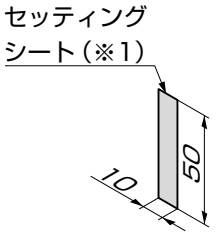


図4-4

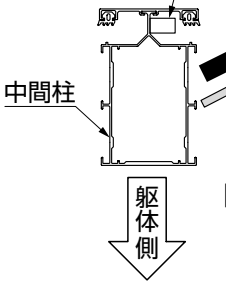


図4-5

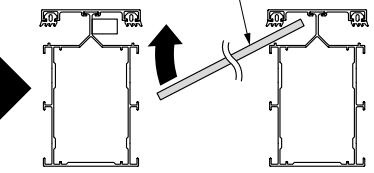


図4-6

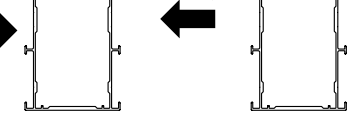


図4-7

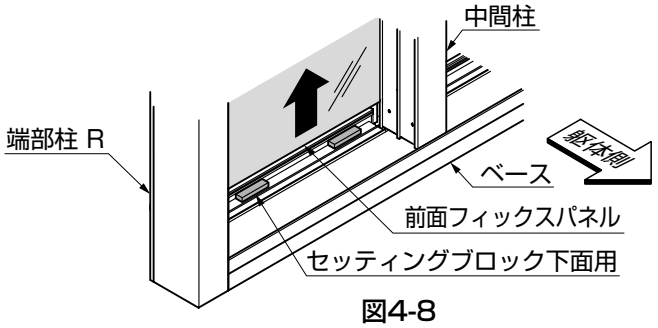


図4-8

①セッティングブロック側面用を、中間柱の片側に取付けてください。（図4-1参照）

ポイント

- ●セッティングブロックには、側面用と下面用の2種類があります。（図4-2、図4-3参照）
- ●セッティングブロック側面用は、中間柱間の片側に取付けてください。
- ●セッティングシートは、ガラスパネルを取付ける場合に端部柱に取付けます。（※1）

②前面フィックスパネルの片側を中間柱に差込んで、反対側を端部柱、中間柱に押込むようにはめ込んでください。（図4-5、図4-6、図4-7参照）

③前面フィックスパネルを上方へ持上げて、セッティングブロック下面用をベースに取付けてください。（図4-8参照）

ポイント

- ●前面フィックスパネルは、吸盤等で持上げてください。

4.（つづき）

4-2 中桟ありの場合

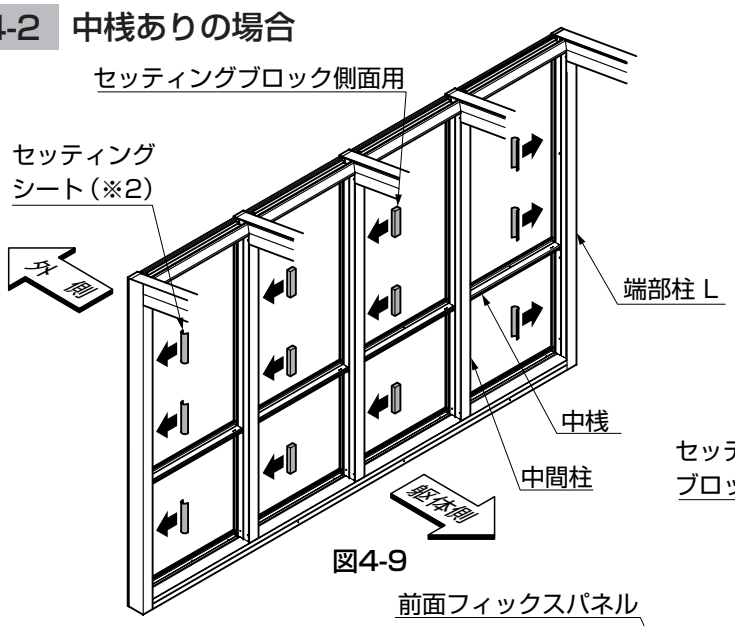


図4-9

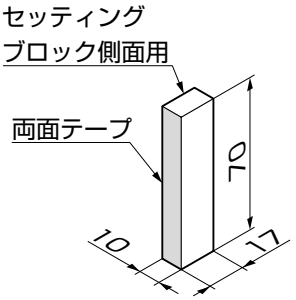


図4-10　側面用

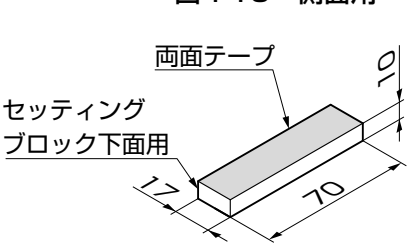


図4-11　下面用

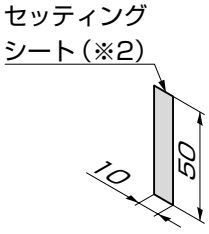


図4-12

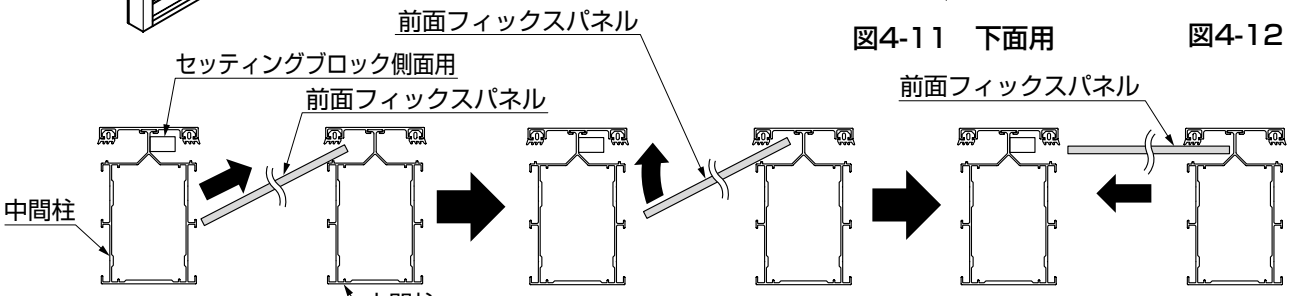


図4-13　図4-14　図4-15

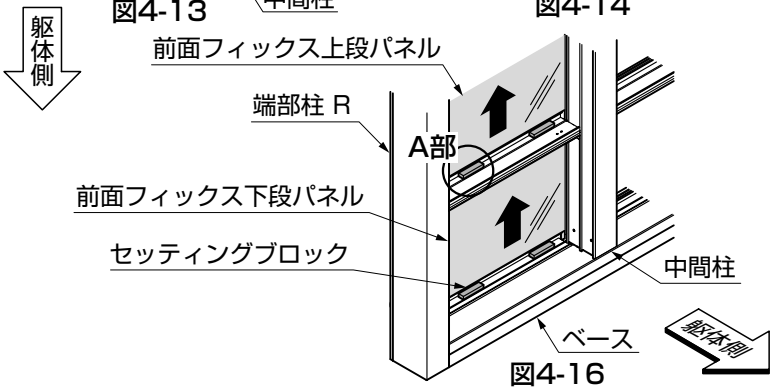


図4-16

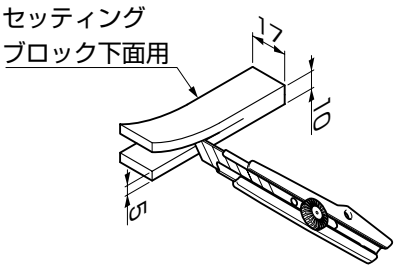


図4-17　A部詳細図

①セッティングブロック側面用を、中間柱の片側に取付けてください。（図4-9参照）

ポイント

- ●セッティングブロックには、側面用と下面用の2種類があります。（図4-10、図4-11参照）
- ●セッティングブロック側面用は、中間柱間の片側に取付けてください。
- ●セッティングシートは、ガラスパネルを取付ける場合に端部柱に取付けます。（※2）

②前面フィックスパネルの片側を中間柱に差込んで、反対側を端部柱、中間柱に押込むようにはめ込んでください。（図4-13、図4-14、図4-15参照）

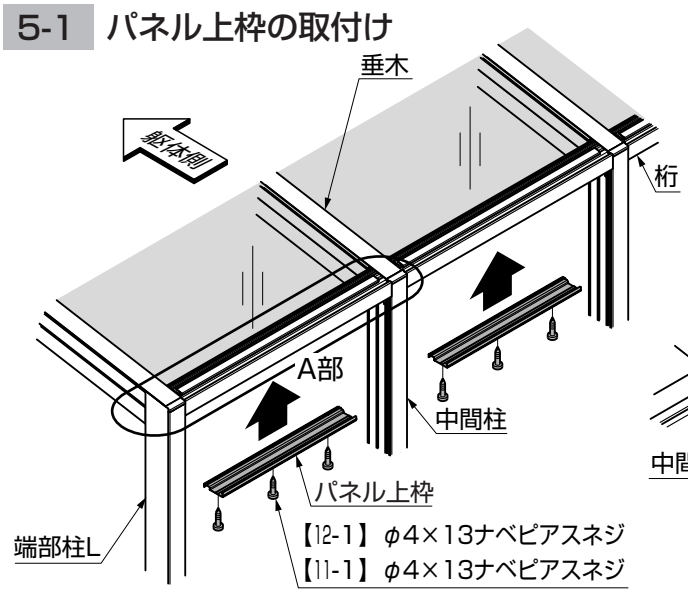
③前面フィックスパネルを上方へ持上げて、セッティングブロック下面用をベースに取付けてください。（図4-16参照）

ポイント

- ●前面フィックスパネルは、下段パネルを先に取付けてください。
- ●前面フィックスパネルは、吸盤等で持上げてください。
- ●中桟に取付けるセッティングブロック下面用は、加工をしてから取付けてください。（図4-17参照）

5. パネル上枠の取付け

5-1 パネル上枠の取付け



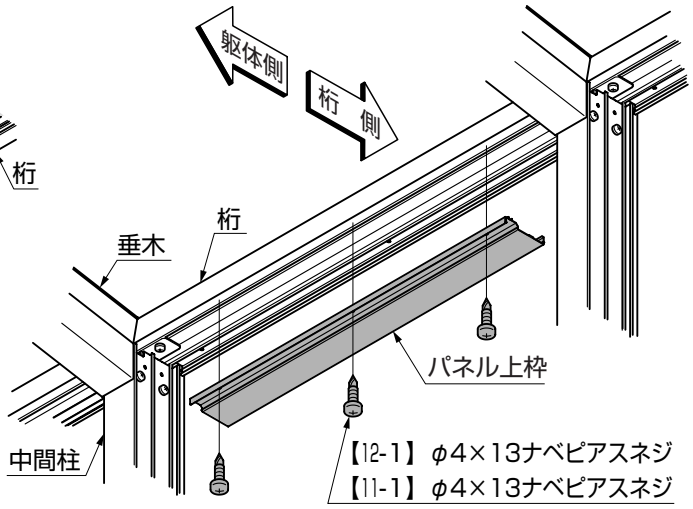


図5-1　A部詳細図

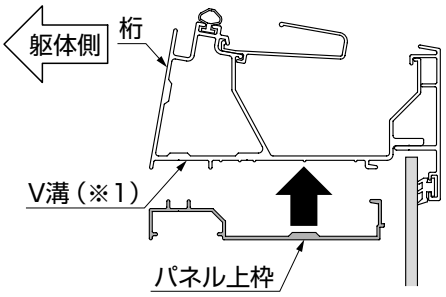


図5-2

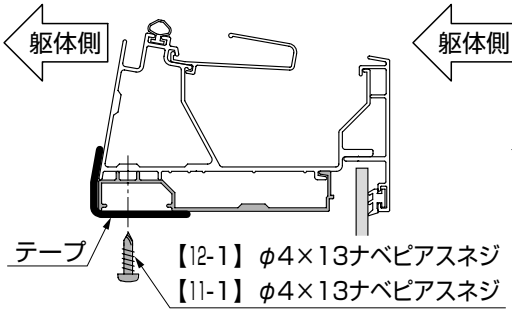


図5-3

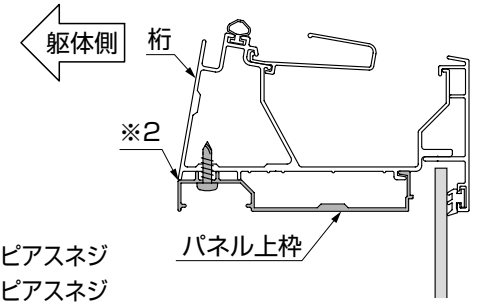


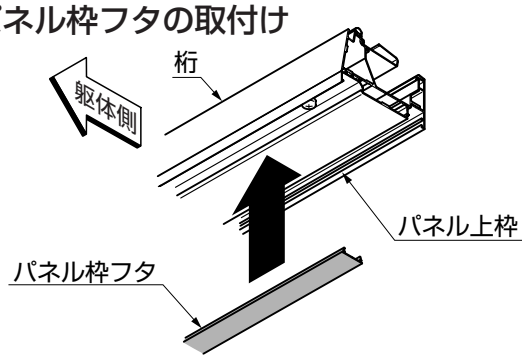
図5-4

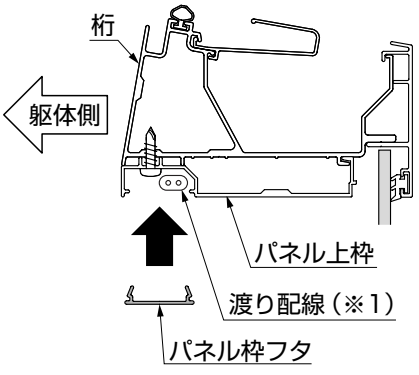
①パネル上枠を桁のV溝（※1）に、【11-1】または【12-1】で取付けてください。

ポイント

- ●【11-1】、【12-1】は、必ず3本ずつ取付けてください。後付けビートの取付けに支障が生じパネル強度が保たれない場合があります。
- ●パネル上枠を取付ける際は、テープ等で仮止めして取付けてください。（図5-3参照）
- ●パネル上枠と桁のコーナー目地部（※2）に段差がつかないように取付けてください。（図5-4参照）

5-2 パネル枠フタの取付け





①パネル枠フタを、パネル上枠にはめ込んでください。

ポイント

- ●LED照明 オプション を取付ける場合は、「 3　本体の施工　2. 基本仕様の配線工事 オプション 、3. 腰壁仕様の配線工事 オプション 」を参照して渡り配線（※1）をとりまわしてください。

6. パネル下枠 2、ベース化粧材 内の取付け

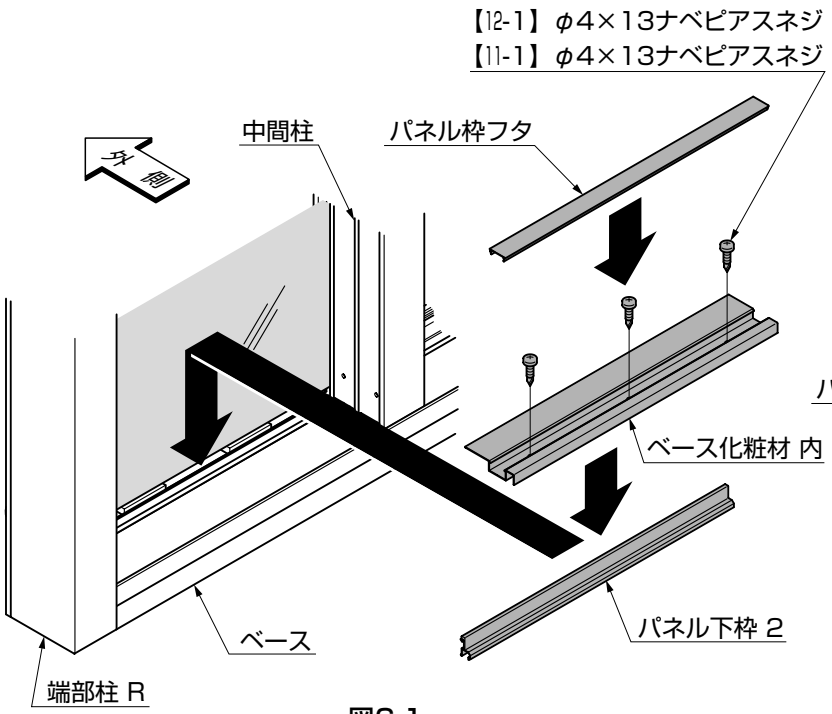


図6-1

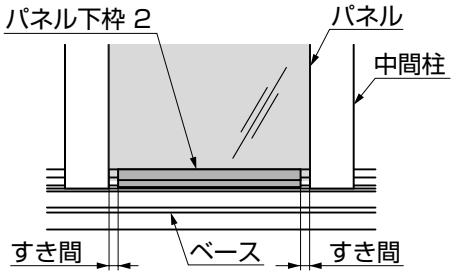


図6-2

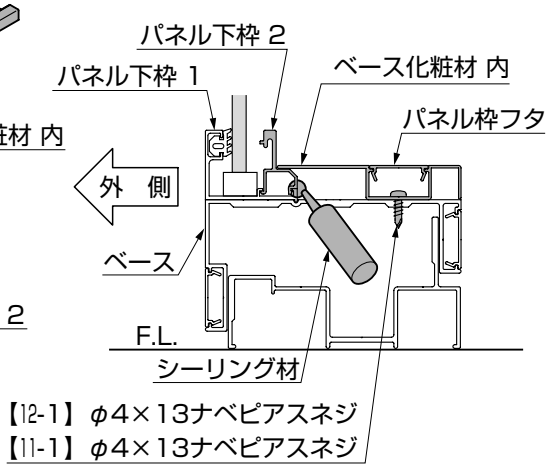


図6-3

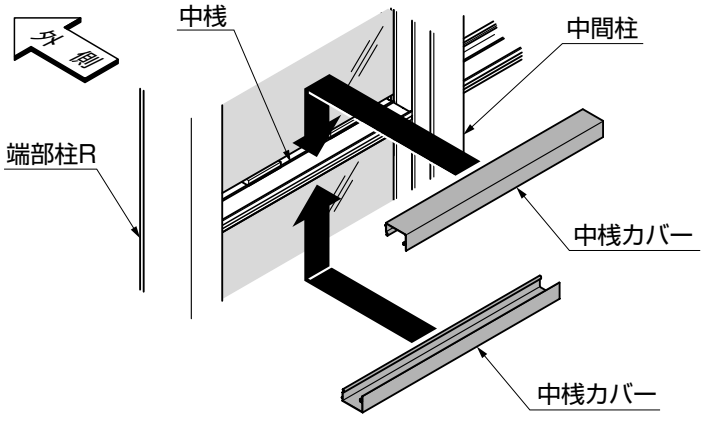
①パネル下枠 2を、パネル下枠 1に、はめ込んでください。

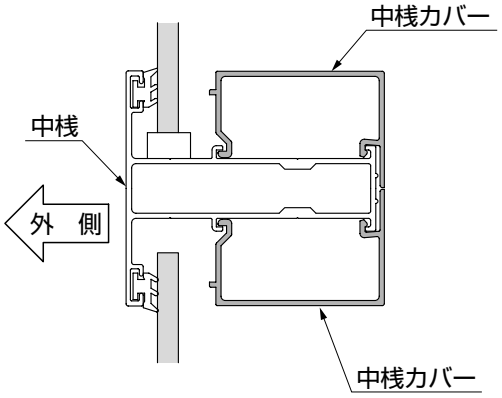
ポイント

- ●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
- ●パネル下枠 2の長さは、柱間の長さより数mm短くなっていますので、左右のすき間が均等になるように取付けてください。すき間がないと柱フタが取付かなくなります。(図6-2参照)

②ベース化粧材 内をベースに、【11-1】または【12-1】で取付けてください。
③パネル枠フタを、ベース化粧材 内に、はめ込んでください。

7. 中桟カバーの取付け　※中桟を取付けている場合の作業です。





①中桟カバーを中桟にはめ込んでください。

8. パネル下枠 2腰壁用、腰壁笠木カバーの取付け

※サイドスルー腰壁タイプ、ガーデンルーム腰壁タイプの場合の作業です。
※前面パネルの取付けは「4　前面パネルの取付け　4. 前面パネルの取付け　4-2 中桟ありの場合の上段パネルの取付け」を参照してください。

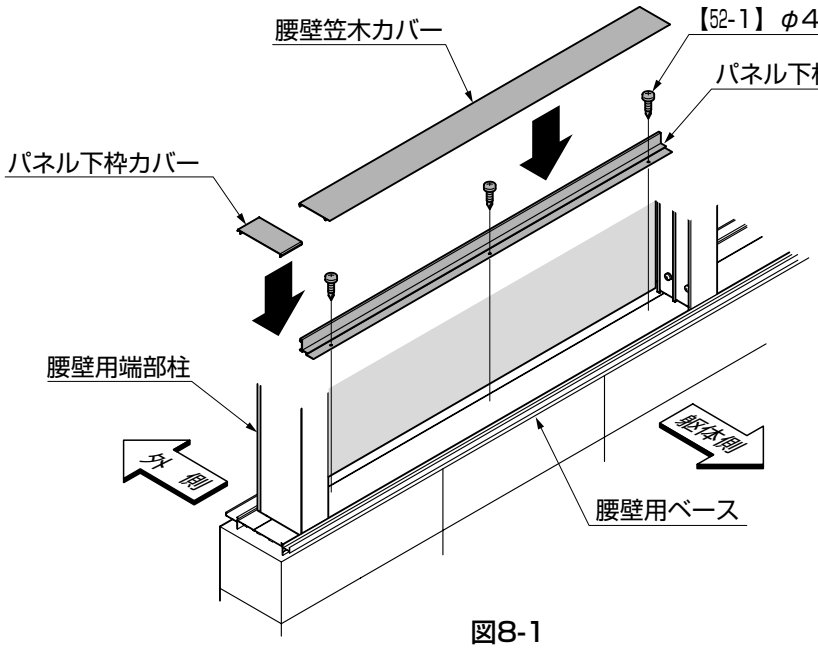


図8-1

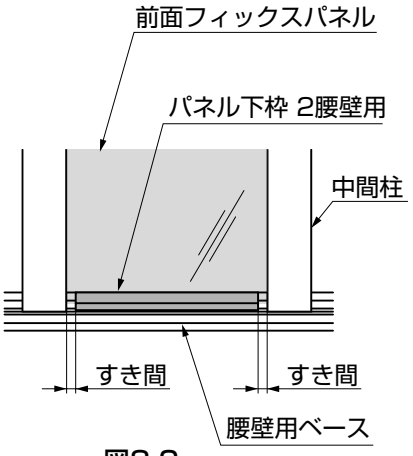


図8-2

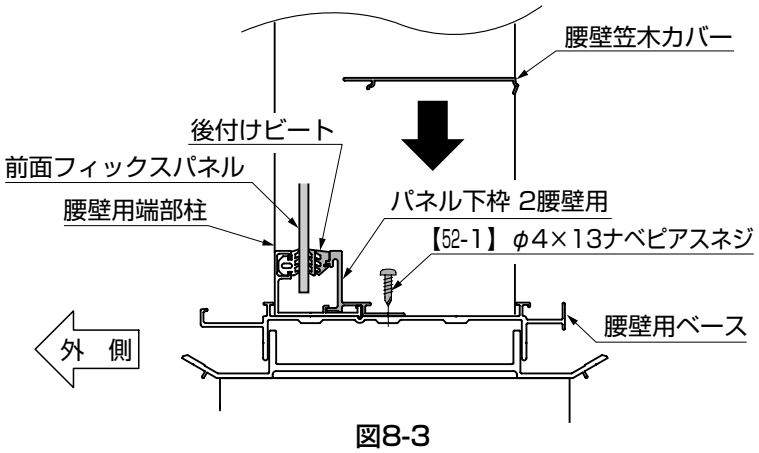


図8-3

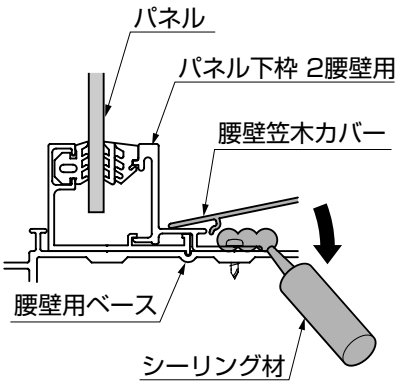


図8-4

①パネル下枠2 腰壁用を腰壁用ベースに、【52-1】で取付けてください。(図8-1、図8-3参照)

ポイント

- ●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。(図8-4参照)
- ●パネル下枠 2腰壁用を取付けた後、水準器等を使って水平を確認してください。
- ●パネル下枠　2腰壁用の長さは、柱間の長さより数mm短くなっていますので、左右のすき間が均等になるように取付けてください。(図8-2参照)

②後付けビートを、パネル下枠 2腰壁用とパネルのすき間に取付けてください。(図8-3参照)
③腰壁笠木カバーをはめ込んでください。(図8-3、図8-4参照)
④パネル下枠カバーを、腰壁用ベースに取付けてください。(図8-1参照)

ポイント

- ●連棟時はパネル下枠カバーが基本、連棟各1枚あまります。
- ●パネル下枠カバーを取付けた後「4 前面パネルの取付け　11. 柱フタの取付け」を行なってください。

9. 後付けビートの取付け　※前面上げ下げ窓 オプション を取付ける箇所は、行ないません。

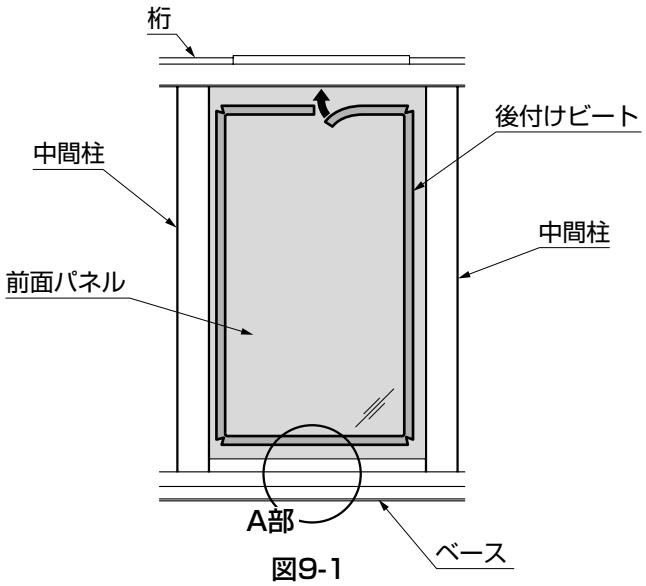


図9-1

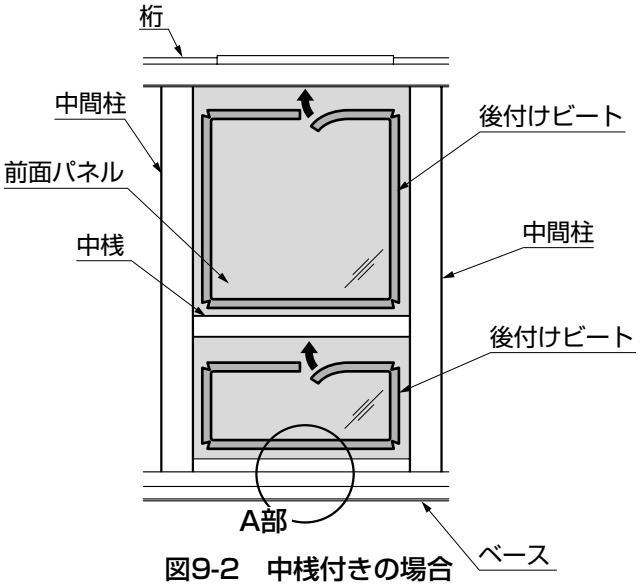


図9-2　中桟付きの場合

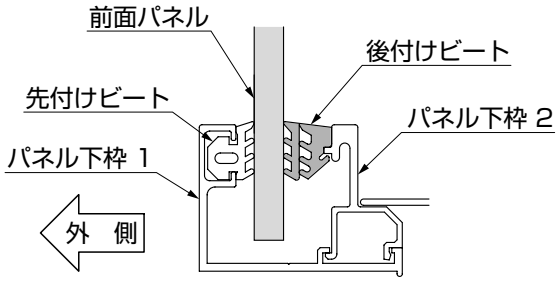


図9-3　A部詳細図

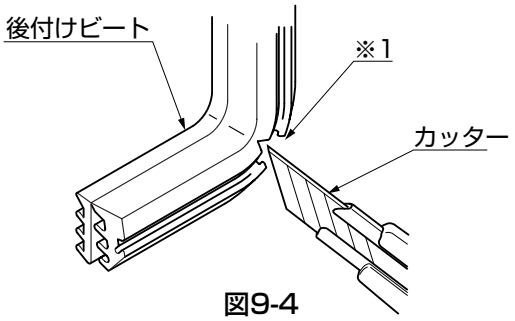


図9-4

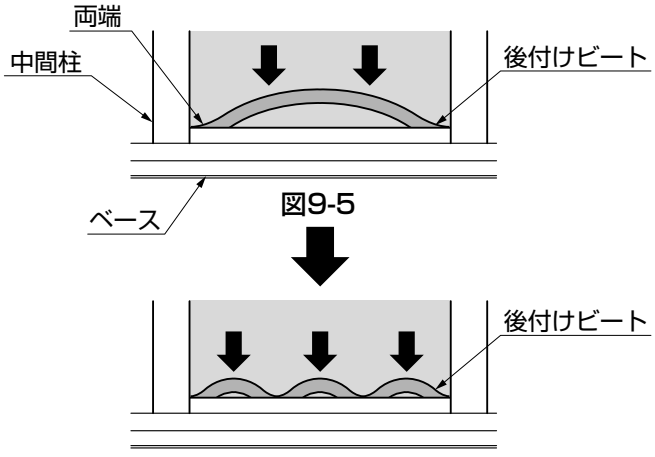


図9-5

図9-6

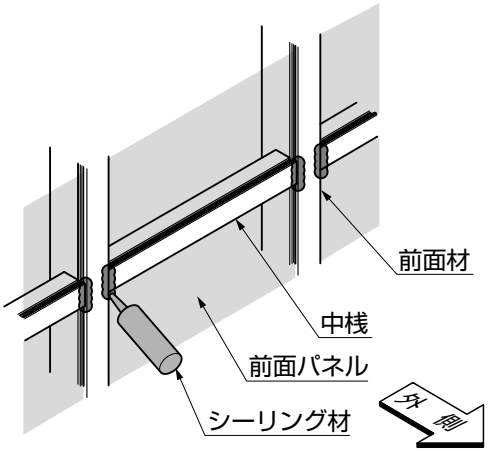


図9-7

①後付けビートを押込んでください。
②中桟と柱の前面材の間に、シーリングをしてください。(図9-7参照)

ポイント

- ●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。(図9-7参照)
- ●後付けビートには、取付ける向きがあります。(図9-3参照)
- ●後付けビートを折曲げる箇所 (※1) に、カッター等で切欠きを入れてください。(図9-4参照)
- ●後付けビートを取付ける際は、図9-5のように取付ける面の中心部分をたるませた状態で両端部分および中間の1～2箇所を先に押込み、図9-6のようにたるみ部分の中心から広げるように押込んでください。

10. 前面上げ下げ窓の取付け オプション ※前面上げ下げ窓を取付ける場合の作業です。

10-1 前面上げ下げ窓の取付け

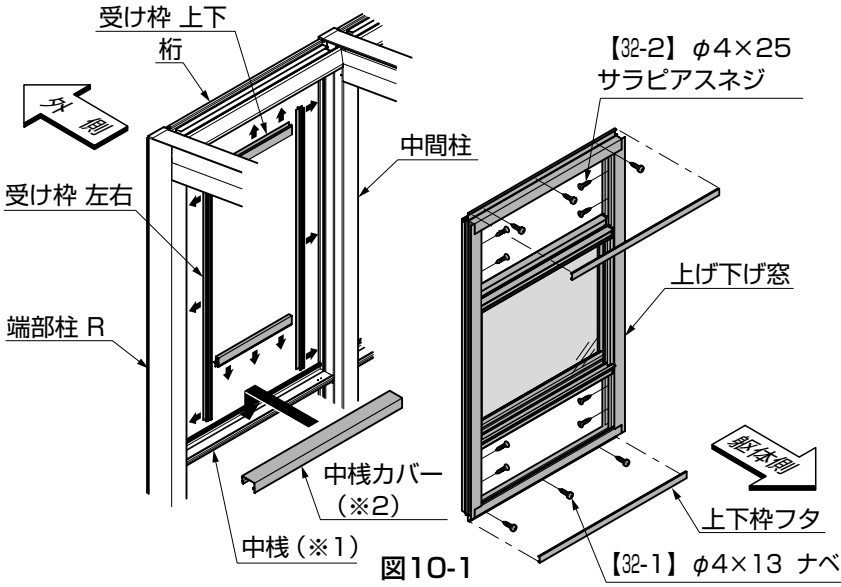


図10-1

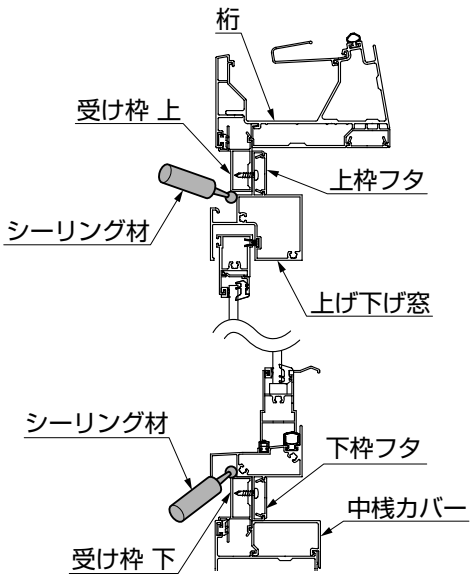


図10-2 縦断面

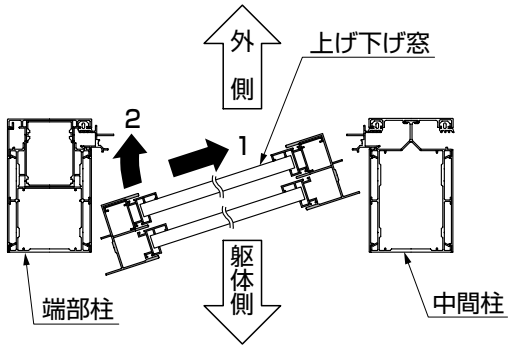


図10-3

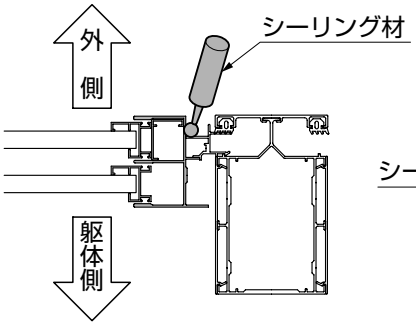


図10-4

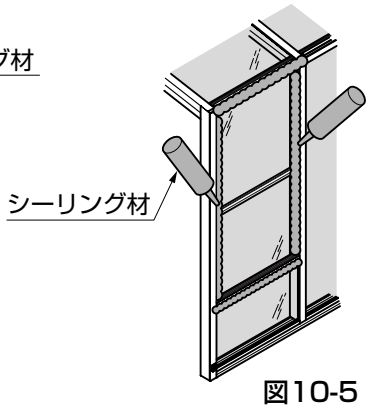


図10-5

①上段の中桟カバーを中桟に、はめ込んでください。(図10-1、図10-2参照)

補 足

●腰壁仕様の場合は中桟 (※1) が取付いていないので、中桟カバー (※2) は取付けません。

②受け枠 左右を柱に、はめ込んでください。(図10-1参照)
③受け枠 上下を桁、中桟にはめ込んでください。(図10-1参照)

ポイント

●腰壁仕様の場合は受け枠 上下をパネル下枠1とパネル下枠2腰壁用の間にはめ込んでください。

④上げ下げ窓を受け枠 左右に、【32-2】で取付けてください。(図10-1、図10-3、図10-4参照)
⑤上げ下げ窓を受け枠 上下に、【32-1】で取付けてください。(図10-1、図10-3、図10-4参照)

補 足

●上げ下げ窓の取付けネジは左右、上下の順で取付けてください。受け枠がはずれるおそれがあります。

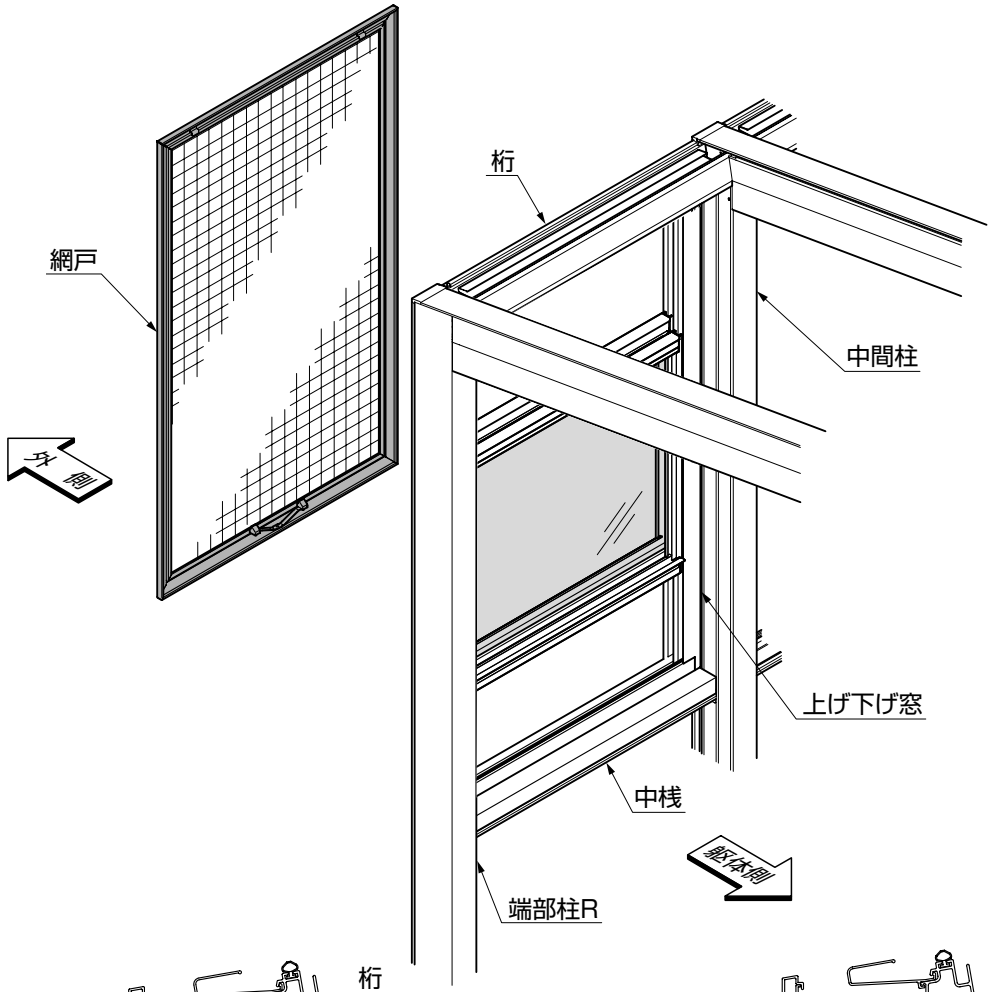
⑥上下枠フタを上げ下げ窓に、はめ込んでください。(図10-1、図10-2参照)
⑦上げ下げ窓を取付け後、受け枠とのはめ合わせ箇所にシーリングをしてください。(図10-5参照)

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
●側面換気窓は、施工前の水平状態で窓の開閉を行わないでください。内部のワイヤーが外れ作動不良を起こす場合があります。

10.（つづき）

10-2 網戸の取付け



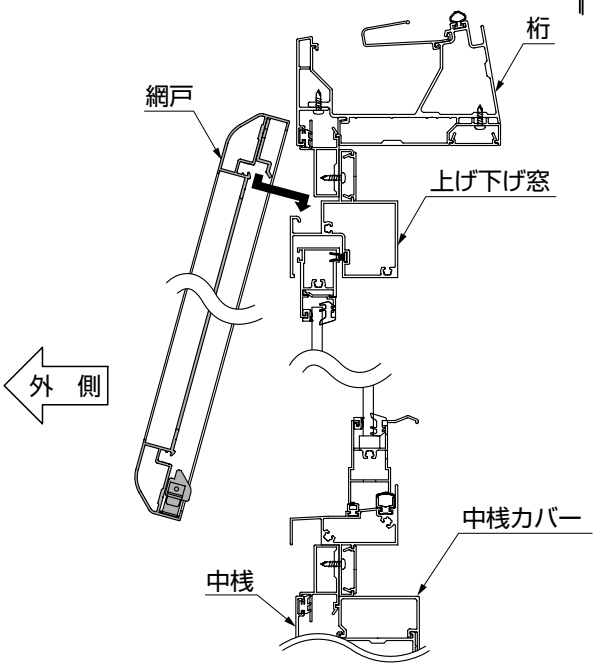


図10-6

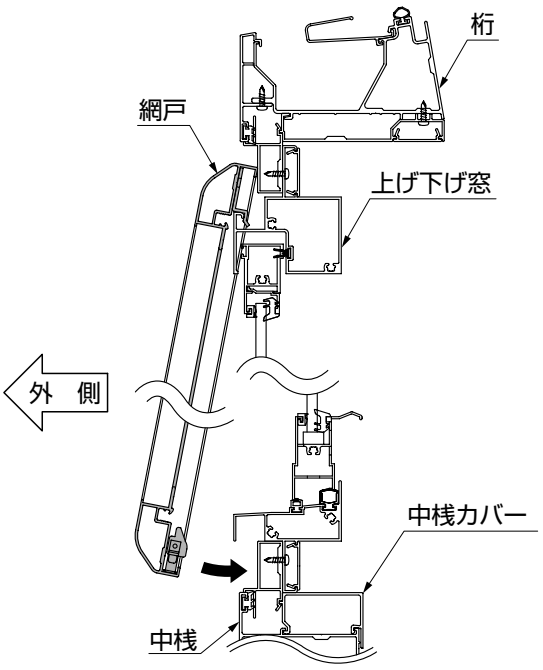


図10-7

⑤網戸を上げ下げ窓に、はめ込んでください。

11. 柱フタの取付け

11-1 端部柱への取付け

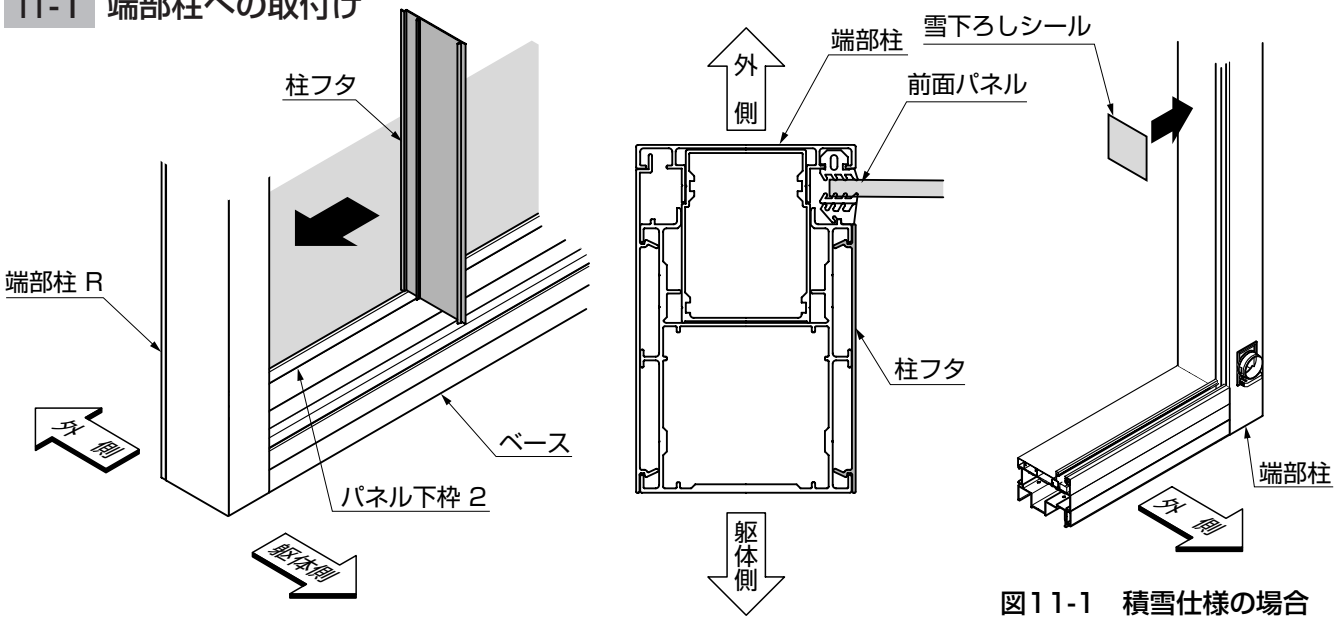


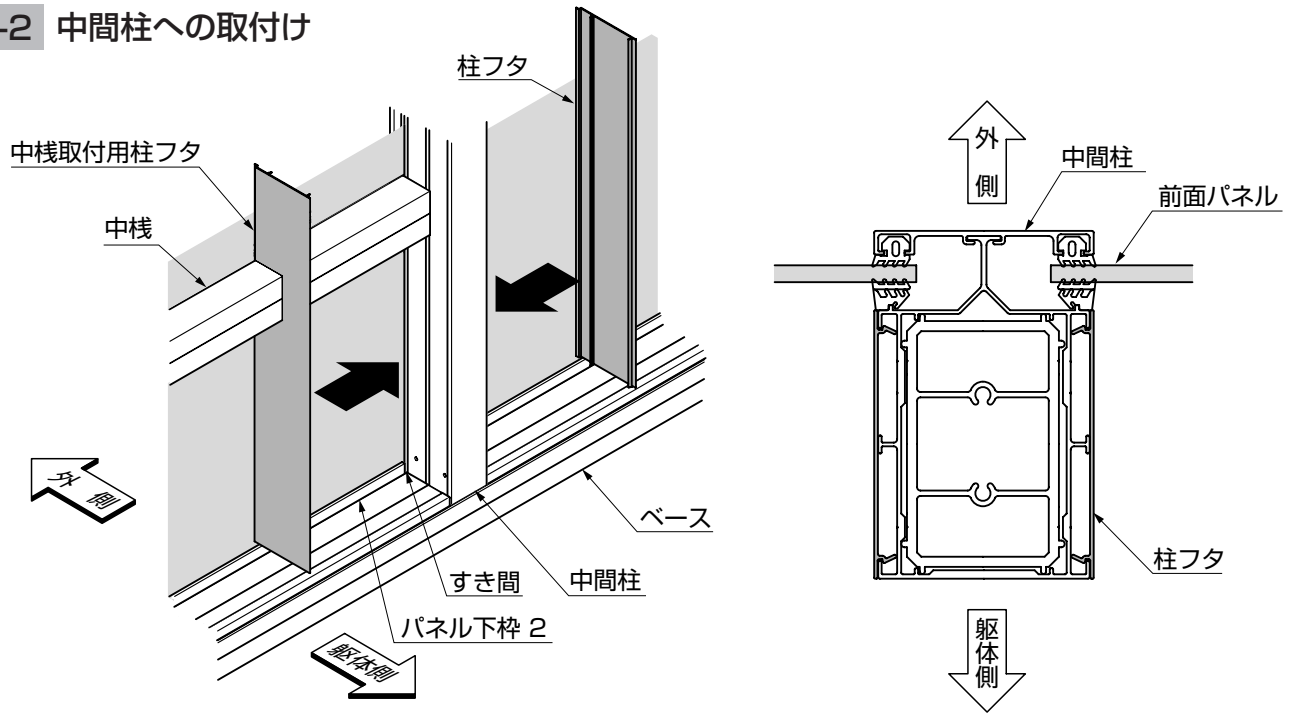
図11-1　積雪仕様の場合

①柱フタを端部柱の内側からはめ込んでください。

ポイント

●柱フタを取付ける際は、パネル下枠 2を取付ける際にあけたすき間に挟み込むようにして取付けてください。
●柱フタを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。
●積雪仕様の場合は、施工後に端部柱の見やすい位置に雪下ろしシールを貼付けてください。(図11-1参照)

11-2 中間柱への取付け



①柱フタを、中間柱の両側からはめ込んでください。

ポイント

●柱フタを取付ける際は、パネル下枠 2を取付ける際にあけたすき間に、挟み込むようにして取付けてください。
●柱フタを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。

12. ロープ引掛けフックの取付け オプション ※ロールスクリーンを取付ける場合の作業です。

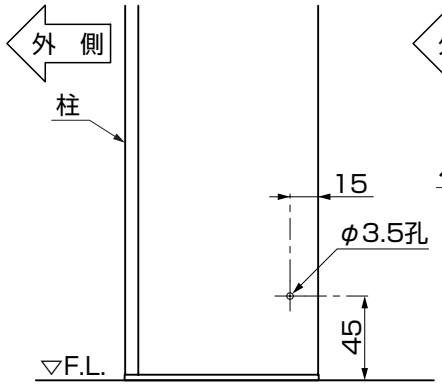


図12-1
オープンテラスタイプ

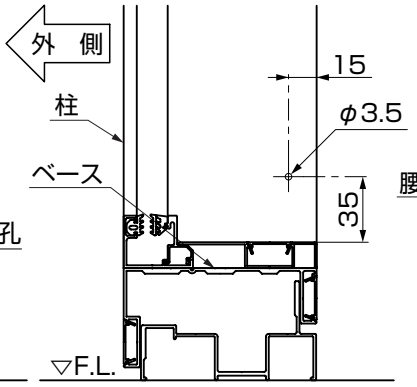


図12-2
サイドスルータイプ
ガーデンルームタイプ

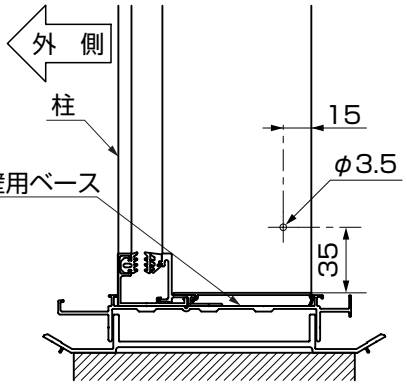


図12-3
オープンテラス腰壁タイプ
サイドスルー腰壁タイプ
ガーデンルーム腰壁タイプ

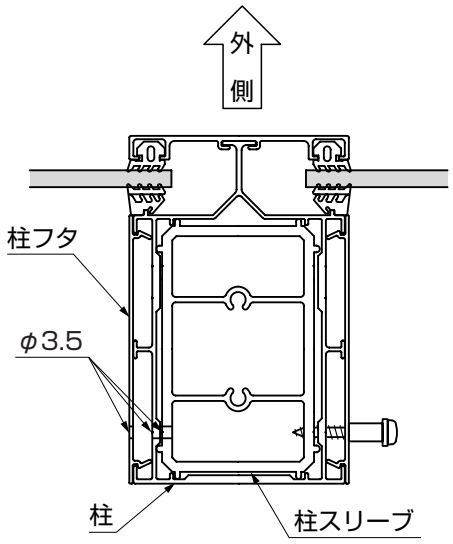


図12-4

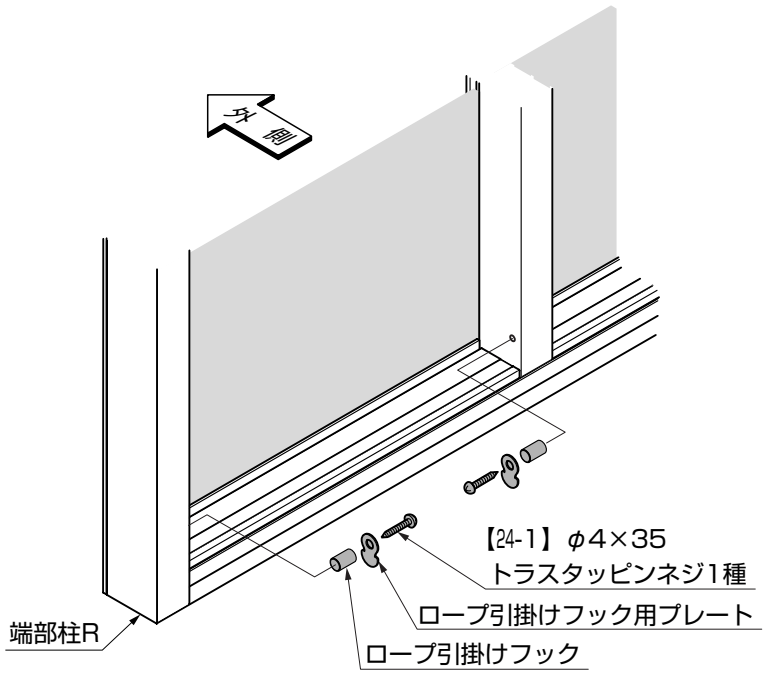


図12-5

①柱フタ、柱、柱スリーブに、φ3.5の孔をあけてください。(図12-1、図12-2、図12-3、図12-4参照)
②ロープ引掛け用パイプ、ロープ引掛け用プレートを柱に、【24-1】で取付けてください。(図12-4参照)

ポイント

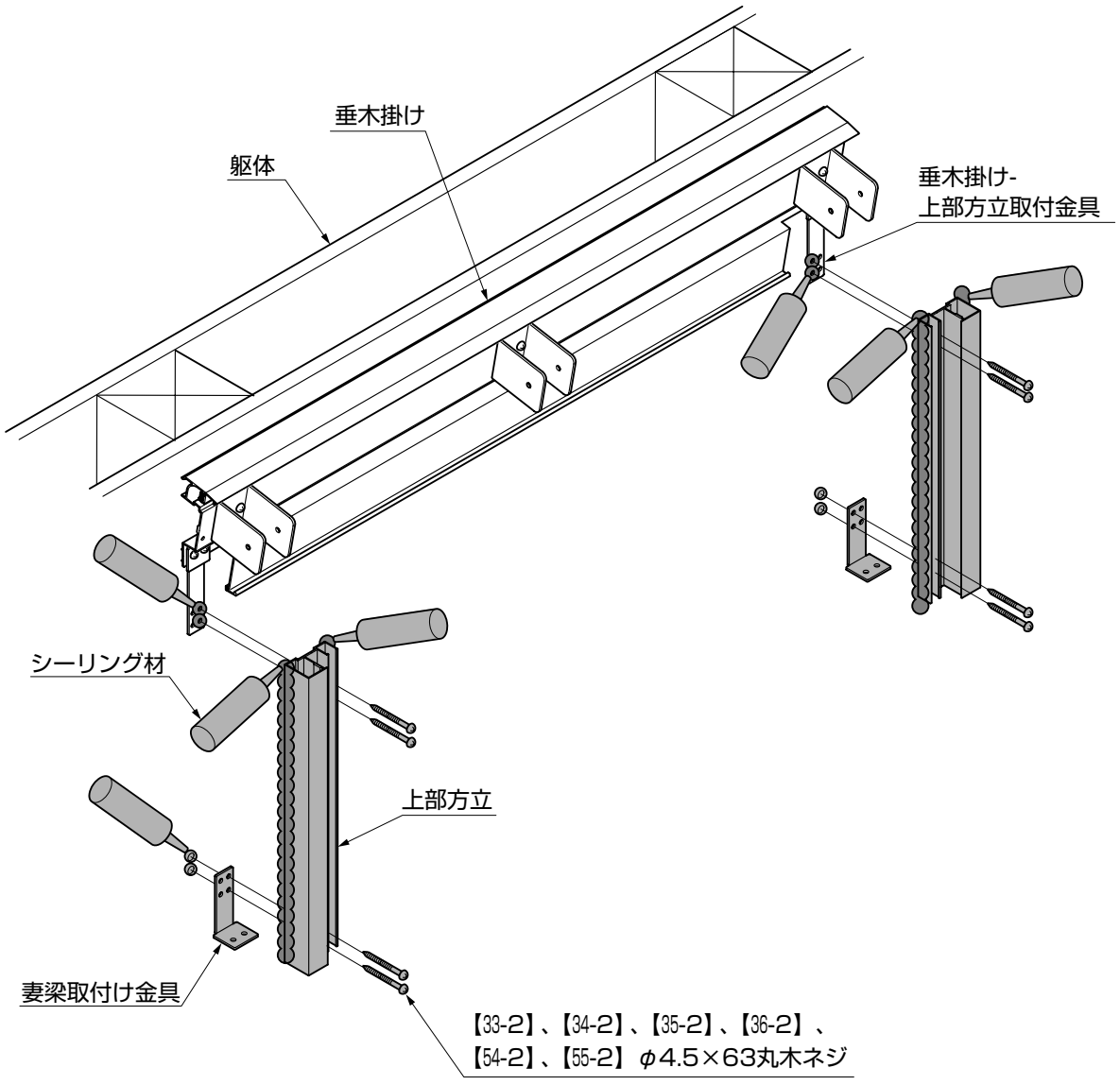
● 【24-1】は強く締めすぎないでください。強く締めすぎると柱フタが浮き上がるおそれがあります。

5　妻梁上部フィックスパネル・側面換気窓の取付け

※ガーデンルームタイプの場合の作業です。

1. 上部方立の取付け

1-1　妻梁上部フィックスパネルの場合



①上部方立を垂木掛け-上部方立取付金具、妻梁取付金具と躯体と垂直に、【33-2】または【34-2】、【35-2】、【36-2】、【54-2】、【55-2】で取付けてください。

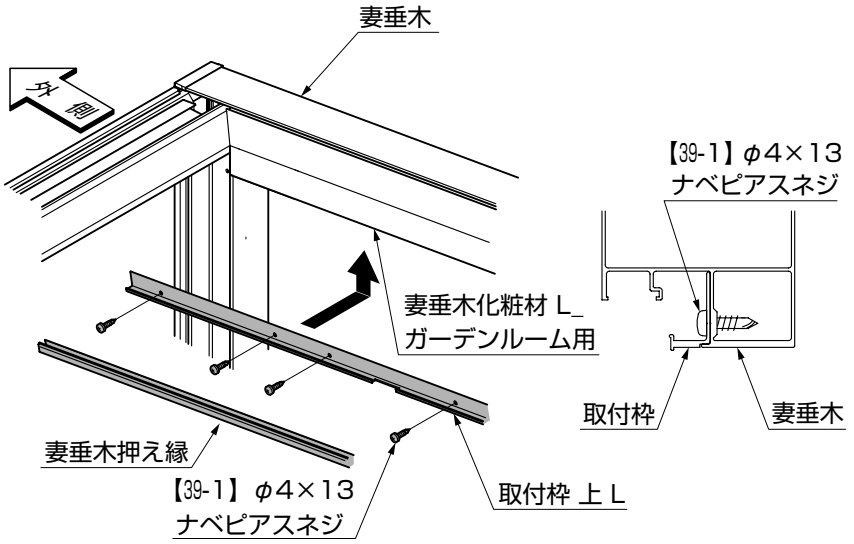
ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

1.（つづき）

1-2 側面換気窓の場合 オプション ※側面換気窓を選択した場合の作業です。

（1）取付枠の取付け



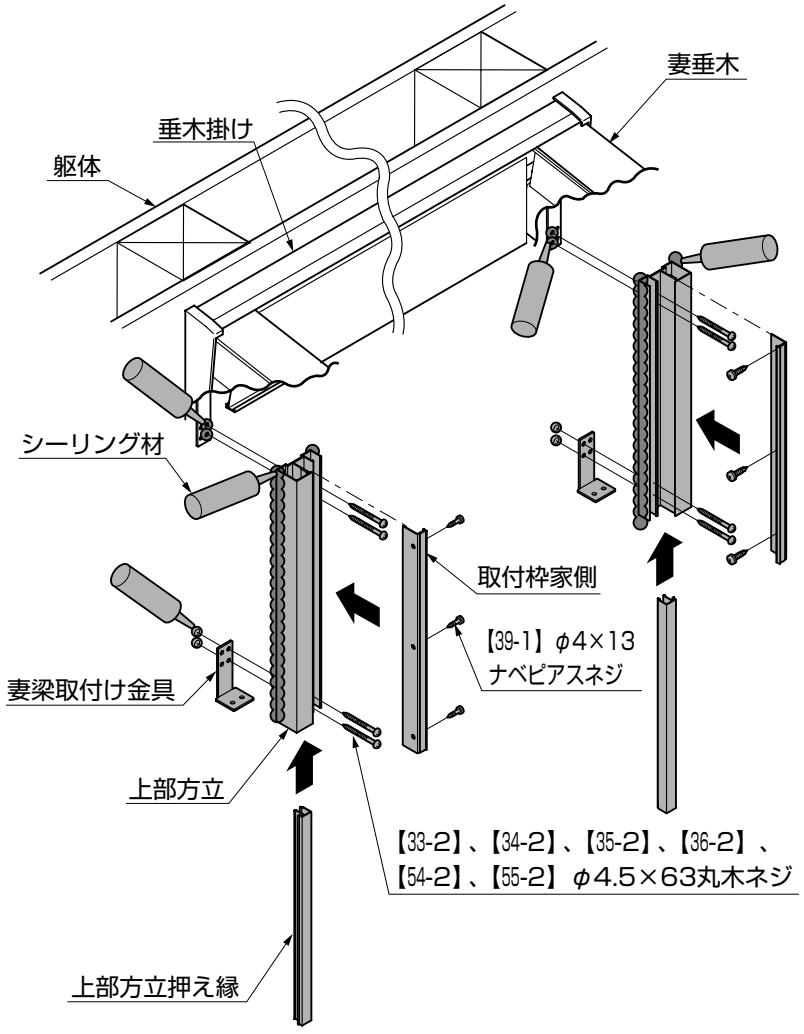
①取付枠　上を、妻垂木化粧材_ガーデンルーム用に【39-1】で取付けてください。

ポイント

●取付枠　上は、柱面につきあててください。

②妻垂木押え縁を、妻垂木化粧材_ガーデンルーム用にはめ込んでください。

（2）上部方立の取付け



①上部方立を垂木掛け-上部方立取付金具、妻梁取付金具に、【33-2】または【34-2】で躯体に取付けてください。
②取付枠　家側を上部方立に、【39-1】で取付けてください。
③上部方立押え縁を上部方立に、下側からスライドしてはめ込んでください。

ポイント

●取付け枠　家側は上部方立の上側に合わせて取付けてください。

④妻梁取付け金具を、【33-2】または【34-2】、【35-2】、【36-2】、【54-2】、【55-2】で上部方立と躯体に取付けてください。

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

2. 妻梁上部フィックス枠の取付け

2-1 妻梁上部フィックスの場合 ※図は左妻側を示します。

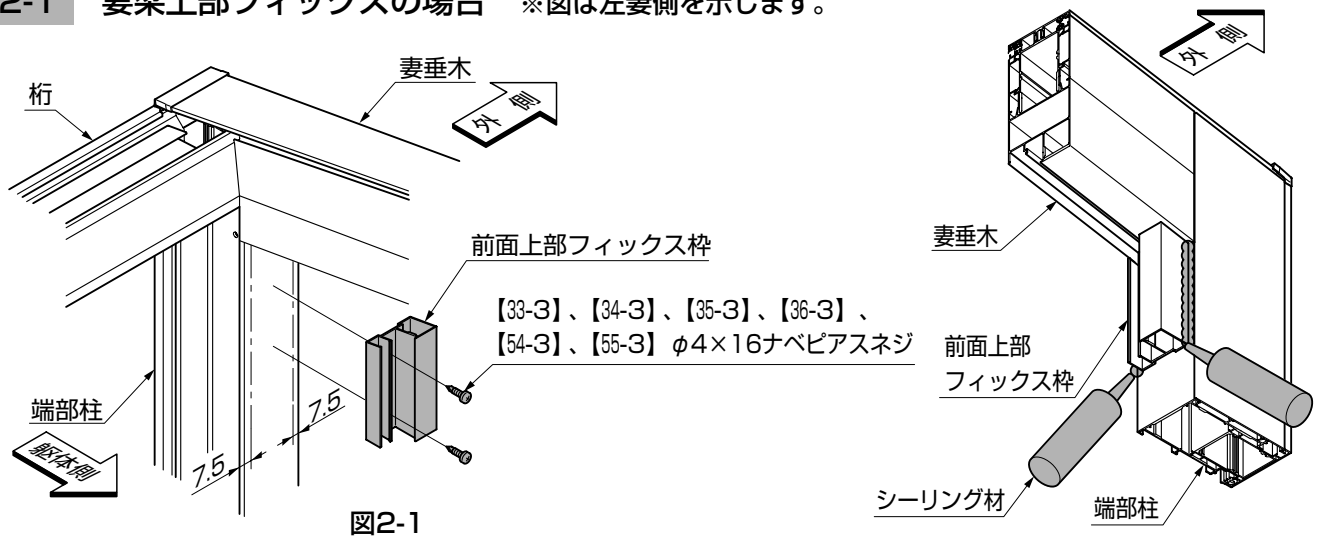


図2-1

①前面上部フィックス枠を端部柱に、【33-3】または【34-3】、【35-3】、【36-3】、【54-3】、【55-3】で取付けてください。（図2-1参照）

②前面上部フィックス枠と柱の接合部に、シーリングをしてください。

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

2-2 側面換気窓の場合 オプション ※側面換気窓を選択した場合の作業です。 ※図は左妻側を示します。

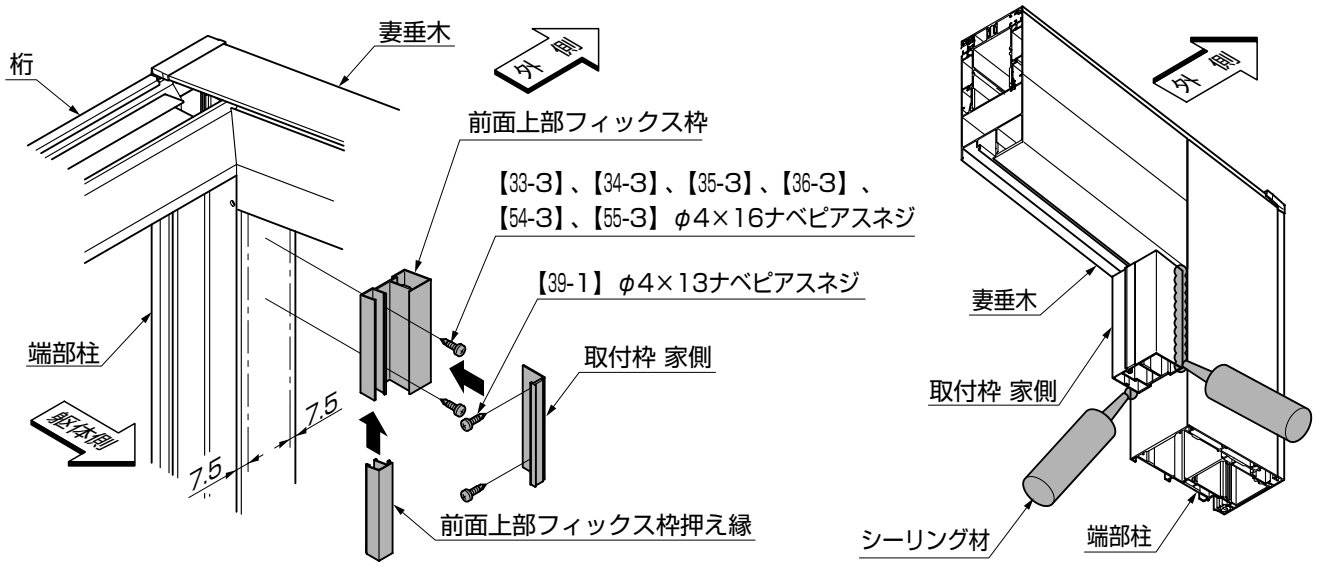


図2-2

①前面上部フィックス枠を端部柱に、【33-3】または【34-3】、【35-3】、【36-3】、【54-3】、【55-3】で取付けてください。（図2-2参照）

②取付枠 家側を前面上部フィックス枠に、【39-1】で取付けてください。

③前面上部フィックス枠押え縁を前面上部フィックス枠に、下側からスライドしてはめ込んでください。

④前面上部フィックス枠と柱の接合部に、シーリングをしてください。

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

3. 妻梁の取付け　※図は左妻側を示します。

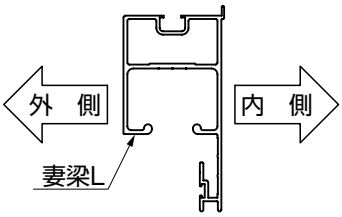


図3-1外収納

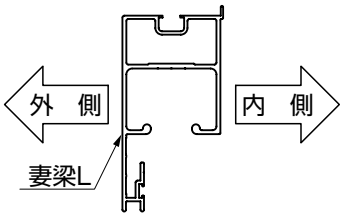


図3-2内収納

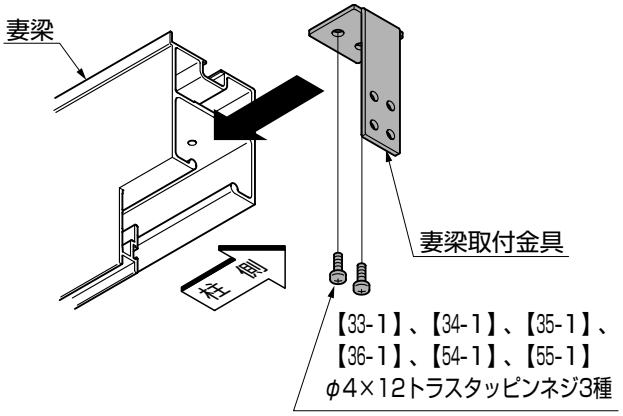


図3-3

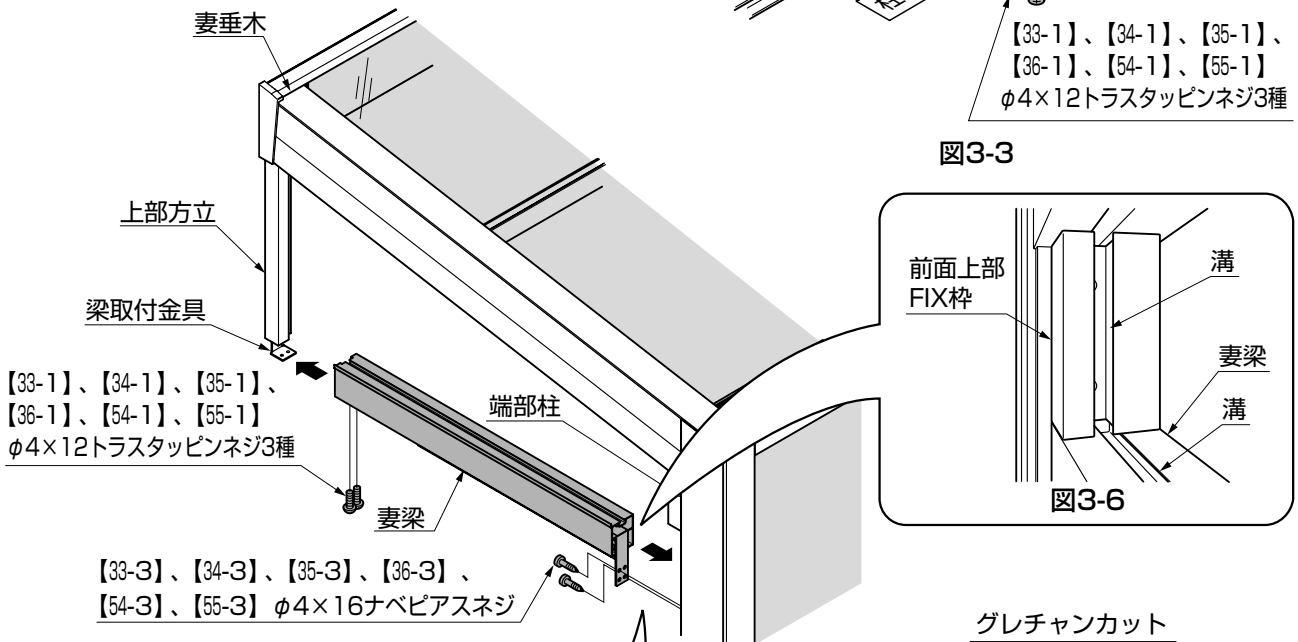


図3-4

図3-6

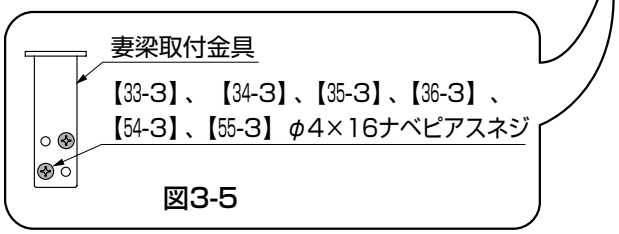


図3-5

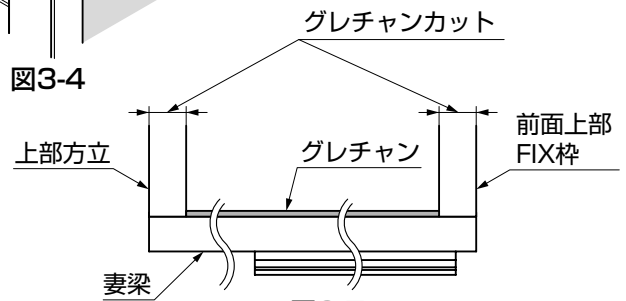


図3-7

ポイント

- 妻梁には外収納と内収納があります。(図3-1、図3-2参照)
- 側面換気窓を取付ける場合は、グレチャン(※1)を使用しませんので取外してください。
- 妻梁と前面上部FIX枠を取付けると、それぞれの部品の溝がズレて取付きますが、問題ありません。(図3-6参照)
- 妻梁に取付けるグレチャンが上部方立、前面上部FIX枠に干渉する場合は、切断してください。(図3-7参照)

①梁取付金具を妻梁に、【33-1】または【34-1】、【35-1】、【36-1】、【54-1】、【55-1】で取付けてください。(図3-3参照)
②妻梁を上部方立に取付いている梁取付金具に、【33-1】または【34-1】、【35-1】、【36-1】、【54-1】、【55-1】で取付けてください。(図3-4参照)
③妻梁を端部柱に、【33-3】または【34-3】、【35-3】、【36-3】、【54-3】、【55-3】で取付けてください。(図3-4参照)

ポイント

- 妻梁取付金具を柱に取付ける場合は、【33-1】または【34-1】、【35-1】、【36-1】、【54-1】、【55-1】を対角に取付けてください。(図3-4参照)
- 妻梁は、端部柱側につき当てるように取付けてください。

4. 妻梁上部フィックスパネルの取付け

※フィックスパネル仕様の場合の作業です。
※図は左妻梁側を示します。

4-1　フィックスパネルの取付け

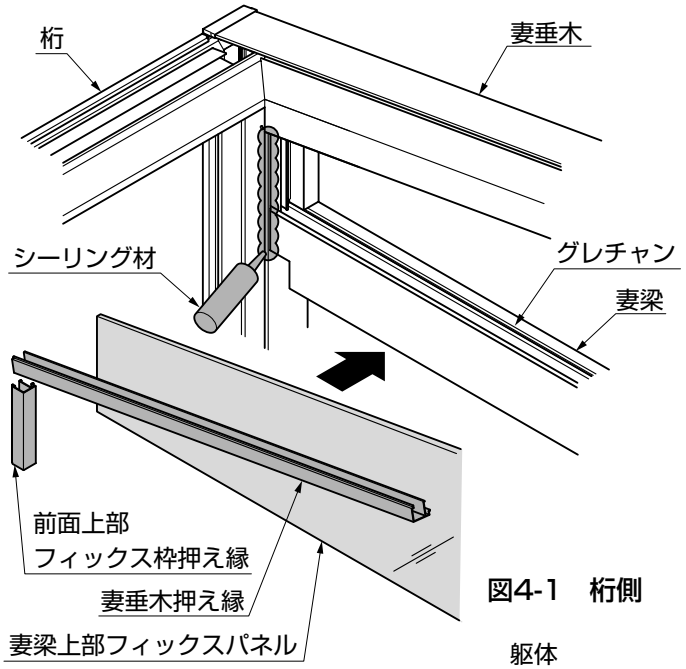


図4-1　桁側

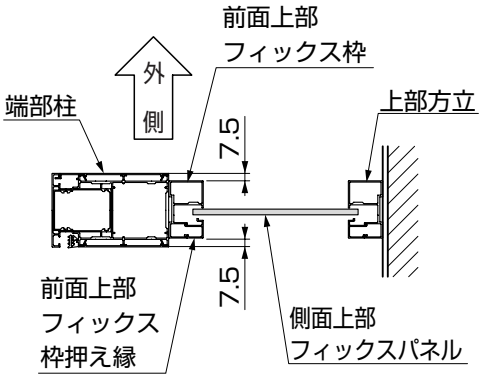


図4-3　横断面図

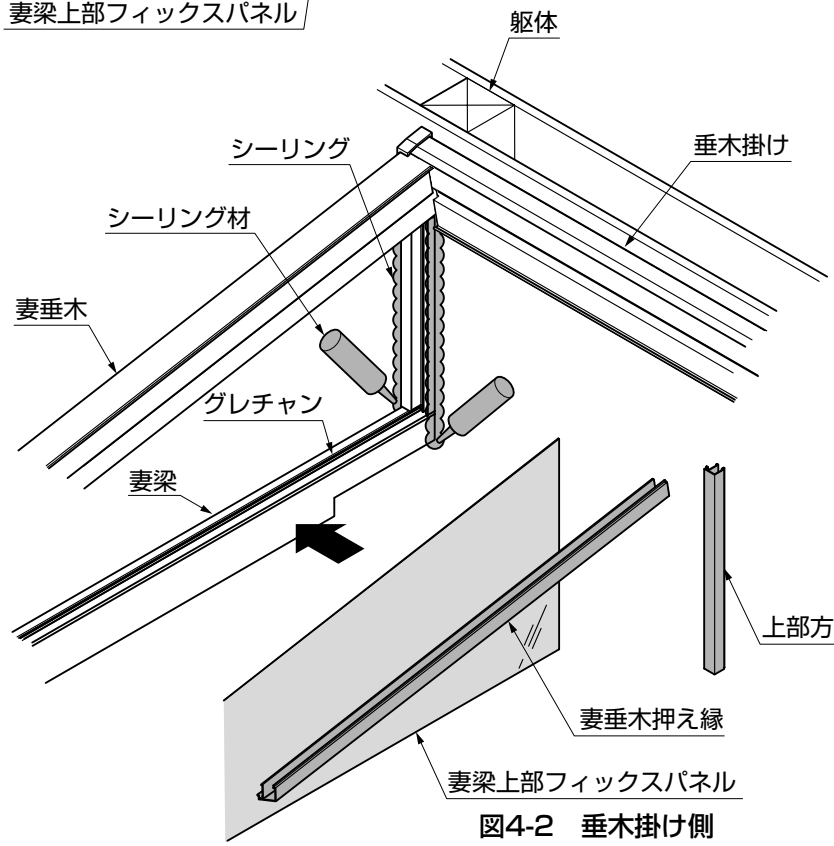


図4-2　垂木掛け側

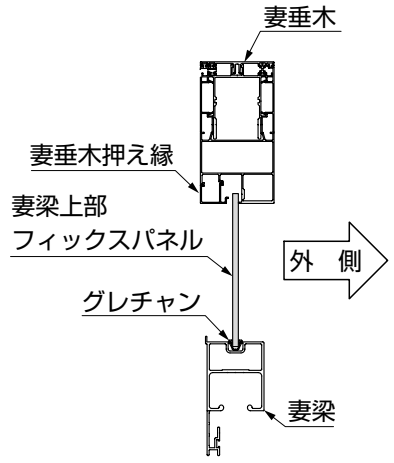


図4-4　縦断面図

①妻梁上部フィックスパネルを、妻梁のグレチャン部にはめ込んでください。
②前面上部フィックス枠押え縁・妻垂木押え縁・上部方立押え縁をはめ込んでください。

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

4.（つづき）

4-2　後付けビートの取付け

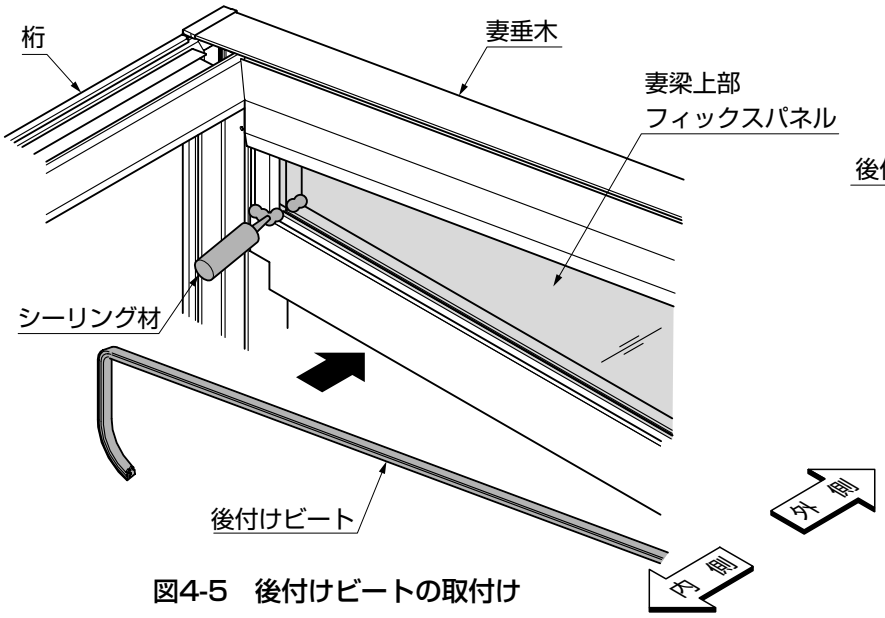


図4-5　後付けビートの取付け

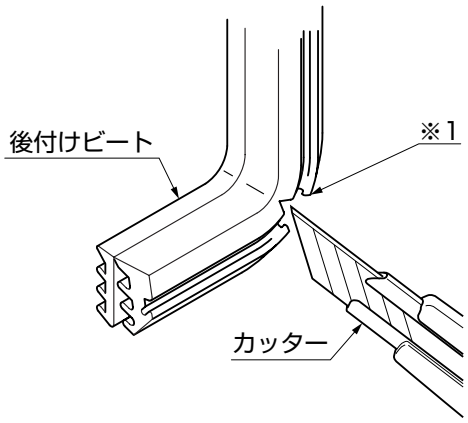


図4-6

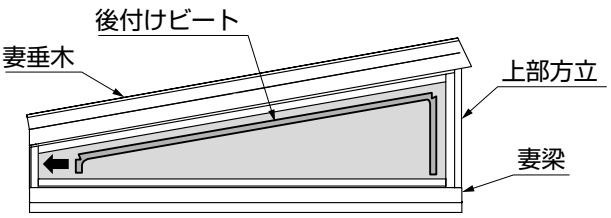


図4-7　側面図

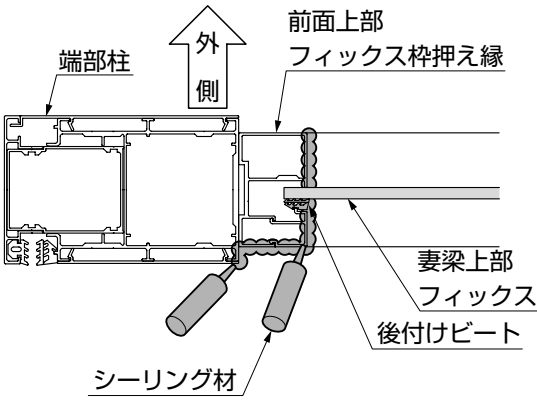


図4-8　横断面図

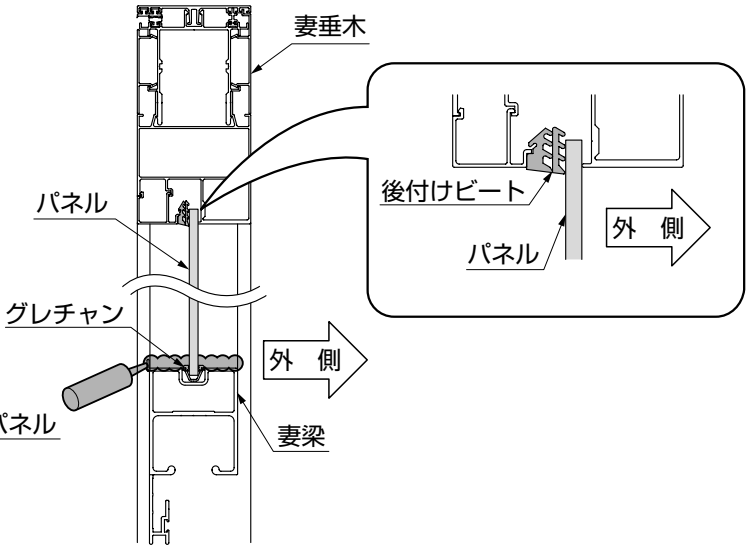


図4-9　縦断面図

③後付けビートをはめ込んでください。（図4-5、図4-7参照）
④図4-8、図4-9を参照して、シーリングをしてください。

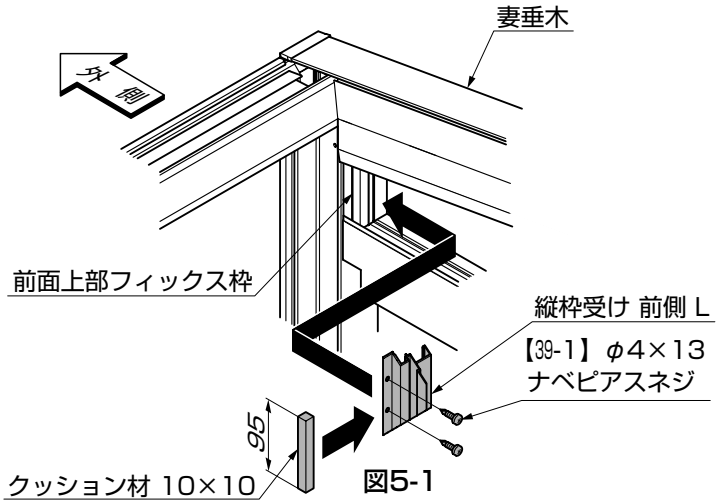
ポイント

●後付けビートを折り曲げる箇所（※1）に、カッター等で切欠きを入れてください。（図4-6参照）
●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

5. 側面換気窓の取付け オプション

※側面換気窓を選択した場合の作業です。
※図は左妻梁側を示します。

5-1 縦枠受け 前側の取付け



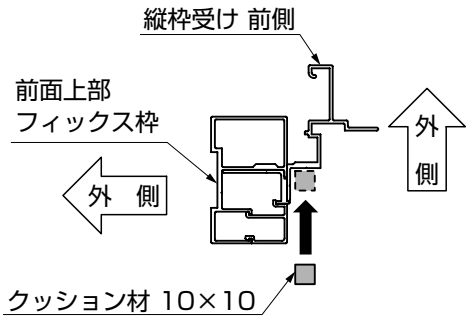


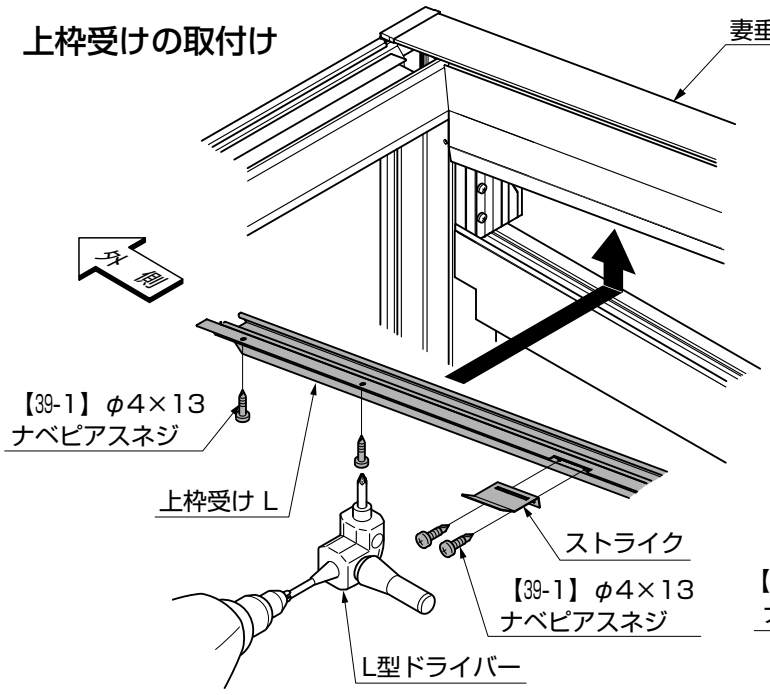
図5-1

①縦枠受け 前側を、前面上部フィックス枠に【39-1】で取付けてください。
②クッション材 10×10を95mmに切断して、縦枠受 前側に貼付けてください。

ポイント

●切断したクッション材 10×10は、家側に取付ける場合に使用しますので捨てないでください。

5-2 上枠受けの取付け



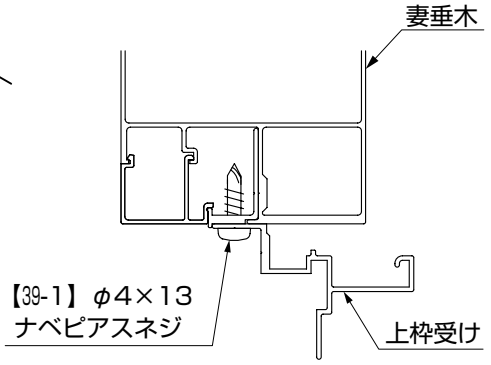


図5-2

①ストライクを上枠受けに、【39-1】で取付けてください。
②上枠受けを、取付枠 家側 上に、【39-1】で取付けてください。

ポイント

●上枠受けの取付けは、L型ドライバー等を使用してください。
●ストライクの取付けは、左右に数ミリ移動できます。

5.（つづき）

5-3　縦枠受け 家側 の取付け

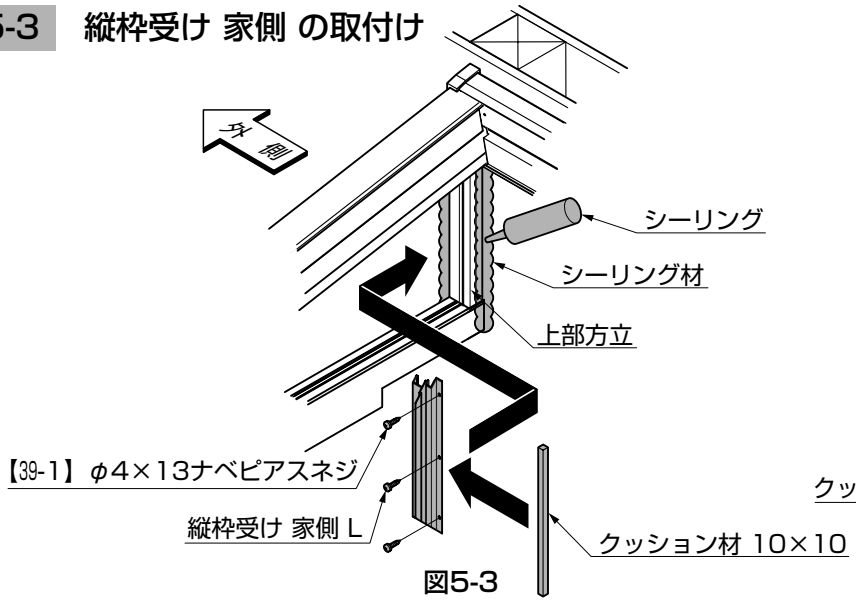


図5-3

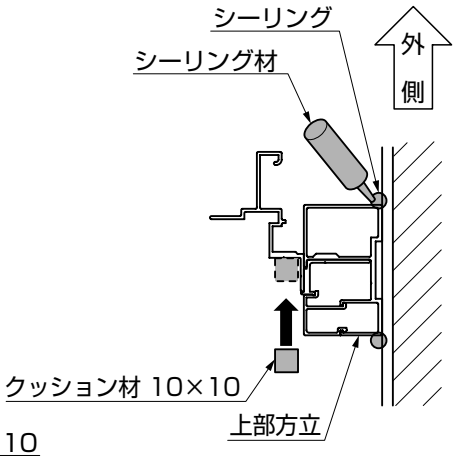


図5-4

①縦枠受け 家側を上部方立に、【39-1】で取付けてください。
②クッション材 10×10を、縦枠受け 家側の寸法に合わせて切断して、縦枠受け 家側に貼付けてください。

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングしてください。
●「4　妻梁上部フィックスパネルの取付け　4-1 フィックスパネルの取付け」でもシーリングしています。

5-4　側面換気窓の取付け

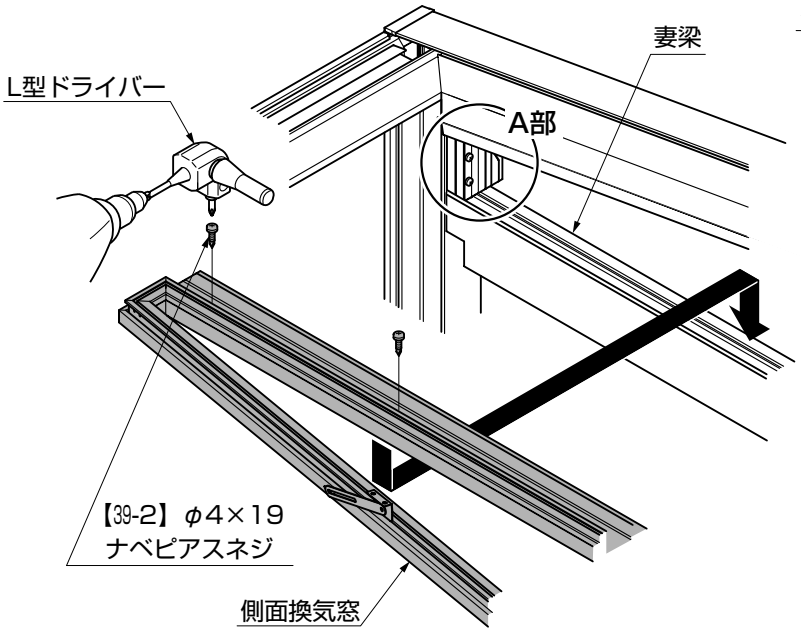


図5-5

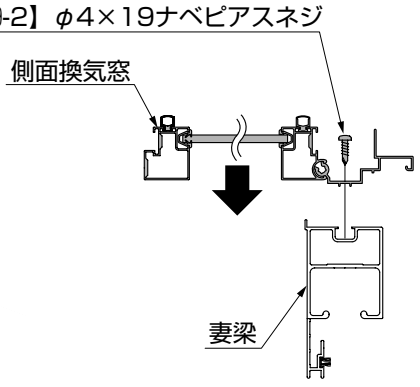


図5-6　A部詳細図

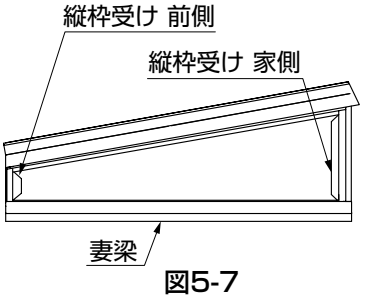


図5-7

①側面換気窓を妻梁に、【39-1】で取付けてください。

ポイント

●側面換気窓の取付けは、L型ドライバー等を使用してください。
●側面換気窓は、妻梁の溝にはめ込んでください。（図5-5、図5-6参照）

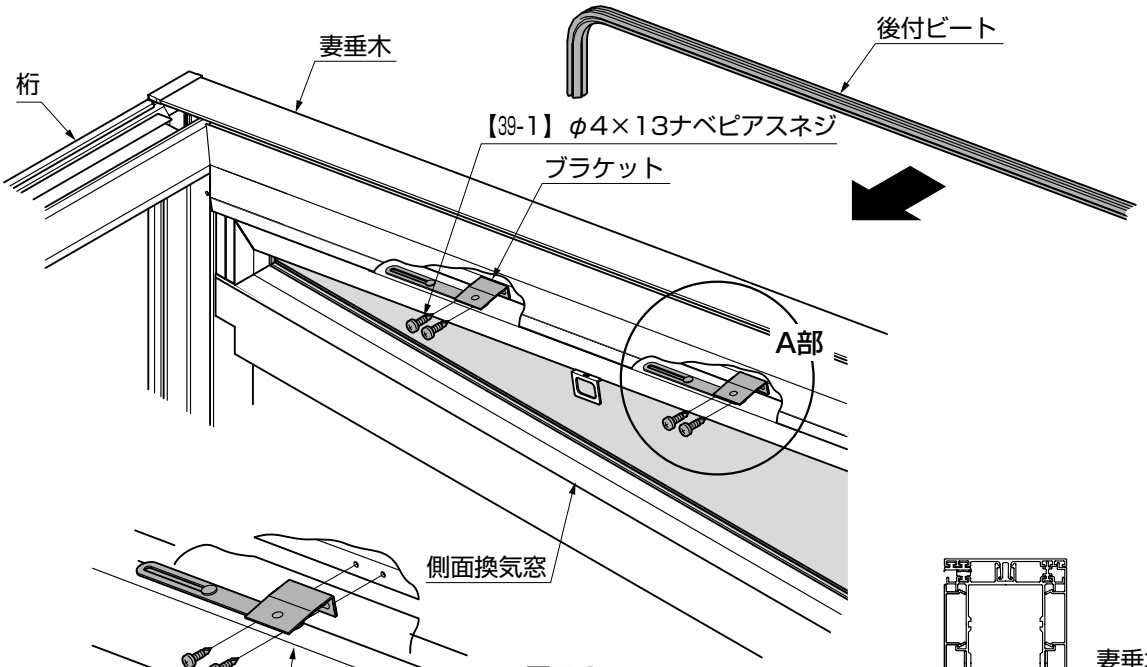


図5-8

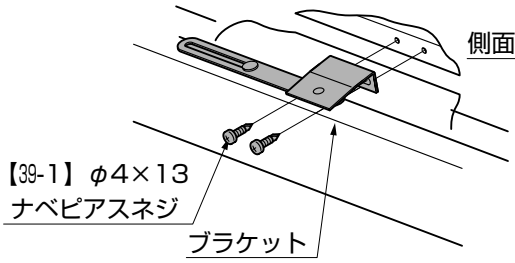


図5-9　A部詳細図

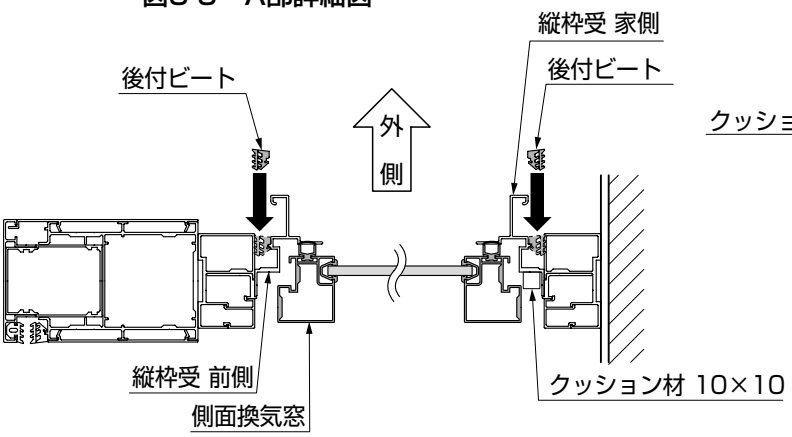


図5-10　横断面納まり図

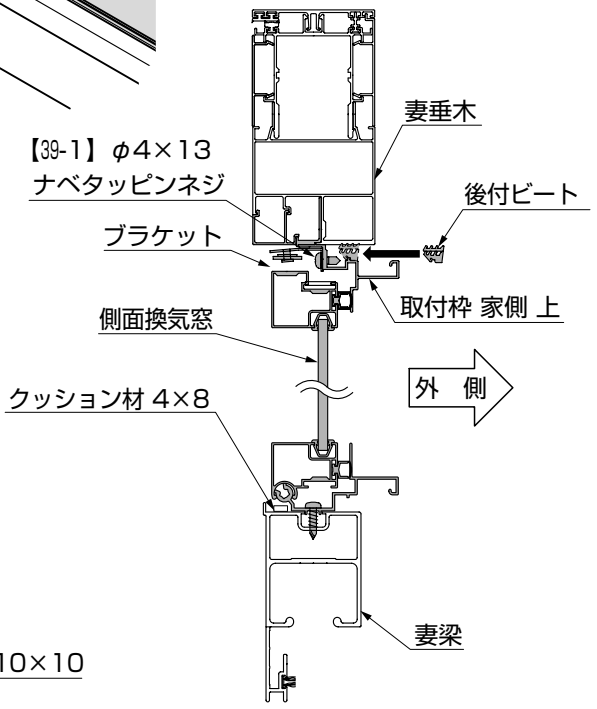


図5-11　縦断面納まり図

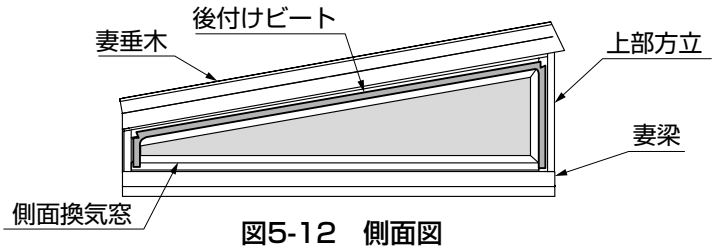


図5-12　側面図

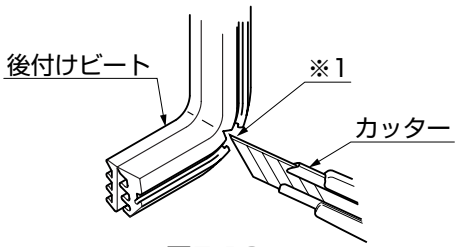


図5-13

③上部窓のブラケットを、取付枠 家側 上に、【39-1】で取付けてください。
④後付けビートを、はめ込んでください。（図5-10、図5-11、図5-12参照）

ポイント

●後付けビートを折り曲げる箇所（※1）に、カッター等で切欠きを入れてください。（図5-13参照）

5-5 網戸の取付け

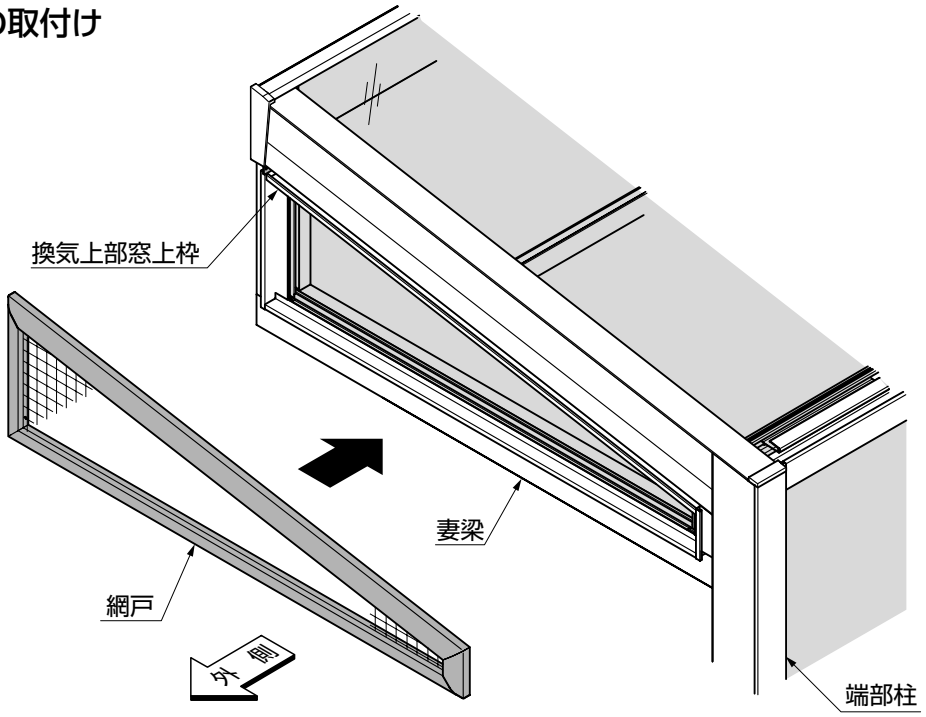


図5-14

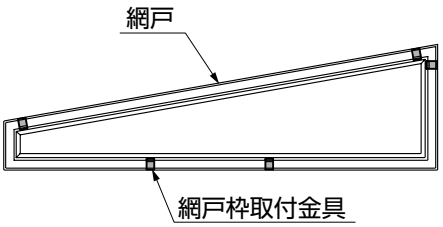


図5-17

表5-1 取付金具下段取付け個数

	4尺	6尺	8尺
個数	1	2	2

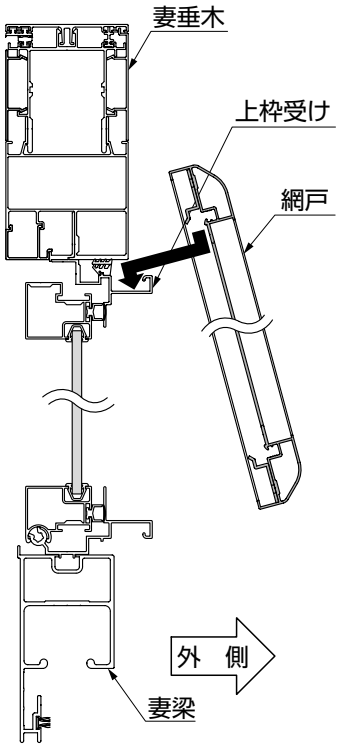


図5-15

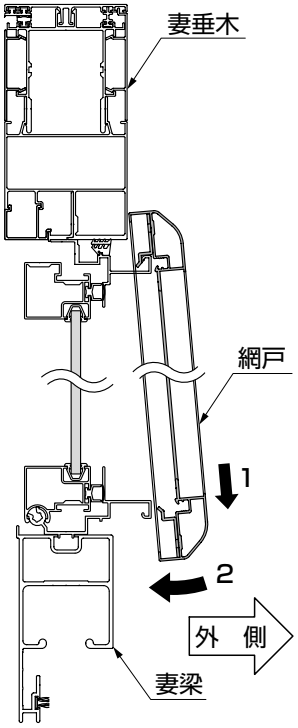


図5-16

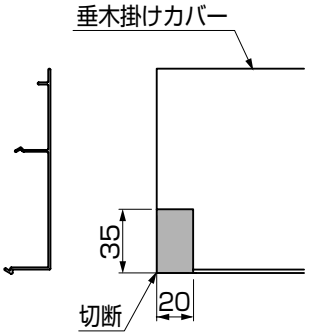


図5-18
ガーデンルームプラスタイプの場合

①網戸を上枠受けに、引掛けて取付けてください。

ポイント

●網戸は、網戸取付金具 家側上を先に引っ掛け、網戸中央部を下に押下げて下側の金具を引っ掛けてください。
●ガーデンルームプラスのとき、垂木に側面換気窓を取付ける場合は、垂木掛けカバーに加工が必要です。(図5-18参照)

6　側面折戸パネルの取付け　※ガーデンルームタイプの場合の作業です。

1. 戸当り枠受けの取付け

※腰壁仕様の場合は「6 側面折戸パネルの取付け 2. 腰壁戸当り枠スペーサーの取付け」と同時に行う作業です。

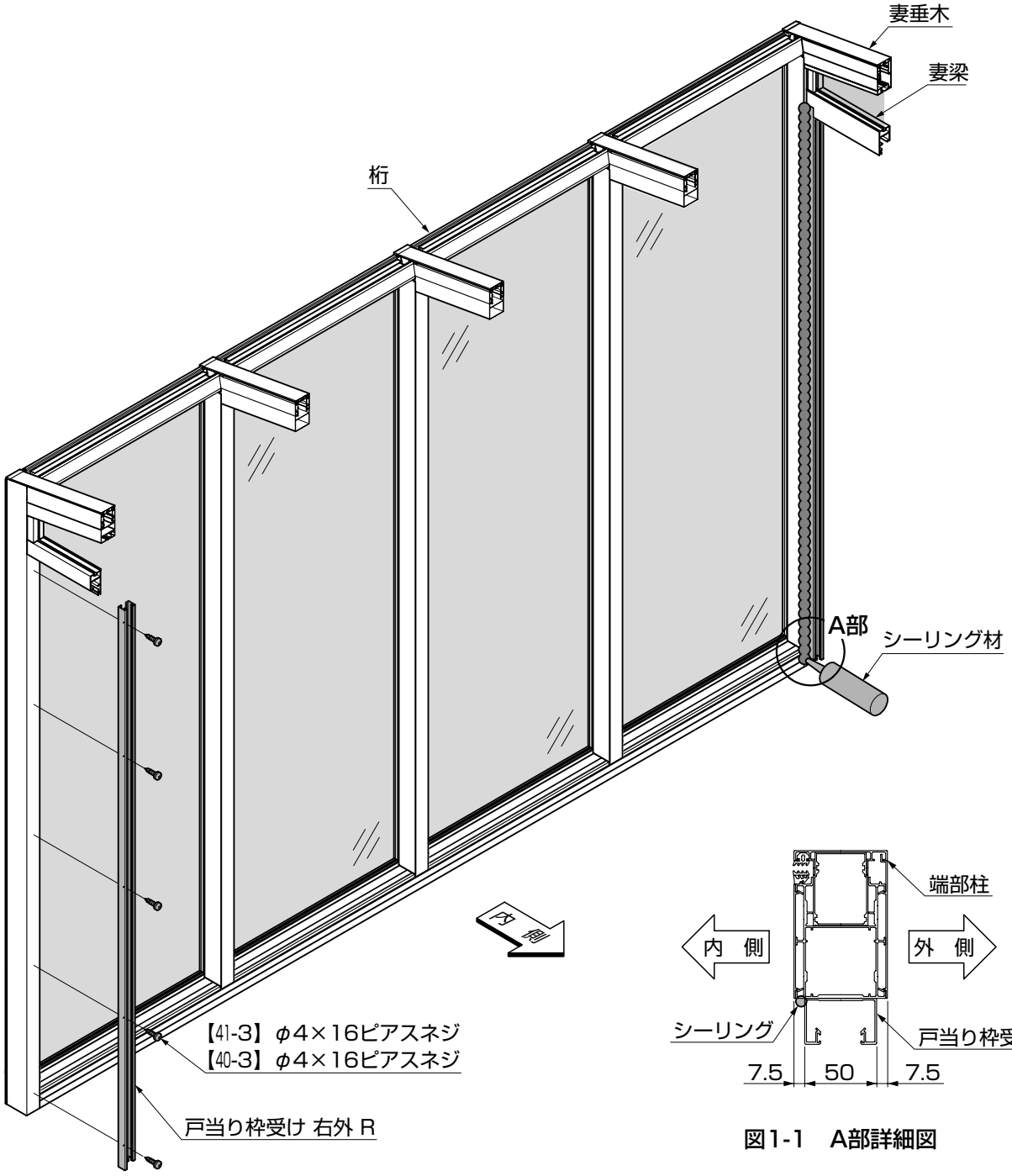


図1-1　A部詳細図

①戸当り枠受けを端部柱に、【40-3】または、【41-3】で取付けてください。
②端部柱と戸当り枠受けの内側の接合部に、シーリングしてください。（図1-1参照）

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。

2. 腰壁戸当り枠スペーサーの取付け

※腰壁仕様の場合の作業です。
※ガーデンルーム側面折戸パネルを取付ける場合の作業です。

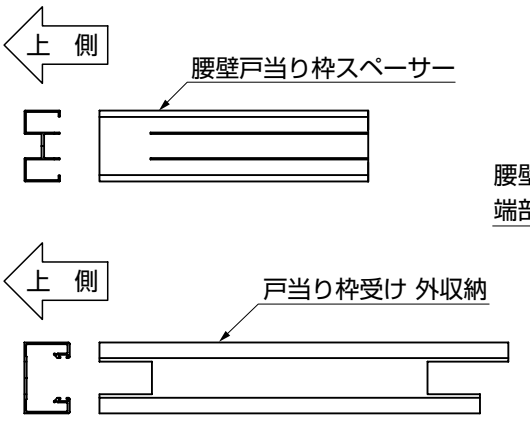


図2-1

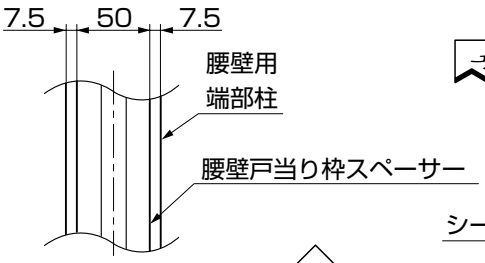


図2-3

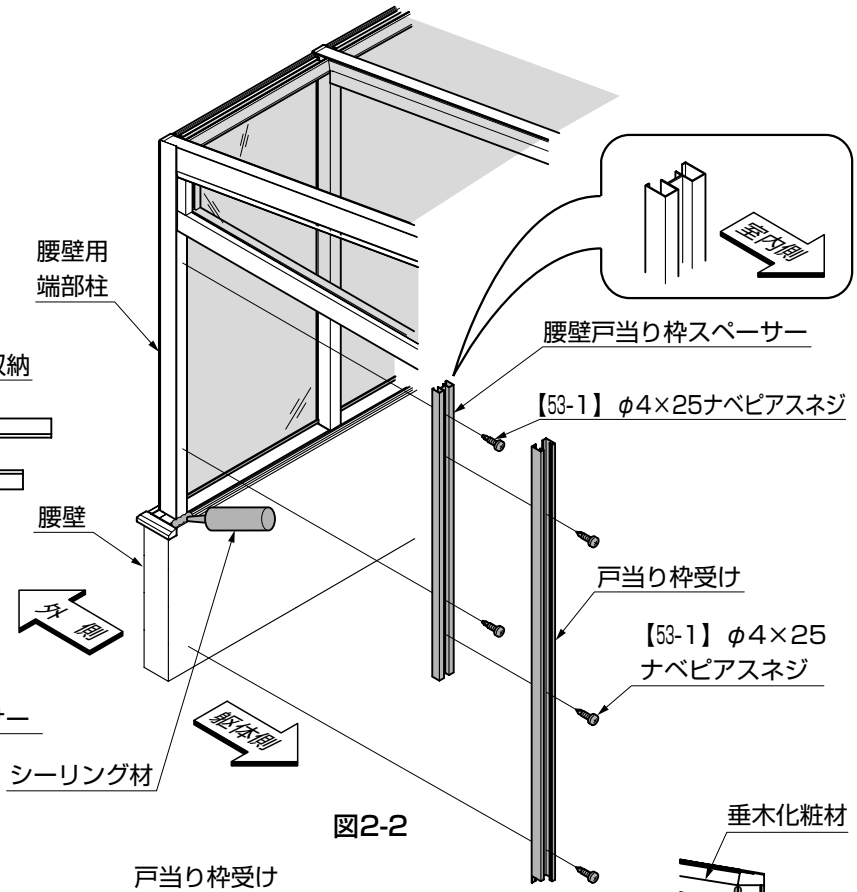


図2-2

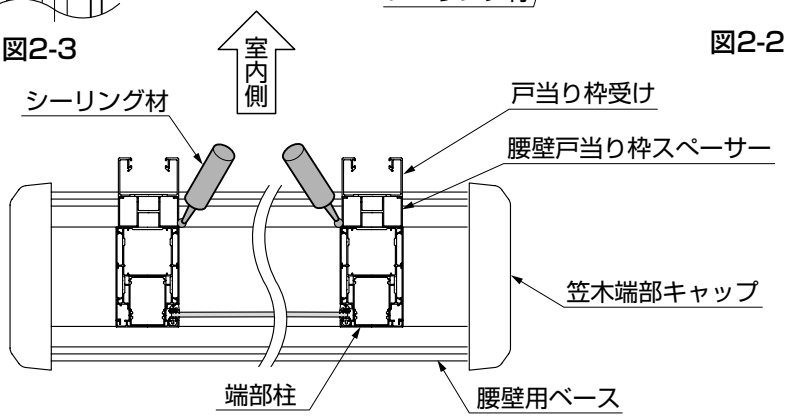


図2-4

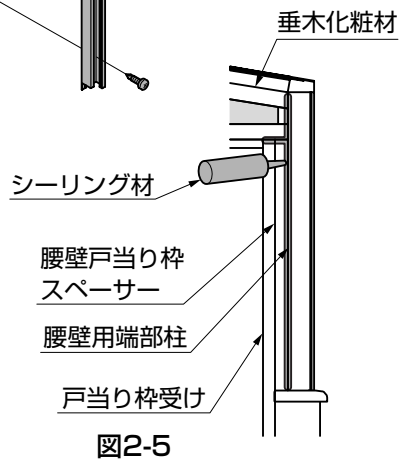


図2-5

ポイント

●腰壁戸当り枠スペーサー、戸当り枠受け 外収納には上下があります。戸当り枠受け 内収納は上下同じです。（図2-1参照）

①腰壁戸当り枠スペーサーを、端部柱に、【53-1】で取付けてください。
②腰壁戸当り枠スペーサーと端部柱の室内側合わせ面を、垂木化粧材の下までシーリングしてください。（図2-4、図2-5参照）

ポイント

●腰壁戸当り枠スペーサーは、端部柱に左右均等に取付けてください。（図2-3参照）
●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。（図2-4、図2-5参照）

②戸当り枠受けを腰壁戸当り枠スペーサー、腰壁に、【53-1】で取付けてください。

3. 腰壁笠木の取付け

※腰壁仕様の場合の作業です。
※連棟の場合は「4. 連棟の場合の腰壁笠木の取付け」と同時に行う作業です。

3-1 腰壁笠木の切断 ※ガーデンルーム腰壁タイプの場合の作業です。

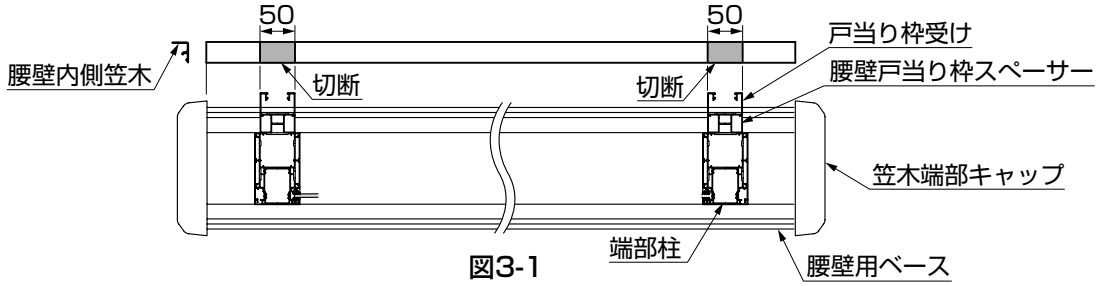


図3-1

①腰壁内側笠木を、図3-1を参照して加工してください。

ポイント

●ガーデンルーム腰壁タイプの場合は、腰壁内側笠木は切断が必要です。

3-2 腰壁笠木の取付け

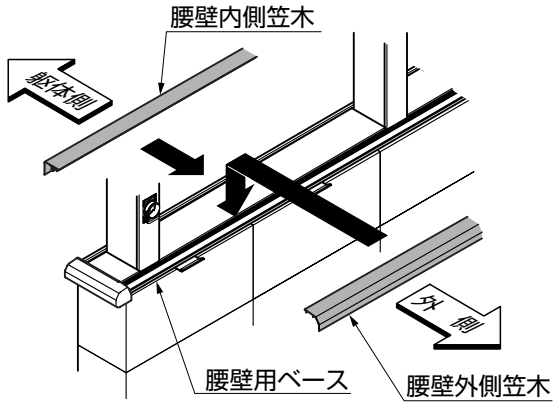


図3-2 オープンテラス腰壁タイプ
サイドスルー腰壁タイプの場合

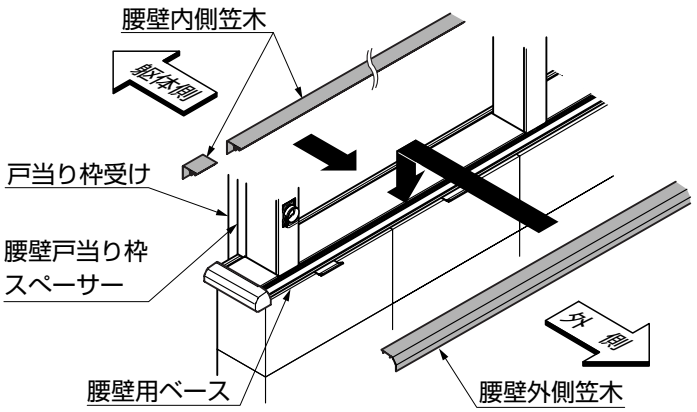


図3-3 ガーデンルーム腰壁タイプの場合

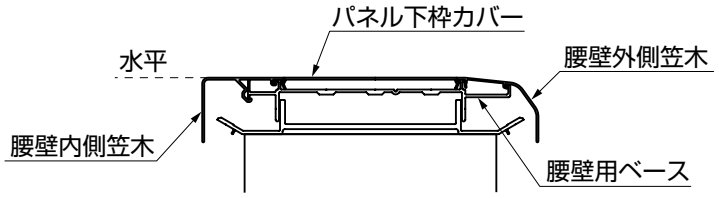


図3-4

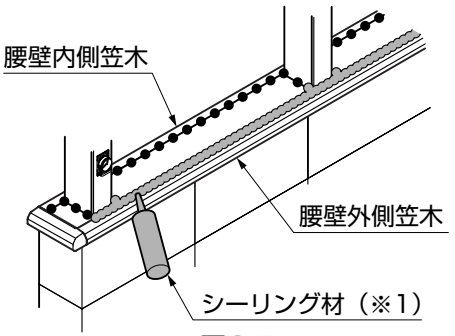


図3-5

①腰壁外側笠木を、腰壁用ベースにはめ込んでください。
②腰壁内側笠木を、腰壁用ベースにはめ込んでください。
③腰壁外側笠木は、上端部を全長にわたりシーリングしてください。（※1）（図3-5参照）

ポイント

●腰壁内側笠木は、水平になるように取付けてください。
●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
●シーリングはガーデンルーム腰壁タイプ、サイドスルー腰壁タイプ、オープンテラス腰壁タイプ、3タイプ共通の作業です。
●オープンテラス腰壁タイプの場合は、腰壁内側笠木もシーリングしてください。（●－●－●部分）（図3-5参照）

※腰壁連棟仕様の場合の作業です。
※「6　側面折戸パネルの取付け　3. 腰壁笠木の取付け」と同時に行う作業です。

4. 連棟の場合の腰壁笠木の取付け

4-1　腰壁笠木の加工

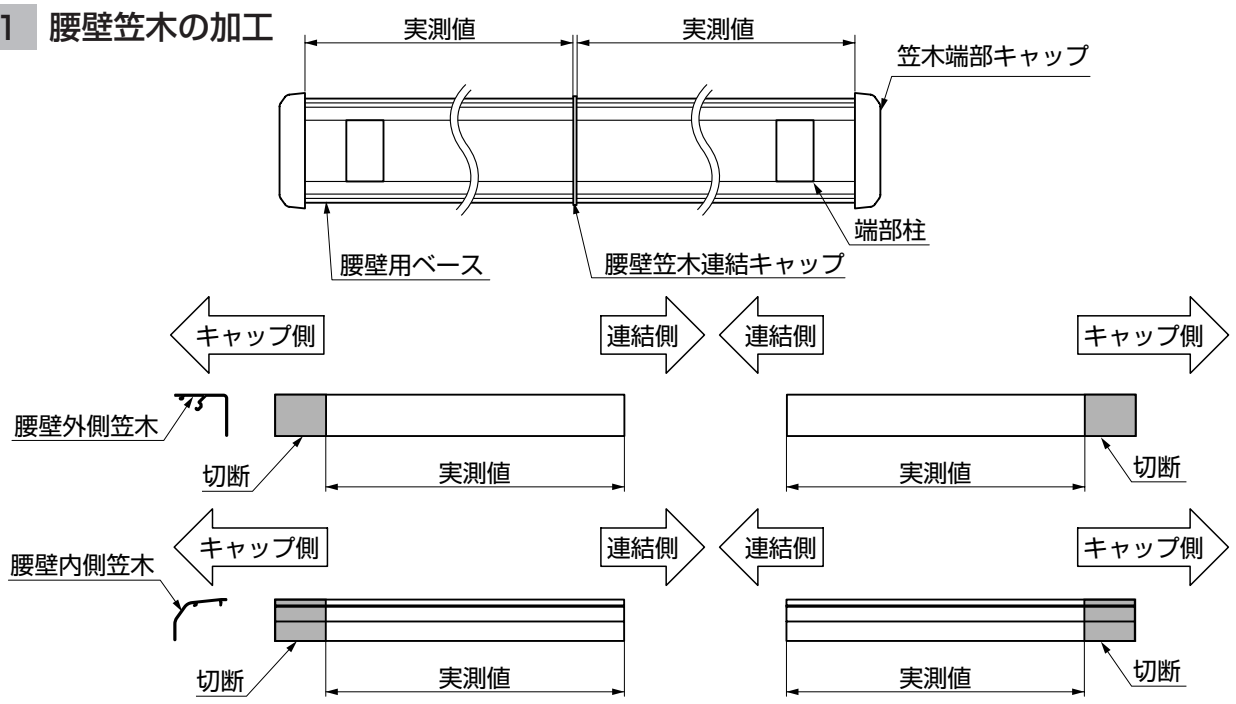


図4-1　腰壁笠木の加工

①腰壁笠木を、現場で実測して切断してください。（図4-1参照）

4-2　腰壁笠木の取付け

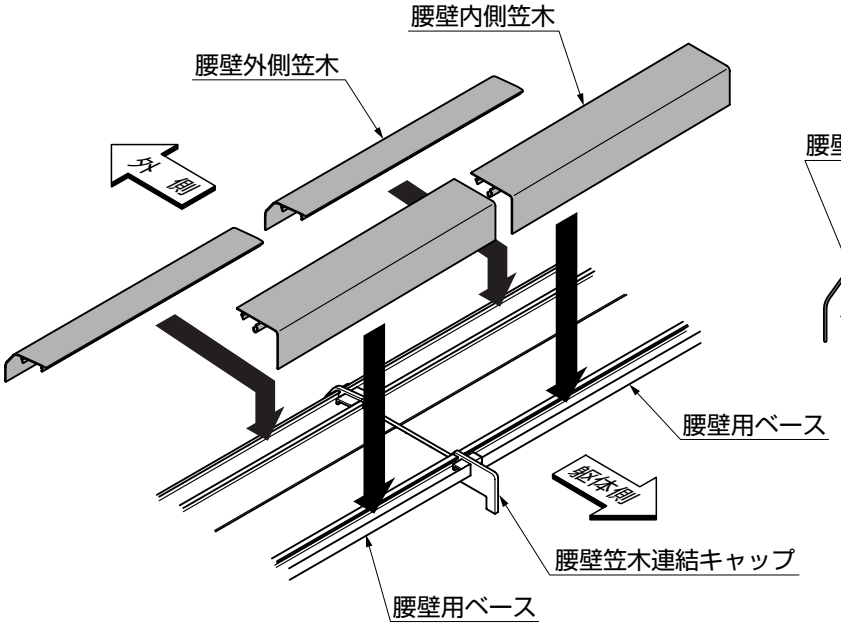


図4-2

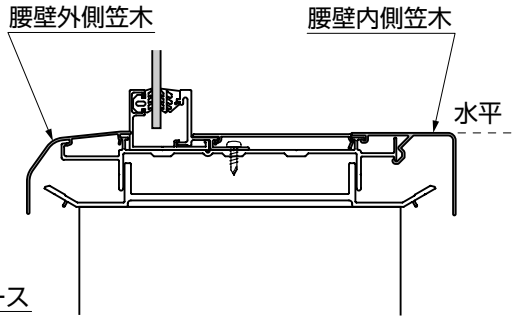


図4-3

①腰壁笠木連結キャップを取付けた腰壁用ベースに、腰壁内側笠木と腰壁外側笠木をはめ込み取付けてください。

ポイント

●腰壁内笠木は、水平になるように、取付けてください。（図4-3参照）

5. コンクリートブロックの表面仕上げ

※腰壁仕様の場合の作業です。
※図はサイドスルー腰壁タイプ、ガーデンルーム腰壁タイプの場合を示します。
※本体施工完了後でも仕上げ可能です。

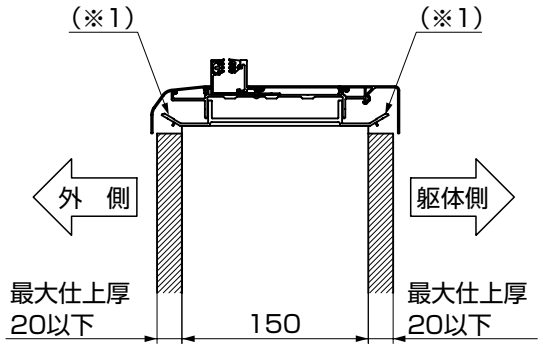


図5-1　内側笠木にLED照明を取付ない場合

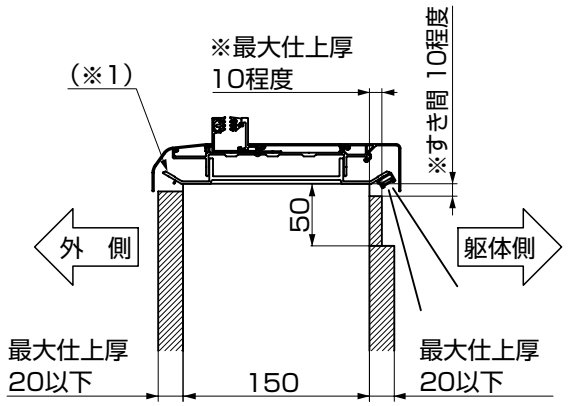


図5-2　内側笠木にLED照明を取付ける場合

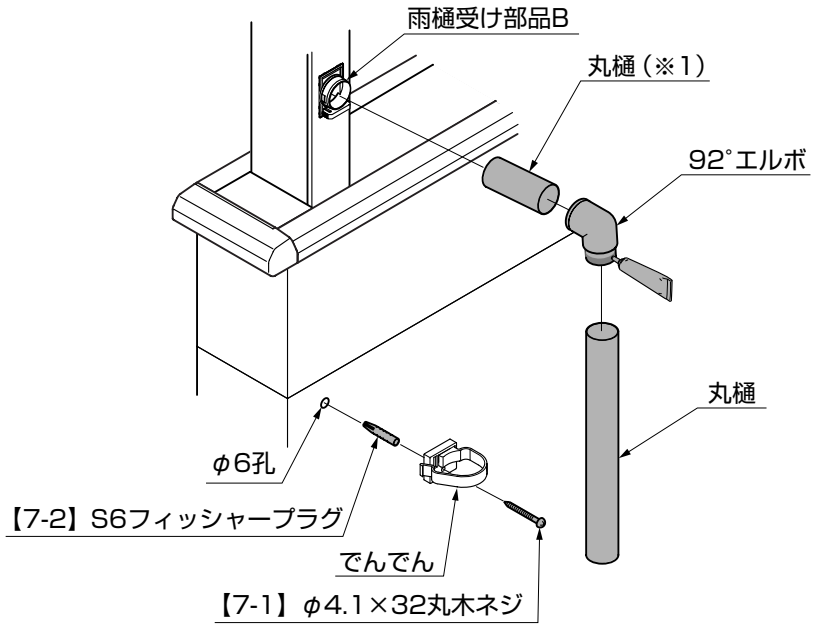
①コンクリートブロックの表面仕上げは、図5-1、図5-2にしたがってください。

ポイント

●LED照明付近のタイル厚さとすき間の関係は、上記寸法を目安に施工現場で決めてください。
●タイル貼りに不都合がある場合は、LED取付部以外の腰壁用ベース受けのフィン（※1）をカットしてください。

6. 丸樋の取付け

※腰壁仕様の場合の作業です。
※本体施工完了後でも取付け可能です。



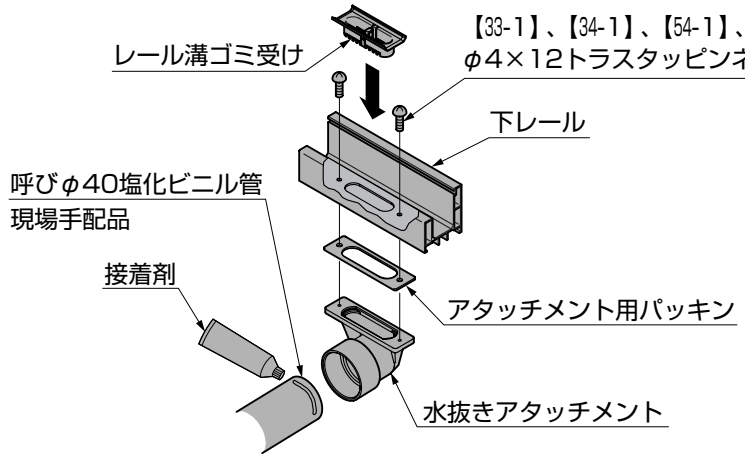
①丸樋を92°エルボに取付け、でんでんと【7-1】および【7-2】で腰壁に取付けてください。
②92°エルボを、雨樋受け部品Bに接着剤で取付けてください。

ポイント

●【7-2】を固定する際は、腰壁の強度を確認してください。
●清掃時には、取外す必要があるので丸樋（※1）は接着しないでください。

7. 下レールの取付け

7-1 水抜きの取付け



①レール溝ゴミ受け、アタッチメント用パッキン、水抜きアタッチメントを下レールに、【33-1】または、【34-1】、【54-1】、【55-1】で取付けてください。

ポイント

- ●レール溝ゴミ受けは、お手入れのときに取外しますので、接着しないでください。
- ●水抜きアタッチメントは、デッキ仕様の場合は使用しないでください。

7-2 外収納用下レールの取付け

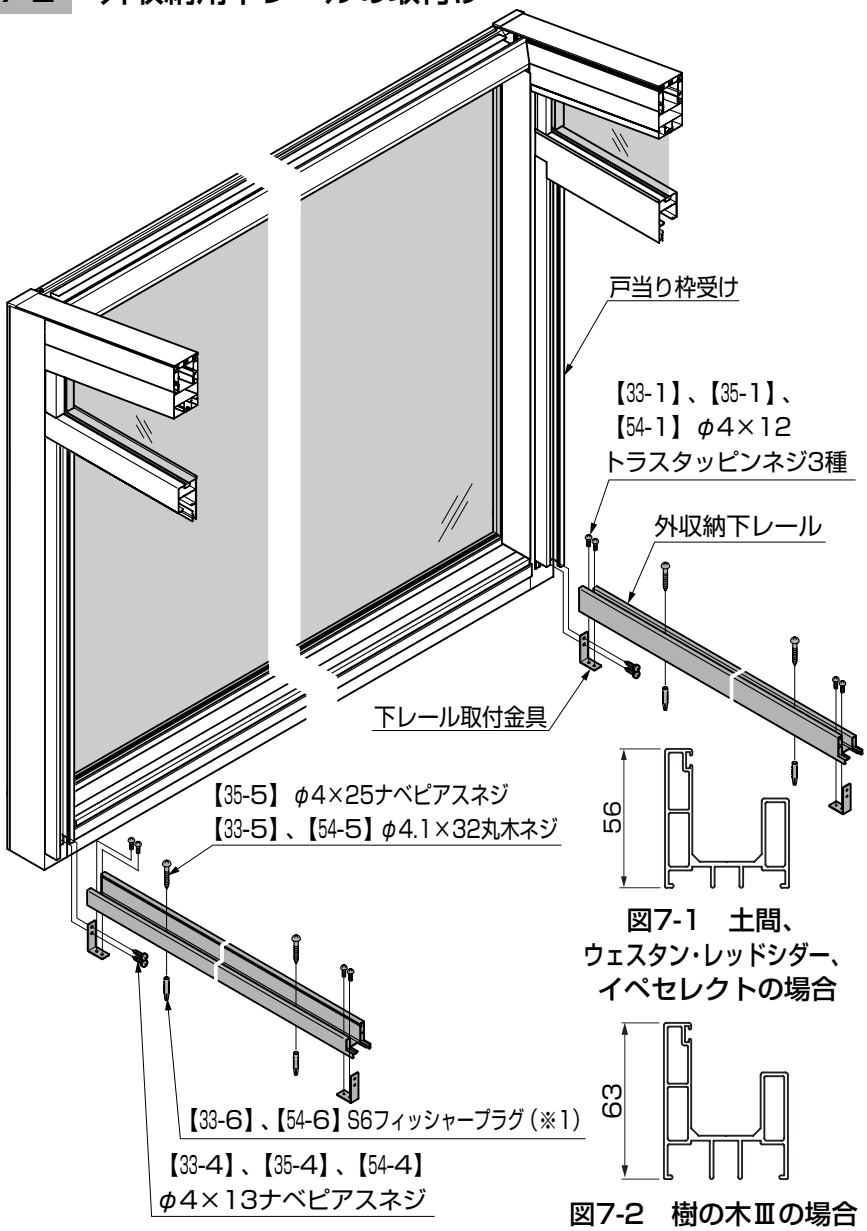


図7-1　土間、ウェスタン・レッドシダー、イペセレクトの場合

図7-2　樹の木Ⅲの場合

ポイント

- ●土間仕様の場合の外収納下レールの固定には、【33-6】、【54-6】を使ってください。（※1）
- ●【33-6】、【54-6】を使用する場合は、土間の強度を確認してください。

①下レール取付金具を外収納下レールに、【33-1】または【35-1】、【54-1】で取付けてください。
②外収納下レールを戸当り枠受けに、【33-4】または【35-4】、【54-4】で取付けてください。
③下レールを、【33-5】または、【35-5】、【54-5】で取付けてください。

ポイント

- ●外収納下レールは、土間、ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト、の場合と樹の木Ⅲの場合で異なります。
- ●デッキ仕様の下レールの取付けは、「ココマーデッキ編（ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト、）－取付説明書〈E220〉」、「ココマーデッキ編（樹の木Ⅲ）－取付説明書〈E221〉」と合わせて行ってください。

7-3　内収納用下レールの取付け

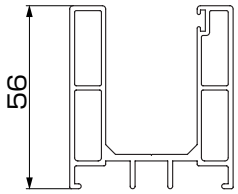


図7-3　戸袋下レール 土間、
ウェスタン･レッドシダー、
イペセレクトの場合

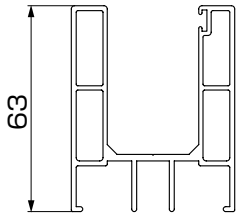


図7-4
戸袋下レール 樹の木Ⅲの場合

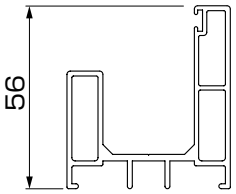


図7-5　戸袋下レール 土間、
ウェスタン･レッドシダー、
イペセレクトの場合

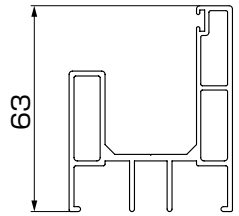
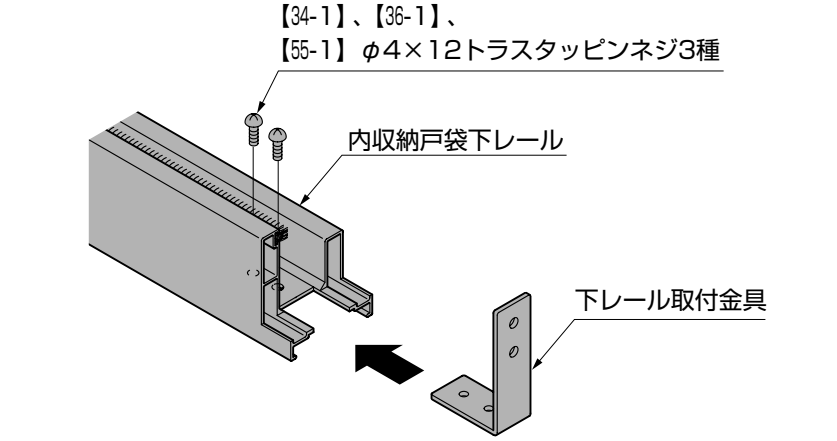


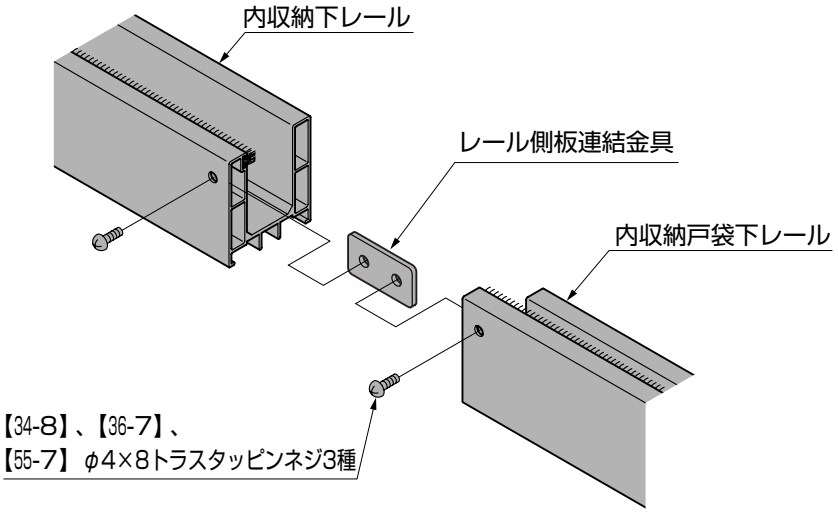
図7-6
下レール 樹の木Ⅲの場合

ポイント

- ●内収納戸袋下レール、内収納下レールは、土間、ウェスタン・レッドシダー、イペセレクトの場合と樹の木Ⅲの場合で異なります。
- ●デッキ仕様の下レールの取付けは、「ココマ−デッキ編（ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト）−取付説明書〈E220〉」、「ココマ−デッキ編（樹の木Ⅲ）−取付説明書〈E221〉」と合わせて行ってください。



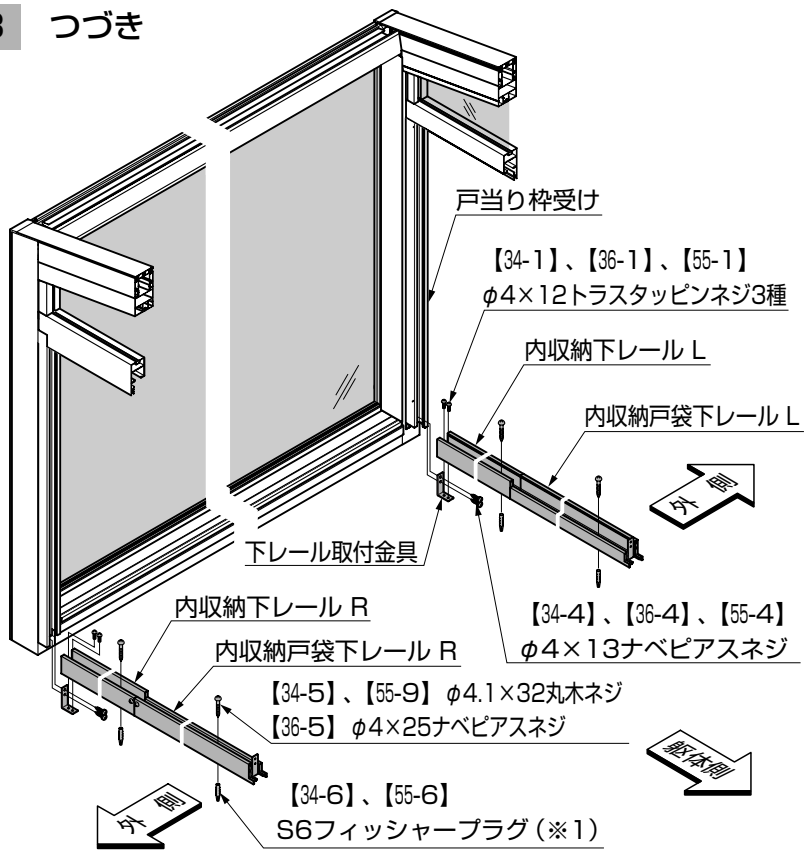
①内収納下レール取付金具を内収納戸袋下レールに、【34-1】または【36-1】、【55-1】で取付けてください。



②内収納下レールと内収納戸袋下レールを、レール側板連結金具と【34-8】または【36-7】、【55-7】で取付けてください。

7.（つづき）

7-3 つづき

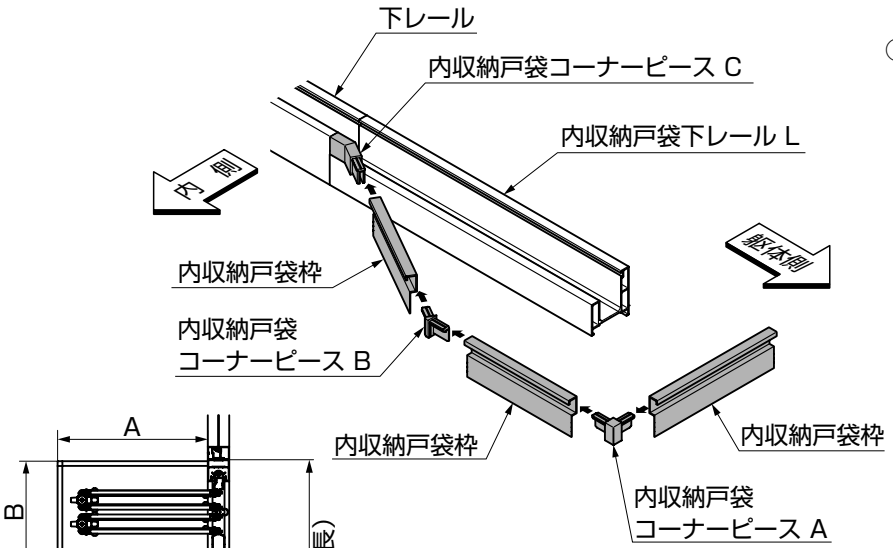


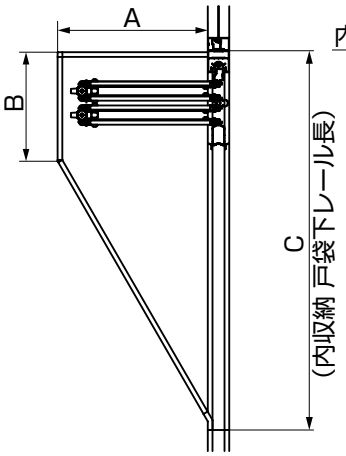
ポイント

- ●土間仕様の場合の内収納下レールと内収納戸袋下レールの固定には、【34-6】、【55-6】を使ってください。（※1）
- ●【34-6】、【55-6】を使用する場合は、土間の強度を確認してください。

③下レール取付金具を内収納下レールに、【34-1】または【36-1】、【55-1】で取付けてください。
④内収納下レールを戸当り枠受けに、【34-4】、【36-4】、【55-4】で取付けてください。
⑤内収納下レール、内収納戸袋下レールを、【34-5】で取付けてください。

7-4 戸袋枠の取付け ※図は左側を示します。





①内収納下レール、吊元枠と内収納戸袋枠を、内収納戸袋コーナーピースA、B、Cで接続してください。

表2-1 内収納戸袋寸法

	6尺	8尺
A	350	450
B	254	248
C	884	1051

8. 戸当り枠の取付け　※図は外収納の場合を示します。

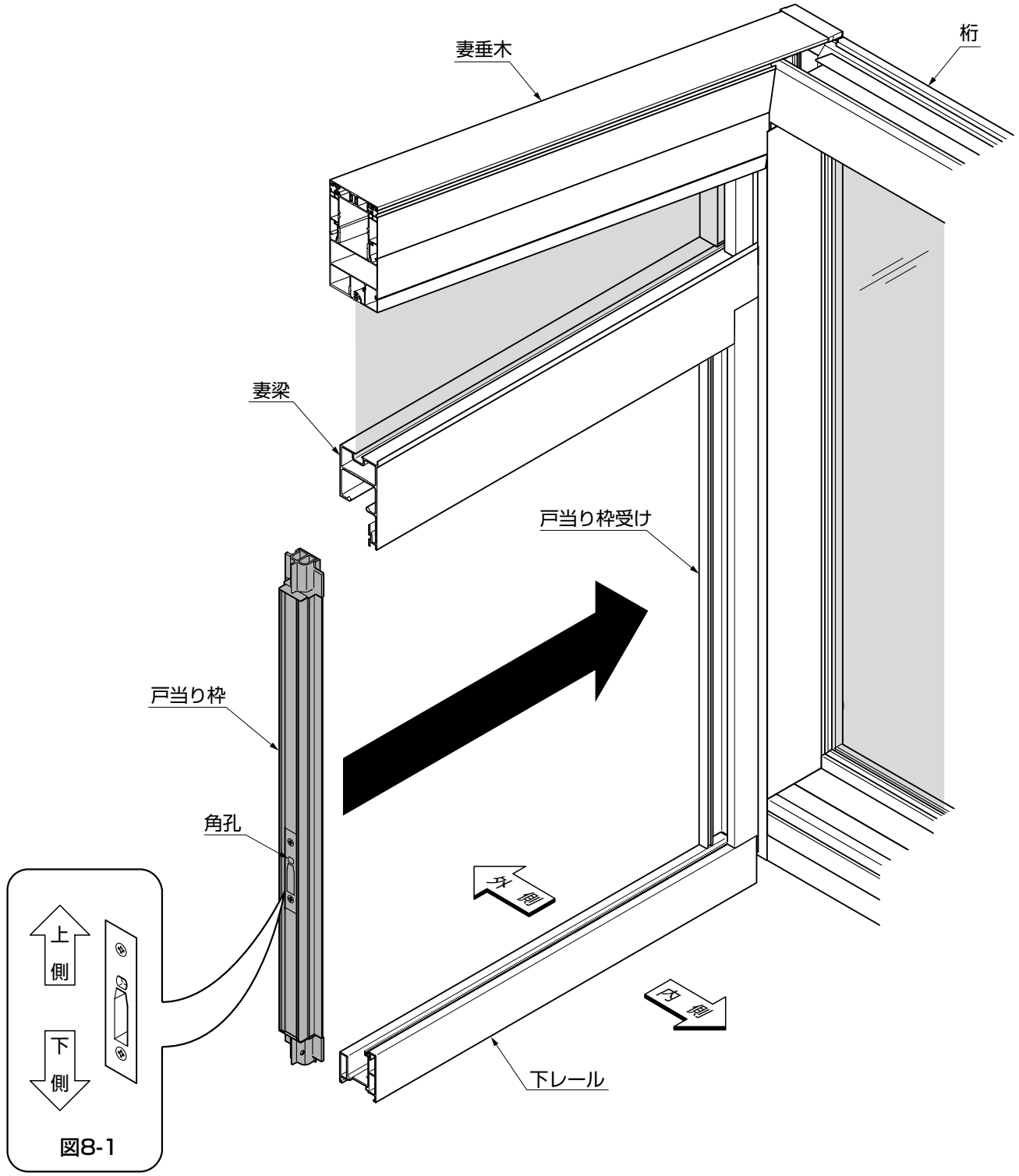


図8-1

①戸当り枠を、戸当り枠受けにはめ込んでください。

ポイント

●戸当り枠は、角孔があいている側を上側にしてください。図8-1を参照して上下を確認してください。

9. 戸当り框、連結框、吊元框の吊込み　※図は外収納の場合を示します。

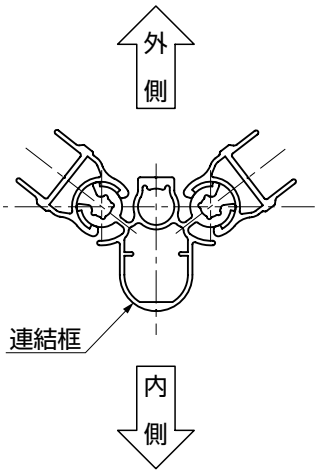


図9-1　外収納

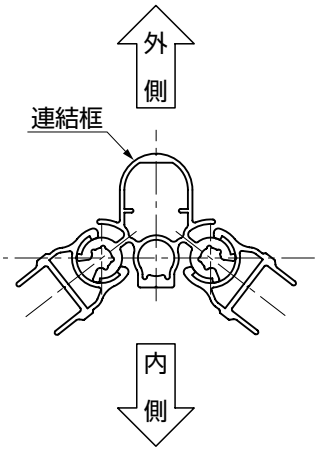


図9-2　内収納

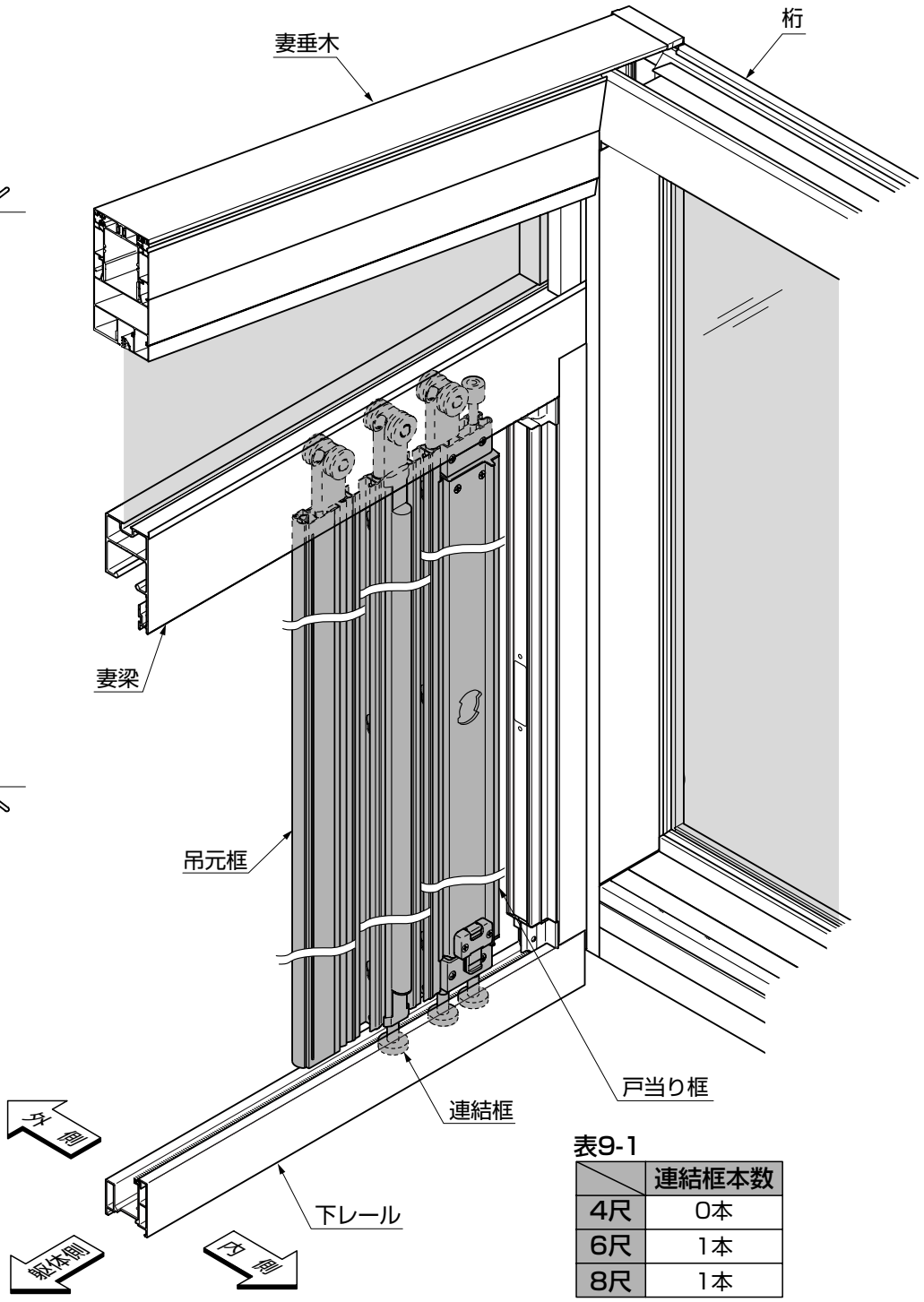


表9-1

	連結框本数
4尺	0本
6尺	1本
8尺	1本

①躯体側より戸当り框・連結框・吊元框を、下レール、妻梁に吊込んでください。

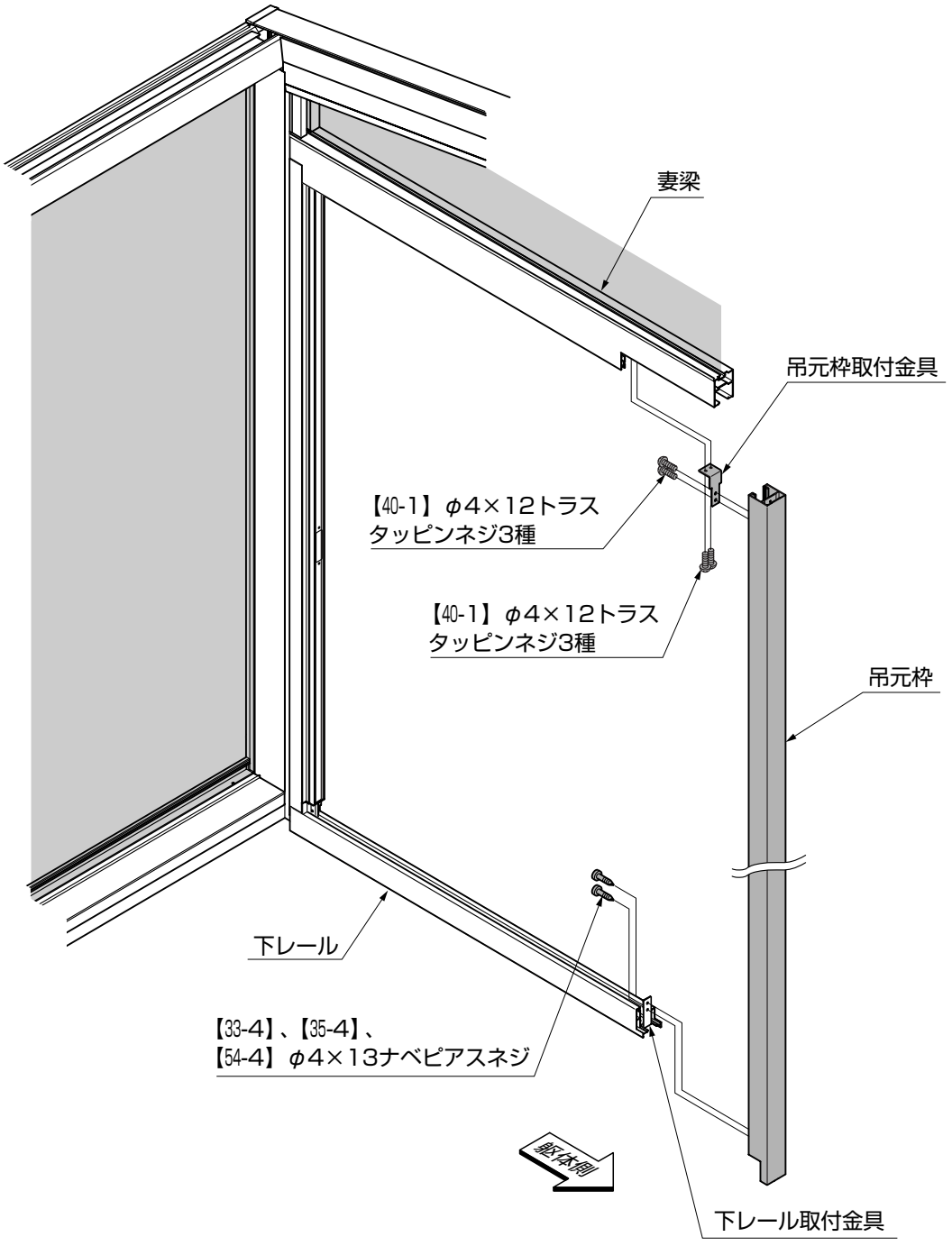
ポイント

●連結框は、パネルの枚数に応じて必要本数を挿入してください。この時、パネル折り畳み収納方向に注意してください。(表9-1、図9-1、図9-2参照)

10. 吊元枠の取付け

10-1　外収納の場合の取付け　※図は左側を示します。

（1）吊元枠の取付け

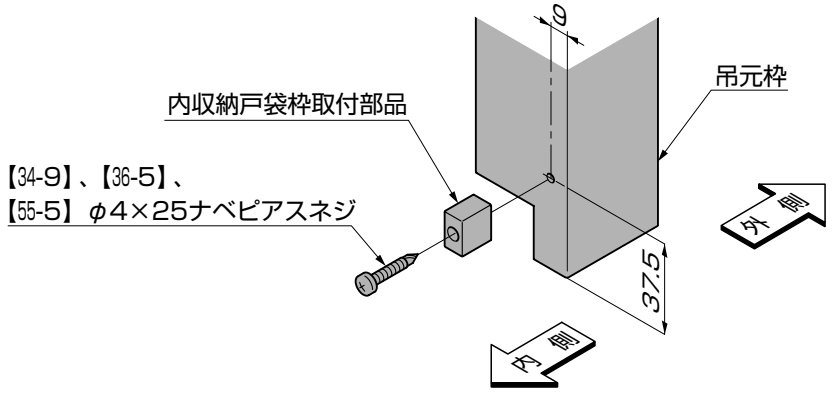


①吊元枠取付金具を妻梁に、【40-1】で取付けてください。
②吊元枠を吊元枠取付金具に、【40-1】で取付けてください。
③吊元枠を下レール取付金具に、【33-4】、または【35-4】、【54-4】で取付けてください。

10.（つづき）

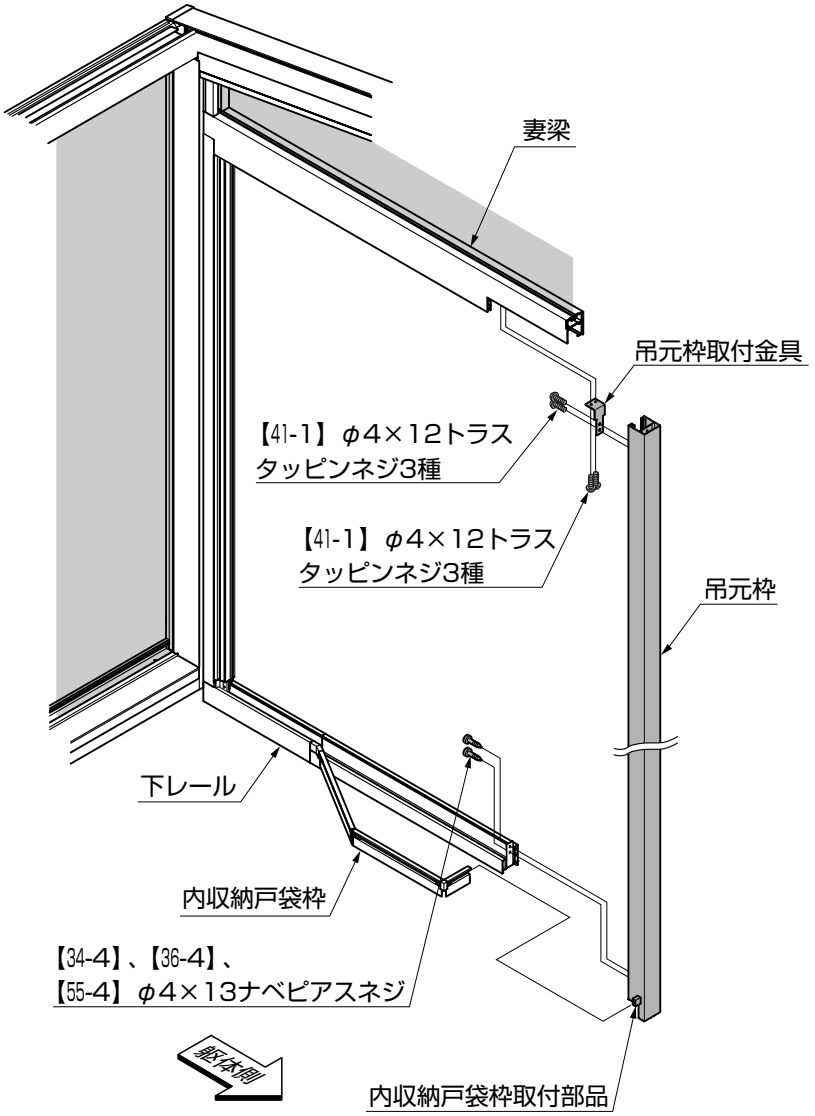
10-2　内収納の場合の取付け

（1）内収納戸袋枠部品の取付け



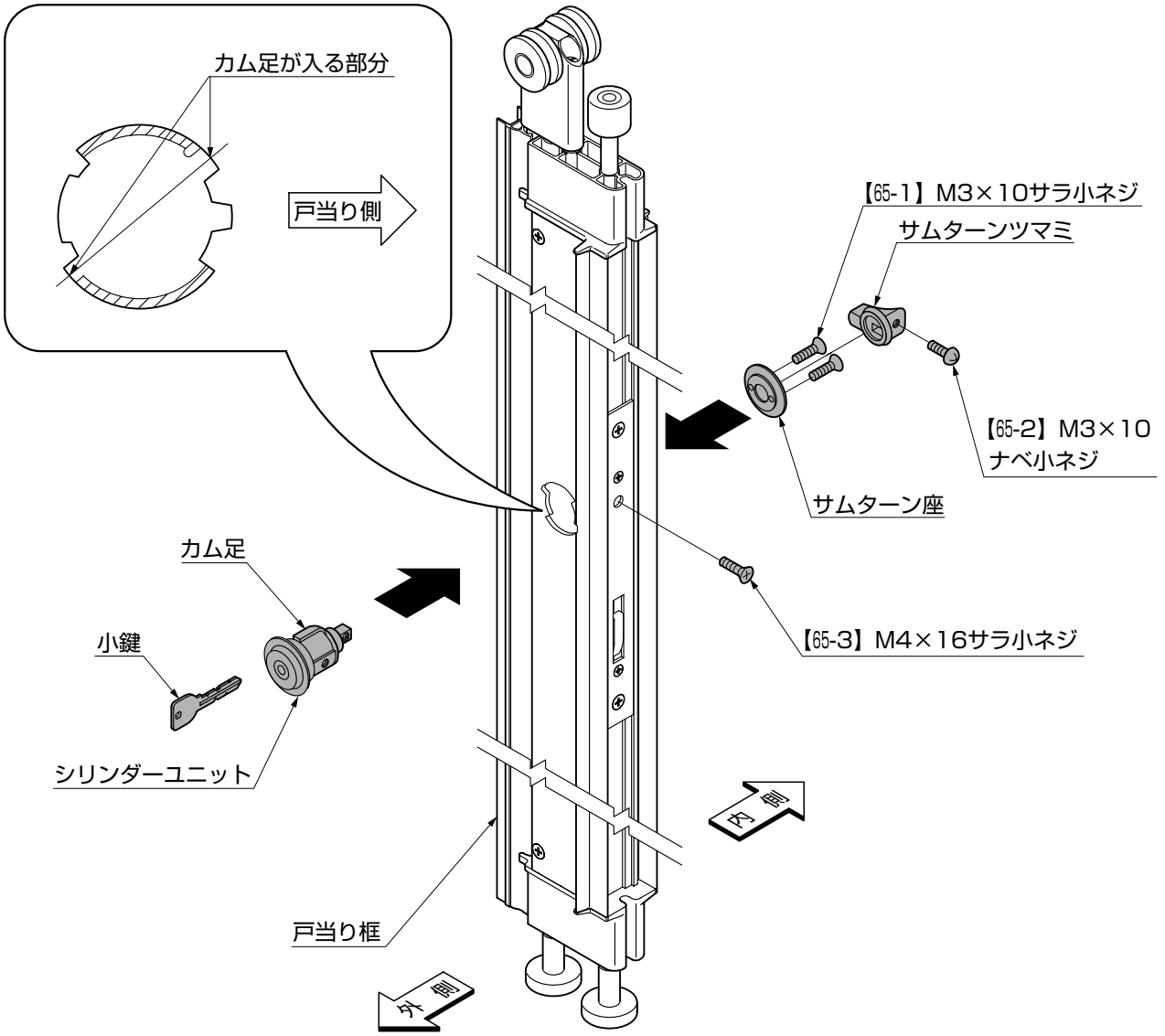
①内収納戸袋枠取付け部品を吊元枠に、【34-9】または【36-5】、【55-5】で取付けてください。

（2）吊元枠の取付け



①吊元枠取付金具を妻梁に、【41-1】で取付けてください。
②吊元枠を吊元枠取付金具に、【41-1】で取付けてください。
③吊元枠を下レール取付金具に、【34-4】、または【36-4】、【55-4】で取付けてください。
④内収納戸袋枠を、内収納戸袋部品にはめ込んでください。

11. 錠の取付け

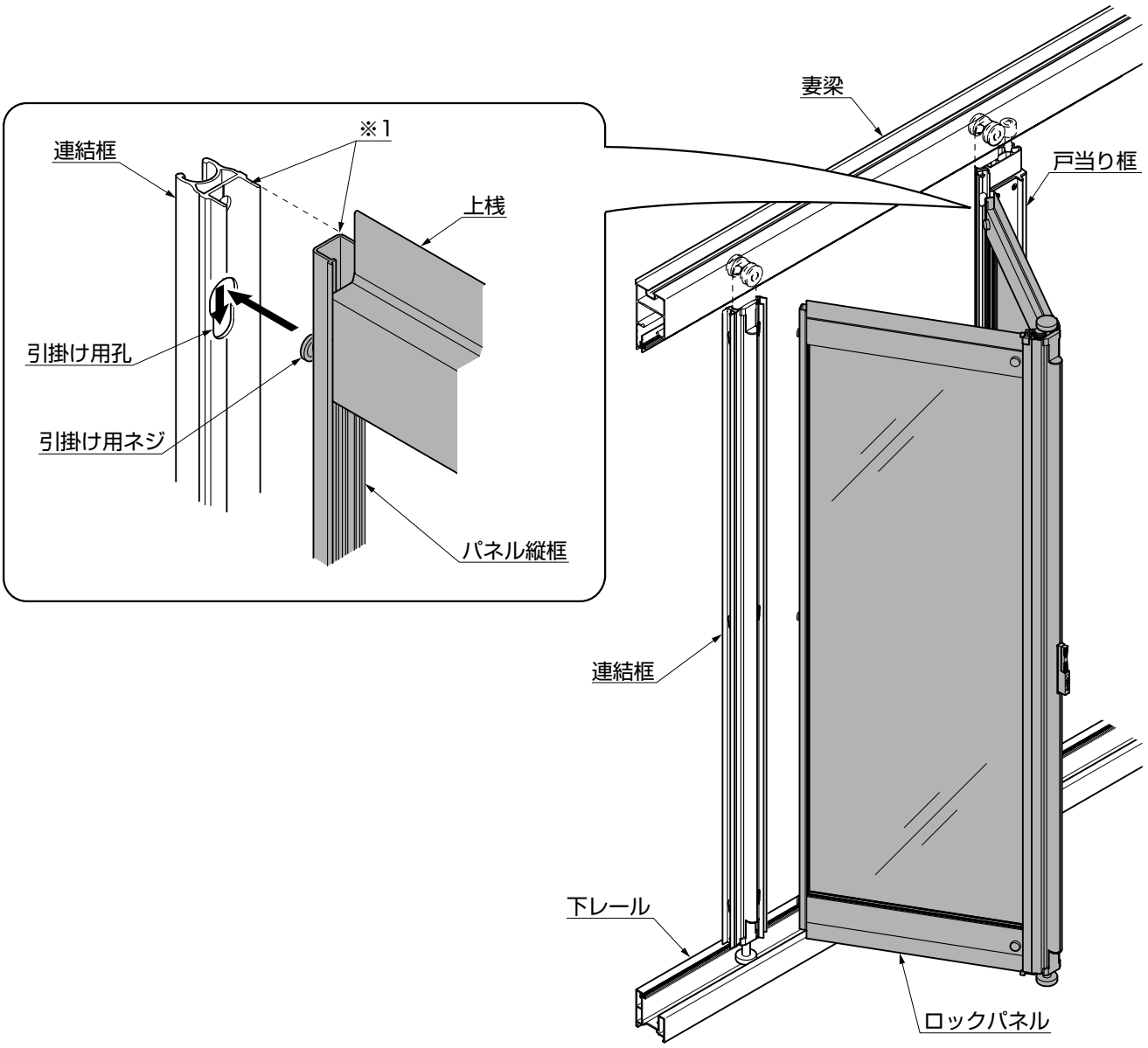


①シリンダーユニットを戸当り框の孔に挿入して、掛け側の孔から【65-3】で取付けてください。
②サムターン座をシリンダーユニットに、【65-1】で取付けてください。
③サムターンツマミをシリンダーユニットに、【65-2】で取付けてください。

ポイント

●シリンダーユニットのカム足を、框の孔形状に合わせて挿入してください。
●シリンダーユニット側面にあるネジ孔を、戸当り側へ向けてください。
●サムターン座凸部が、サムターンツマミ側にくるように組付けてください。

12. パネルの吊込み



①ロックパネルの引掛け用ネジを、戸当り、連結框、吊り元框の引掛け用孔に挿入して取付けてください。

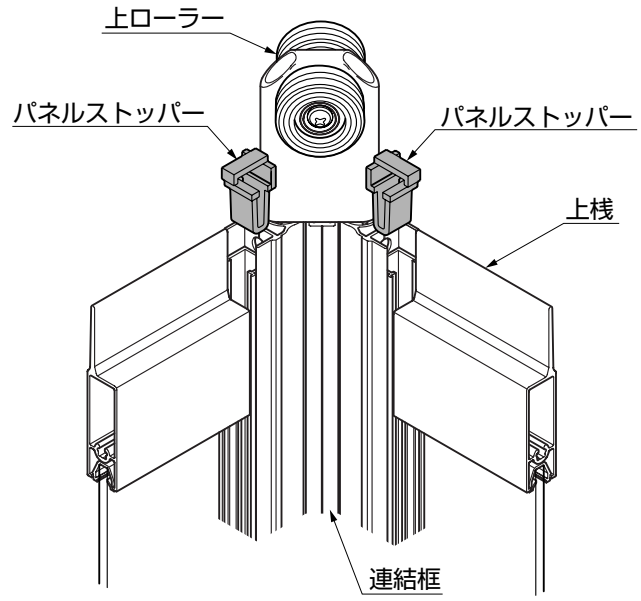
⚠ 注 意

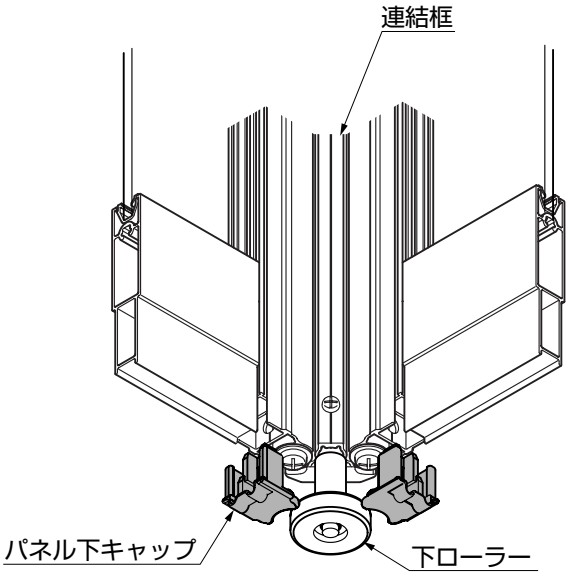
●引掛け用ネジの頭が完全に引掛かっていないと、パネルが脱落して破損する等、事故につながるおそれがあります。

ポイント

●上端をそろえてからパネルを引掛け用孔に挿入し、下へスライドしてください。(※1)
●パネルの3ヶ所に引掛け用ネジの頭が、引掛け用孔に引掛かっていることを確認してください。
●ロックパネルには内収納、外収納および上下がありますので、シールを参考にして吊込みを行なってください。

13. パネルストッパーおよびパネル下キャップの取付け





①パネルストッパーおよびパネル下キャップを、連結框の上下に取付けてください。

⚠ 注 意

●パネルストッパーがないと開閉時や地震時にパネルが脱落したり、強風ではずれてケガをするおそれがあります。

ポイント

●ロックパネルには内収納・外収納および上下がありますので、シールを参考にして吊込みを行なってください。

14. 吊元ストッパーの取付け

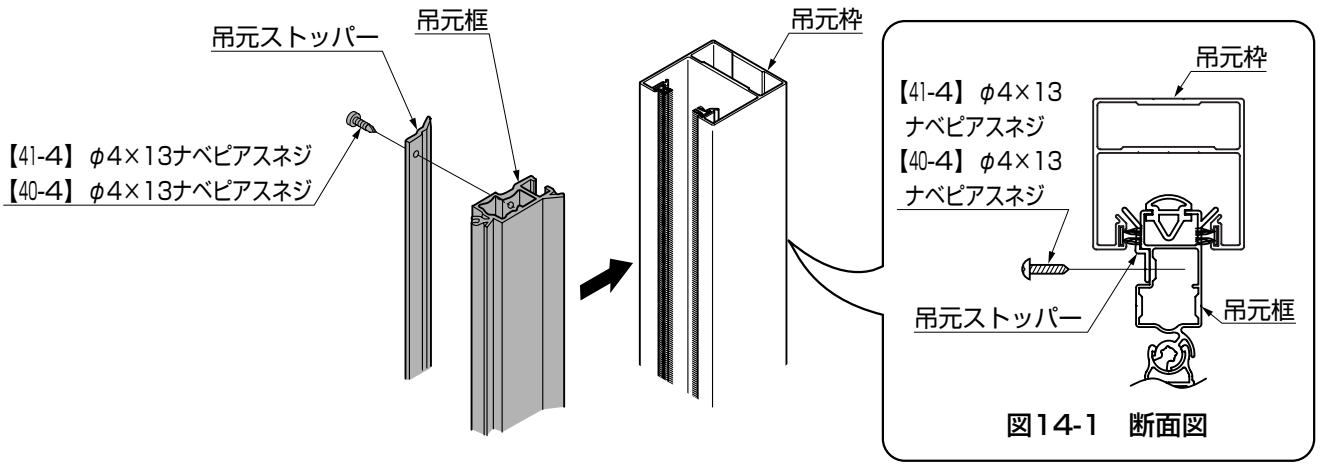


図14-1　断面図

①吊元框を吊元枠に差込んでから、吊元ストッパーを吊元框に、【40-4】または【41-4】で取付けてください。
（図14-1参照）

ポイント

●吊元ストッパーと吊元框を、吊元枠内に挿入した後に組付けてください。

15. 戸当りストッパーおよびストッパーガイドの取付け

15-1 戸当りストッパーの取付け

表15-1

出幅	L
4尺	181
6・8尺	223

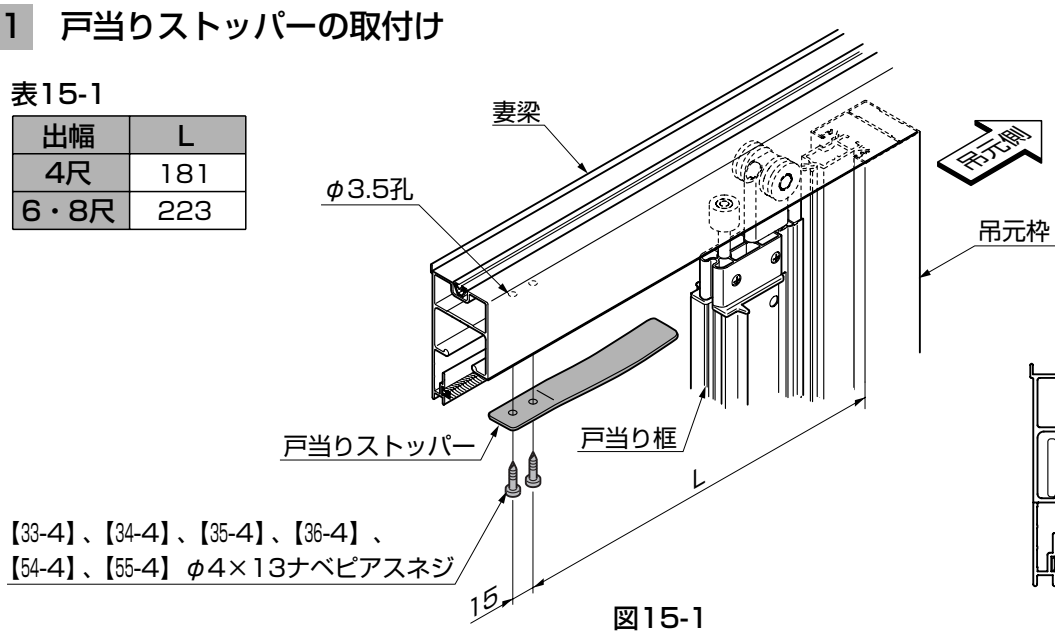


図15-1

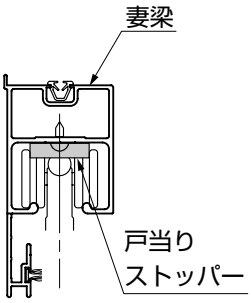


図15-2

①妻梁に、表15-1を参照して、φ3.5の孔をあけてください。
②戸当りストッパーを妻梁に、【33-4】または【34-4】、【35-4】、【36-4】、【54-4】、【55-4】で取付けてください。
（図15-1参照）

15-2 ストッパーガイドの取付け

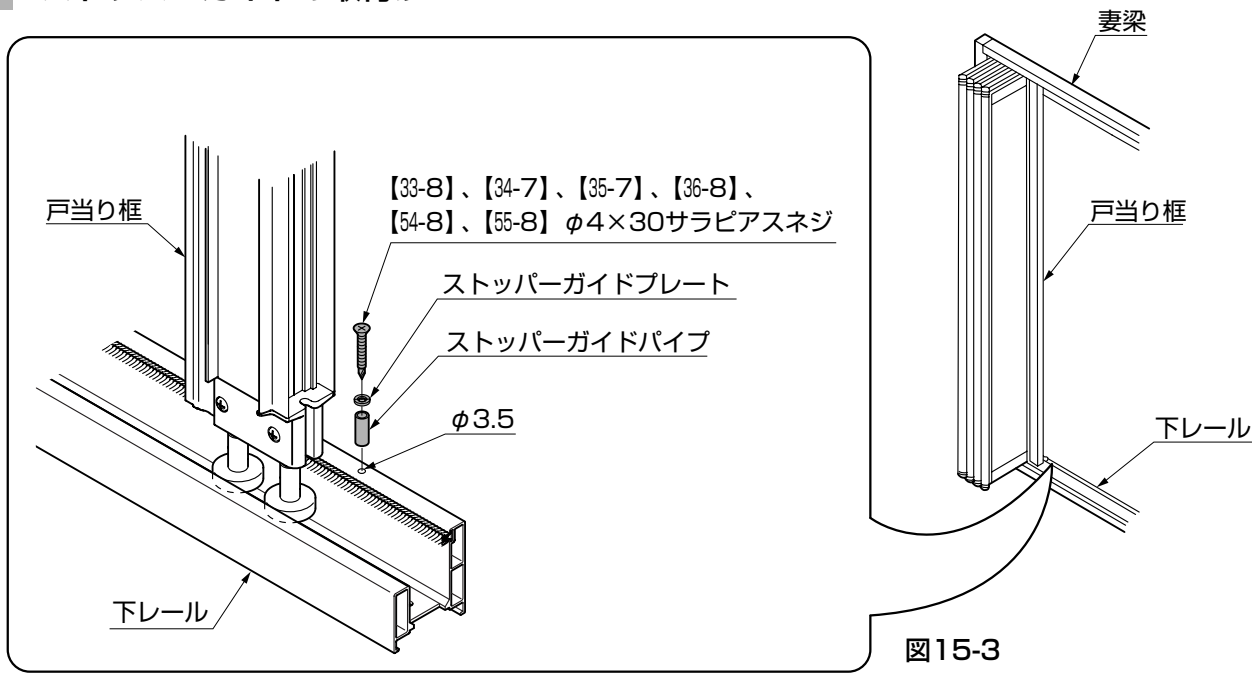


図15-3

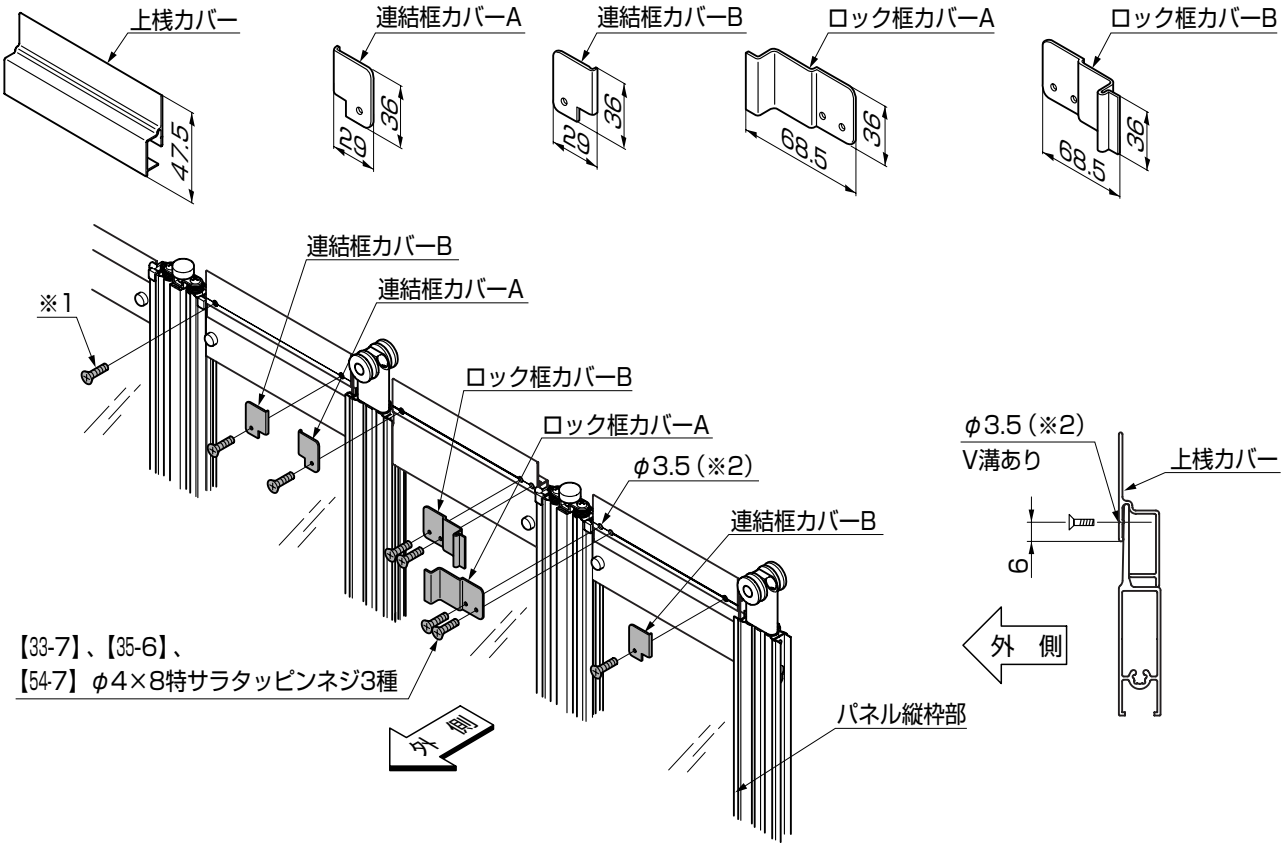
①下レールに、φ3.5の孔をあけてください。（図15-3参照）
②ストッパーガイドプレート 、ストッパーガイドパイプを下レールに、【33-8】または【34-7】、【35-7】、【36-8】、【54-8】、【55-8】で取付けてください。（図15-3参照）

ポイント

●ストッパーガイドプレート 、ストッパーガイドパイプは、折戸パネルを全て折りたたんだ状態にしてから、下レールにφ3.5の孔をあけ、固定してください。

16. 上桟カバーおよび框カバーの取付け

※外収納仕様の場合の作業です。
※図はロックパネル2枚1セットを示します。
※ロックパネル4枚2セットの場合も同様の作業をしてください。



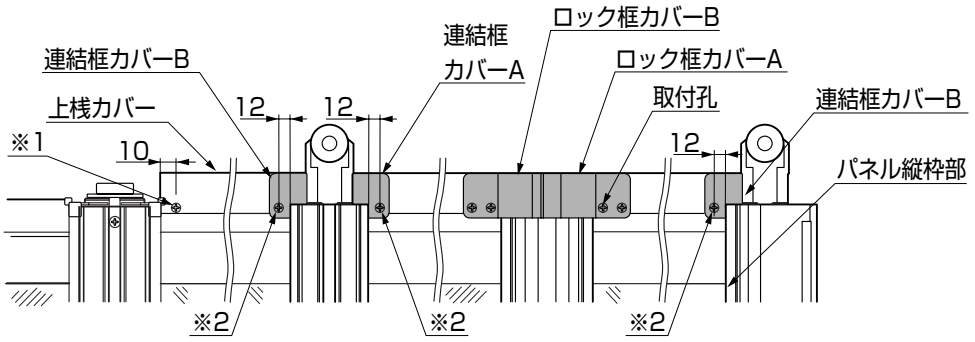


図16-1

①上桟カバーを、【33-7】または【35-6】、【54-7】で取付けてください。（※1）
②連結框カバー、ロック框カバー、上桟カバーを、【33-7】または【35-6】、【54-7】で取付けてください。

ポイント

●連結框カバーを取付けるための下孔φ3.5は、上桟カバーのV溝に合わせてパネル縦枠部から12mmの位置に加工してください。（※2）

7　側面フィックスパネルの取付け

1. フィックス枠の取付け

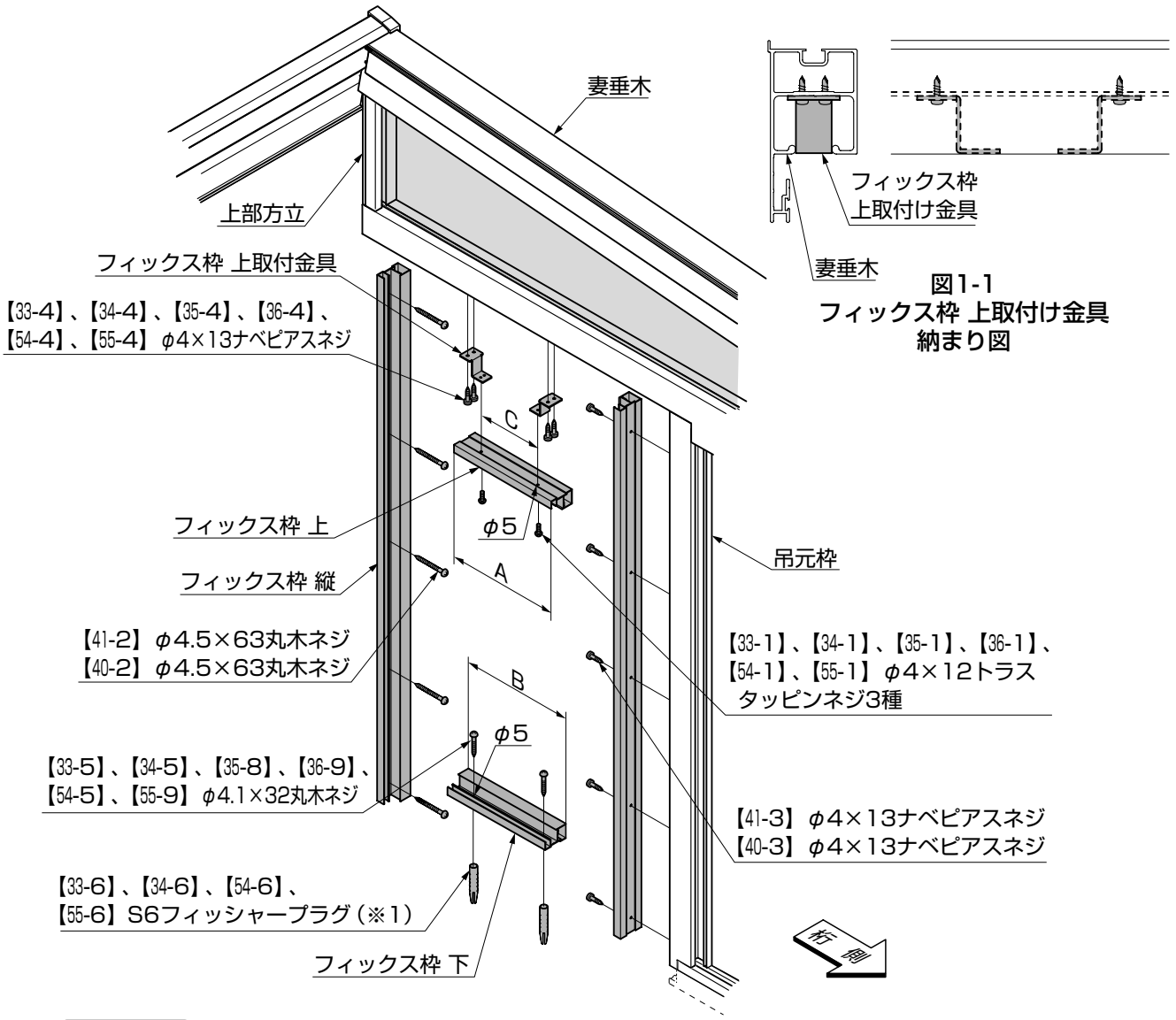


図1-1
フィックス枠 上取付け金具
納まり図

ポイント

●フィックス枠 下の取付け床面がF.L.で仕上がっていない場合は、取付け前に床面の仕上げを行なってください。
●デッキ仕様の場合は、「ココマ －デッキ編（ウェスタン･レッドシダー、イペセレクト）－ 取付説明書（E220）」、「ココマ －デッキ編（樹の木Ⅲ）－ 取付説明書（E221）」にしたがってデッキを仕上げてください。

①フィックス枠 縦を躯体に、【40-2】または【41-2】で取付けてください。
②フィックス枠 縦を吊元枠に、【40-3】または【41-3】で取付けてください。
③A、B寸法を測定して、フィックス枠上・下を切断してください。
④フィックス枠 下に、φ5の孔をあけ、【33-5】または【34-5】、【35-8】、【36-9】、【54-5】、【55-9】で取付けてください。

ポイント

●土間仕様の場合のフィックス枠 下の固定には、【33-6】、【34-6】、【54-6】、【55-6】を使用してください。（※1）
●S6フィッシャープラグを使用する場合は、土間の強度を確認してください。

⑤フィックス枠　上取付金具を妻梁に、【33-4】または【34-4】、【35-4】、【36-4】、【54-4】、【55-4】で左右が均等になるように取付けてください。
⑥C寸法を測定して、フィックス枠 上にφ5の孔をあけてください。
⑦フィックス枠 上をフィックス枠 上取付金具に、【33-1】または【34-1】、【35-1】、【36-1】、【54-1】、【55-1】で取付けてください。

2. 側面フィックスパネルの取付け

表2-1　パネル高さ切断寸法

高さ	H
H20	1930
H22	2130
H24	2330（切断無し）

表2-2　パネル出幅切断寸法

出幅	W
4尺	179（2枚取り）
6尺	158（2枚取り）
8尺	424（切断無し）

表2-3　腰壁仕様の場合の
パネル出幅切断寸法

出幅	W
4尺	154（2枚取り）
6尺	133（2枚取り）
8尺	399（切断無し）

図2-1

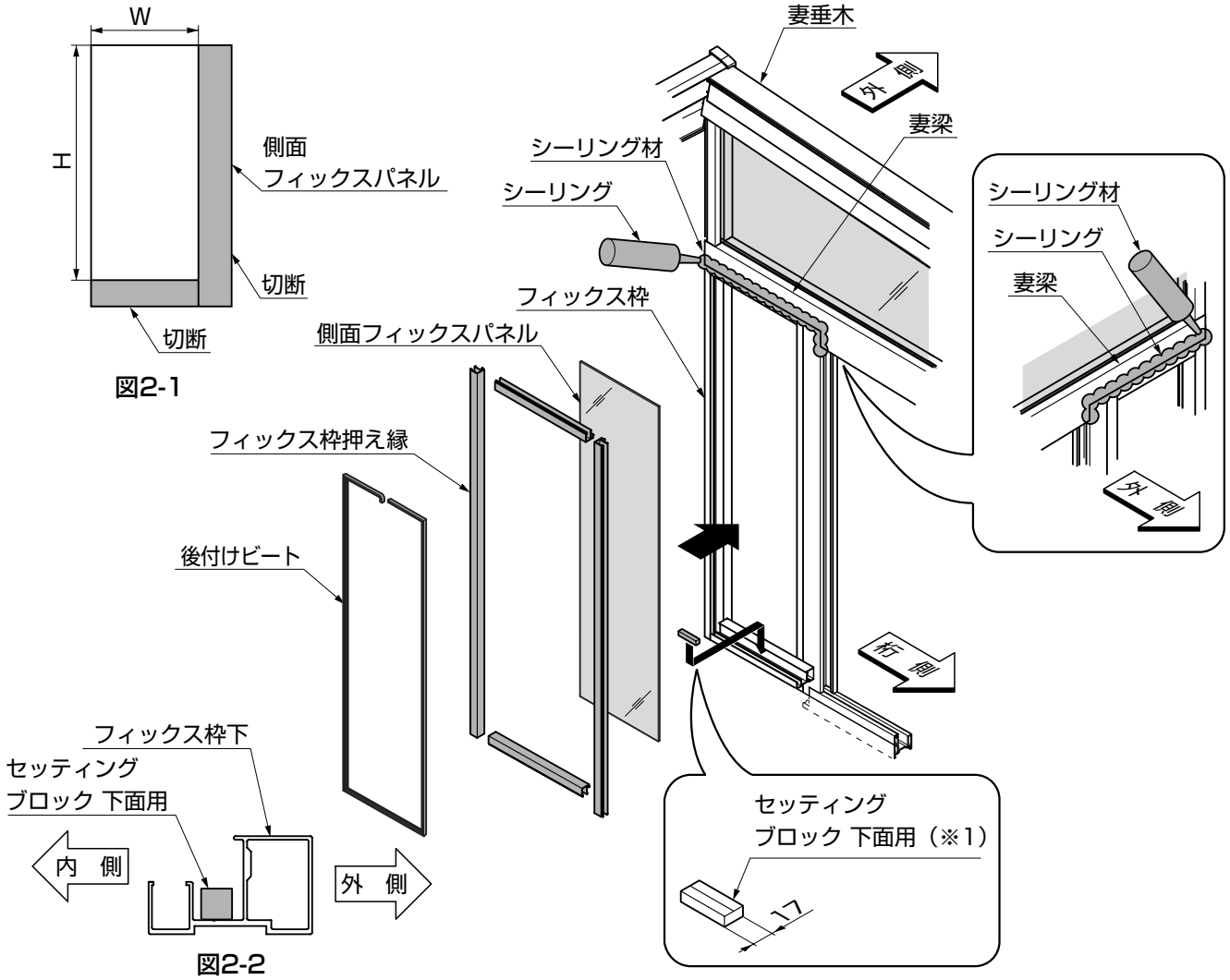


図2-2

①図2-1、表2-1、表2-2または表2-3を参照して、側面フィックスパネルを切断してください。
②セッティングブロック下面用を、フィックス枠下にはめ込んでください。

ポイント

●シール面を下面にして、セッティングブロック 下面用を半分にカットしてください。（※1）

③側面フィックスパネルを、フィックス枠にはめ込んでください。
④「1.フィックス枠の取付け」で測定したA、B寸法で、フィックス枠押え縁上･下を切断してください。
⑤フィックス枠押え縁を、フィックス枠にはめ込んでください。
⑥後付けビートをはめ込んでください。

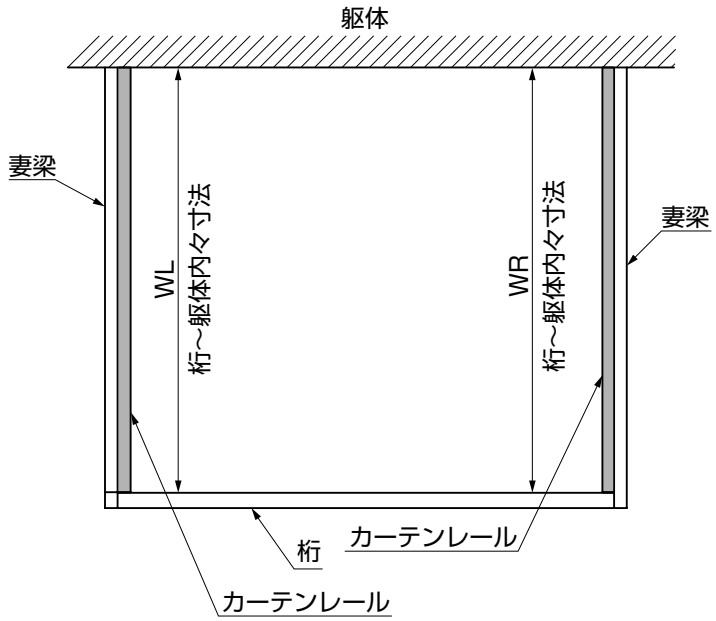
ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
●全ての作業完了後、床面の仕上げを行なってください。

8　カーテンレールの取付け　オプション

※ガーデンルームタイプの場合で、カーテンレールを取付ける場合の作業です。

1-1　カーテンレールの加工



①WR、WLを採寸してください。
②カーテンレールを、採寸した寸法に合わせて切断してください。

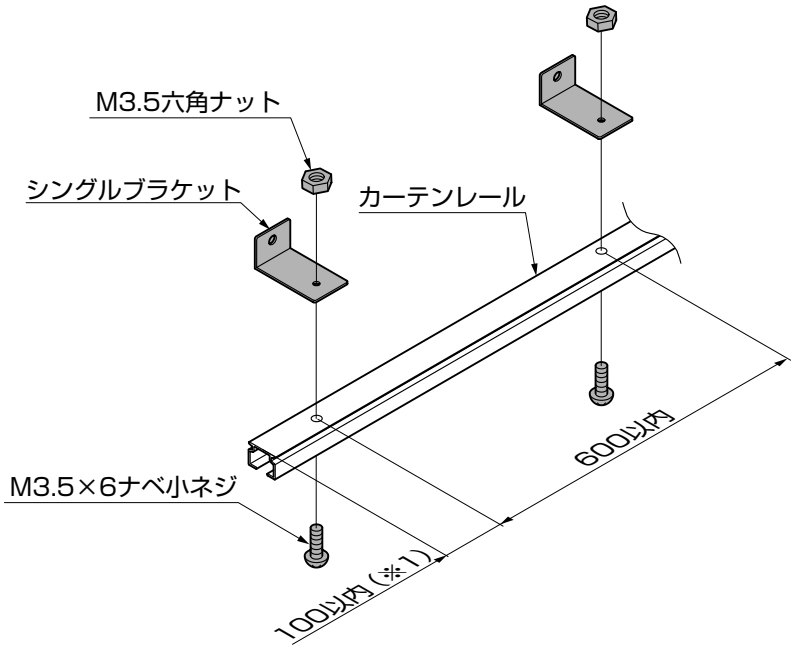


図1-1

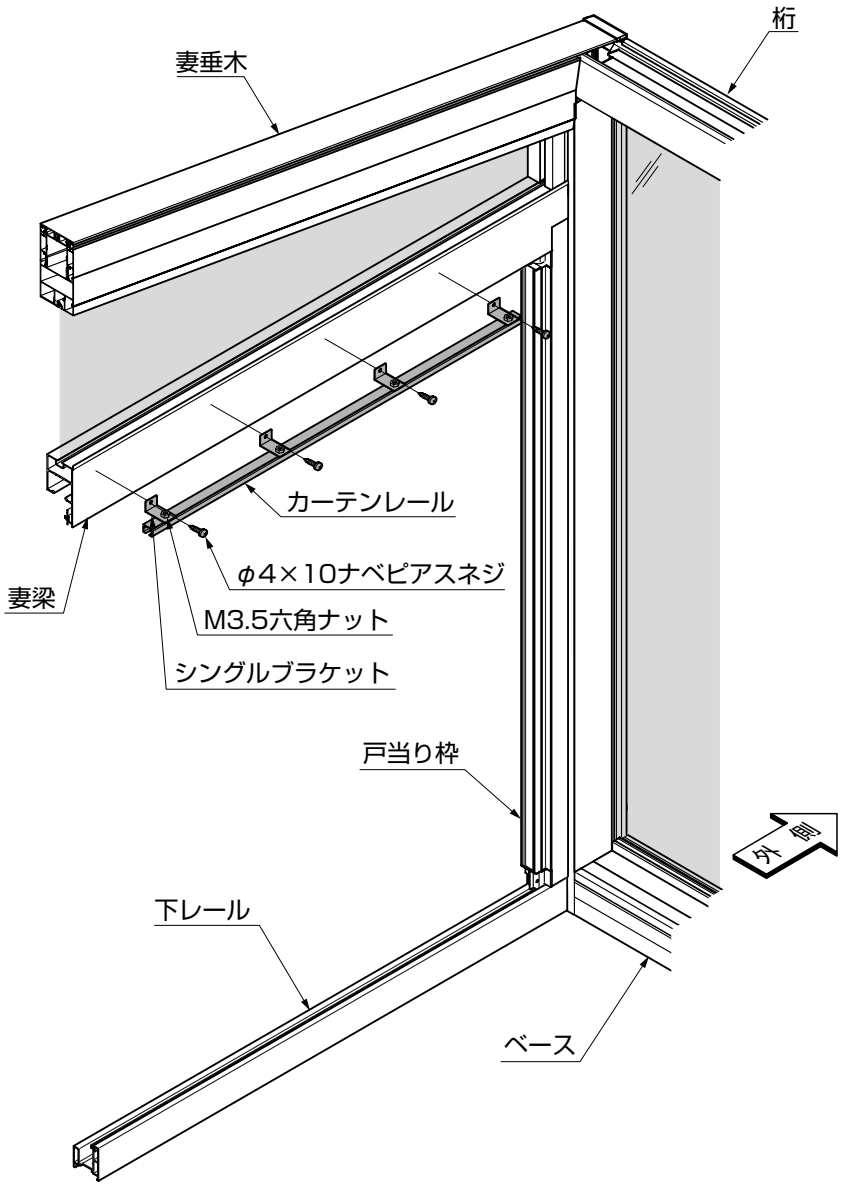
③シングルブラケットを切断したカーテンレールに、「M3.5×6ナベ小ネジ」、「M3.5六角ナット」で仮止めしてください。（図1-1参照）

ポイント

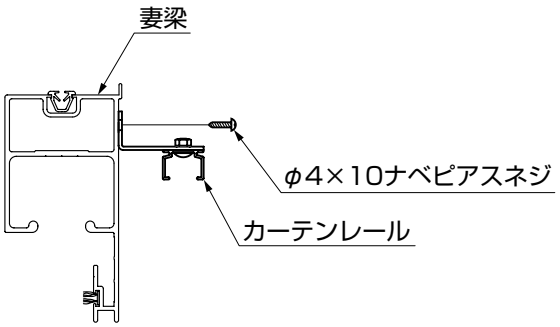
●レール端部にシングルブラケットを取付ける場合は、100mm以内（※1）にしてください。（図1-1参照）

E219_200607B

1-2 カーテンレールの取付け ※図は外収納の場合を示します。



①カーテンレールを、「φ4×10ナベピアスネジ」で妻梁に取付けてください。
②仮止めした「M3.5×6ナベ小ネジ」、「M3.5六角ナット」を、本締めしてください。



⚠ 注意

●落下事故防止のため、「φ4×10ナベピアスネジ」はしっかりと固定してください。

E219_200607B

取説コード
E219
YBQ610994A
200603A_1039
200607B_1039

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。